

楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事）

図面リスト							
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書（改修１）	A-41	管理教室棟 1階廊下 平面図	E-01	電気設備特記仕様書 1	M-01	特記仕様書 建築機械設備 1
A-02	特記仕様書（改修２）	A-42	管理教室棟 1階廊下 改修前 展開図	E-02	電気設備特記仕様書 2	M-02	特記仕様書 建築機械設備 2
A-03	特記仕様書（改修３）	A-43	管理教室棟 1階廊下 改修後 展開図	E-03	電気設備配置図	M-03	機械設備 給排水衛生設備 管理教室棟 凡例・器具機器表（改修後）
A-04	特記仕様書（改修４）	A-44	管理教室棟 1階・2階天井伏図	E-04	電灯分電盤結線図	M-04	機械設備 給排水衛生設備 管理教室棟 1階・2階平面図（改修前）
A-05	特記仕様書（改修５）	A-45	管理教室棟 3階天井伏図	E-05	管理教室棟 幹線動力設備 1階平面図（改修後）	M-05	機械設備 給排水衛生設備 管理教室棟 3階平面図（改修前）
A-06	特記仕様書（改修６）	A-46	管理教室棟 建具指示図	E-06	管理教室棟 幹線動力設備 1階平面図（改修前）	M-06	機械設備 給排水衛生設備 管理教室棟 1階・2階平面図（改修後）
A-07	配置図	A-47	管理教室棟 建具表(1)	E-07	管理教室棟 電灯幹線設備 1階・2階・3階平面図（改修後）	M-07	機械設備 給排水衛生設備 管理教室棟 3階平面図（改修後）
A-08	管理教室棟 外部仕上表・内部仕上表（1）	A-48	管理教室棟 建具表(2)	E-08	管理教室棟 電灯幹線設備 1階・2階・3階平面図（改修前）	M-08	機械設備 給排水衛生設備 管理教室棟 1階職員室・校長室・保健室平面詳細図（改修前）
A-09	管理教室棟 内部仕上表（2）	A-49	管理教室棟 建具表(3)	E-09	管理教室棟 電灯設備 1階平面図（改修後）	M-09	機械設備 給排水衛生設備 管理教室棟 1階職員室・校長室・保健室平面詳細図（改修後）
A-10	管理教室棟 防火区画図	A-50	管理教室棟 スクールパーテーション詳細図（1）	E-10	管理教室棟 電灯設備 1階平面図（改修前）	M-10	機械設備 給排水衛生設備 管理教室棟 1階平面詳細図（改修前・改修後）
A-11	管理教室棟 1階・2階平面図	A-51	管理教室棟 スクールパーテーション詳細図（2）	E-11	管理教室棟 コンセント設備 1階平面図（改修後）	M-11	機械設備 給排水衛生設備 管理教室棟 2階平面詳細図（改修前・改修後）
A-12	管理教室棟 3階平面図・屋根伏図	A-52	管理教室棟 家具・サイン撤去指示図	E-12	管理教室棟 コンセント設備 1階平面図（改修前）	M-12	機械設備 給排水衛生設備 管理教室棟 3階平面詳細図（改修前・改修後）
A-13	管理教室棟 立面図(1)・断面図(1)	A-53	管理教室棟 家具・サイン指示図	E-13	拡声・時計設備系統図（改修前・改修後）	M-13	機械設備 給排水衛生設備 管理教室棟 1階廊下手洗い平面詳細図（改修前・改修後）
A-14	管理教室棟 立面図(2)・断面図(2)	A-54	管理教室棟 家具特記仕様書	E-14	弱電機器姿図(改修後)	M-14	機械設備 空調換気設備 管理教室棟 管理教室棟 1階平面図（改修前・改修後）
A-15	管理教室棟 矩計図	A-55	管理教室棟 家具図(1)	E-15	弱電機器姿図 2（改修後）	M-15	機械設備 換気設備 管理教室棟 管理教室棟 凡例・機器表・計算書（改修後）
A-16	管理教室棟 断面詳細図	A-56	管理教室棟 家具図(2)	E-16	管理教室棟 電話・インターホン設備 1階平面図（改修後）	M-16	機械設備 換気設備 管理教室棟 管理教室棟 1階・2階平面図(改修前)
A-17	管理教室棟 改修前 来客玄関・階段 1 平面詳細図・断面詳細図	A-57	管理教室棟 家具図(3)	E-17	管理教室棟 電話・インターホン設備 1階平面図（改修前）	M-17	機械設備 換気設備 管理教室棟 3階平面図（改修前）
A-18	管理教室棟 改修前 来客玄関・階段 1 断面詳細図	A-58	管理教室棟 家具図(4)	E-18	管理教室棟 拡声・時計・テレビ共聴設備 1階平面図（改修後）	M-18	機械設備 換気設備 管理教室棟 1階・2階平面図（改修後）
A-19	管理教室棟 改修後 来客玄関・階段 1 平面詳細図・断面詳細図	A-59	雑詳細図(1)	E-19	管理教室棟 拡声・時計・テレビ共聴設備 1階平面図（改修前）	M-19	機械設備 換気設備 管理教室棟 3階平面図（改修後）
A-20	管理教室棟 改修後 来客玄関・階段 1 断面詳細図	A-60	雑詳細図(2)	E-20	自動火災報知設備系統図（改修前・改修後）		
A-21	管理教室棟 改修前 昇降口 平面詳細図・展開図	A-61	雑詳細図(3)	E-21	管理教室棟 自動火災報知設備 1階平面図（改修後）		
A-22	管理教室棟 改修後 昇降口 平面詳細図・展開図	A-62	雑詳細図(4)	E-22	普通教室棟 自動火災報知設備 1階平面図（改修前）		
A-23	管理教室棟 改修前後 職員玄関 平面詳細図・展開図	A-63	雑詳細図(5)	E-23	管理教室棟 ギガスクールLAN設備 1階平面図（改修後）		
A-24	管理教室棟 職員便所 平面詳細図・展開図	A-64	雑詳細図(6)	E-24	管理教室棟 ギガスクールLAN設備 1階平面図（改修前）		
A-25	管理教室棟 改修前 2・3階便所 1 平面詳細図・展開図	A-65	雑詳細図(7)	E-25	管理教室棟 校内LAN設備 1階平面図（改修前・改修後）		
A-26	管理教室棟 改修後 2・3階便所 1 平面詳細図・展開図	A-66	仮設計画図	E-26	管理教室棟 光ケーブル設備 1階・R階平面図（改修後）		
A-27	管理教室棟 改修前後 普通教室廻り 床伏図			E-27	管理教室棟 光ケーブル設備 1階・R階平面図（改修前）		
A-28	管理教室棟 改修前 普通教室(3-A・3-B・第5学習室) 平面詳細図・展開図			E-28	武道場弱電設備 平面図（改修前・改修後）		
A-29	管理教室棟 改修後 普通教室(3-A・3-B・第5学習室) 平面詳細図・展開図			E-29	管理教室棟 1階職員便所 電灯コンセント設備図(改修前・改修後)		
A-30	管理教室棟 改修前 普通教室(ふれあい学習室) 平面詳細図・展開図			E-30	管理教室棟 トイレ 2,3階電灯コンセント・自火報設備図(改修前・改修後)		
A-31	管理教室棟 改修後 普通教室(ふれあい学習室) 平面詳細図・展開図			E-31	職員室・校長室防犯設備図(改修前・改修後) 職員室コンセント設備図(改修後)		
A-32	管理教室棟 改修前 ふれあい 平面詳細図・展開図			E-32	管理教室棟 立面図・断面図 弱電設備図		
A-33	管理教室棟 改修後 ふれあい 平面詳細図・展開図			E-33	普通教室棟 電話、自火報、時計設備 2・3階平面図(改修後)		
A-34	管理教室棟 校長室・職員室 床伏図			E-34	特別教室棟 弱電設備図(改修前・改修後)		
A-35	管理教室棟 校長室 平面詳細図・展開図						
A-36	管理教室棟 校長室 平面詳細図・展開図						
A-37	管理教室棟 改修前 職員室 平面詳細図・展開図						
A-38	管理教室棟 改修後 職員室 平面詳細図・展開図						
A-39	管理教室棟 改修前 保健室 平面詳細図・展開図						
A-40	管理教室棟 改修後 保健室 平面詳細図・展開図						

令和 6 年 9 月

藤川設計株式会社

楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事）特記仕様書		
総 則 工 事 概 要 1. 工事場所 四日市市 楠町北五味塚 地内 2. 工事種目 大規模改修工事 1. 共通仕様 （1）図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「改修標仕」という。)による。ただし、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(令和4年版) (以下「標仕」という。)による。 2. 特記仕様 （1）項目は、○印の付いたものを適用する。 （2）特記事項は、◎印の付いたものを適用する。 ◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。 （3）特記事項に記載の〔 . . 〕 内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 （4）特記事項に記載の（標 . . ） 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 部 分 完 成 ○無 ・有（ ） 部 分 引 渡 し ○無 ・有（ ） 1) 保 険 及 び 保 証 ◎建設工事保険（保険証の写しを提出） ◎請負業者賠償責任保険（保険証の写しを提出） （ ・ 管理財物担保特約に加入のこと） ・ 任意にて加入 下記の制度について加入すること。 ◎法定外労災補償制度（加入証明書の写しを提出） ◎建設業退職金共済制度 当初の請負金額が500万円以上の場合は、掛金収納書を提出すること。また、増額の契約変更があった場合についても、その分を提出すること。 共済証紙購入額 請負金額の 1/1000以上 なお、他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は、理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする ◎任意にて加入 ※資材の購入及び下請け業者の選定に際しての留意事項 資材の購入及び工事の一部を下請け業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、出来る限り市内業者を優先させること。		
章	項 目	特 記 事 項
1章 一般共通事項	① 適用基準等	◎建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成 28 年版）
	② 工事実績情報の登録	※工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成 30 年版）
	③ 品質計画	※請負金額が 500万円以上の場合は、登録を行う。 [1. 1. 4]
	4 電気保安技術者	※建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事
5	① 週休2日制工事	※風速（V ₀ ）＝34 m毎秒
	② 施工条件	地表面粗度 ※Ⅲ（Z _b =5 Z _g =450 α=0.20） ・Ⅱ（Z _b =5 Z _g =350 α=0.15）
積雪区分 ※30 cm ・ 40 cm		
・適用する。 ・適用しない。 [1. 3. 3]		
事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。		
一般電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者とする。		
「四日市市週休2日制工事実施要領（営繕工事）」（令和6年7月19日改正適用）に基づく適用は下記による。		
・週休2日制工事対象		
◎週休2日制工事(受注者希望型)対象		
・週休2日制対象外工事（ ・ 工事の実働日数が30日未満の工事 ・ 現場閉所困難な工事）		
完全週休2日制工事(受注者希望型含む)の現場閉所日については下記による。		
※土日閉所（ただし、 / ～ / については土日作業とすること。）		
◎土日以外閉所		
※土日以外閉所における現場閉所日は、着手前に監督職員と協議の上設定すること。		
なお、現場閉所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。		
[1. 3. 5]		
・週休2日制対象外工事の現場閉所日については下記による。		
※土日閉所 ・ 土日以外閉所		
・ 土日閉所の現場にて土日に作業を行う場合、又は、祝日に作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾願」を提出し、監督職員の承諾を得ること。		
◎工事用車両の駐車場及び資機材置場 ※敷地内 ・		
◎工事着手前に周辺住民への工事説明会が開催される場合は資料作成等に協力すること。		
◎現場工事は月～金とし、土、日、祝日に作業を行う場合は、監督職員の承諾を得ること。		
◎施工作业時間は原則8:30～17:00とすること。清掃片付け等は18:00までとすること。		
◎施工に際しては、工程及び施工内容について施設管理者と綿密な調整を行うこと。		
◎工事に関わる法令手続きは受注者にて行うこと。手続きに係る手数料は受注者の負担（道路占用許可申請における占用料は除く）とする。		
◎仮囲い等について施設利用者等の安全上、使用上支障がないように計画し、維持管理に努めること。		

⑥ 発生材の処理	・引渡しを要するもの（ ） [1. 3. 12]
	・特別管理産業廃棄物 ※無 ・有（ ） 処理方法（ ）
	◎特定建設資材の搬出
	再資源化等を行う（再資源化が困難な場合には縮減）
◎特定建設資材以外の搬出 ◎構外搬出適正処理	
※廃棄物管理票（マニフェスト）確認表を作成し、監督職員にA票及びD票もしくはE票の確認を受けるものとする。ただし、電子情報処理組織に登録（電子マニフェスト）により確認を行う場合は、この限りではない。	
※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。	
交通安全管理	交通誘導員 ※配置する 名以上（大型車の出入は必ず） ◎配置しない [1. 3. 9]
建築材料等	・交通誘導警備員A ※交通誘導警備員B
※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又は同等のものとする。	
ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。	
・品質及び性能を試験により証明を求める材料は以下の物とする。 [1. 4. 5]	
（ ）	
◎本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の 1）から 5）を満たすものとする。	
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、パーティクルボード、MDF、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗料は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。	
2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。	
3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性体を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンキシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。	
4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。	
5) 1)及び 4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。	
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。	
規制対象外	
① J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ ☆ 規格品	
② 建築基準法施行令第 2 0 条の 7 第 4 項による国土交通大臣認定品	
③ 下記表示のある J A S 規格品	
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用	
b. 接着剤等不使用	
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用	
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用	
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	
第三種	
① J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ ☆ 規格品	
② 建築基準法施行令第 2 0 条の 7 第 3 項による国土交通大臣認定品	
③ 旧 J I S の E o 規格品	
④ 旧 J A S の F c o 規格品	

※産業廃棄物税	四日市市都市整備部営繕工務課	一級建築士 登録 第 号	四日市市諏訪町1番5号
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、			
請負者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象とな			
った場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求することができる。			

⑩ 特別な材料の工法	改修標仕、標仕に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
⑪ 石綿含有建材の調査	事前調査（有資格者） ※行う ・行わない [1. 5. 1]
	調査結果報告書等の貸与 ◎有 ・無
	分析調査 ・行う（対象箇所： ） ※行わない
	※定性分析 ・定量分析
	※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。
	※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。
	調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。
12 技能士	※適用する ・適用しない [1. 7. 2]
	・鉄筋施工 ・型枠施工 ・鉄工 ・塗装 ・左官
	※防水施工 ・建築大工 ・サッシ施工 ・内装仕上げ施工
⑬ 化学物質の濃度測定	施行完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン [1. 7. 9]
	エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン、スチレンの濃度を測定し報告すること。
	測定は、パッシブ型採集機器により行う。
	着工前測定 ◎行う ・行わない
	測定対象室 ・図示 ◎ 保健室、普通教室(ふれあい学習)
	測定箇所数 ・図示 ◎ 2ヵ所
	採取方法 ◎文部科学省の定めるところによる。 ・
	報告書の様式 濃度測定記録表の記載事項は、次のとおり
	1. 工事名 2. 測定年月日 3. 天候 4. 測定前の換気及び閉鎖時間
	5. 測定時間 6. 室名と測定時間 7. 測定器具
	8. 化学物質採取方法 9. 分析装置
⑭ 完成図	・提出する ◎提出しない [1. 9. 1～3]
	種類 ※改修標仕 表1.8.1)による ・
	・配置図及び案内図 ・各階平面図
	・各立面図 ・断面図
	・仕上表 ・施工図
	・施工計画書 ・
	※C A Dデータの提出 ※提出する ・提出しない
	・保全に関する資料 提出部数 ※1部 ・
	・製本図面 提出部数 ※1部 ・2部 ・3部
⑮ 記 録	工事記録については以下による。(A4版)
	※工事着手前写真 1 部
	※工程写真 各工程毎 1 部
	※竣工写真 ※内部、外部 2 部
	※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うよう努めること。
	※工事日報・納品伝票等の写しは、監督職員が提出を求めた場合は提出すること。
⑯ 設備工事との取合い	施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
	※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
17 設計 G L	※図示のベンチマーク（B、M） mm （現状地盤はB、M mm）
⑰ 完成引渡し後の点検	かし期間は、別に定めた特約（責任施工による保証期間など）を除き、四日市市工事請負契約書に準拠する。
	・工事完成引渡し後、必要に応じて一年又は二年を超えない範囲の適当な時期に、双方立ち会いで工事目的物のかし点検を実施する。
⑱ 随時検査	予定価格(税込)3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第8条第6項の規定により、発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること
⑳ 施工体制台帳の提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めにより、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、警備事業者についても記載すべき下請負の範囲に含むものとする。
21 資源有効利用促進	※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成三年法律第四十八号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合（下記内容該当工事）は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。
	・建設副産物を搬出する際の計画
	1. 土砂500m3以上
	2. コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上
	・再生資材を利用する際の計画
	1. 土砂500m3以上 3. 加熱アスファルト200t以上
	2. 砕石500t以上

工事名	楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事）		
日付	図面名	縮尺	図面番号
年 月	特記仕様書（改修1）	—	A-01
令和6年版			

2章
仮設
工事

① 足場その他

内部足場 種別 ※きゃたつ、足場板等 ・ [2. 2. 1]
外部足場 種別 ※くさび緊結式（手すり先行工法） ・ [2. 2. 1]
防護シートによる養生 ・ 行わない ○行う
騒音・粉じん等の対策 ○行う ※1類 （・帆布製 ※網地製）
○行わない ・行う（・防音パネル ・防音シート） [2. 1. 3]
材料、撤去材等の運搬 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 [2. 2. 1][表2. 2. 1]

② 養生その他

既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 ・ [2. 3. 1]
固定家具等の移動 ※行わない ・行う（図示）

③ 仮設間仕切り

(a) 設置箇所 ※図示 ・ [2. 3. 2][表2. 3. 1]

種別	下 地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗 装
・ A種	※軽量鉄骨	・ 合板（※9.0 ・ ）		※無し
○B種	・ 木下地	※せっこうボード（※9.5 ・ ）		・ 片面
・ C種	単管下地	防炎シート		
仮設扉	※木製扉 ・ 鋼製扉	○合板張り程度 ・ 片面フラッシュ程度		※無し ・ 有り

④ 監督職員事務所

・ 設ける 規模等は以下による ・ 既存施設の一部を使用する ※設けない [2. 4. 1]
（・ 規模 m程度 ・ 仕上げ；床 ・ 壁 ・ 天井 程度）

⑤ 工事用水

構内既存の施設 ※利用できる（・ 有償 ※無償） ・ 利用できない

⑥ 工事用電力

構内既存の施設 ※利用できる（・ 有償 ※無償） ・ 利用できない

3章
防水改修工事

1 既存下地の補修及び処置

※図示による [3. 2. 6]
既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 ・ する ・ しない

2 アスファルト防水

[3. 3. 2～3][表3. 1. 1][表3. 3. 3～10]

防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別

アスファルトの種類 ※3種 ・ 押え金物 ※アルミニウム製（L-30x15x2.0程度）
脱気装置 ・ 製造所の指定する製品 ・ ステンレス製 設置数量（ ）箇所
改修用ドレン ※設ける（ 箇所）※銅製 ・ 鉛製 ・ 設けない [3. 2. 5]
屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材
材質 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き）
厚さ（mm） ※35
屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材
材質 ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
厚さ（mm） ※35
乾式保護材 製造所の仕様による・
防水保護のれんがの種類 ※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック
保護コンクリート仕上り平たんさ種別 ・ a種 ・ b種 ・ c種 [3. 3. 5][8. 1. 4][表8. 1. 5]
仕上塗装（P2A, M3D, POD, PODI, M3DI, M4DI, 工法） ※種類および使用量は製造所の仕様による
施工標識 ※設ける ・ 設けない

3 改質アスファルトシート防水

[表3. 1. 1][3. 4. 2～3][表3. 4. 1～3]

防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別（厚さmm）	仕 上 げ 塗 料 等

仕上塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・
脱気装置 ・ 製造所の指定する製品 ・ ステンレス製 設置数量（ ）箇所
屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 ・ 製造所の指定する製品
※JIS A 9521Iに基づく発泡プラスチック断熱材
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
施工標識 ※設ける ・ 設けない

4 合成高分子系ルーフィングシート防水

[表3. 1. 1][3. 5. 2～3][表3. 5. 1～2]

防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別（厚さmm）	仕 上 げ 塗 料 等

仕上塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・
絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・ [3. 5. 2]
可塑剤移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・ [3. 5. 2]
脱気装置 ・ 製造所の指定する製品 ・ ステンレス製 設置数量（ ）箇所
機械固定工法に用いる断熱材 ※次のいずれかによる ・
※JIS A 9521Iに基づく発泡プラスチック断熱材
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材の1種b、2種b又は3種b
接着工法に用いる断熱材
※JIS A 9521Iに基づく発泡プラスチック断熱材
・ ポリエチレンフォーム断熱材
改修用ドレン ※設ける（ 箇所） ・ 設けない
※製造所の指定する製品 ・ 銅製 ・ 鉛製
施工標識 ※設ける ・ 設けない

4章 外壁改修工事	⑤ 塗膜防水	[表3. 1. 1][3. 6. 2～3][表3. 6. 1]				
		防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別	仕上 げ 塗 料 等	
		図 示	図 示	X-2	防 滑 仕 様	
		仕上 げ 塗 料 の 使 用 量 ※製造所の仕様による ・				
		既存塗膜防水層表面の仕上塗料の除去 (L4X工法) ・ 除去する [3. 2. 6]				
		脱気装置 ・ 設けない ・ 設ける				
		施工標識 ※設ける ・ 設けない				
	6 保証期間	防水の保証期間は原則、表面仕上材塗替なしで10年とする。ただし、既存の劣化等の状況により保証ができない場合は、保証できない理由を明確にし、監督職員と協議を行うこと。				
	⑦ シーリング	○シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 [3. 1. 4][表3. 1. 2] ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 [3. 7. 2][表3. 7. 1] ※下表以外は、改修標仕表 3. 7. 1を標準とする				
		施 工 箇 所		シーリング材の種類（記号）		
	図示による		図示による			
	シーリングの試験 ※行わない ・ 行う（※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験） 材質 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ○硬質ポリ塩化カービニル管 (VP) [3. 8. 2(1)] とい受け金物 ※SUS製 ・ 亜鉛メッキ製 ルーフドレン ※JCW301 (日本鋳鉄ふた・排水器具工業会規格) ・ 図示による [3. 8. 2(1)]					
9 アルミニウム製笠木	表面処理 ・ AB-1種 ※BB-1種 [3. 9. 2]					
① 施工数量調査	調査範囲 ・ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ○図示の範囲 [1. 5. 2] 調査内容 ひび割れ（0. 2mm以上）の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、 漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタルの浮き部分を表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。 調査報告書の部数 ※1部 [4. 1. 4～5]					
② 改修工法の種類	外壁の種類					
	種 類	改 修 工 法				
	・ コンクリート 打放し仕上げ	・ ひび割れ部 ・ 欠損部	・ 樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法 ・ 充填工法 ・			
	○モルタル塗り 仕上げ	○ひび割れ部 ○欠損部 ○浮き部	○樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法 ○充填工法 ・モルタル塗替工法 ○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・			
	・ タイル張り仕 上げ	・ ひび割れ部 ・ 欠損部 ・ 浮き部 ・ 目地	・ 樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・ タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 伸縮調整目地改修工法			
	・ 塗り仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り	・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マステック塗材塗り			
③ ひび割れ部改修工法	・ 樹脂注入工法（○モルタル面 ・ 躯体コンクリート面） [4. 1. 4][4. 2. 5]					
	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備 考	
	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0未満	※200～300	※		
	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～0. 3未満	※50～100	※40 ・		
	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 3以上～0. 5未満	※100～200	※70 ・		
	・ 0. 5以上～1. 0未満	※150～250	※130 ・			
	注入材料	[4. 2. 4]				
	※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)					
	検査（コア抜き）	・ 行わない ※行う（抜き部）の補修方法：（ ）				
	・ Uカットシール材充填工法	[4. 1. 4][4. 2. 4][4. 2. 6]				
	充填材料	※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない				
	・ シール工法	[4. 1. 4][4. 2. 4][4. 2. 7]				
	シール材料	・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂				
④ 欠損部改修工法	※充填工法 [4. 1. 4][4. 2. 4][4. 2. 8] 充填材料 ・ ポリマーセメントモルタル（・モルタル面 ・ コンクリート面 ・ C B面） ○エポキシ樹脂モルタル（ ） ・ モルタル塗替え工法（改修標仕4. 3. 5(5)による）					
		四日市市都市整備部営				

⑤ 浮き部改修工法	[4. 1. 4][4. 3. 10～16][表4. 4. 3～4]																														
	改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)		アンカーピンの本数(本/㎡)	注入口の箇所数(箇所/㎡)	充てん量																										
	○アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ・	※ 25 ・		※25ml																										
	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※25ml																									
	・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	・ 25ml ※50ml																									
	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・			※25ml																									
	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※25ml																									
	・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※50ml																									
	※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする アンカーピン [4. 2. 4] 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径 4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・ 注入口付アンカーピン [4. 2. 4] 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径 6mm																														
	⑥ 既存塗膜等の除去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去及び下地処理の工法 [4. 5. 4][表4. 5. 4～7]																													
工 法		処 理 範 囲		下地面の補修																											
・サンダー工法		※既存仕上面全体 ・		○ひび割れ部改修工法																											
・高圧水洗工法		※既存仕上面全体 ・		○浮き部改修工法																											
・塗膜はく離剤工法		※既存仕上面全体 ・		○欠損部改修工法																											
○水洗い工法		※上記処理範囲以外の既存仕上面全体																													
下地調整材 [4. 2. 4][4. 6. 3] ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材を使用																															
⑦ 仕上塗材仕上げ	種類、仕上 げ の 形 状、工 法 [4. 5. 1][4. 5. 2][表4. 5. 1～2]																														
種 類		呼 び 名		仕 上 の 形 状																											
○薄付け仕上塗材		・外装薄塗材 E ・可とう形外装薄塗材 E ○防水形外装薄塗材 E		・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ ○ゆず肌状 ・凹凸状																											
・複層仕上塗材		・複層塗材 C E ・可とう形複層塗材 C E ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 E		・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 上塗材 ・水系アクリル ・水系アクリルシリコン 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ・行う																											
・可とう形改修用 仕上塗材		※可とう形改修塗材 E ・可とう形改修塗材 R E		・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状 上塗材 ・アクリル ・ウレタン ※シリコン ・ふっ素 外観 ・吹付 ※ローラー 仕上 ※薄付け ・厚付け																											
⑧ 設計数量	<table><tr><th>外 壁 部 位</th><th>種 類</th><th>工 法</th><th>数 量</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="2">・コンクリート打放し面</td><td>・ひび割れ</td><td>※Uカットシール材充填工法 ・</td><td rowspan="2">m</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・欠損部</td><td>※エポキシ樹脂モルタル充填工法 ・</td></tr><tr><td rowspan="4">○モルタル塗り仕上げ面</td><td>○ひび割れ</td><td>※Uカットシール材充填工法 ○自動式低圧球状樹脂注入工法</td><td>m</td><td></td></tr><tr><td>○欠損部</td><td>※充填工法 ・</td><td>55.4 m</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">○浮き部</td><td rowspan="2">※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・</td><td>100×100×30程度 9箇所</td><td></td></tr><tr><td>12.1 ㎡</td><td></td></tr></table> ※上記数量については、現場調査を行い報告書を作成し、提出する。 尚、数量の10%を越える増減が生じた場合は協議の上、契約変更を行う事ができる。				外 壁 部 位	種 類	工 法	数 量	備 考	・コンクリート打放し面	・ひび割れ	※Uカットシール材充填工法 ・	m		・欠損部	※エポキシ樹脂モルタル充填工法 ・	○モルタル塗り仕上げ面	○ひび割れ	※Uカットシール材充填工法 ○自動式低圧球状樹脂注入工法	m		○欠損部	※充填工法 ・	55.4 m		○浮き部	※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・	100×100×30程度 9箇所		12.1 ㎡	
外 壁 部 位	種 類	工 法	数 量	備 考																											
・コンクリート打放し面	・ひび割れ	※Uカットシール材充填工法 ・	m																												
	・欠損部	※エポキシ樹脂モルタル充填工法 ・																													
○モルタル塗り仕上げ面	○ひび割れ	※Uカットシール材充填工法 ○自動式低圧球状樹脂注入工法	m																												
	○欠損部	※充填工法 ・	55.4 m																												
	○浮き部	※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・	100×100×30程度 9箇所																												
			12.1 ㎡																												
5章 建具改修工事	① 改修工法	○かぶせ工法 ・撤去工法（・引き抜き工法 ・はつり工法） [5. 1. 3]																													
	2 見本の製作等	・建具見本の製作 ・特殊な建具の仮組 [5. 1. 5]																													

繕工務課	工事名			
	楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事）			
	日付	図面名	縮尺	図面番号

四日市市都市整備部営繕工務課		工事名	
四日市市都市整備部営繕工務課		楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事）	
日付		図面名	
年 月		特記仕様書（改修2）	
一級建築士 登録 第 号		縮尺	
四日市市諏訪町1番5号		—	
		A-02	
		令和6年版	
		/	

⑳

せっこうボードの
目地処理

目地処理の種類等

・継目処理工法

施工場所（ 塗装仕上面 ）

・突付け工法

施工場所（ 壁捨張り面、天井面、面台下地面 ）

・目透し工法

施工場所（ ）

㉑

壁紙張り

壁紙の種類

防火性能

備考

施工箇所

校長室

※量産加工

・

・不燃

・準不燃

・難燃

・不燃

・準不燃

・難燃

モルタル及びプaster一面の下地調整

・ R A 種

※ R B 種

・ R C 種

石こうボード及びその他ボード面の下地調整

・ R A 種

※ R B 種

・ R C 種

ホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

・ 第三種

㉒

セラミックタイル張り

タイルの種類

役物

施工箇所

形状寸法
(mm)

用途による区分

耐凍害性

色調

うわぐすり

無釉

施釉

無

有

汚垂タイル

図示による

・屋内

・屋外

・床

・壁

※

・

※

・

・

・

・

・

・

・屋内

・屋外

・床

・壁

※

・

※

・

・

・

・

・

・

・屋内

・屋外

・床

・壁

※

・

※

・

・

・

・

・

・

・屋内

・屋外

・床

・壁

※

・

※

・

・

・

・

・

・

タイルの見本焼き

※行わない

・ 行う（※外装タイル

・

内装タイル

・改良積上げ張り

※壁タイル接着剤張り

㉓

セルフレベリング

セルフレベリング材の種類

・せっこう系

※セメント系

※厚み（ 15 mm程度）

㉔

断熱材

種 類

施工箇所

厚さ（mm）

品質等

・押出法

※ 2 種b

※一般部

※25

※ノンフロンのもの

ポリスチレン

※3 種b

・接地部分

※25

ノンフロンタイプ

フォーム

・現場発泡断熱材

※断熱材補修部分

※15

・ HFCタイプ

保温板

・一般部

難燃性・3級

・2級

・難燃材料相当品

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材の

ホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

・ 第三種

㉕

フリーアクセス
フロア

施 工 箇 所

仕上り高

耐震性能

耐荷重性能

表面仕上げ材

校長室、職員室

300

○3000N
・5000N

○帯電防止床タイル
・タイルカーペット

スロープ及びボーダー

※製造所の標準仕様

・ 図示

㉖

可動間仕切

構造形式

パネル部の総厚さ (mm)

表面材種 厚さ (mm)

表面仕上げ

※パネル式

※鋼板

※メラミン樹脂又は

・スタッド式

(※0.6 ・0.8)

・

アクリル樹脂焼付け

・スタッドパネル式

・

・

遮音性

・あり（ ）

・なし

27

移動間仕切り

操作方法

・手動式

・電動式

・部分電動式

パネル表面材（ ・ ）

遮音性（ ・ ）

パネル及び圧着装置の操作方法（ ・ ）

㉘

トイレブース

パネル表面材

※高圧メラミン樹脂系化粧板（アルミ製コーナーエッジ付き）

・ポリエステル樹脂系化粧板（アルミ製コーナーエッジ付き）

脚 部（ステン製）

※幅木タイプ

・脚金物タイプ

㉙

階段滑り止め

材種

※ステンレス製ビニルタイヤ入り

寸法

※幅 35mm

取付け工法

※接着工法

・埋込み工法

㉚

黒板及び
ホワイトボード

種 類

寸 法 (mm)

色 彩

備 考

○黒板

※ホーロー

図示による

※緑 ・黒

※平面 ・曲面

※焼付け

※緑 ・黒

○暗線入工場製作品

○ホワイト
ボード

※ホーロー

図示による

※白

※平面・暗線入工場製作品

32	③① ブラインド	・既存再使用する（養生方法 （養生方法）） （養生方法） （			
----	----------	---	--	--	--

8章 耐震改修工事	⑤ 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	錆止め塗料塗り	[表7.4.3～4]						
		鉄鋼面塗り替えの場合の種類	○A種	・B種	※C種				
		亜鉛めっき面の塗りの種類	○A種	・B種	※C種				
		亜鉛めっき面E P-G塗り替えの場合の種類	・A種	・B種	※C種				
		新規鉄鋼面、亜鉛めっき面の塗りの種類	※標仕18.3.3による						
		塗り工法	[7.5.1～4][表7.5.1～3]						
		下地の種類	塗料種類	塗り工法					
		木部	※1種・2種	新規(屋外 ※A種・B種 屋内 A種※B種) 塗替え(※B種・)					
		鉄鋼面	※1種・2種	・A種 ※B種 ・C種					
		亜鉛めっき面	※1種・2種	※改修標仕7.4.5よる・					
⑥ アクリル樹脂系非水 分散形塗料 (NAD)	塗替えの場合の下地調整	・RA種	※RB種	・RC種	[7.2.5～6]				
	塗り工法の種類	・A種	※B種	[7.7.2][表7.7.1]					
	⑦ 耐候性塗料塗り (DP)	塗替えの場合の下地調整	・RA種	※RB種	・RC種	[7.2.2][表7.2.1]～[7.2.7][表7.2.7]			
		○鉄鋼面	工法は、表7.8.1	[7.8.2][表7.8.1]					
		○亜鉛めっき面	工法は、表7.8.2	[7.8.3][表7.8.2]					
		上塗種別							
		・JISK5659(1級)	ふっ素系樹脂塗料						
		・JISK5659(2級)	シリコン系樹脂塗料						
		○JISK5659(3級)	ポリウレタン系樹脂塗料						
		・コンクリート面、押出成型セメント版面	[7.8.4][表7.8.3]						
工法は、表7.8.3		種別は(・A-1種	・A-2種	・B-1種	・B-2	・C-1種	・C-2種)		
上塗種別									
・JISK5658	主要原料	ふっ素樹脂(1級)							
・JISK5658	主要原料	シリコーン樹脂(2級)							
・JISK5658	主要原料	ポリウレタン樹脂(3級)							
⑧ つや有合成樹脂 エマルション ペイント塗り (EP-G)		[7.9.2～5][表7.9.1～4]							
	下地の種類	塗り工法							
	コンクリート、モルタル、せっこうプラスター、 その他ボード面	新規(・A種 ○B種) 塗替え(※B種・)							
	木部	新規(※A種・) 塗替え(※B種・)							
	鉄鋼面	新規(・A種・B種) 塗替え(※B種・)							
	亜鉛めっき鋼面	新規(※A種・) 塗替え(※B種・)							
	塗替えの場合のシーラー	※改修標仕7.9.2による・行わない							
	⑨ 合成樹脂エマルシ ョンペイント塗り (EP)	塗り工法の種類	・A種	※B種	・C種	[7.10.2][表7.10.1]			
		⑩ ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC)	塗り工法の種類	・A種	※B種	[7.11.2][表7.11.1]			
			塗料の種類	※1液形	・2液形				
着色剤の種類			・油性顔料着色剤	・溶剤形顔料着色剤					
11 オイルステイン塗り (OS)			木部	工法は改修標仕表7.12.1による			[7.12.2][表7.12.1]		
			12 木材保護塗料塗り (WP)	工法	・A種	※B種	[7.13.2][表7.13.1]		
				① 鉄筋の種類		[8.2.1][表8.2.1]			
					種類の記号	径			
					○SD295A	※D16以下			
					・SD345	※D19以上			
	② 溶接金網				網目の形状	(※150x150	・100x100	・50x50)	[8.2.2]
		鉄線の径(mm)			(※6.0	・3.2	)		
		③ 鉄筋の材料試験			※JIS規格品については径の異なるごとに1t未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。				[8.2.3]
					④ 継手及び定着	鉄筋の継手方法	[8.3.4][表8.3.3]		
・径D19mm以上の柱、梁の主筋はガス圧接、その他は重ね継手									
○重ね継手									
継手位置			※標仕各部配筋参考図による	・図示		[8.3.4]			
定着長さ			※改標仕[表8.3.4]による	・図示		[8.3.4][表8.3.4]			
5 帯筋組立の形			※各部配筋参考図図1.1による・図示				[8.3.4]		

繕工務課	工事名
	楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事）

8章
耐震改修工事

6 壁の配筋及び補強

※標仕各部配筋参考図 4 節による ・図示

[8. 3. 7]

7 ガス圧接

圧接部の確認試験
※超音波探傷試験 ・引張試験

[8. 3. 8]

⑧ コンクリートの種類及び強度

コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・軽量コンクリート

[8. 1. 3]

普通コンクリートの類別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 [8. 1. 3] [表8. 1. 1]
仕上りの平たんさ種別 ・ a 種 ・ b 種 ・ c 種 [8. 1. 4] [表8. 1. 5]
普通コンクリートの設計基準強度 [8. 1. 4]

設計基準強度 F _o	施 工 箇 所
※ 21 (N/mm ²)	便所ｽﾌﾟ
・	

軽量コンクリートの設計基準強度 [8. 1. 3～4] [8. 9. 1～2] [表8. 9. 1]

設計基準強度 F _o (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種 別	施 工 箇 所
※ 21 (N/mm)	※1.9程度	※ 1 種	
・			

⑨ コンクリートの材料

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A 種 [8. 2. 5] [表8. 2. 3]
・高炉セメント B 種 適用箇所（ ）
・フライッシュセメント B 種 適用箇所（ ）
・アルカリシリカ反応による区分 ※ A
・フェロニッケルスラグ細骨材は使用しない

10 モルタル及びグラウト材

[8. 2. 6] [8. 2. 12]
グラウト材 ※無収縮グラウト材 （圧縮強度 45N/mm²以上）
太平洋プレューロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー540グラウト (BASF ポソリス)
ノンシュリンクライトグラウト (A B C 商会) デンカ プレタスコン TYPE-Ⅰ (電気化学工業)
社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの

柱底等の均しモルタル ※無収縮モルタル ・モルタル
太平洋プレューロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー870グラウト (BASF ポソリス)
ノンシュリンクライトグラウト (A B C 商会) デンカ プレタスコン TYPE-Ⅰ (電気化学工業)
社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの

⑪ 無筋コンクリート

種 類	設計基準強度 F _o (N/mm ²)	スランブ (cm)	粗骨材の最大寸法	適用箇所
※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25	土間コンクリート 捨てコンクリート

12 調合管理強度

構造体強度補正值（ S ） [8. 2. 5] [表8. 2. 4]

（普通ポルトランドセメント）

打 設 期 間	補正值 (N/mm ²)	備 考
2/25～7/ 7 9/ 7～11/22	3. 0	
11/23～2/24	6. 0	
7/ 8～9/ 6	6. 0	暑中コンクリート

⑬ コンクリートの試験

※コンクリートの強度試験の試験回数は、下記による。 [8. 8. 2～3]
20m³以下の場合の試験については、監督職員の指示による。
20～50m³の場合は任意の一車より試料を採取し、各 3 個供試体を作成する。
50m³以上は 改修標仕8. 8. 3による。

⑭ 型枠

打ち出し仕上げの種別 [8. 1. 4]

種 別	施 工 箇 所
・ A 種	
※ B 種	便所
・ C 種	

外部に面するコンクリート打ち出し仕上げの打増し ・ 20 ※図示 [8. 7. 8]

15 鉄骨製作工場

・監督職員の承諾する工場 [8. 1. 5]
・ (社)全国鉄構工業協会、(株)日本鉄骨評価センター認定工場（下記認定グレード以上）
（・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ）

16 鉄骨工作図

施工管理技術者 ・配置する ・配置しない [8. 1. 6]
※高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等は、
国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による。 [8. 13. 2]

17 溶接管理技術者

・配置する ・配置しない [8. 15. 2]

18 鋼材

鋼材の材質、規格は下表による。 [8. 2. 8]

材 質	品名又は使用箇所	規 格
		※JISの規格品
		※JISの規格品
		※JISの規格品

19 高力ボルト

※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト [8. 2. 9]
径（ ）
すべり係数試験 ・実施する ※実施しない [8. 14. 2]
試験方法（ ）、試験片の摩擦面の状態（ ）

20 鋼材の材料試験

※JIS規格品については種類の異なるごとに 1 t 未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。 [8. 2. 13]

21 溶接施工

エンドタブの種類 ※鋼製タブ [8. 15. 7]
代替タブを使用する場合は、セラミックスタブとし、以下の書類を提出し、監督職員の承諾を得ること。
・セラミックスタブの使用実績
・AW検定協議会の代替エンドタブ技量認定資格者または日本エンドタブ協会によるエンドタブ施工講習（溶接技能者・図形タブ・A級）修了者の資格証
・鉄骨製作工場における施工実績
エンドタブの切断 ・行う（ ） ・行わない
スカラップ ※改良型スカラップ
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う (9mm以上) ・行わない [8. 15. 12]
試験箇所数 耐震ブレース ※改修標仕8. 15. 12による ・
その他 ※標仕7. 6. 12 (イ)による ・

22 溶接部の試験

23 錆止め塗料

・鉄骨造の鉄部錆止め塗料の種類は、下記とする。 [8. 17. 3]
・ JIS K 5625 ・ JIS K 5674
・ DP塗装の場合 JIS K 5552 + JIS K 5551 (2回)
耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う ※行わない

24 耐火被覆材

[8. 18. 2～7]

種 別	所要性能及び適用構造部位
・耐火材	・乾式吹付けロックウール
吹付け	・半乾式吹付けロックウール
	・湿式ロックウール
・耐火板張り	
・ラス張りモルタル塗り	
・耐火塗料	

適用範囲 [8. 21. 3] [8. 22. 3]
※既存コンクリートとの打継ぎ面
※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材充填部の接合面
・
目荒らしの範囲
※柱、梁面 打継ぎ面又は接合面全体の 3 / 4 以上
※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の 1 / 3 程度
・
目荒らしの程度
※平均深さ 5 ～ 1 0 mmで最大深さ 1 5 mm程度の凹部を施す

25 既存コンクリート面の目荒し

⑯ あと施工アンカーの材料

○金属拡張アンカー [8. 2. 4]
※接着系アンカー
接着剤の材質及びカプセルの種類 （ガラス管タイプ）
日本デコラックス（株） ケミカルアンカー-R、RSタイプ
旭化成ジオテック（株） A RケミカルセッターSUPER L L A P
日本ヒルティ（株） H V U-G / E A もしくは同等品以上
接合筋の種類 ※鉄筋コンクリート用棒鋼（ D 1 6 以上 S D 3 4 5 ）
・全ねじボルト

27 あと施工アンカーの施工

施工管理技術者 ※置く ・置かない [8. 12. 2]

28 あと施工アンカーの穿孔

穿孔前の埋込み配管等の探査 [8. 12. 4]
範囲 ・あと施工アンカー施工部分全て ・図示
方法 ・探査機により探査し、配管等の位置の墨出しを行う。
・はつり出しによる
穿孔方法 ・低騒音、低振動工法とする（工法については、監督員の承諾を得ること）

⑰ あと施工アンカーの確認試験

施工確認試験 [8. 12. 5] [8. 12. 7]
※全数打音試験を行う。
・引張試験は増設壁又は鉄骨プレス1箇所あたり1本とし、引張荷重は設計強度の2/3以上とする。場所については監督職員の指示による。

30 既存構造体との取り合い

グラウト材の品質管理 [8. 21. 9] [8. 22. 7]
※圧縮強度試験を行う（3日、28日、封かん養生）
※コンシステンシー試験を行う。

9章
環境配慮改修工事

① 一般事項

労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にはばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。
・アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。

石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。
・石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。
・事前調査結果及び特定粉塵排出等作業の掲示を行うこと。
・アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。
・アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。

アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理 ・行う ・行わない [9. 1. 1]
アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理 ・行う ・行わない
アスベスト含有建材除去後の仕上げ ・行う ・行わない
施工箇所及び工法 ※図示

分析による確認 ・行う（下表による） ・行わない

材 料 名	調査方法	1材料あたりの試料数
	※定性分析 (3 ・)	※定量分析 (※3 ・)
	※定性分析 (3 ・)	※定量分析 (※3 ・)
	※定性分析 (3 ・)	※定量分析 (※3 ・)

アスベスト含有吹付け材の除去 [9. 1. 3]
除去吹付け材（ ）含有場所（ ）
吹付けアスベストの施工数量調査 ※行う
アスベスト粉じん濃度測定 ※行う
表9. 1. 1 アスベスト粉じん濃度測定

測定時期	測定名称	測 定 場 所	測 定 点 （各施工箇所ごと）	備考
処理作業前	測定 1	処理作業室内	各 2 点又は 3 点	(注) 1
	測定 2	施行区画周辺又は、敷地境界	計 2 点	大気
処理作業中	測定 3	処理作業室内	各 2 点又は 3 点	(注) 1
	測定 4	セキュリティゾーン入口	1 点	空気の流れを確認
	測定 5	集じん・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	1 点	(注) 2
	測定 6	施行区画周辺又は、敷地境界	4 方向各 1 点	－
処理作業後 （隔離シート撤去前）	測定 7	処理作業室内	各 2 点又は 3 点	(注) 1
	測定 8	施行区画周辺又は、敷地境界	4 方向各 1 点	大気

(注) 1 . 各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは 2 点、300㎡以下までは 3 点とする。
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
(注) 2 . 集じん・排気装置の性能確認

表9. 1. 2 アスベスト粉じん濃度測定方法

	測 定 3	測定1 , 2 , 4 , 6 , 7 , 8	測 定 5
--	-------	-------------------------	-------

計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1 l / min	5 l / min	10 l / min
試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min
試料の透明化	アセトン・トリアセトン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3 μ m未満、長さ5 μ m以上、長さと同径比 3 ： 1 以上		
定量限界	50 f / l	0. 5 f / l	0. 3 f / l

作業場の負圧隔離養生 ※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。

処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

② アスベスト含有建材の処理工事

③ アスベストの含有調査

④ アスベスト含有吹付け材の除去

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士 登録 第 号
四日市市諏訪町 1 番 5 号

工事名
楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事）

日付	図面名	縮尺	図面番号
年 月	特記仕様書（改修 5）	—	A-05 ----- /

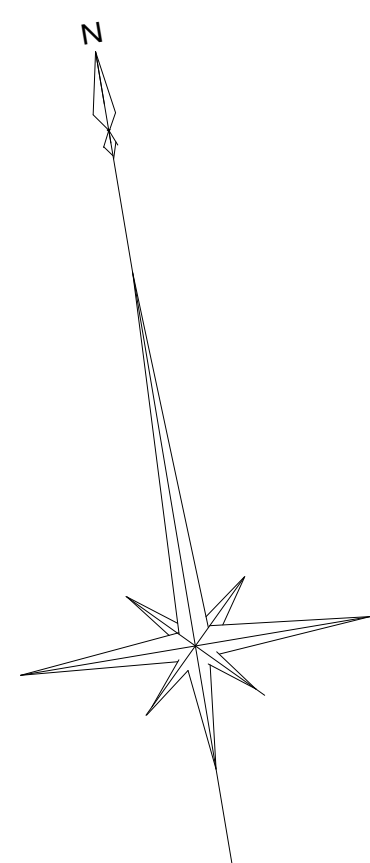
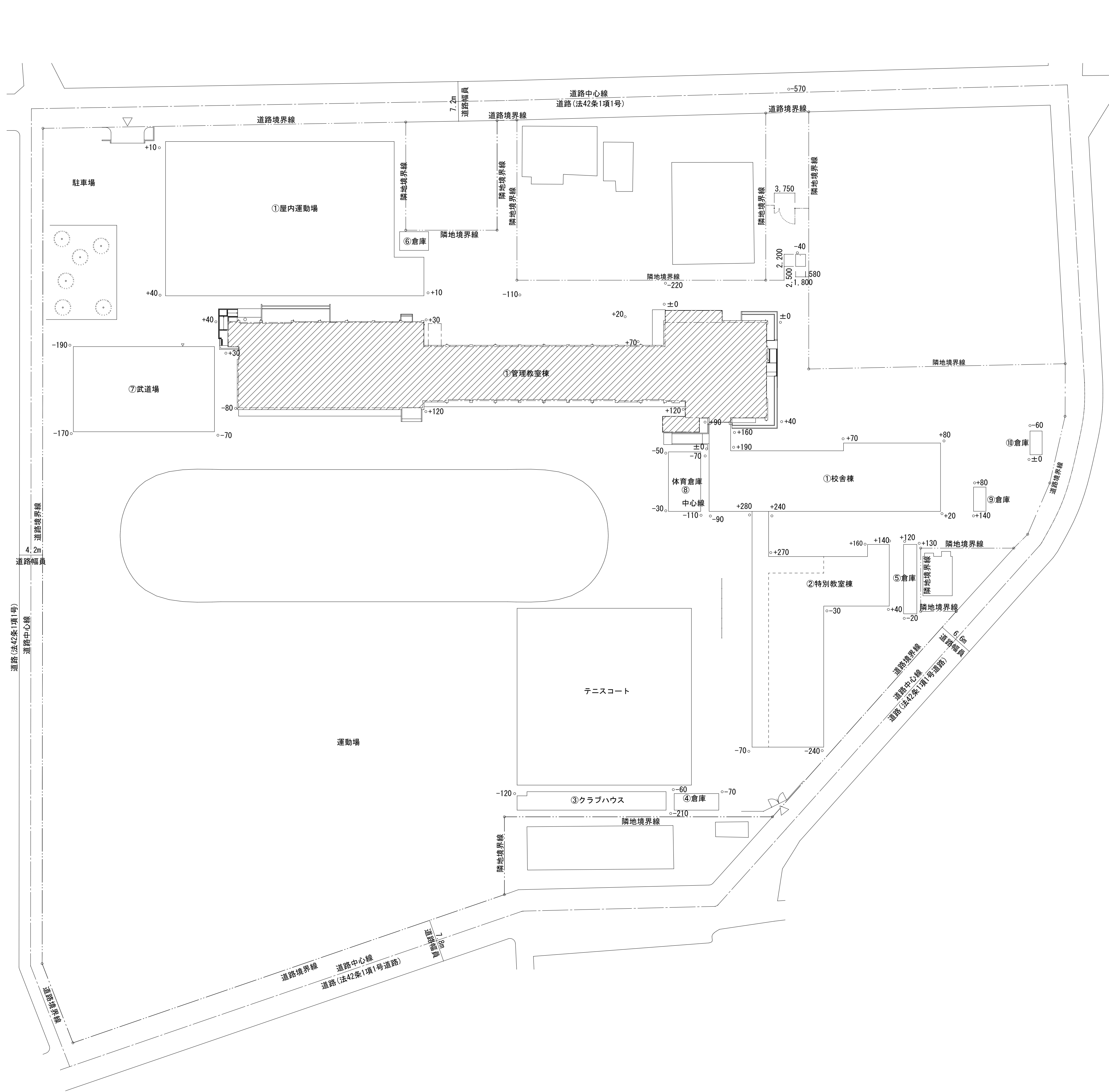
令和 6 年版

9章 環境 配慮 改修 工事	⑤ アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の除去（除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等）については、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。 アスベスト含有仕上塗材の有無　○有　・無 除去仕上塗材（　　ザノ下地調整材　　）含有場所（　　階段裏　　） 撤去の範囲　　・全面撤去　　・図示による 除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする） ・水洗い工法　・手工具ケレン工法 ・集じん装置付高圧水洗工法　・集じん装置付超高圧水洗工法　・超音波ケレン工法 ・剥離材併用高圧水洗工法　・剥離材併用超高圧水洗工法　・剥離材併用手工具ケレン工法 ・剥離材併用超音波ケレン工法　・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法 上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。 除去工法の試験施工　・行う　※行わない 作業場の隔離及び養生 「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。 ・隔離養生不要　・隔離養生必要（負圧不要）・その他（　　） 処分方法 ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う	個人 情報 取扱 注意 事項	個人情報の取り扱いに関する事項 （基本事項） 第 1　この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。 （施工者の義務） 第 2　乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下「法」という。）67条に規定する義務を負う。 2　乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。 （秘密の保持） 第 3　乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。 2　乙は、乙の従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。 3　前2項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。 （適正な管理） 第 4　乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。 2　乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。 3　管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。 4　四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。 （収集の制限） 第 5　乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。 （再提供の禁止） 第 6　乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。 2　乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。 3　前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。 （複写、複製の禁止） 第 7　乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という）を複写し、又は複製してはならない。 （持ち出しの禁止） 第 8　乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。 2　甲及び乙は、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。 3　前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びき損の防止その他適切な管理を行わなければならない。 （資料等の返還） 第 9　乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄、又は消去する場合を除く。 2　前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。 (1) 紙媒体　　シュレッダーによる裁断 (2) 電子媒体　データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕 3　乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。 4　前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。 （研修・教育の実施） 第10　乙は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。 （苦情の処理） 第11　乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。 （定期報告及び事故発生時における報告） 第12　乙は、甲から個人情報の取扱の状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。 2　乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。 （監査及び検査） 第13　甲は、この契約による業務に係る個人情報の取り扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証および確認するため、乙及び第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による業務を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。	2　甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による業務の処理に関して必要な指示をすることができる。 （契約解除及び損害賠償） 第14　甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。
	⑥ アスベスト含有保温材等の除去	アスベスト含有保温材の有無　・有　・無 [9.1.4] 除去保温材（　　）含有場所（　　） 作業場の隔離　※行う ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う		暴力団等不当介入に関する事項	1． 契約の解除 四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市市告示第28号）第 3 条又は第 4 条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することができる。 2． 暴力団等による不当介入を受けたときの義務 （1） 不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。 （2） 契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所と協議を行うこと。 （3） (1) (2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。
	⑦ アスベスト含有成形板の除去	アスベスト含有成形板の有無　・有　・無 [9.1.5] 除去成形板（　　吸音板　　）含有場所（　　図示　　） 作業場の養生　○行う　・行わない ※石綿含有ケイカル板第一種の除去は、隔離養生（負圧不要）を行う ※その他成形板については、切断・穿孔・研磨等の作業を伴う場合は、隔離養生（負圧不要）を行う 処分方法 石綿含有石膏ボード ※管理型最終処分場で埋立処分する。 石綿含有石膏ボード以外 ○埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ○中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。		障害者差別解消に関する事項	1． 対応要領に沿った対応 （1） この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」という。）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 2 5 年法律第 6 5 号。以下「法」という。）に定めるもののほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する四日市市職員対応要領（平成 2 9 年 2 月 2 8 日策定。以下「対応要領」という。）に準じて、「障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対する適切な対応を行うものとする。 （2） （1）に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留意するものとする。 2． 対応指針に沿った対応 上記 1 に定めるもののほか、受注者（受託者）は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針（法第 1 1 条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。
⑧ 特記事項	※本工事に配置管理させる者（有資格者） ※特定化学物質等作業主任者（H18. 3. 31以前の講習修了者） 又は石綿作業主任者（H18. 4. 1以降の講習修了者）				

四日市市都市整備部営繕工務課	工事名			
	楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事）			
	日付	図面名	縮尺	図面番号
	年　　月	特記仕様書（改修 6）	—	A-06 /

一級建築士　登録　第　　号	号
四日市市諏訪町 1 番 5 号	

令和 6 年版	
---------	--



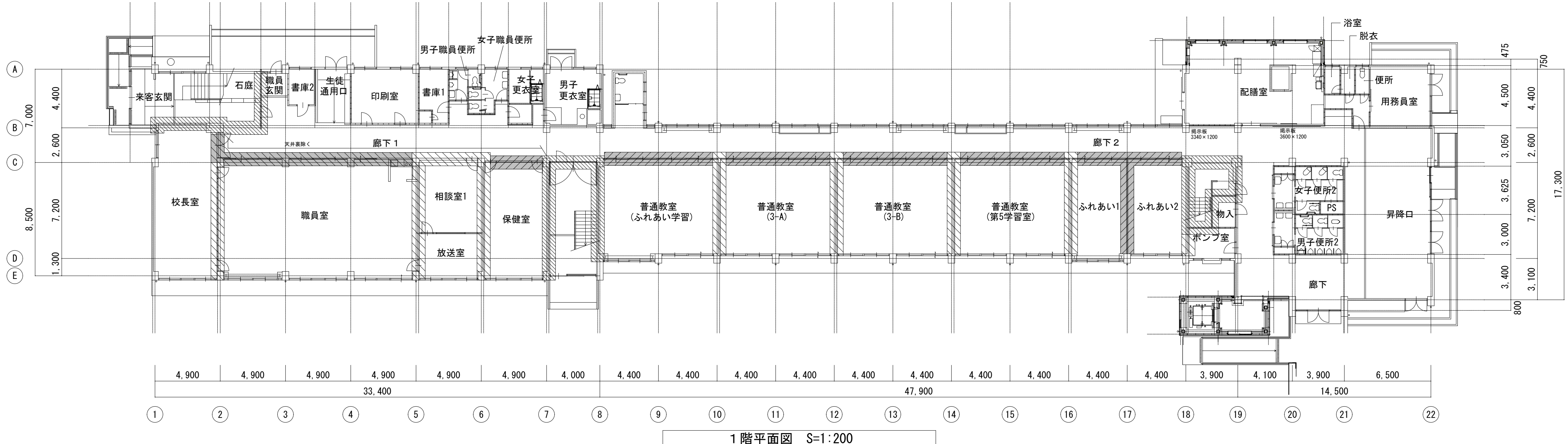
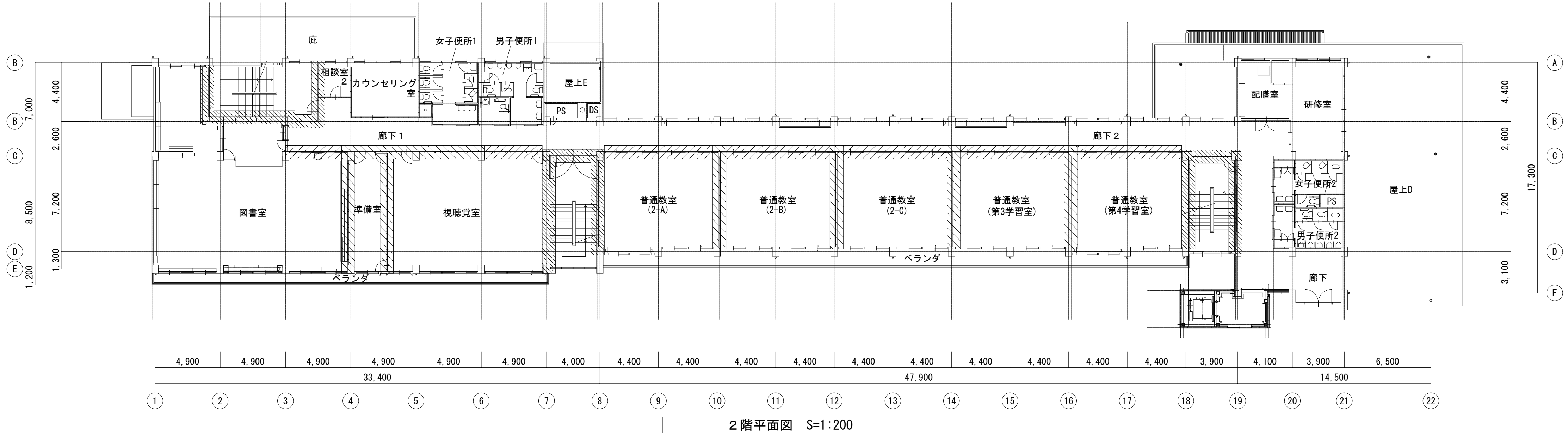
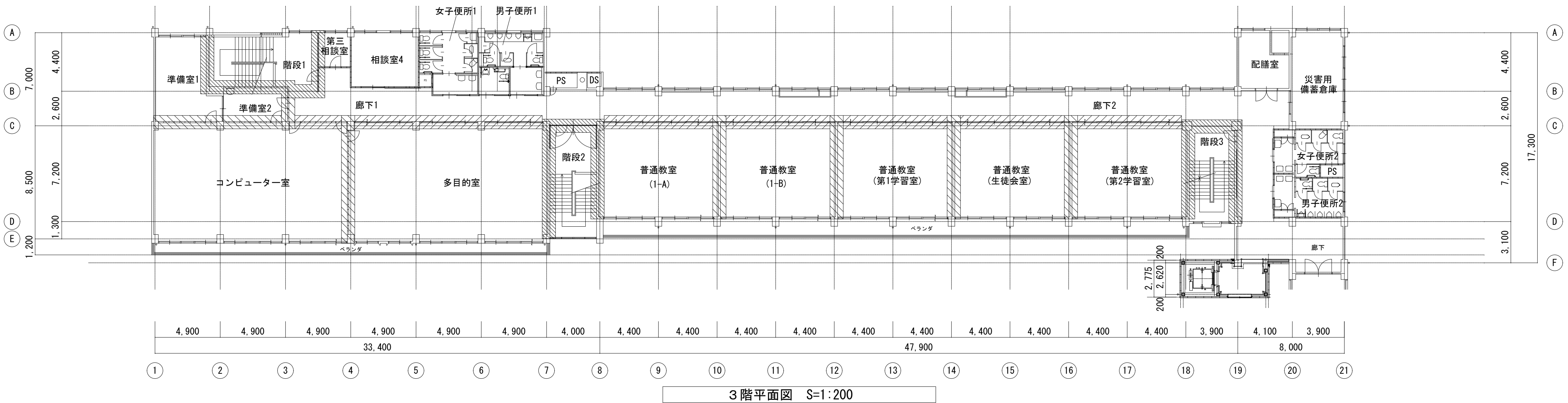
：工事対象様を示す。

○ 外部仕上表：改修対象は平面図・立面図による										○ 内部仕上表：改修対象外の室を示す。																					
部 位			仕 様							階	室 名		床			巾 木		腰 壁		壁		天井		廻 縁	CH	備 考					
												仕上	下地	レベ ル		仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地										
屋 根	改修前	アスファルト防水										1	来客玄関	改修前	モルタル金ゴテ押え 防滑性塗床			C	-200	テラゾー	H=100			EP塗装 複層塗材E吹付	M	鋼製スバンドレル	LGS	鋼製	2140	下足入れ【撤】 卒業制作【養生】	
	改修後	既存のまま												改修後	(既存のまま) 防滑性ビニル床シートt=2.0貼			下地調整 (汚れ清掃)	-200	(既存のまま)			下地調整R8種の上EP-G塗装 下地調整R8種の上EP-G塗装		清掃程度			2140	下足入れ【新】 卒業制作【養生】		
バラベット	改修前	モルタル剛毛引きの上 複層塗材											職員玄関	改修前	タイル貼			M	-200	テラゾー			EP塗装	M M	鋼製スバンドレル	LGS	鋼製	2700	下足入【撤】		
	改修後	水洗いの上 防水型外装薄塗塗材E												改修後	(既存のまま)				-200	(既存のまま)			下地調整R8種の上EP-G塗装		清掃程度			2700	下足入【新】		
笠 木	改修前	アルミ笠木 W230											生徒通用口	改修前	防滑性ビニル床シート貼 【撤去】			C	-200	テラゾー			EP塗装	M	鋼製スバンドレル	LGS	鋼製	2700	飾り縁【既】		
	改修後	既存のまま												改修後	防滑性ビニル床シートt=2.0貼			下地調整 (汚れ清掃)	-200	(既存のまま)			下地調整R8種の上EP-G塗装		清掃程度			2700	飾り縁【既】		
屋上フェンス	改修前	支柱：φ60 鋼縁：φ40 菱形ネットフェンスH=750											校長室	改修前	タイルカーベット【撤去】			木製根太板 【撤去】	±0	木製巾木 H=100 OS塗装	銘木合板		ビニルクロス貼【撤去】		DR（合板捨貼）	LGS	3000	戸籍【撤】、ブラインド【撤】			
	改修後	既存のまま												改修後	ビニル床タイルt=5.0貼 【帯電タイプ】			DFC+ OA707	±0	下地調整R8種の上CL塗装	下地調整R8種の上CL塗装		ビニルクロス貼	下地調整	(既存のまま)			3000	戸籍【新】、ブラインド【新】		
軒 裏	改修前	モルタル剛毛引きの上 複層塗材											職員室	改修前	フローリングt=15 PU塗装 【撤去】			木製根太板 【撤去】	±0	木製巾木 H=100 SOP塗装			EP塗装	M	吸音版の上EP塗装 【一部撤去】	LGS	木製SP塗装	3000	戸籍【撤】、職員戸籍【撤】 ブラインド【撤】		
	改修後	水洗い 下地調整の上 NAD塗装												改修後	ビニル床タイルt=5.0貼 【帯電タイプ】			DFC+ OA707	±0	下地調整R8種の上SOP塗装			下地調整R8種の上EP-G塗装		下地調整R8種の上EP塗装 一部GB-D(T)の上EP塗装	SOP塗装	3000	戸籍【新】、職員戸籍【新】 ブラインド【新】			
外 壁	改修前	モルタル剛毛引きの上 複層塗材											湯沸室	改修前	フローリングt=15 PU塗装 【撤去】			木製根太板 【撤去】	±0	木製巾木 H=100 SOP塗装			EP塗装 小口タイル貼	M	吸音版の上EP塗装	LGS	木製SP塗装	2400	キッチン【撤】、水屋【撤】 吊り戸棚【既】		
	改修後	水洗いの上 防水型外装薄塗塗材E												改修後	防滑性ビニル床シートt=2.0貼			DFC+ C	±0	下地調整R8種の上SOP塗装			下地調整R8種の上EP-G塗装 (既存のまま)		下地調整R8種の上EP塗装	SOP塗装	2400	キッチン【新】、水屋【新】 吊り戸棚【既】			
	改修前	小口タイル貼(撤去部分)											保健室	改修前	フローリングt=15 PU塗装 【撤去】			木製根太板 【撤去】	±0	木製巾木 H=100 SOP塗装			EP塗装	M	吸音版の上EP塗装 【一部撤去】	LGS	木製SP塗装	3000	流し台【撤】、ブラインド【撤】 ロッカー【撤】、カーテン【取】		
	改修後	モルタル補修の上 外装薄塗材E												改修後	ビニル床シートt=2.0貼			DFC+ ※A	±0	下地調整R8種の上SOP塗装			下地調整R8種の上EP-G塗装		下地調整R8種の上EP塗装 一部GB-D(T)の上EP塗装	SOP塗装	3000	流し台【新】、ブラインド【新】 戸籍【新】、カーテン【復旧】			
	改修前	小口タイル貼											生徒用昇降口	改修前	モルタル金ゴテ押え 防滑性塗床			C	-200	モルタル巾木 木製巾木 H=100 SOP塗装	積層フローリング張		EP塗装	M	GB-D(T)	LGS	木製SP塗装	3000	下足箱【既】 木製掲示板【取】		
	改修後	水洗い												改修後	(既存のまま) 防滑性ビニル床シートt=2.0貼			下地調整 (汚れ清掃)	-200	(既存のまま) 下地調整R8種の上SOP塗装	下地調整R8種の上OL塗装		下地調整R8種の上EP-G塗装		下地調整R8種の上EP塗装	SOP塗装	3000	下足箱【既】 木製掲示板【復旧】			
	改修前	ALCの上複層塗材E吹付											普通教室	改修前	フローリングt=15 PU塗装 【撤去】			木製根太板 【撤去】	±0	木製巾木 H=100 SOP塗装			EP塗装	M	吸音版の上EP塗装 【一部撤去】	LGS	木製SP塗装	3000	職員戸籍【撤】、掃除道具入【撤】 ロッカー【撤】、カーテン【取】		
	改修後	水洗いの上 防水型外装薄塗塗材E												改修後	フローリングt=15 塗装品			DFC+ SL	±0	下地調整R8種の上SOP塗装			下地調整R8種の上EP-G塗装		下地調整R8種の上EP塗装 一部GB-D(T)の上EP塗装	SOP塗装	3000	職員戸籍【新】、ロッカー【新】 カーテン【復旧】、掃除カーテン【新】			
	改修前	サイディング張り											ふれあい1・2	改修前	フローリングt=15 PU塗装 【撤去】			木製根太板 【撤去】	±0	木製巾木 H=100 SOP塗装			EP塗装	M	吸音版の上EP塗装 【一部撤去】	LGS	木製SP塗装	3000	職員戸籍【撤】、ロッカー【撤】 カーテン【取】		
	改修後	水洗い												改修後	フローリングt=15 塗装品			DFC+ SL	±0	下地調整R8種の上SOP塗装			下地調整R8種の上EP-G塗装 間仕切り壁（※B）EP-G塗装		下地調整R8種の上EP塗装 一部GB-D(T)の上EP塗装	SOP塗装	3000	職員戸籍【新】、ロッカー【新】 カーテン【復旧】、掃除カーテン【新】			
	巾 木	改修前	モルタル金ゴテ											男子職員便所	改修前	ビニル床シート貼			M	-20			75角タイル貼 【一部撤去】	M	EP塗装	M	GB-D(T) 【一部撤去】	LGS		2575	小便器（設備工事） 手洗い器（設備工事）
		改修後	水洗い												改修後	(既存のまま)				-20			化粧FKt=6.0	LGS	(既存のまま)		一部 GB-D(T)			塩ビ製 【新設】	2575
	樋	改修前	VPφ100 SUS掴み金物【撤去】											女子職員便所	改修前	ビニル床シート貼			M	-20			100角タイル貼	M	化粧FK		GB-D(T) 【一部撤去】	LGS		2575	手洗い器（設備工事）
		改修後	カラーVP100φ SUS掴み金物φ1,200												改修後	(既存のまま)				-20			(既存のまま)		(既存のまま)		一部 GB-D(T)			塩ビ製 【新設】	2575
ベランダ	改修前	防水モルタル金ゴテ											男子便所	改修前	ビニル床シート貼 【一部撤去】			M	-20	SUS巾木 H=100			化粧FK 【一部撤去】		GB-D(T)	LGS		2440			
	改修後	下地調整の上塗膜防水(X-2) 防滑仕様												改修後	ビニル床シートt=2.0貼			M	-20	(既存のまま)			化粧FKt=6.0	LGS	(既存のまま)				2440		
犬走り	改修前	モルタル金ゴテ 目地切											女子便所	改修前	ビニル床シート貼 【一部撤去】			M	-20	SUS巾木 H=100			化粧FK		GB-D(T)	LGS		2440			
	改修後	一部 換気口撤去の上コンクリート押え												改修後	ビニル床シートt=2.0貼			M	-20	(既存のまま)			(既存のまま)		(既存のまま)				2440		
	改修前												障害者便所	改修前	ビニル床シート貼			M	-20	SUS巾木 H=100			化粧FK		GB-D(T)	LGS		2400			
	改修後													改修後	(既存のまま)				-20	(既存のまま)			(既存のまま)		(既存のまま)				2400		
	改修前												廊下1	改修前	ビニル床シート貼【撤去】			M	-20			積層フローリング張		EP塗装	M	吸音版の上EP塗装	LGS		3020		
	改修後													改修後	ビニル床シートt=2.0貼			下地調整 (汚れ清掃)	-20			下地調整R8種の上OL塗装		下地調整R8種の上EP-G塗装		下地調整R8種の上EP塗装			3020		
	改修前												廊下2	改修前	ビニル床シート貼【撤去】			M	-20			積層フローリング張		EP塗装	M	吸音版の上EP塗装	LGS		3020	流し台【撤】	
	改修後													改修後	ビニル床シートt=2.0貼			下地調整 (汚れ清掃)	-20			下地調整R8種の上OL塗装		下地調整R8種の上EP-G塗装		下地調整R8種の上EP塗装			3020	流し台【新】	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	
	改修前													改修前																	
	改修後													改修後																	

[illegible]

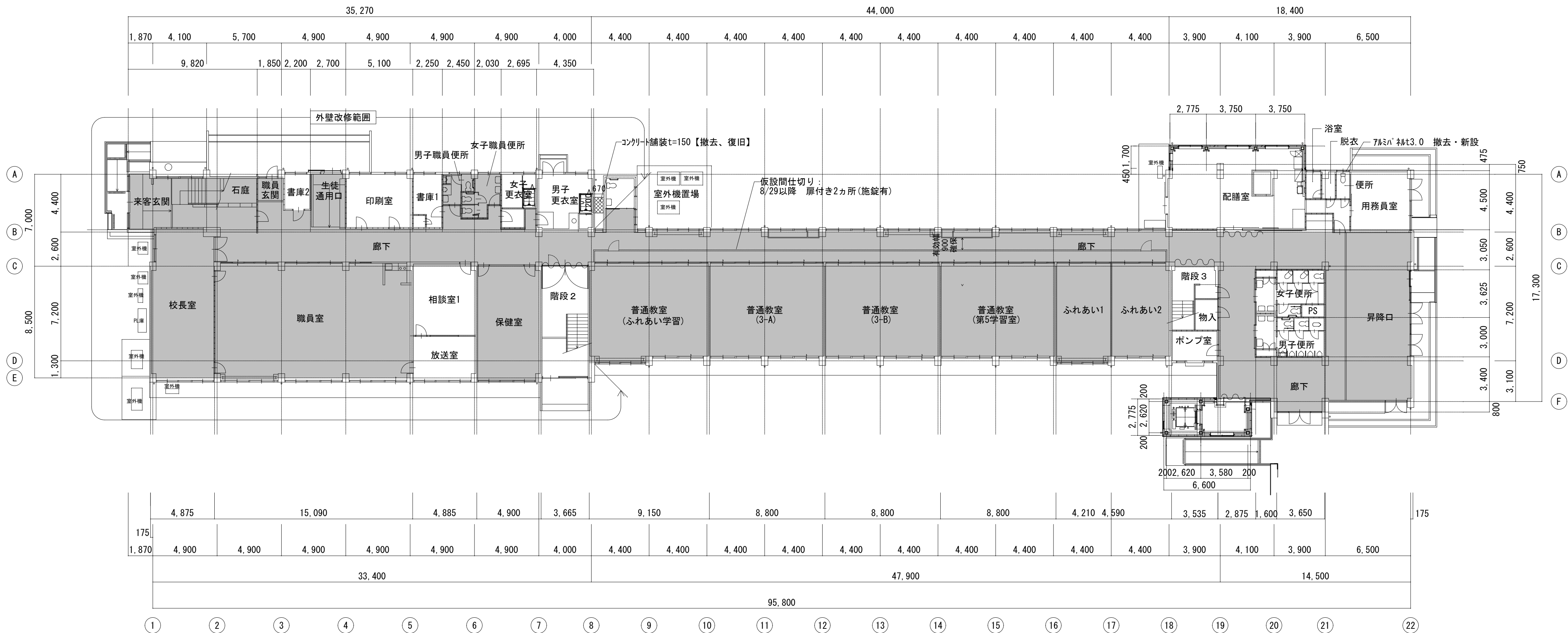
【撤】…撤去、【新】…新設、【取】…取外し【復】…復旧、【養生】…工事中養生、【既】…既設のまま

○ 凡例							○ 認定番号等（改修部分に限る）		○ 使用材料凡例		○ 特記事項					
★	アスベスト含有材を示す	SL	セルフレベリング（セメント系）	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	間仕切り壁（※白）	LGSw=65 千鳥スタッド工法 強化せっこうボードt=12.5 +強化石膏ボードt=12.5（両面） 吸音材：グラスウール24K 50mm 耐火間仕切壁（耐火認定品） 四層 耐火シール1時間耐火構造とし、下記同等品以上とする。 ・ #39'0'7'ε ・ 耐火700-12C・G FPO60NP-0415 (2) ・ 吉野石膏 12S FPO60NP-0483 (2)	GB-Rt=9.5	QW-9828	防汚防滑性E'ニ床シート	東リ 消臭NS170NW ロシール ナニタリタN	・ 備考欄の記載事項は特記なき限り改修前は撤去とし、改修後は新設とする				
		M	モルタル下地	CL	クリヤーラッカー塗り			GB-Rt=12.5	NW-8619			・ CHはFLからの天井高さを示す				
GB-R	せっこうボード	C	コンクリート直均し	NAD	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り			GB-D(T)t=9.5	QW-0831 (1)	暗幕カーテン	スミエ E0045FL 川島織物 フォーレン ツナグワ モンゲスト	・ 特記なき限りJIS・JAS認定品を使用する				
GB-R-H	普通硬質せっこうボード	SUS	ステンレス（特記なき限り304）	DP	耐候性塗料塗り（鉄鋼面 1 級 ツッ素樹脂）			FK	NW-8576			・ 室内の使用材料はF☆☆☆☆（建具・家具共）、天井裏等はF☆☆☆以上とする				
GB-F	強化せっこうボード	LGS	軽量鉄骨	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り							・ クロルピリホスの添加、又は添加した建築材料、石綿含有建材は使用しないこと				
GB-S	シーリングせっこうボード	DFC	【校長室、職員室、保健室】 ホリエチレンフィルムt=0.15+ホリエチレンフォームt=25 ±間コンクリートt=120(Fc18K/mm2) 【普通教室、ふれあい教室】 盛土+ホリエチレンフィルムt=0.15+ホリエチレンフォームt=25 ±間コンクリートt=120(Fc18K/mm2)	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り							・ O A 下部のコンクリート面の防塵塗装は、エポキシ系防塵塗料塗 t=0.3とする				
GB-D(T)	化粧せっこうボード（トラバーチン）			EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り								・ 廻縁の塗装改修について、特記なき限り下地調整RB種共とする			
FK	けい酸カルシウム板			UC	ウレタン樹脂フニス塗り								・ 天井新設部の廻縁は、特記なき限り地塩仕とする			
化粧FK	化粧けい酸カルシウム板			OS	オイルステイン塗り											
DR	ロックウール化粧吸音板			WP	木材保護塗料塗り											
工事名称 ★ 楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事）							図面名称 ★ 管理教室棟 内部仕上表（2）	総尺 ★	A1：N/S A3：N/S ★	日付 ★	訂正 ★	担当 ★	承認 ★	備考 ★	藤 川 設 計 株 式 会 社 一級建築士登録 222551 田中 富士夫	AーO9

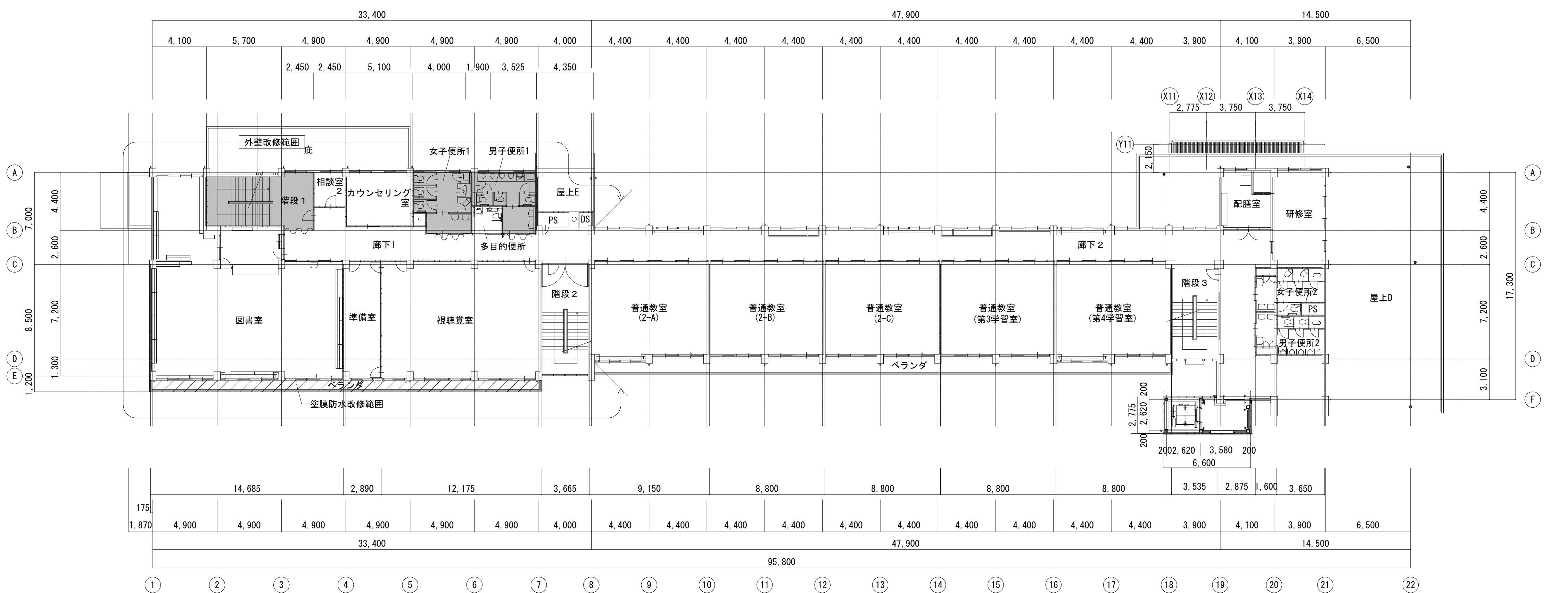


凡例	
	堅穴区画を示す
	防火上主要な間仕切り壁（RC壁又はCB壁）を示す
	防火上主要な間仕切り壁を示す
	工事範囲を示す

※防火区画について、改修後も建物全体については法に適合していないものとする
※既存部は既存不適格のままとする
※空調の冷媒配管、ドレン配管、配線を適切に区画貫通処理すること。



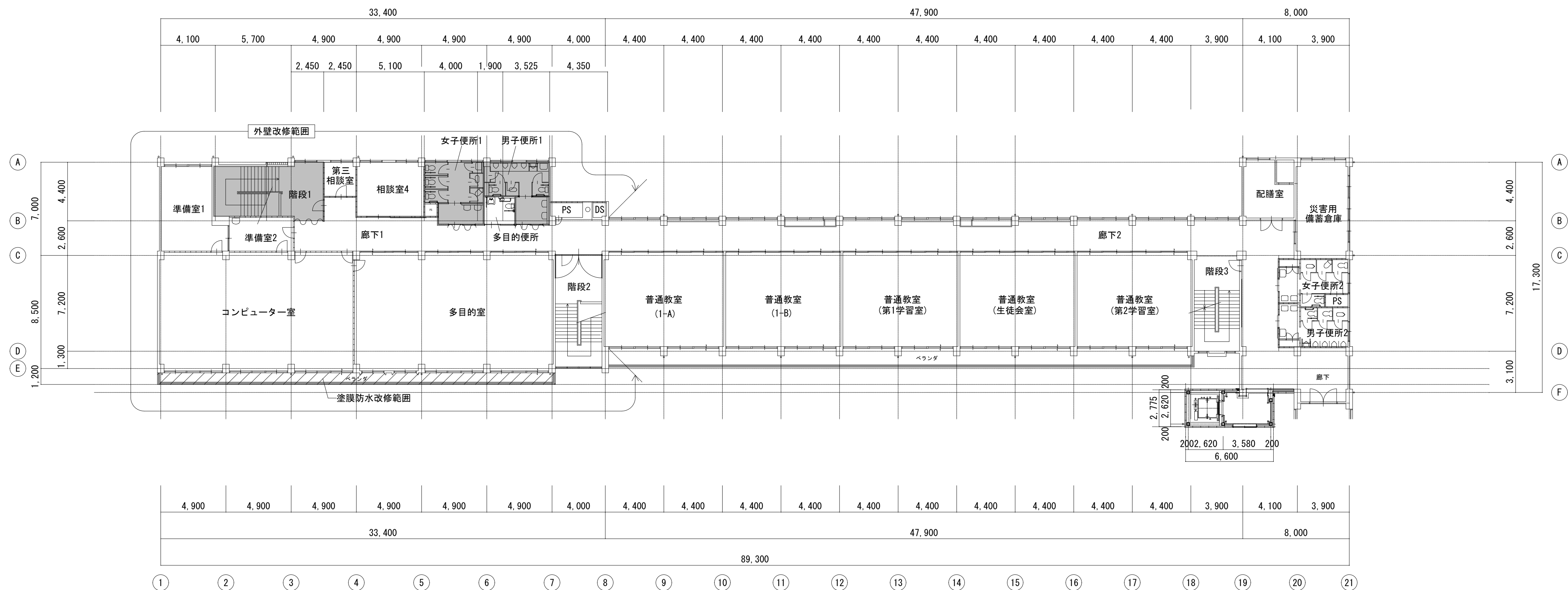
1 階平面図 S=1:200



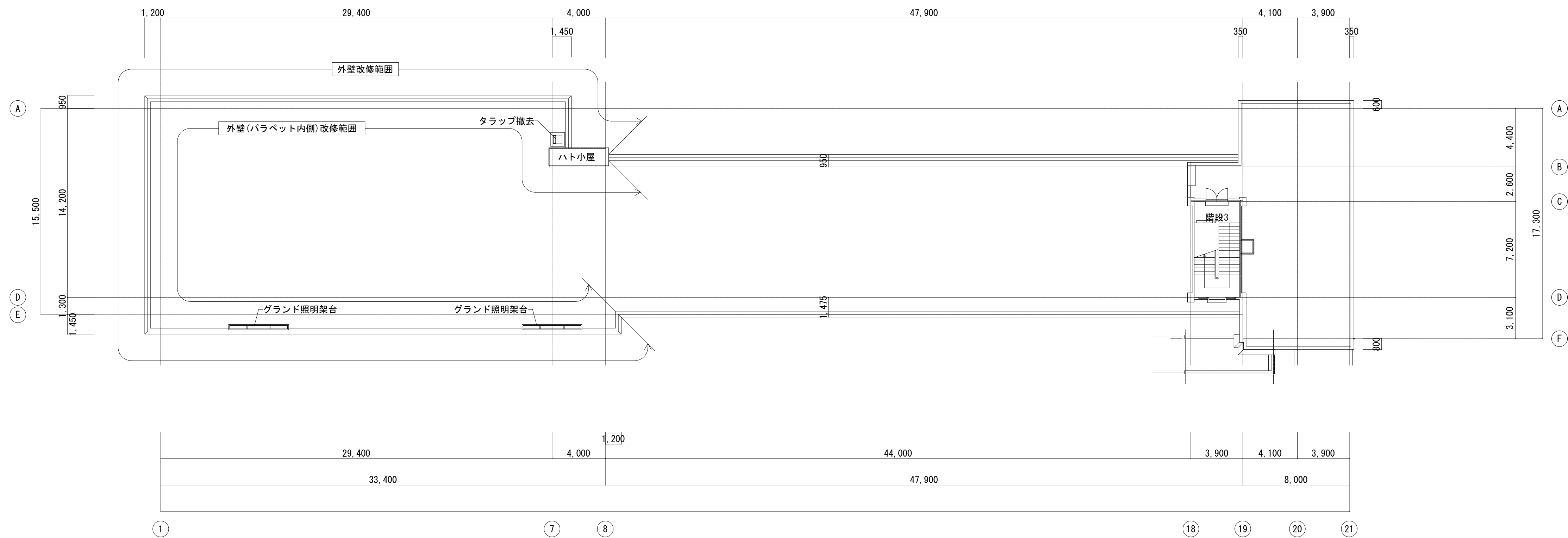
2 階平面図 S=1:200

~~~~~ : 飛散養生示す

■ : 改修範囲を示す。



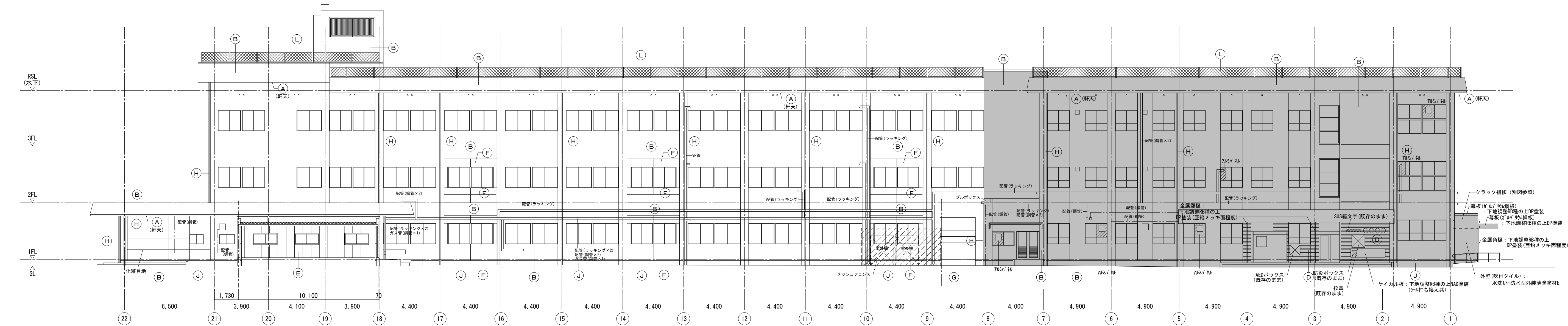
3階平面図 S=1:200



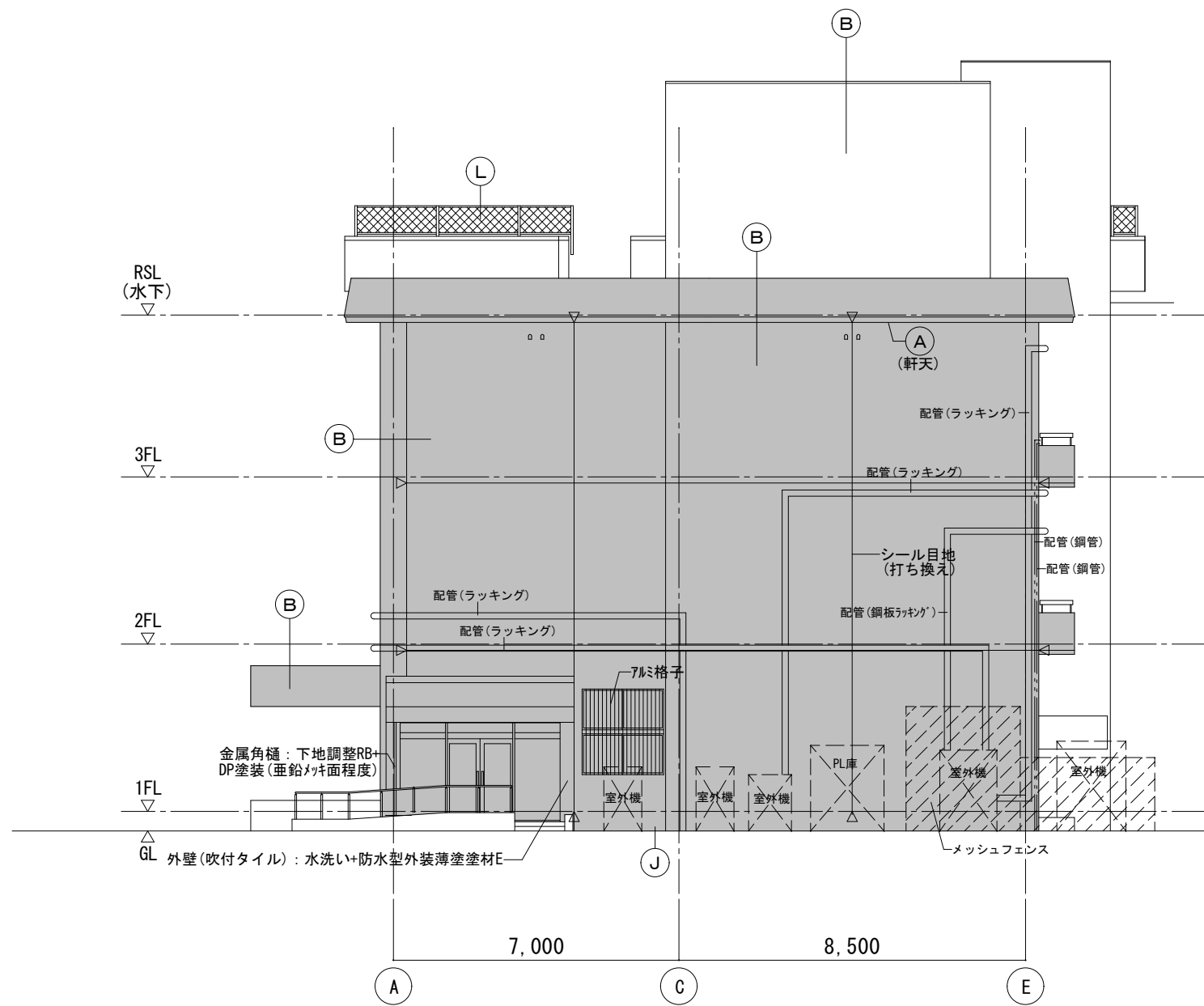
屋根伏図 S=1:200

~~~~~ : 飛散養生示す

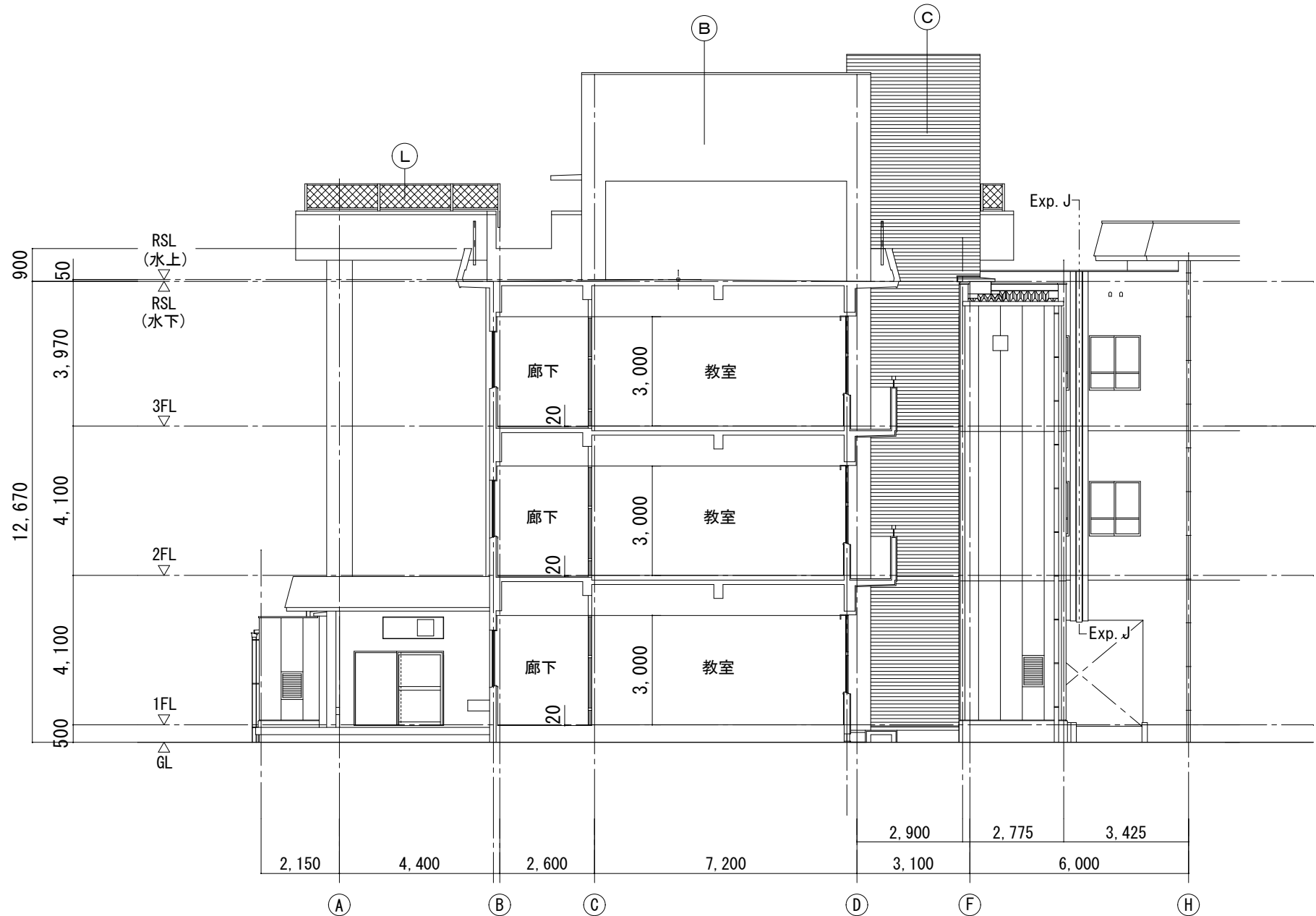
■ : 改修範囲を示す。



北立面図



西立面図

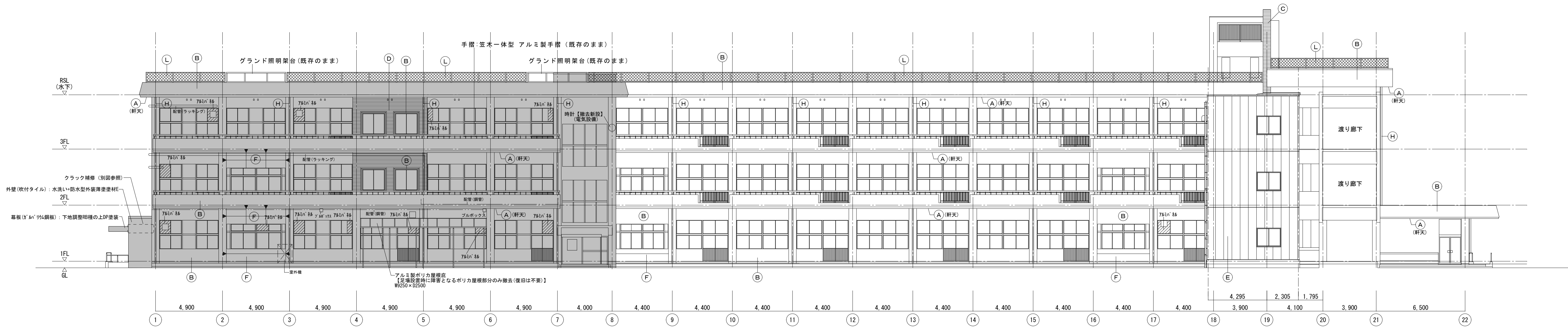


断面図(1)

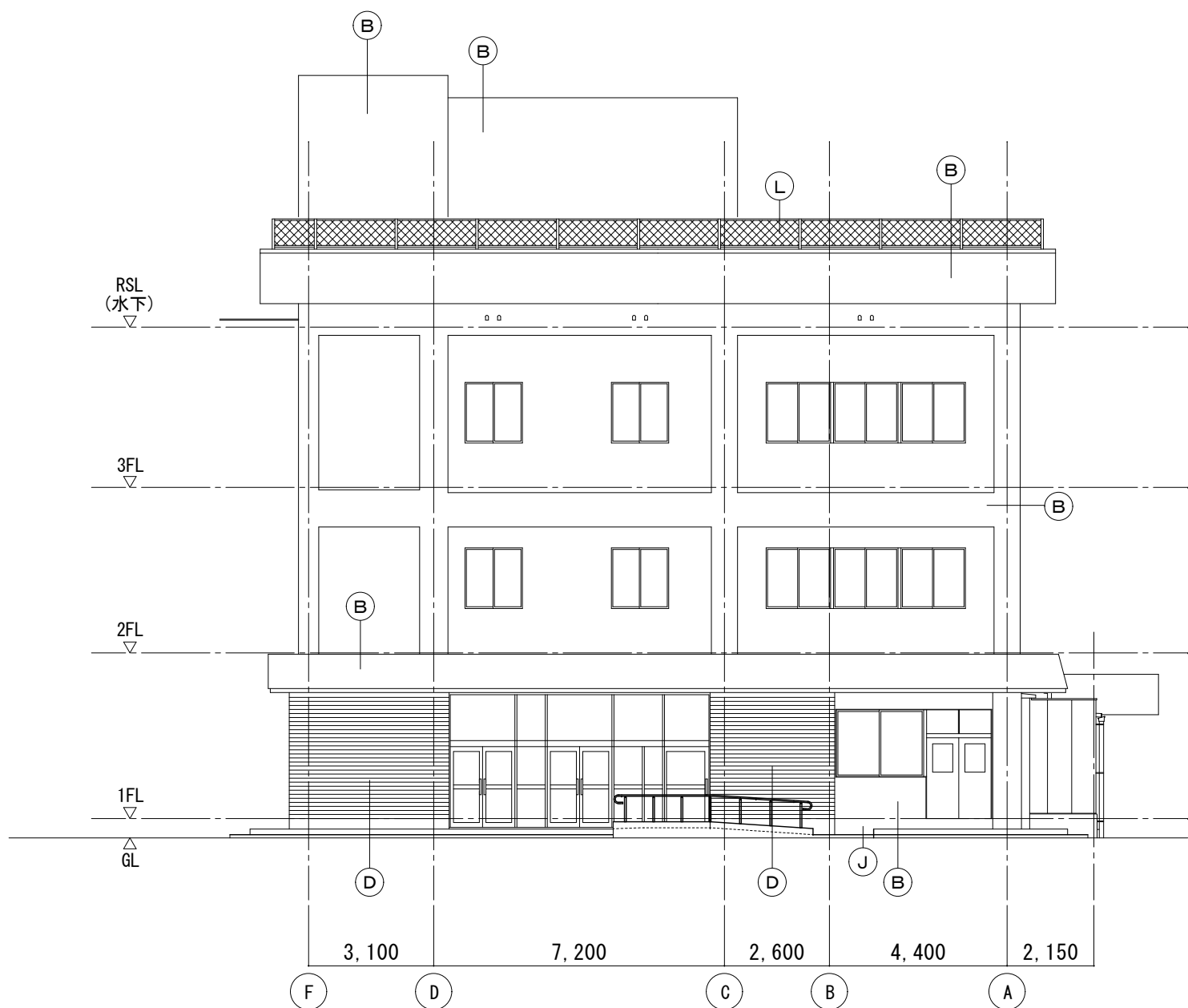
改修範囲を示す

改修後仕上については、改修範囲(図示)部分のみに適用し
改修範囲外は既存のままとする

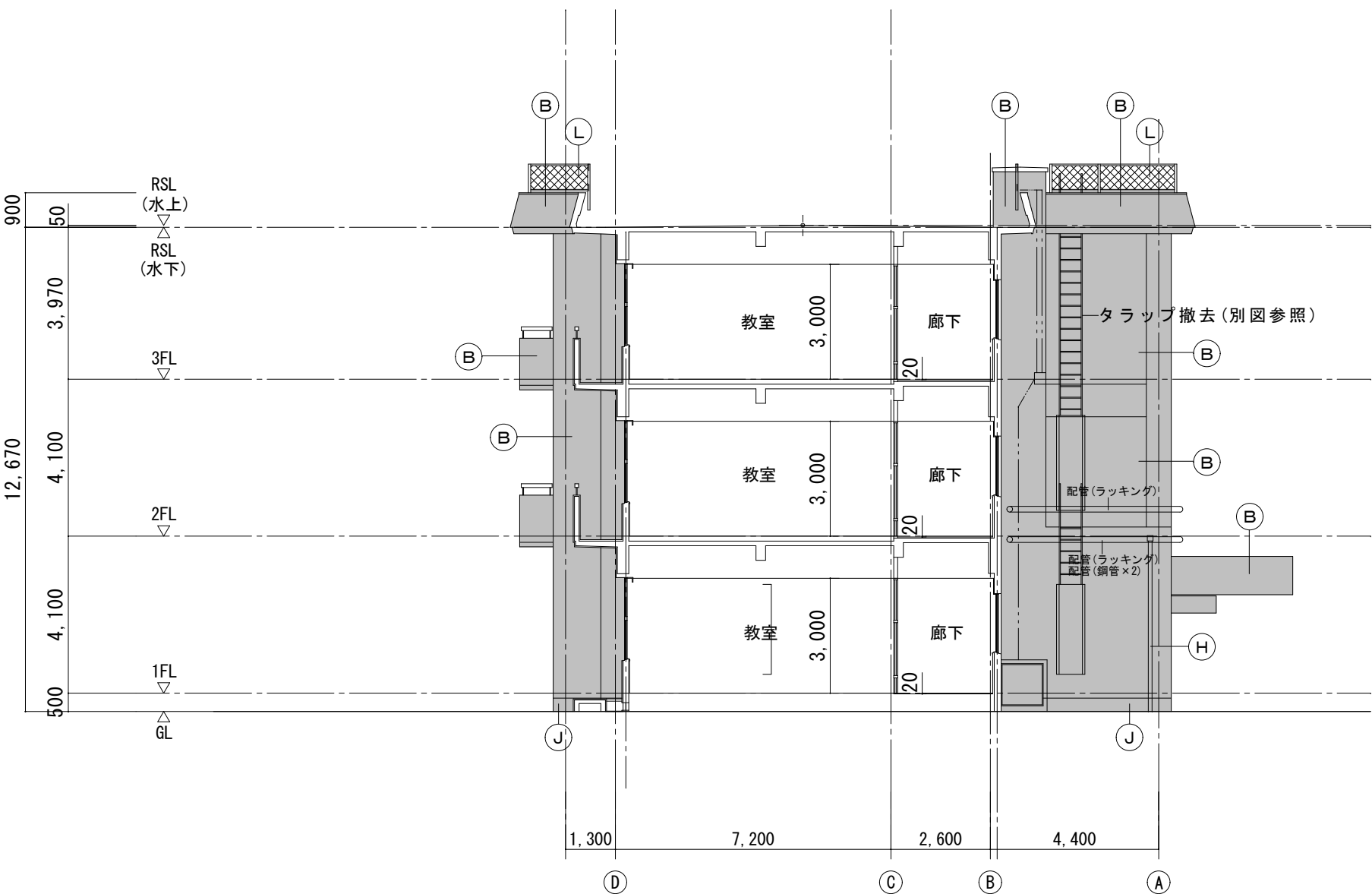
| 凡例 | 符号 | 部位 | 改修前仕上 | 改修後仕上 |
|---|-----|--------|------------------------|---|
| | (A) | 軒天 | モルタル刷毛引きの上
複層塗材 | 水洗いの上
下地調整
NAD塗装 |
| | (B) | 外壁 | モルタル刷毛引きの上
複層塗材 | 水洗いの上
防水型外装薄塗材E |
| | (C) | 外壁 | 小ロタイル貼
(撤去) | モルタル補修
防水型外装薄塗材E |
| | (D) | 外壁 | 小ロタイル貼 | 水洗い |
| | (E) | 外壁 | ALCの上複層塗材E吹付 | 既存のまま |
| | (F) | 外壁 | ALCの上複層塗材E吹付 | 目地シーリング(MS-2)撤去新設
水洗いの上
防水型外装薄塗材E |
| | (G) | 外壁 | サイディング張り | 既存のまま |
| | (H) | 壁種 | VPφ100 SUS掴み金物
(撤去) | カラーVP100φ
SUS掴み金物φ1,200 |
| | (I) | 外部建具 | アルミ製建具 | MS-2打替え
(四方W10、水切W10) |
| | (J) | 巾木 | モルタル金ゴテ | 水洗い |
| | (K) | ベランダ手摺 | アルミ製 | 既設のまま |
| | (L) | 屋上手摺 | ネットフェンス | 既設のまま |
| ■ 外壁劣化部改修内容
クラック(幅0.2~1.0mm):自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
クラック(幅1.0mm以上):Uカットシーリング材充填工法
モルタル浮き・フシカケ・ピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
モルタル欠損:エポキシ樹脂モルタル充填工法 | | | | |
| ■ 外壁面に付属する配管及びBOXについて
20φ以下程度の細物は外壁同仕様として
それ以外は樹脂製は清掃・DP塗装(2回塗)、鋼製は下地調整RB+DP塗装(垂鉛メッキ面)、
ブラスト加工後は清掃・DP塗装(2回塗)とする。
ステンレス鋼については、汚れ・付着物除去、清掃を行うこと。
(支持金物も上記に準ずる) | | | | |
| ■ 外壁は2色塗分け程度とする | | | | |
| ■ 室外機等の裏面については、手が届く範囲で施工を行うこと。 | | | | |
| ▽ シーリング打替え PU-2 W10 | | | | |



南立面図



東立面図



断面図(2)

改修範囲を示す

改修後仕上については、改修範囲(図示)部分のみに適用し
改修範囲外は既存のままとする

| 凡例 | 符号 | 部位 | 改修前仕上 | 改修後仕上 |
|-----|--------|------------------------|--|-------|
| (A) | 軒天 | モルタル刷毛引きの上
複層塗材 | 水洗いの上
下地調整
NAD塗装 | |
| (B) | 外壁 | モルタル刷毛引きの上
複層塗材 | 水洗いの上
防水型外装薄塗塗材E | |
| (C) | 外壁 | 小口タイル貼 | モルタル補修
防水型外装薄塗塗材E | |
| (D) | 外壁 | 小口タイル貼 | 水洗い | |
| (E) | 外壁 | ALCの上複層塗材E吹付 | 既存のまま | |
| (F) | 外壁 | ALCの上複層塗材E吹付 | 目地シーリング [※] (MS-2)撤去新設
水洗いの上
防水型外装薄塗塗材E | |
| (G) | 外壁 | サイディング張り | 既存のまま | |
| (H) | 縦樋 | VPφ100 SUS組み金物
(撤去) | カラーVP100φ
SUS組み金物φ1,200 | |
| (I) | 外部建具 | アルミ製建具 | MS-2打替え
(四方W10、水切W10) | |
| (J) | 巾木 | モルタル金ゴテ | 水洗い | |
| (K) | ベランダ手摺 | アルミ製 | 既設のまま | |
| (L) | 屋上手摺 | ネットフェンス | 既設のまま | |

■外壁劣化部改修内容
クラック(幅0.2~1.0mm):自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
クラック(幅1.0mm以上):Uカットシール材充填工法
モルタル剥離:アンカー・ピン・シーリング部分エポキシ樹脂注入工法
モルタル欠損:エポキシ樹脂モルタル充填工法

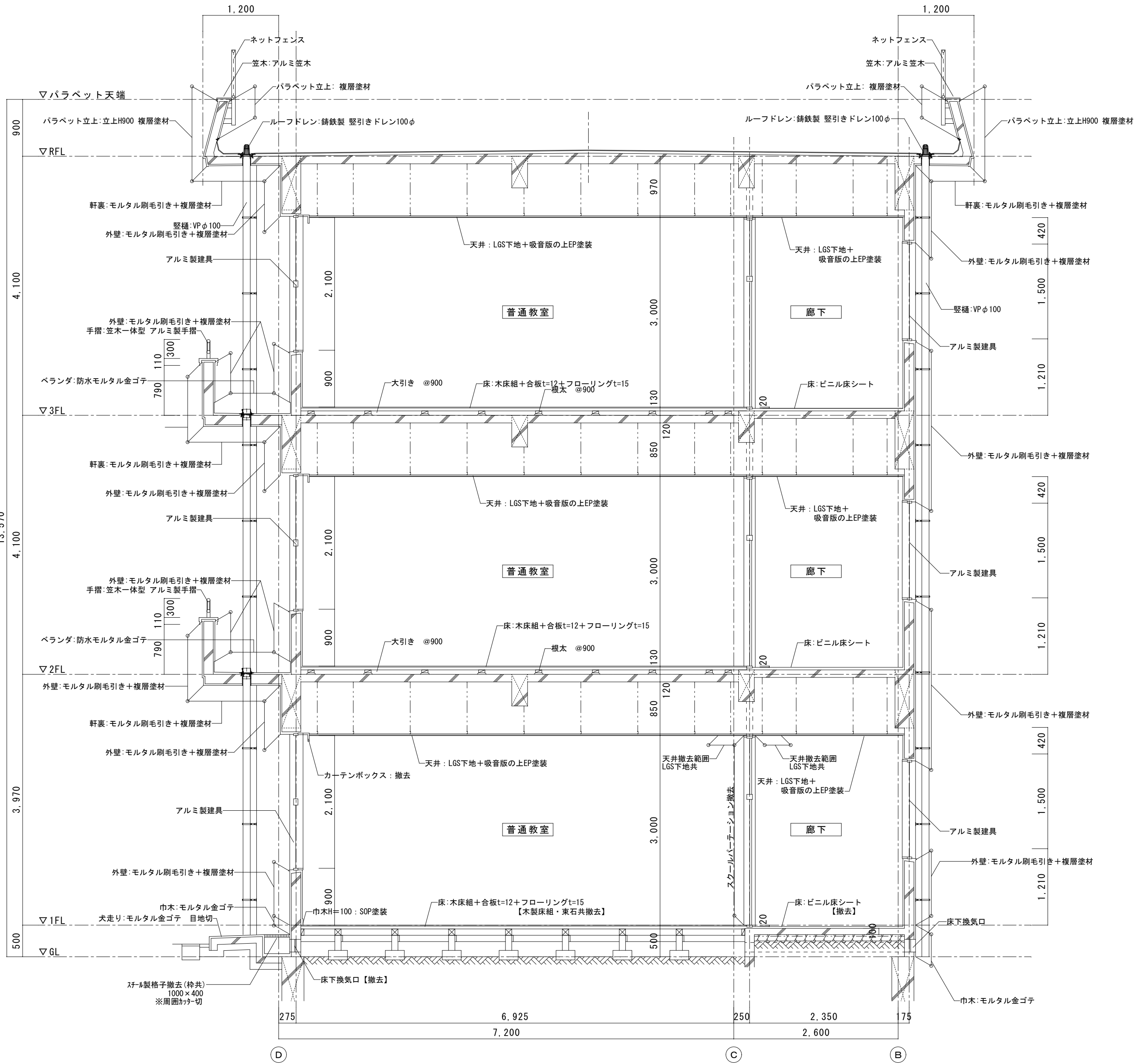
■外壁面に付属する配管及びBOXについて
20φ以下程度の細物は外壁同仕様とし、
それ以外は樹脂製は清掃+DP塗装(2回塗)、鋼製は下地調整RB+DP塗装(亜鉛メッキ面)、
フラッシュバックは清掃+DP塗装(2回塗)とする。
ステンレス7x3製については、汚れ・付着物除去、清掃を行うこと。
(支持金物も上記に準ずる)

■外壁は2色塗分け程度とする

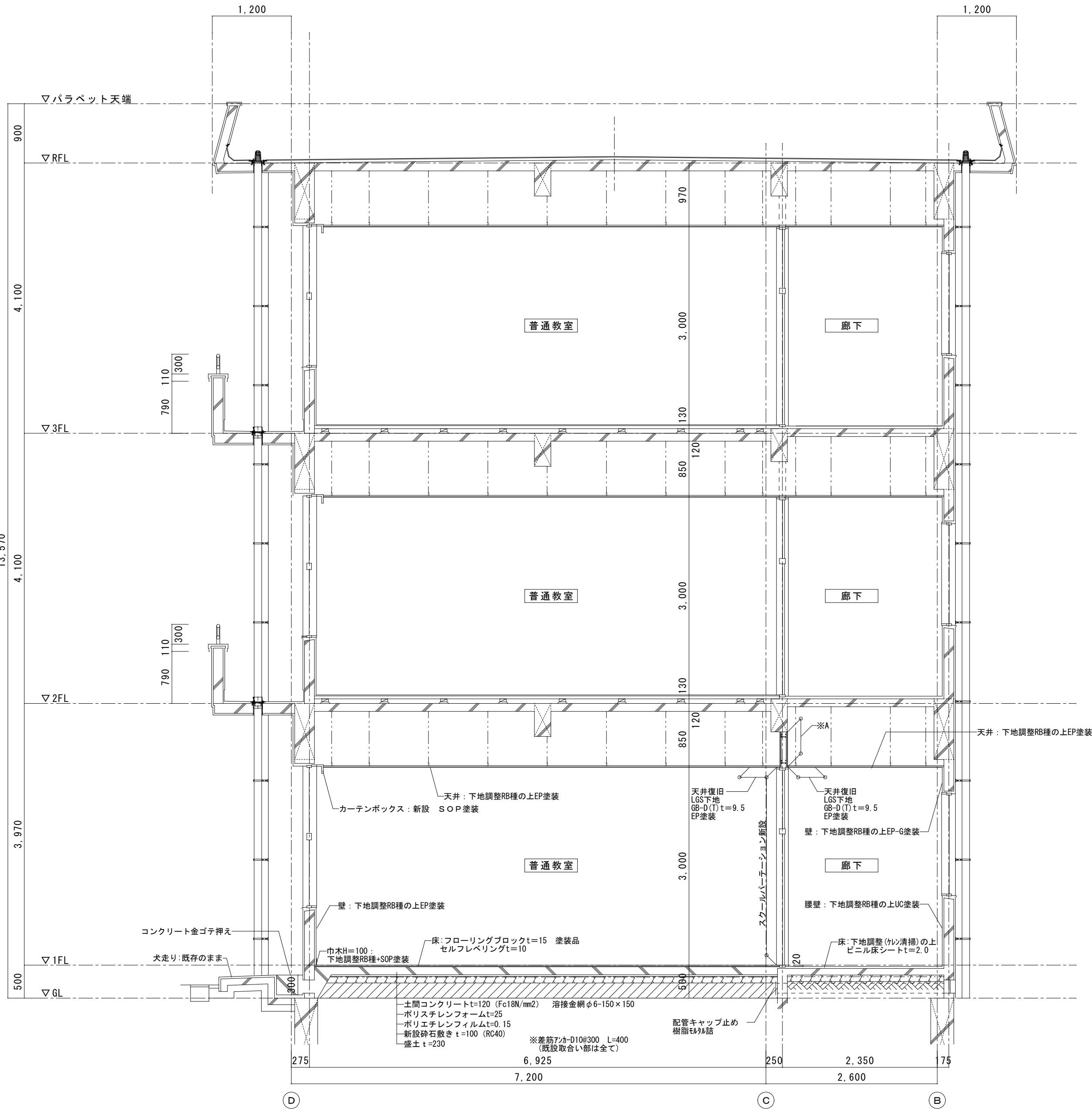
■室外機等の裏面については、手が届く範囲で施工を行うこと。

▽ シーリング 打替え PU-2 W10

▼ シーリング 打替え MS-2 W10

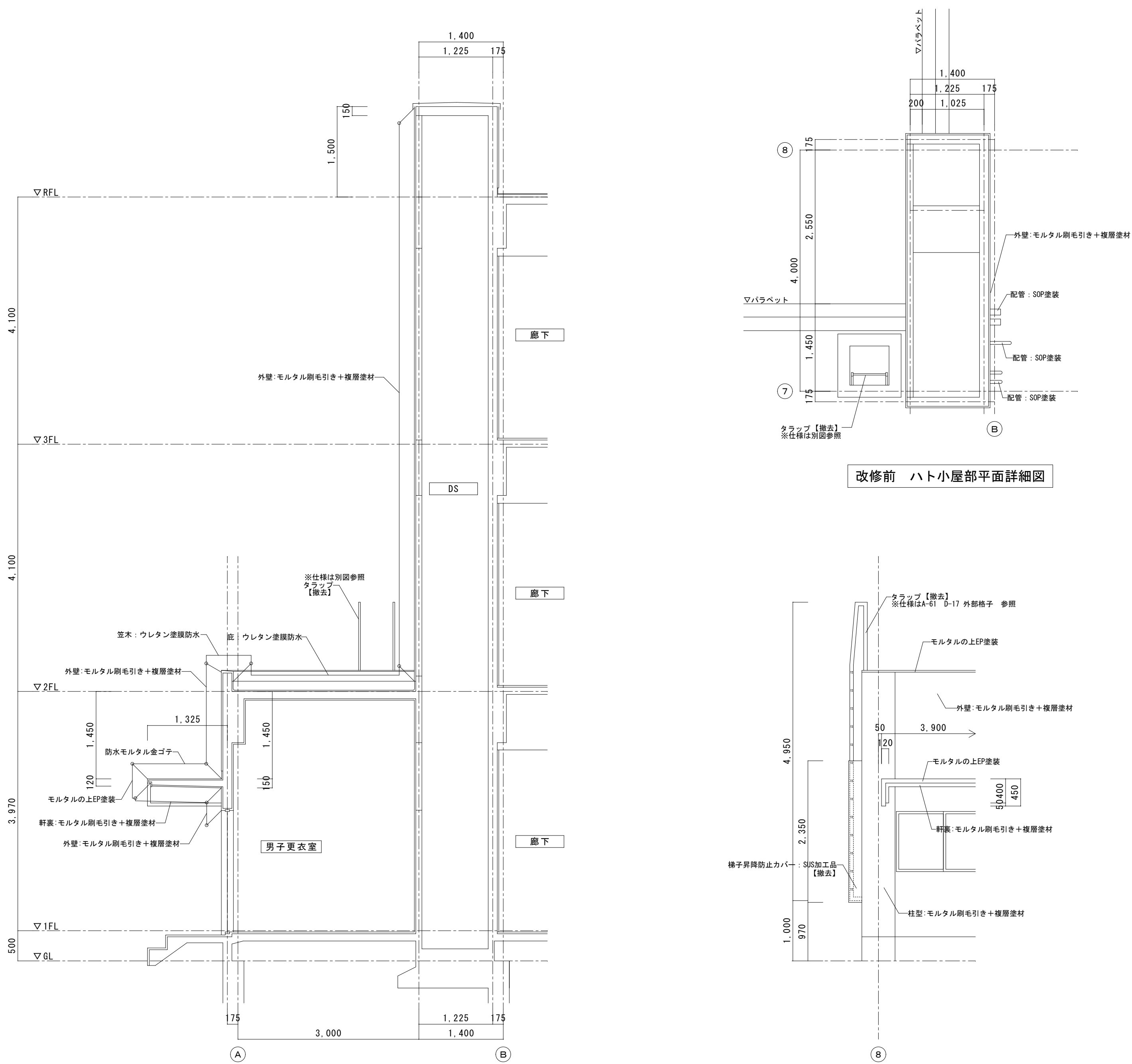


改修前 矩計図



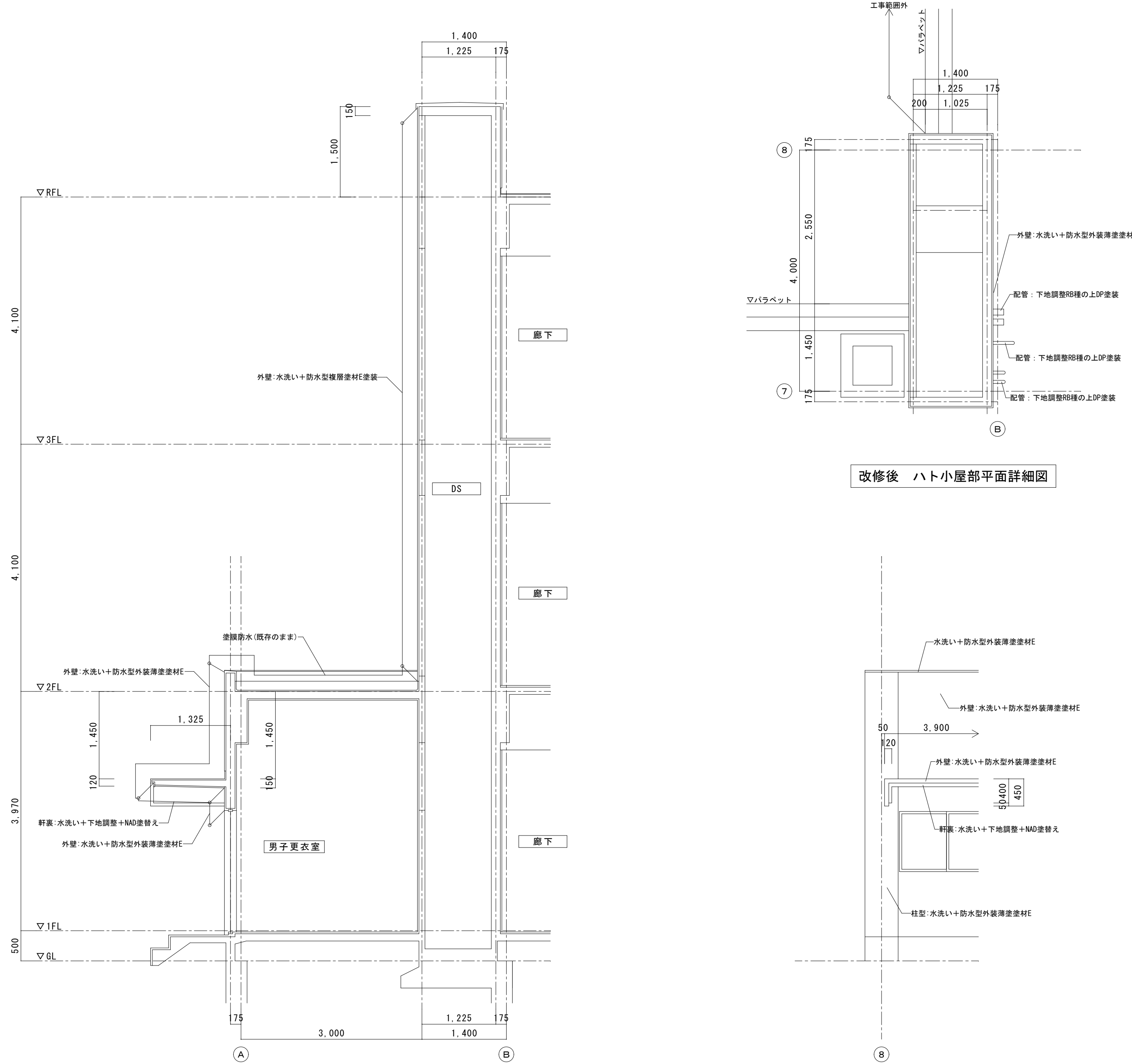
改修後 矩計図

※A: 強化せっこうボードt=12.5+強化石膏ボードt=12.5(両面)
耐火間仕切壁(耐火認定品) 四周 耐火シール
耐火間仕切壁は、1時間耐火構造とし、下記同等品以上とする。
・f3g' ウーテ : 耐火タタキ12S FPO60NP-0415 (1)
・吉野石膏 : 12S FPO60NP-0483 (1)
耐火シールの施工方法については、各社認定工法による



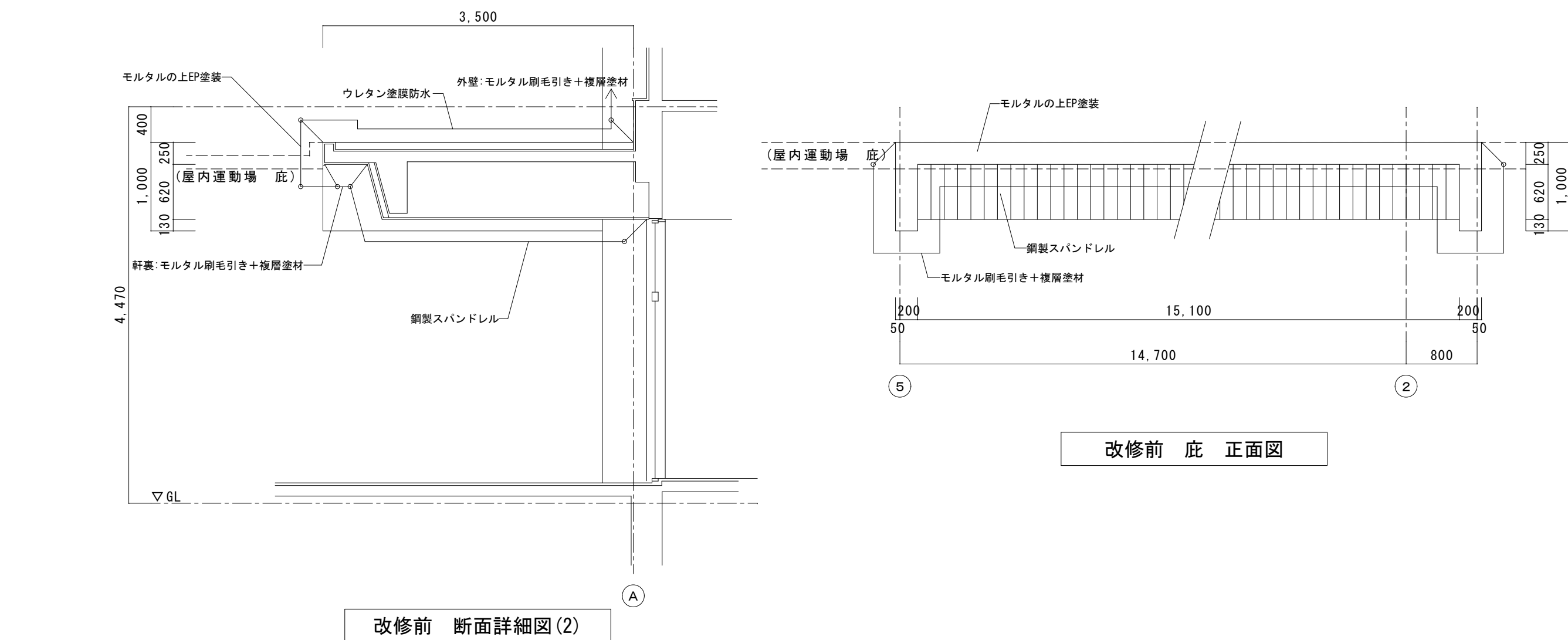
改修前 断面詳細図(1)

改修前 庇 正面図



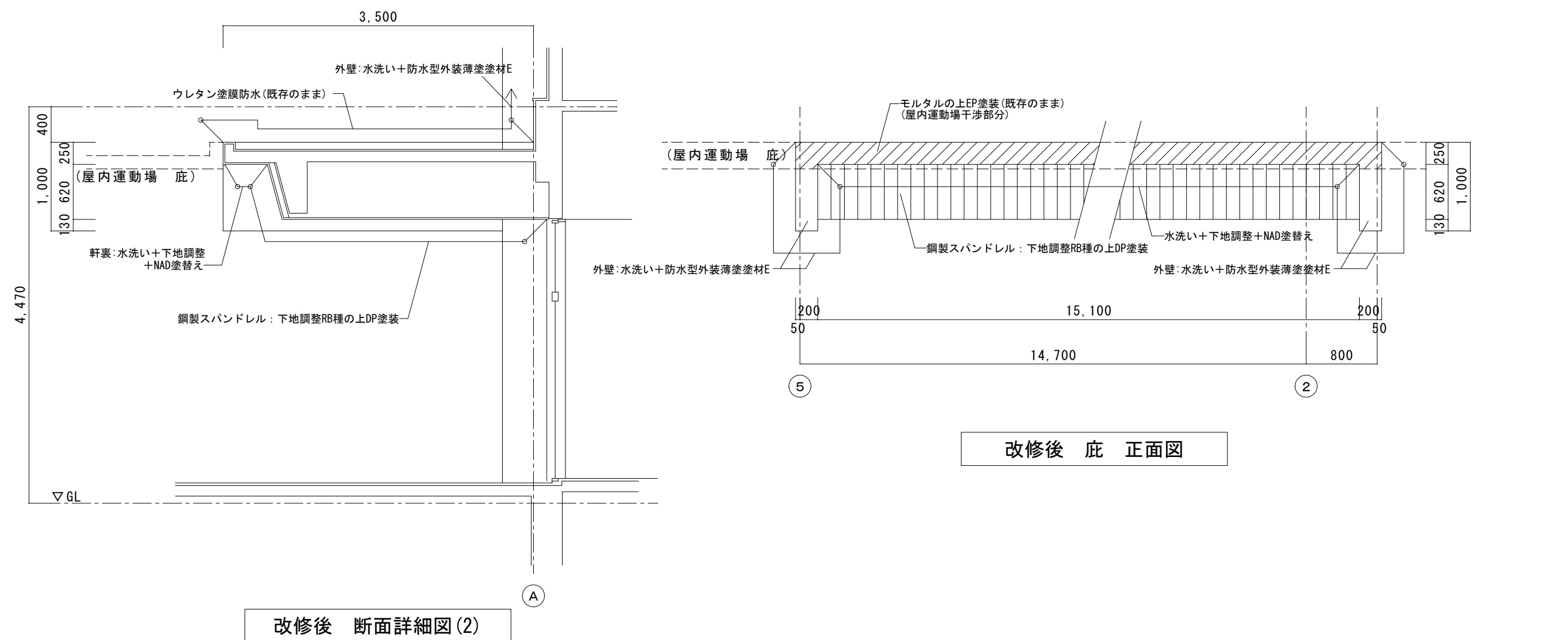
改修後 断面詳細図(1)

改修後 庇 正面図



改修前 断面詳細図(2)

改修前 庇 正面図

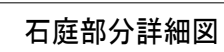
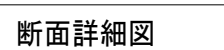
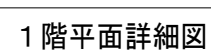
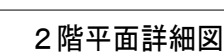
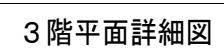


改修後 断面詳細図(2)

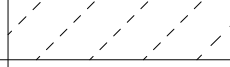
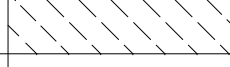
改修後 庇 正面図

※ ★印はアスベスト含有材を示す

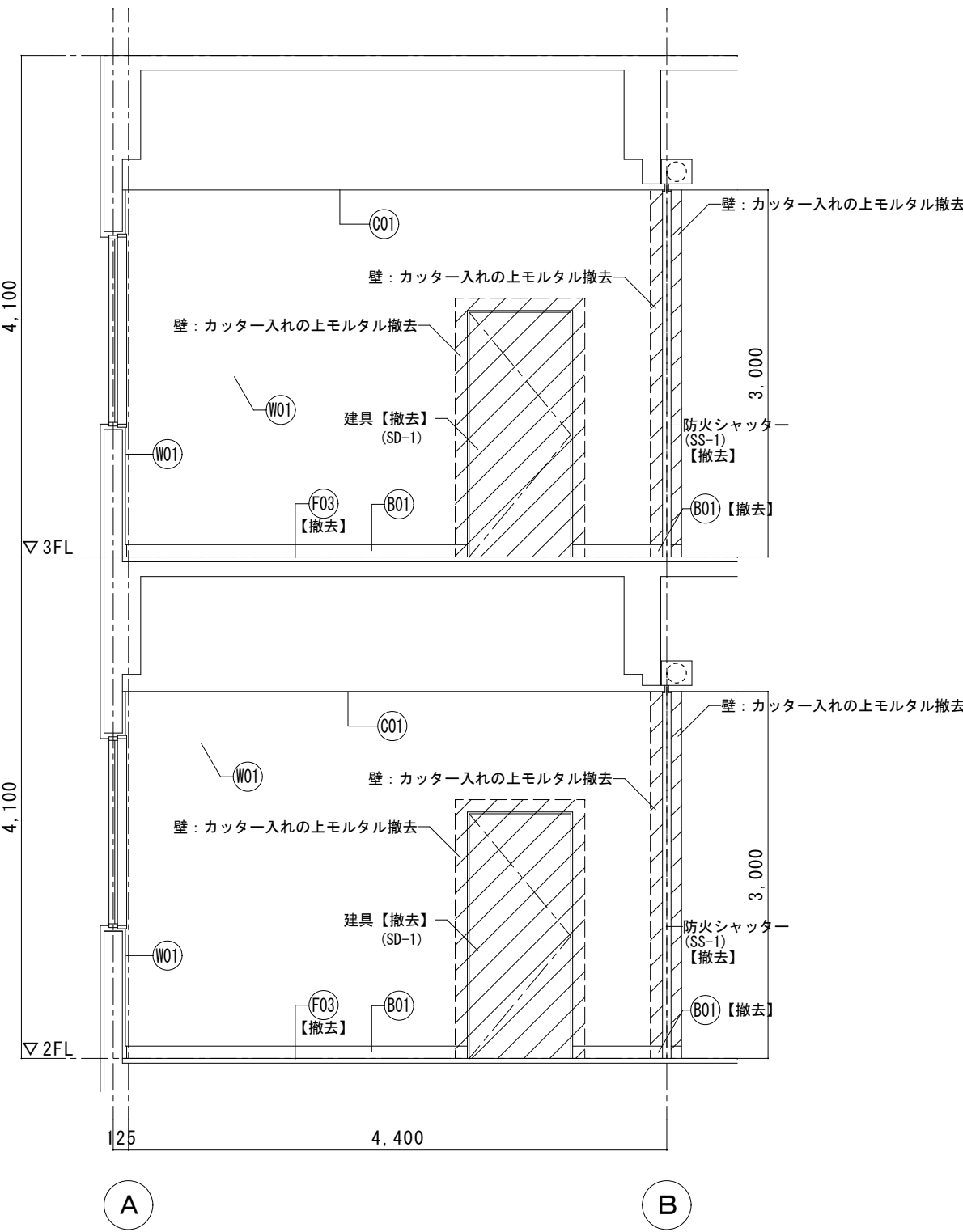
その他撤去範囲を示す



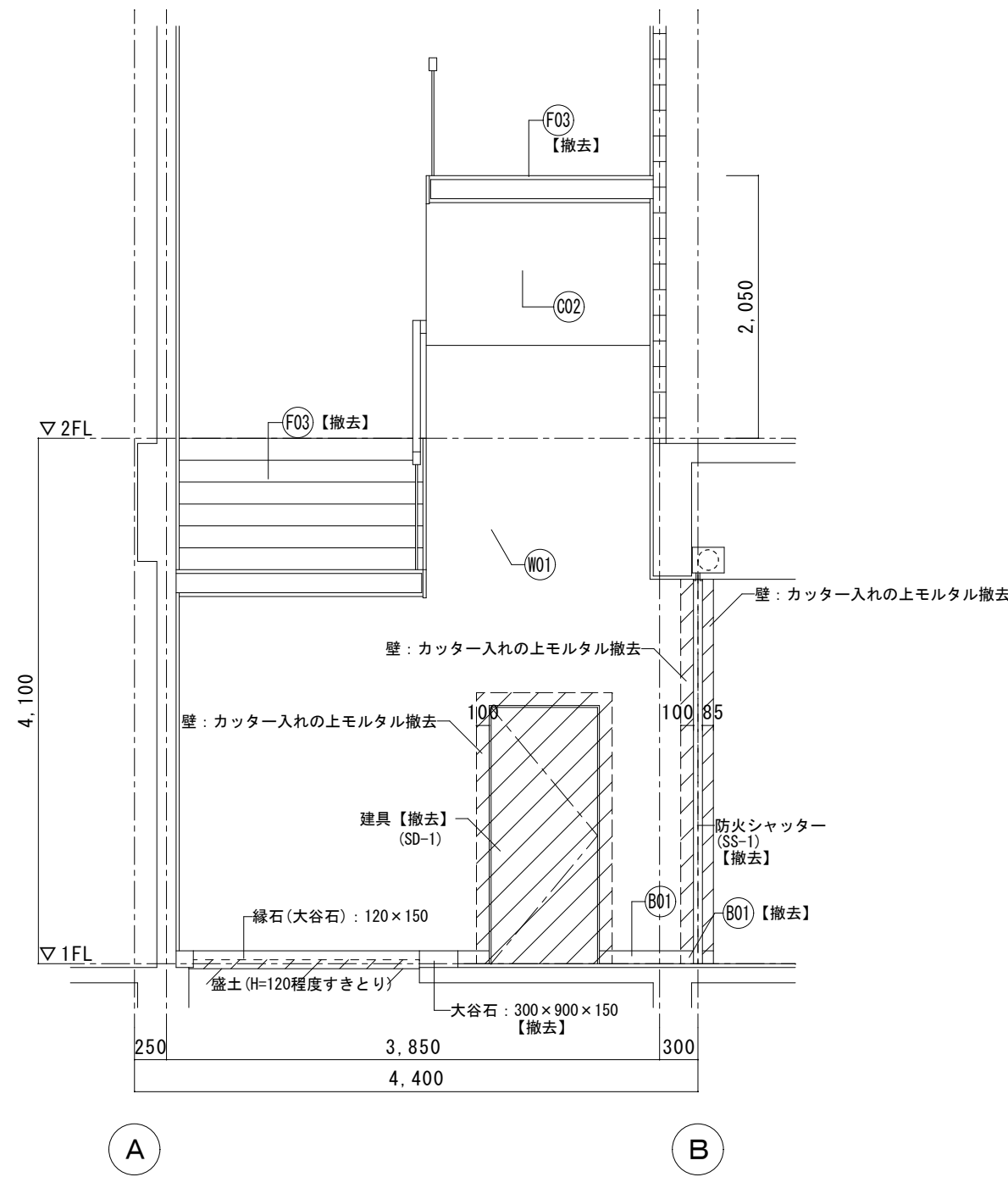
※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

| 1階 来客玄関・階段1 | | 仕上表（改修前） | | |
|-------------|-----|----------------------|--------------|---|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | F01 | ビニル床シート貼 | モルタル |  |
| | F02 | 防滑性塗床 | コンクリート金ゴテ押え | |
| | F03 | 合成樹脂塗床 | モルタル | |
| 巾 木 | B01 | テラゾー H=100 | | |
| 壁 | W01 | EP塗装 | モルタル金ゴテ押え |  |
| | W14 | 複層塗材E吹付 | モルタル | |
| 天 井 | C01 | 吸音版の上EP塗装 | LGS | |
| | C02 | AVP塗装 | ★ゾノライト吹付t=15 | |
| | C03 | 有効ボードの上EP塗装 | LGS | |
| | C05 | 鋼製スパンデレル | LGS | |
| 備 考 | | 下足入れ【撤去】、卒業制作【施工中養生】 | | |

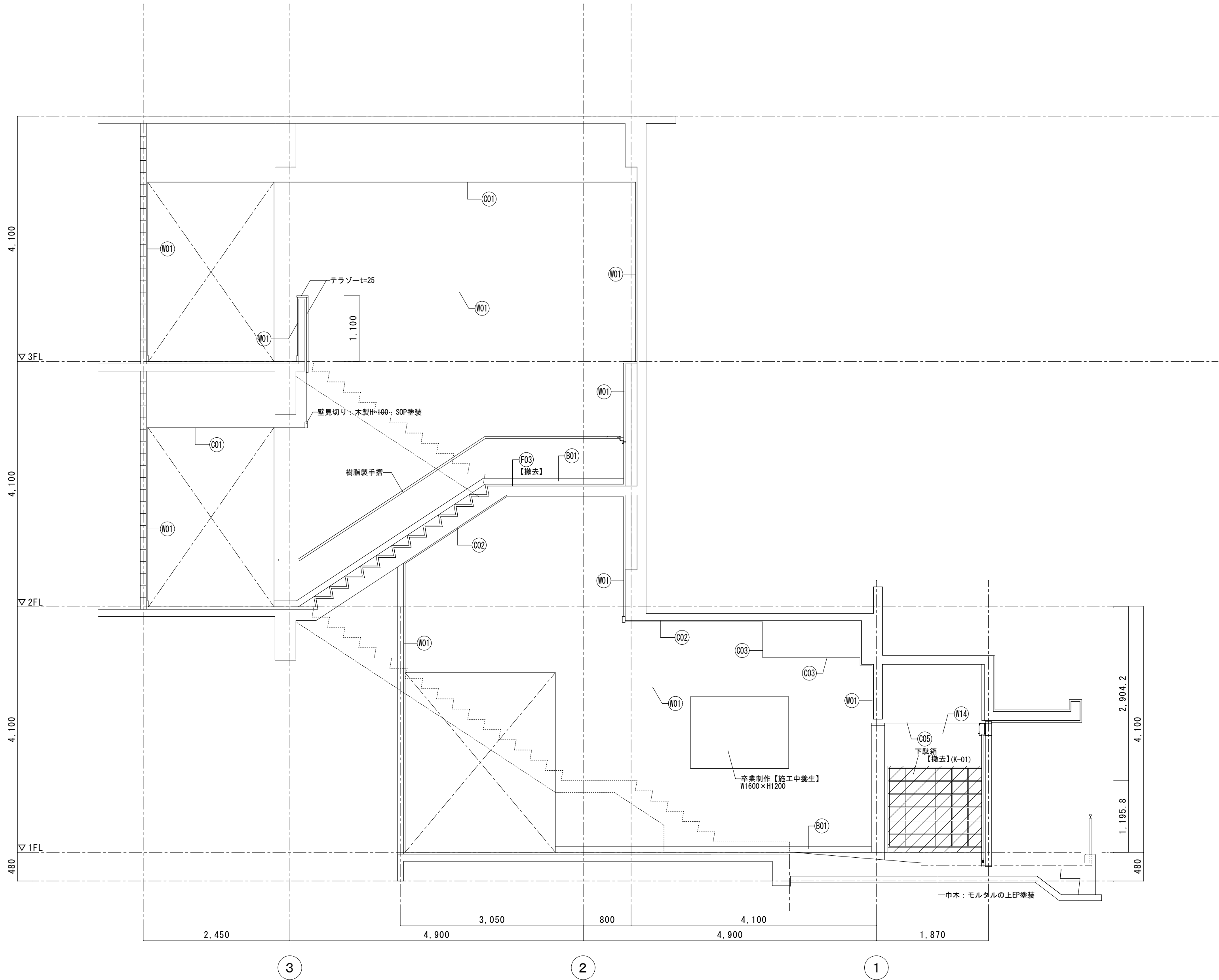
 その他撤去範囲を示す



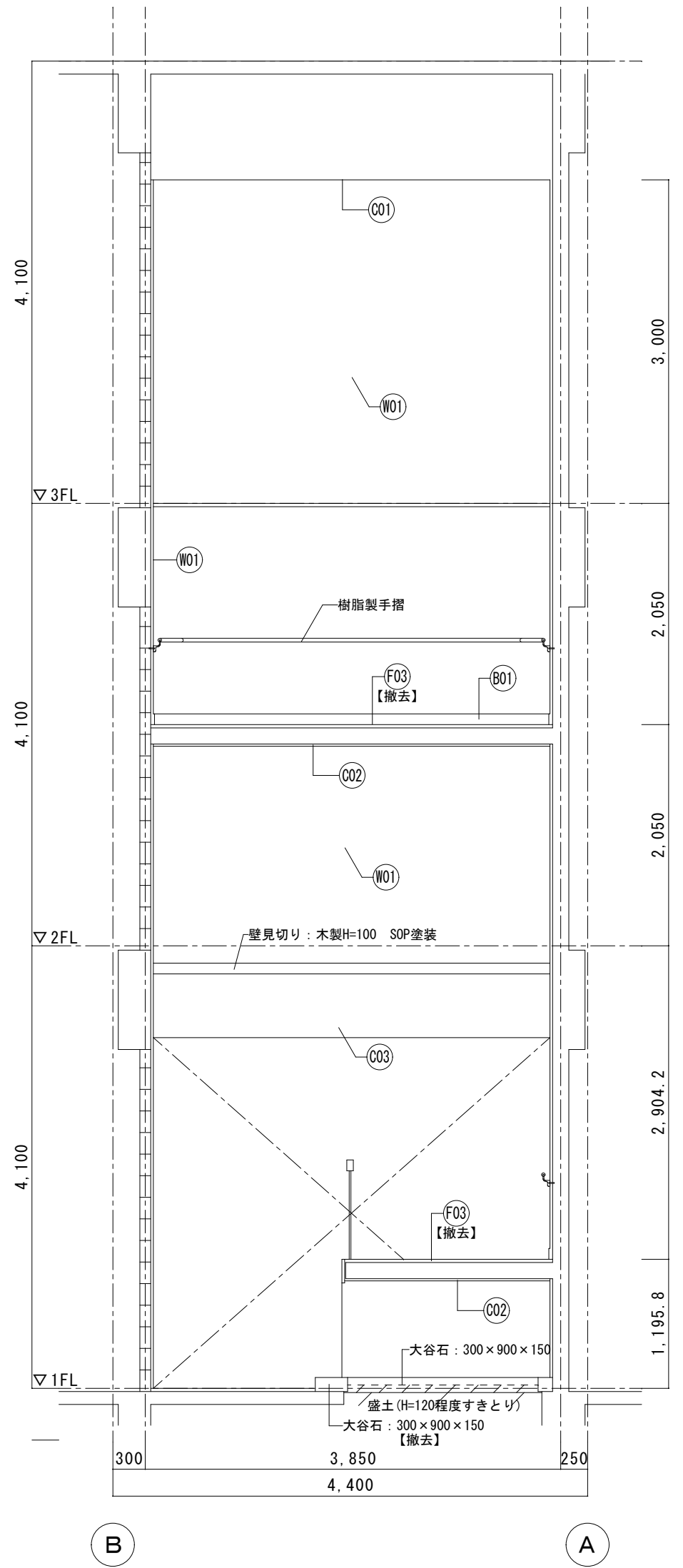
断面詳細図



断面詳細図



断面詳細図

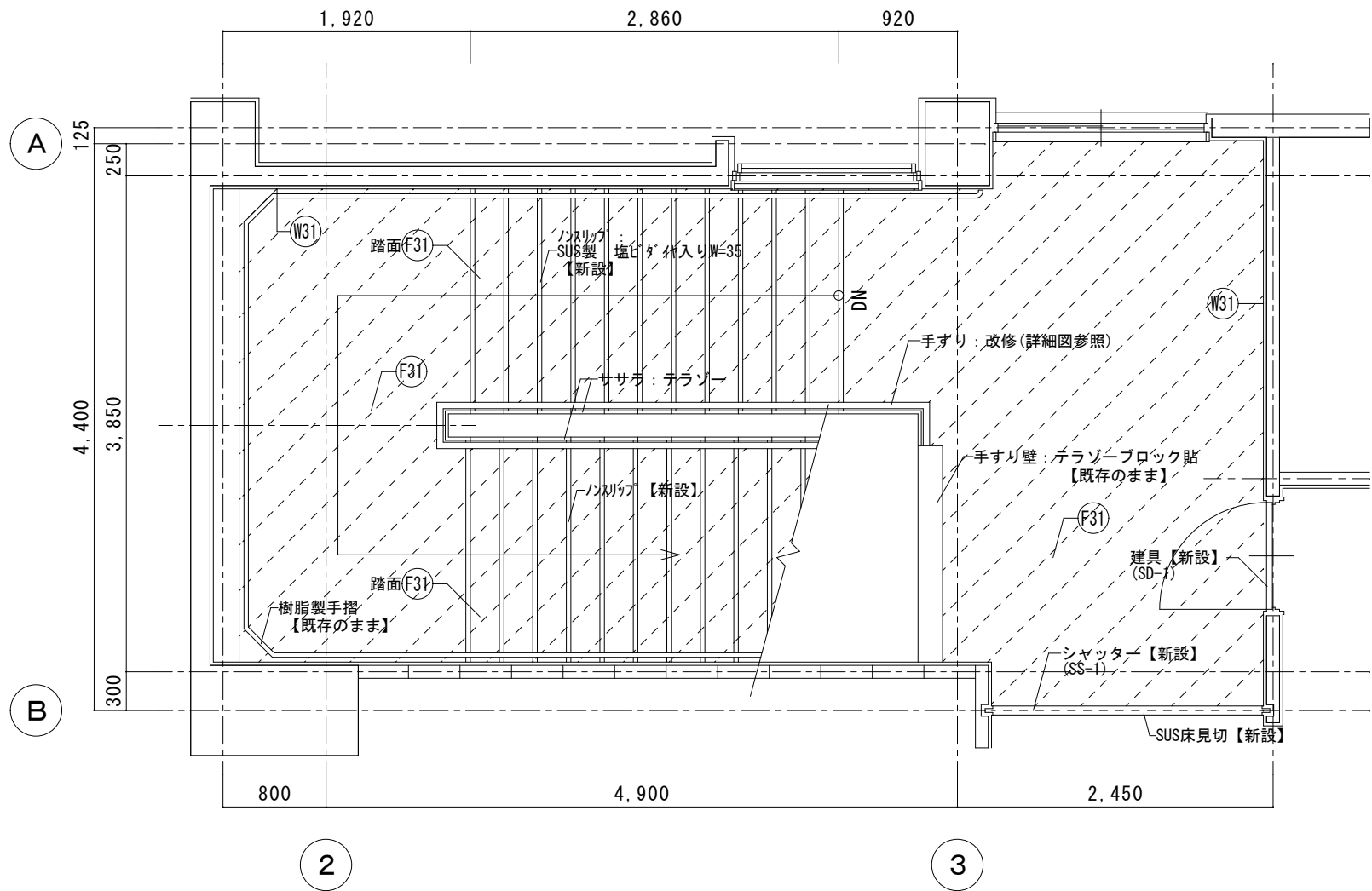


断面詳細図

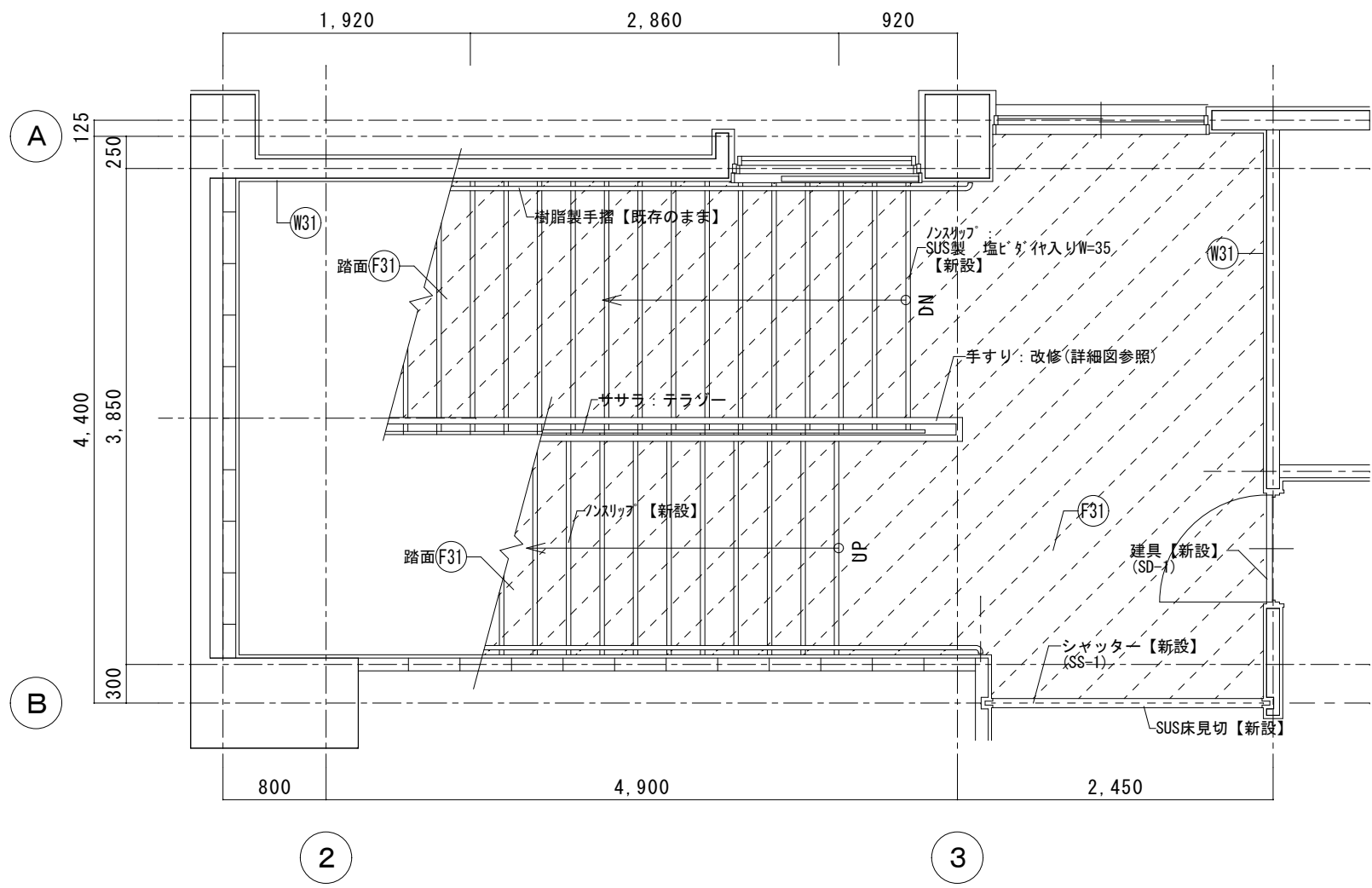
※改修部分【撤去】に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

| 1 階 来客玄関・階段 | | | | |
|------------------|-------|------------------|---------------|---------|
| 部 位 | 記 号 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | (F31) | ビニル床シートt=2.0貼 | ケレン掛け(ポリッシャー) | |
| | (F32) | 防滑性ビニル床シートt=2.0貼 | ケレン掛け(ポリッシャー) | |
| | (F34) | ビニル床シートt=2.0貼 | 土間コンクリート | |
| 巾 木 | (B01) | 清掃程度 | テラゾー H=100 | |
| 壁 | (K31) | 下地調整R8種の上EP-G塗装 | | |
| | (K43) | 下地調整R8種の上EP-G塗装 | 複層塗材E吹付 | |
| 天 井 | (C31) | 下地調整R8種の上EP塗装 | 既設天井仕上材 | |
| | (002) | EP塗装 | ★ソノライト吹付t=15 | |
| | (C32) | 清掃程度 | 鋼製スバンドレル | |
| | | | | |
| 備 考 | | | | |
| 下足入れ、卒業制作【施工中養生】 | | | | |

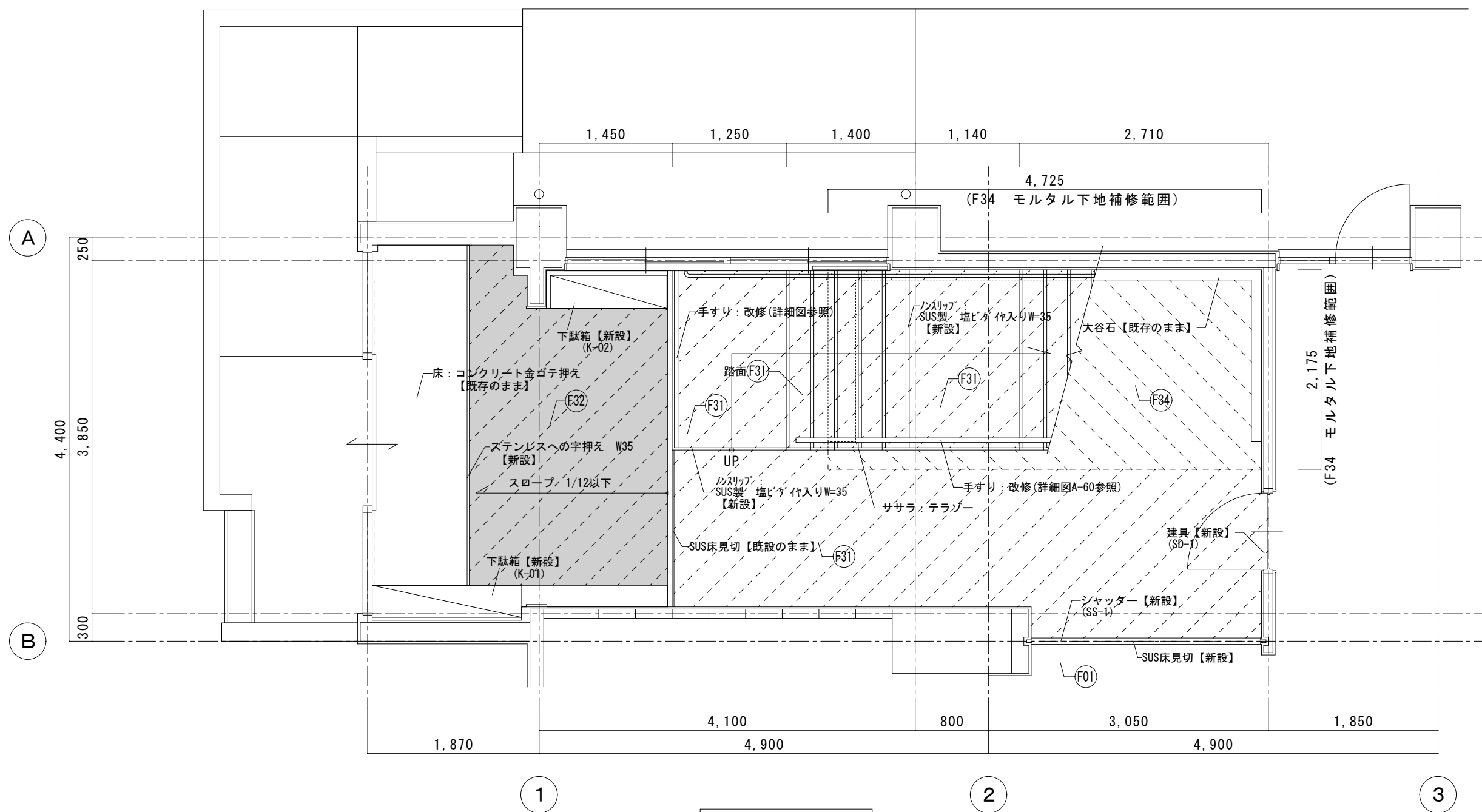
その他改修範囲を示す



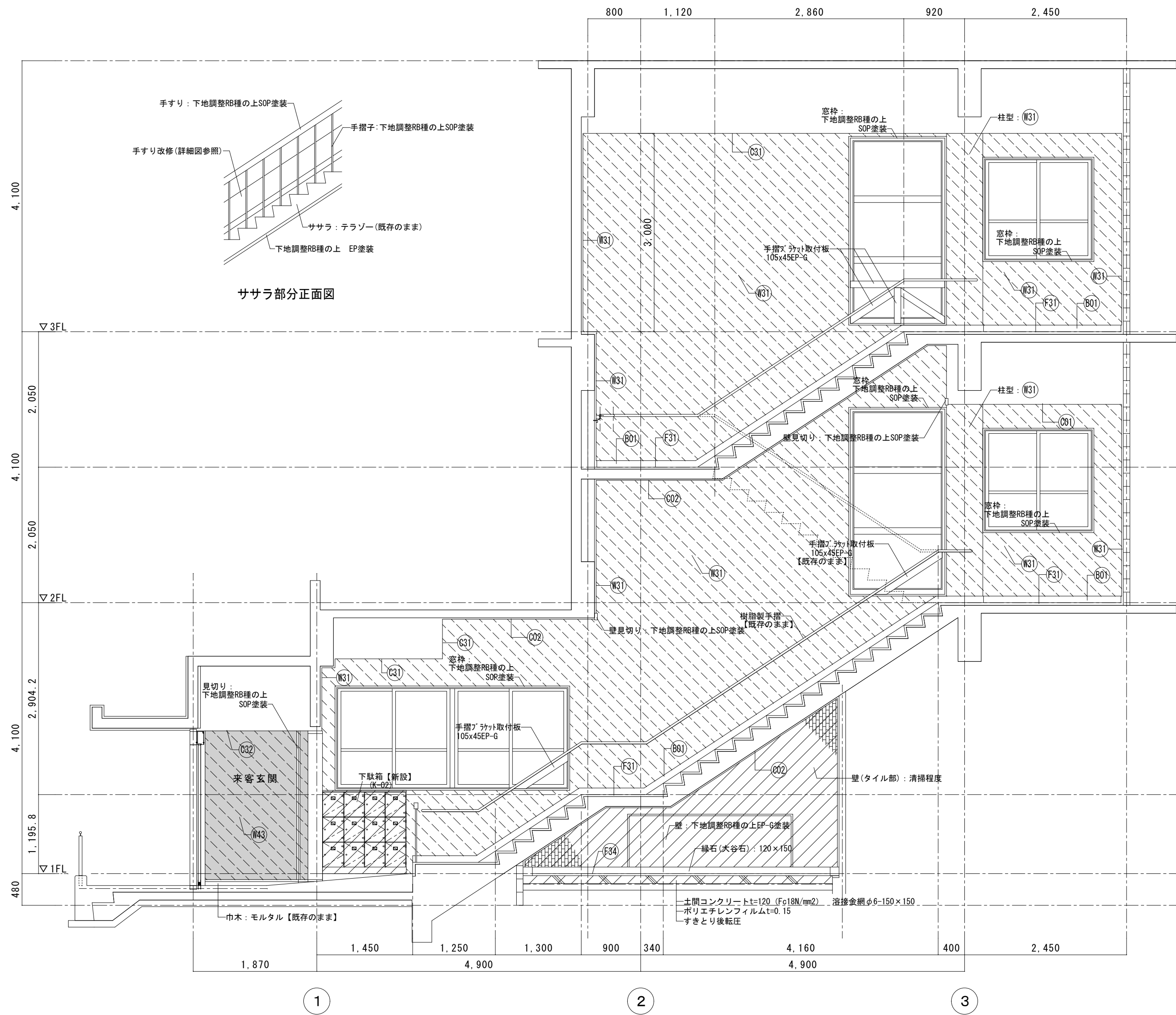
3 階平面詳細図



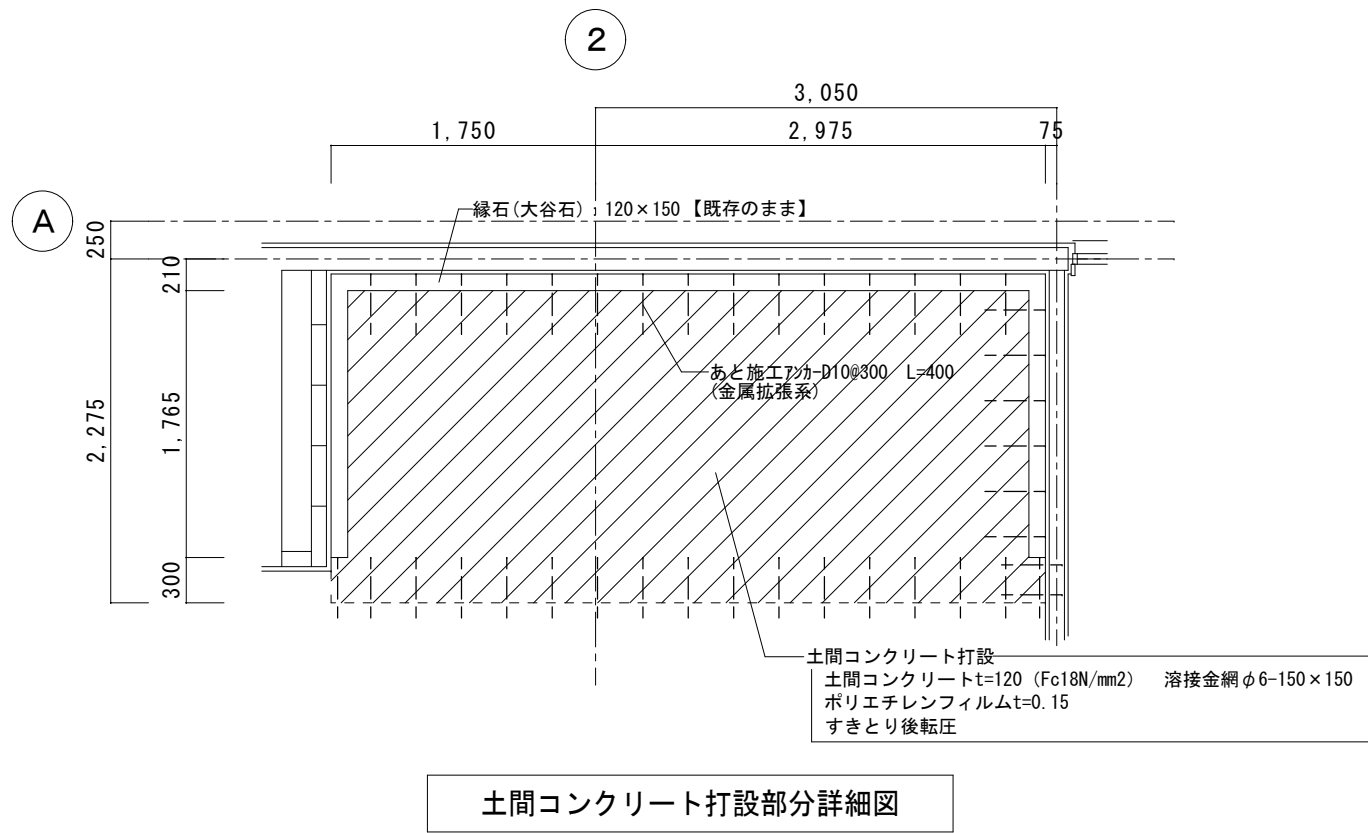
2 階平面詳細図



1 階平面詳細図



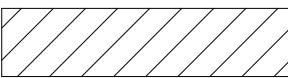
断面詳細図



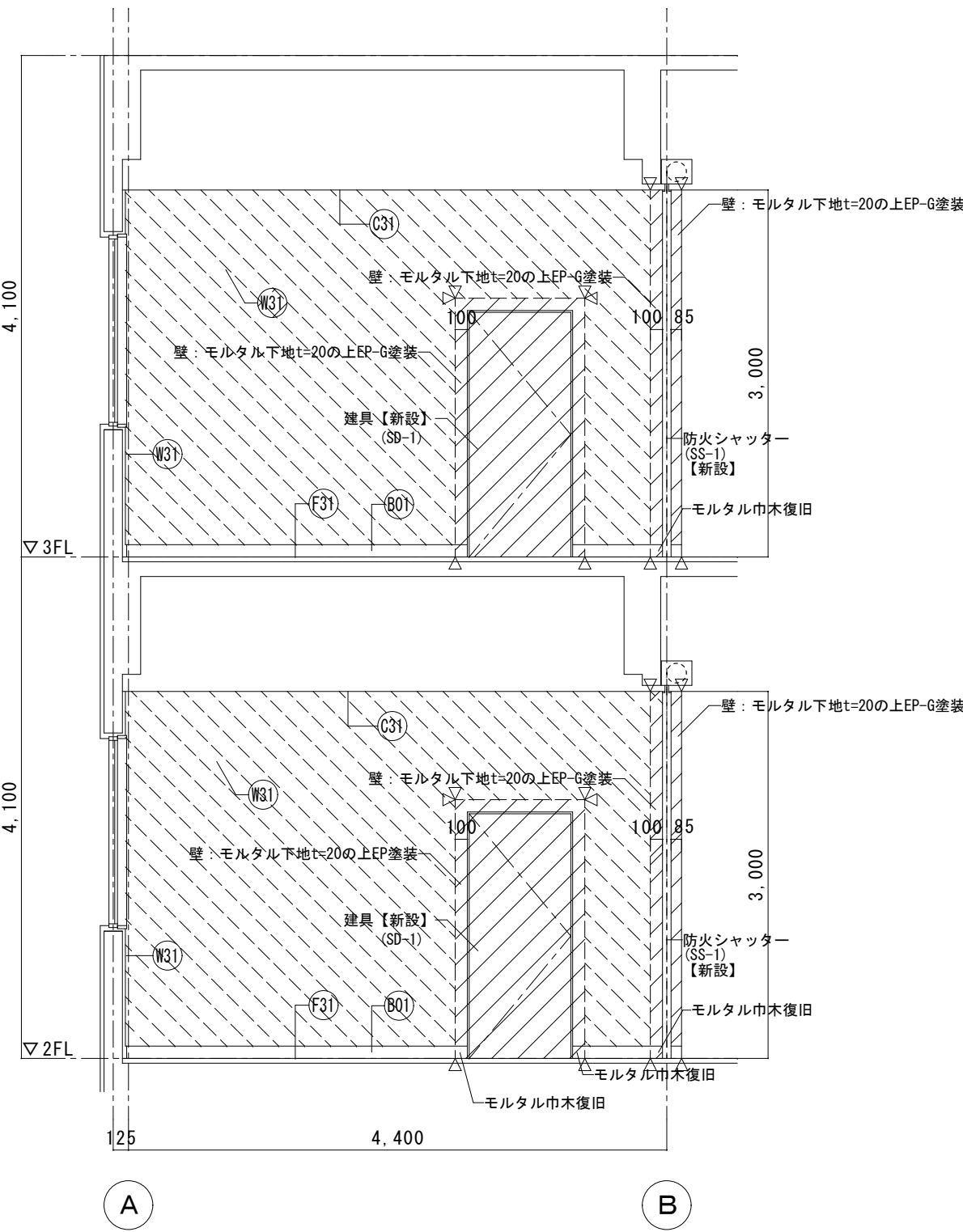
土間コンクリート打設部分詳細図

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

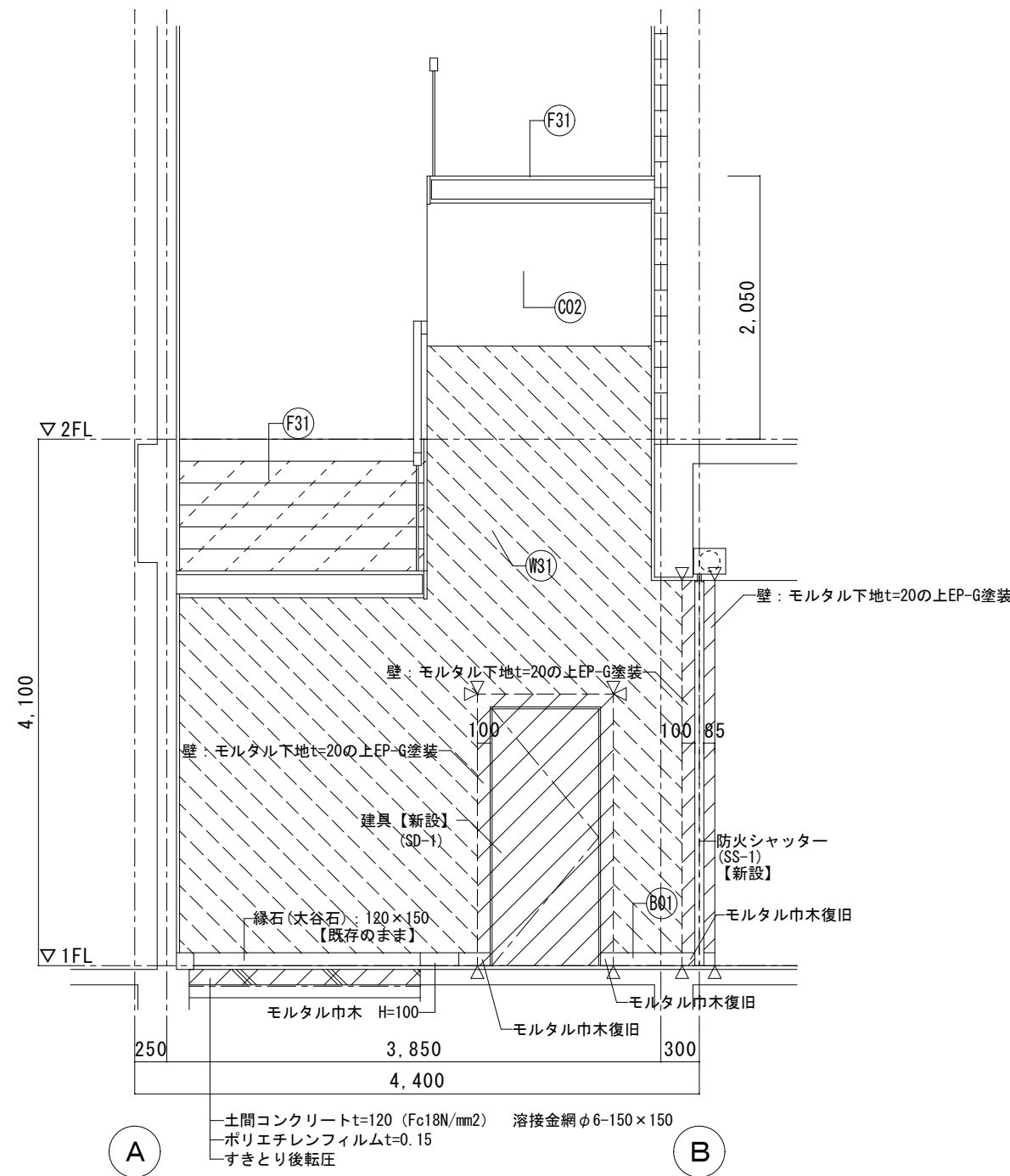
| 1 階 来客玄関・階段1 | | 仕上表（改修後） | | |
|--------------|-------|------------------|----------------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | (F31) | ビニル床シートt=2.0貼 | ケレン掛け(ポリッシャー) | |
| | (F32) | 防滑性ビニル床シートt=2.0貼 | ケレン掛け(ポリッシャー) | |
| | (F34) | ビニル床シートt=2.0貼 | 土間コンクリート新設の上モルタルt=30 | |
| 巾 木 | (B01) | 清掃程度 | テラゾー H=100 | |
| 壁 | (W31) | 下地調整R8種の上EP-G塗装 | | |
| | (W43) | 下地調整R8種の上EP-G塗装 | 複層塗材E吹付 | |
| 天 井 | (C31) | 下地調整R8種の上EP塗装 | 既設天井仕上材 | |
| | (C02) | EP塗装 | ★ゾノライト吹付t=15 | |
| | (C32) | 清掃程度 | 鋼製スパンドレル | |
| | | | | |
| 備 考 | | 下足入れ、卒業制作【施工中発生】 | | |

 その他改修範囲を示す

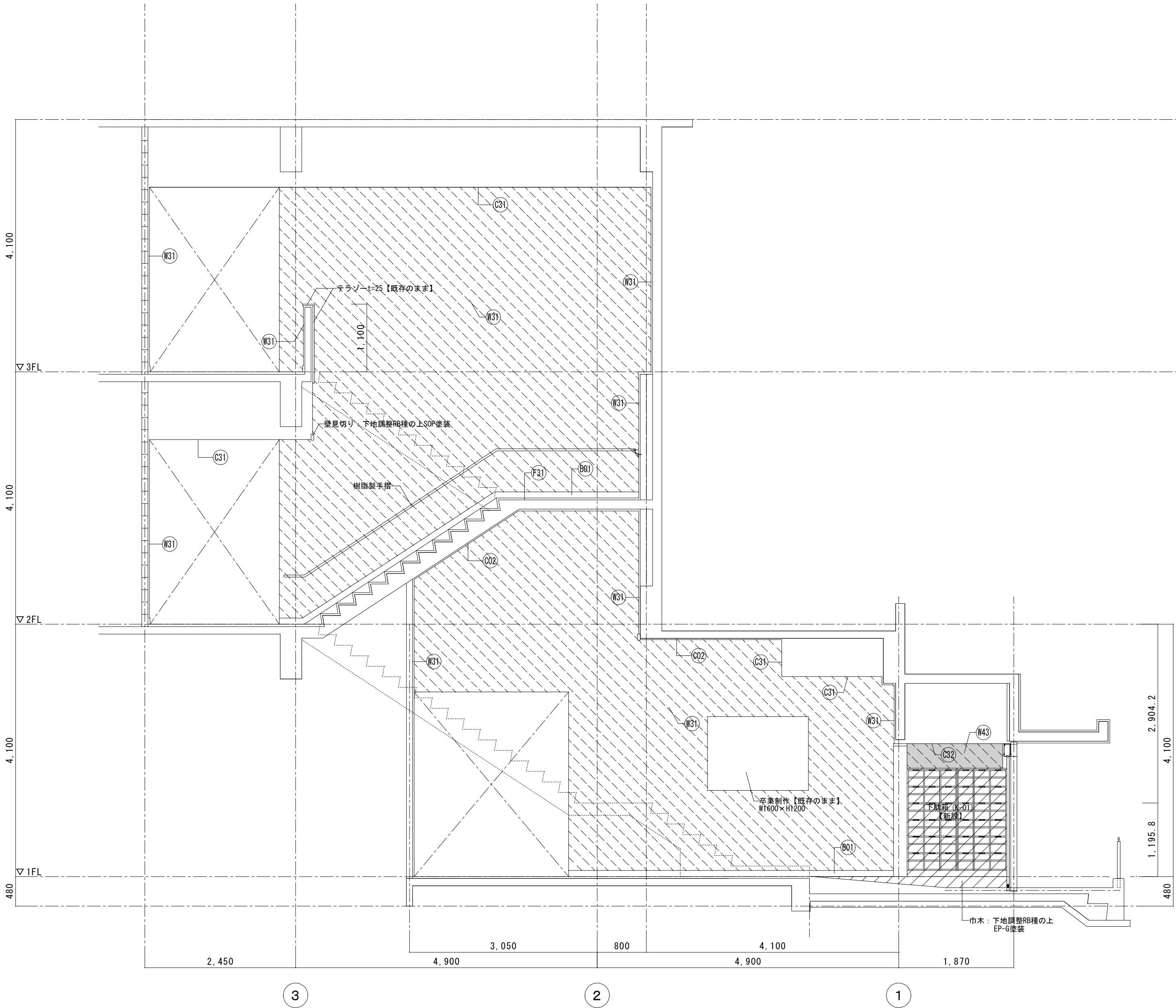
▽ シーリング (PU-2 W10)新設 示す



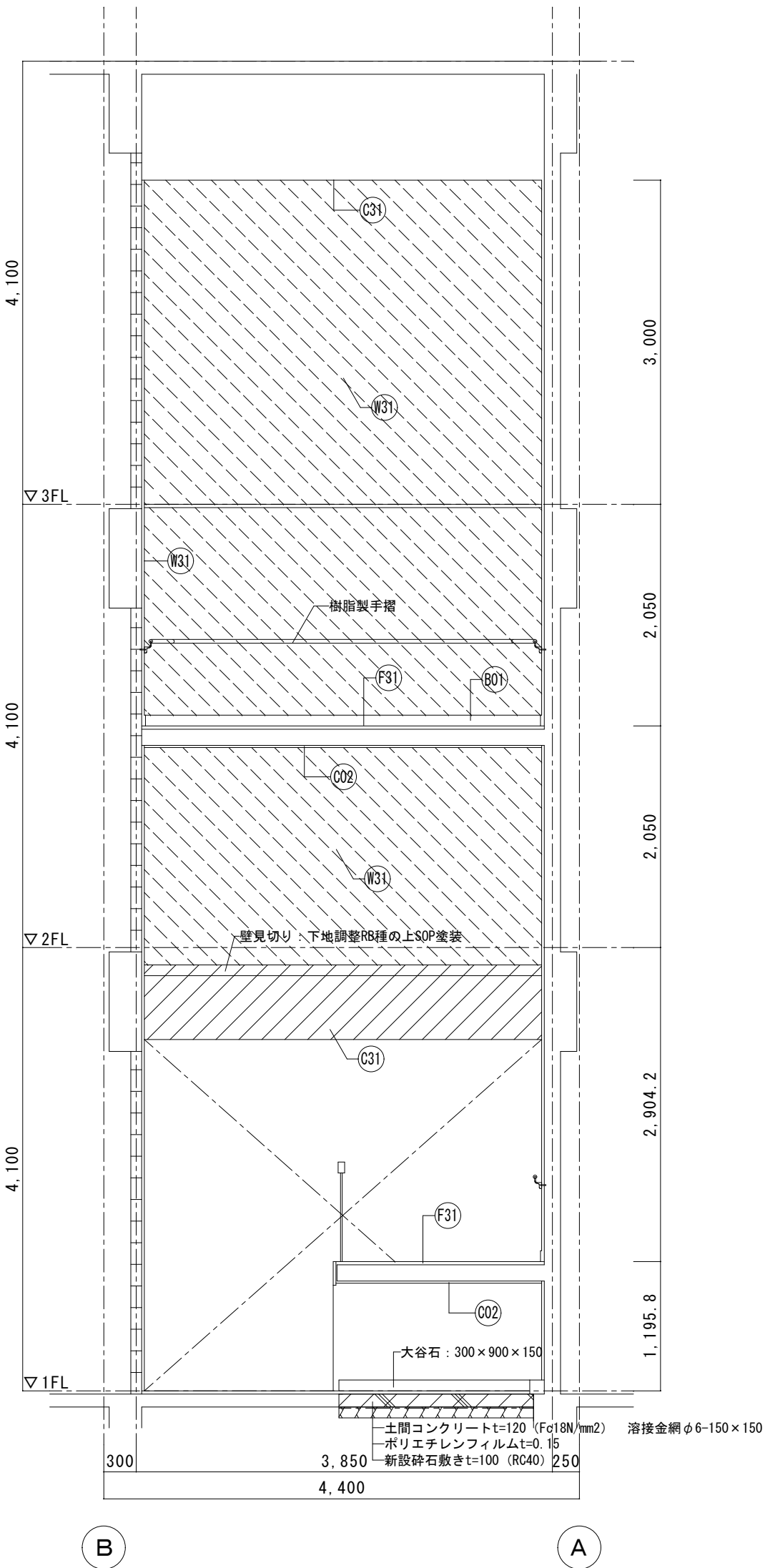
断面詳細図



断面詳細図



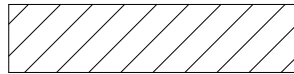
断面詳細図

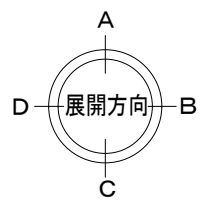
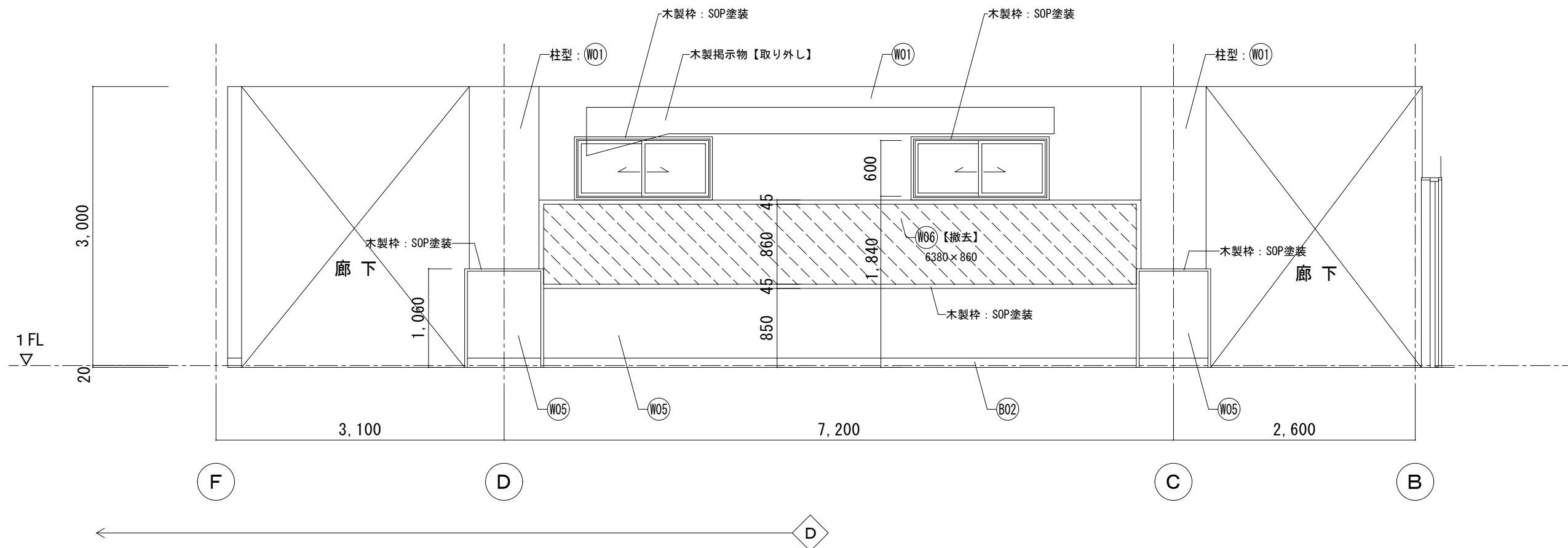
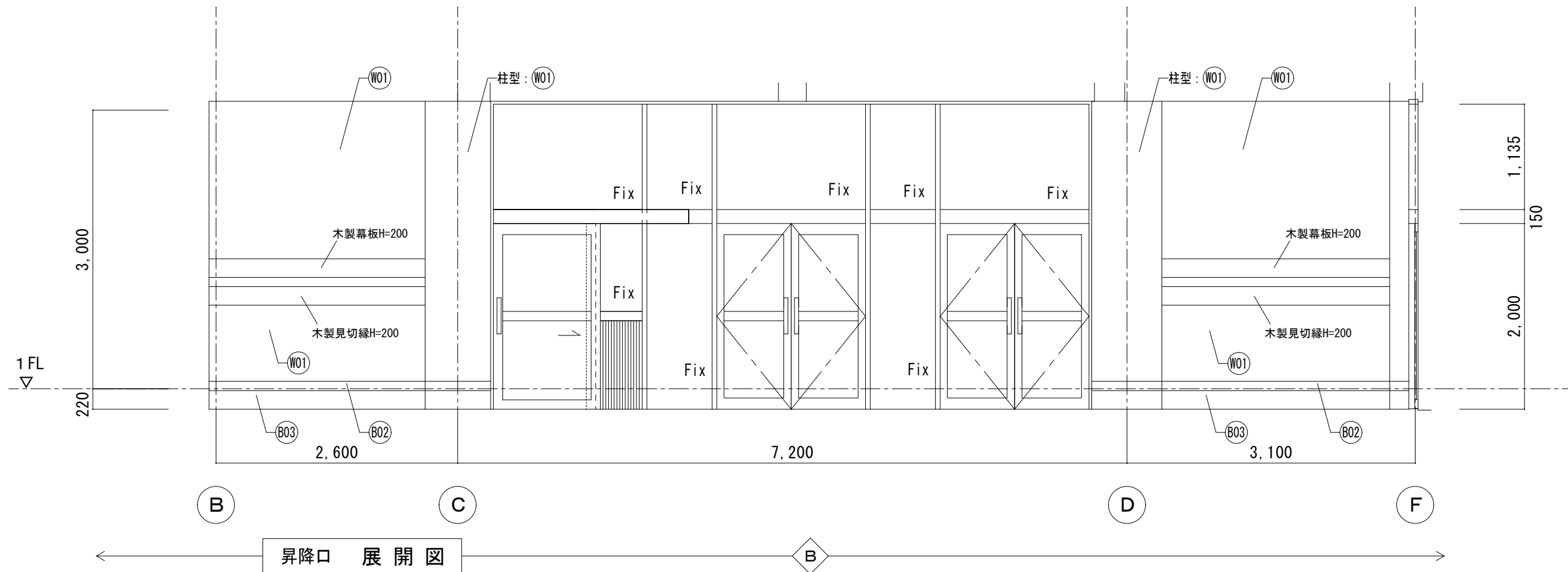
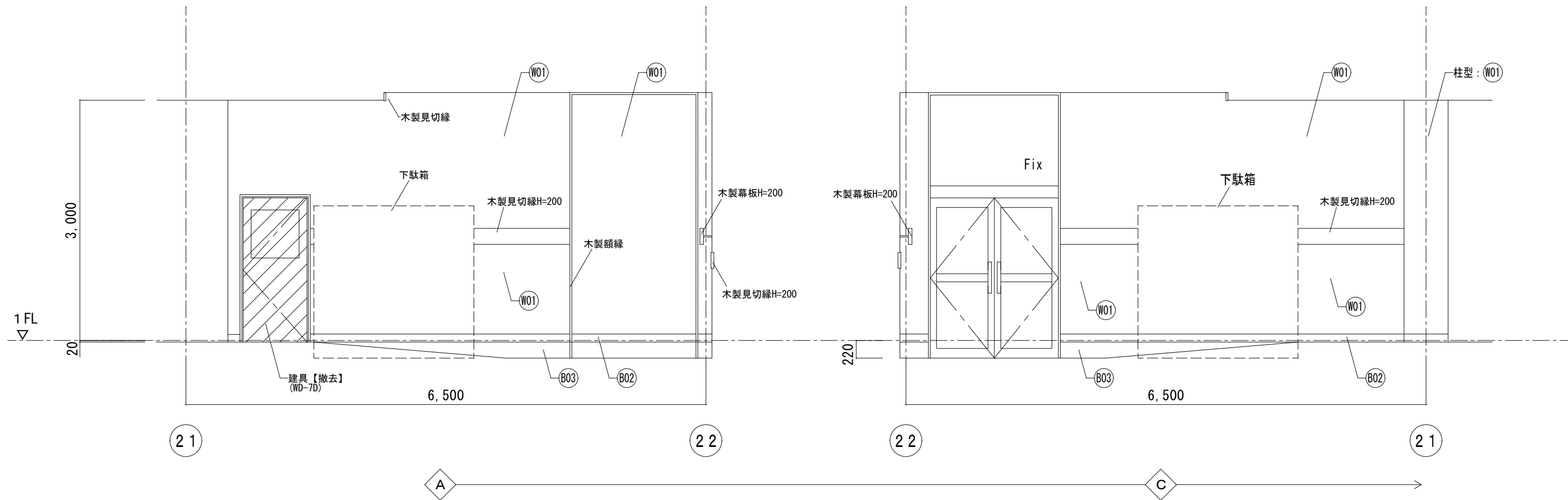


断面詳細図

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

| 1階 生徒昇降口 | | 仕上表（改修前） | | |
|----------|-----|-----------------------|-------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | F01 | 長尺ビニル床シート貼 | モルタル | |
| | F02 | 防滑性塗床 | コンクリート金ゴテ押え | |
| | F05 | モルタル金ゴテ押え | | |
| 巾 木 | B02 | 木製巾木 H=100 SOP塗装 | | |
| | B03 | モルタル巾木 | | |
| 腰 壁 | W05 | 積層フローリング張 | | |
| 壁 | W01 | EP塗装 | モルタル金ゴテ押え | |
| | W06 | 掲示クロス貼 | ラワン合板 | |
| 天 井 | C08 | GB-D(T) | LGS | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 3.000 | | |
| 備 考 | | 下足箱【既存のまま】、木製掲示物【取外し】 | | |

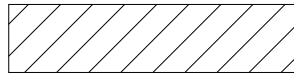
 その他撤去範囲を示す

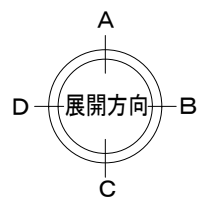
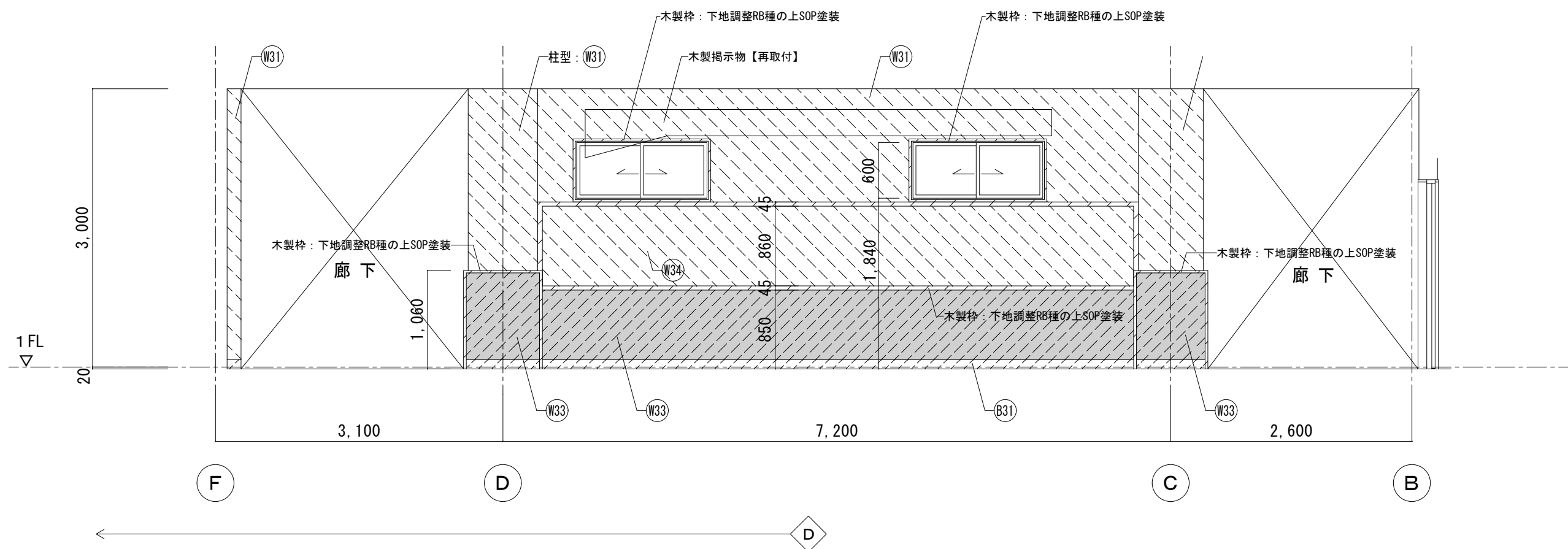
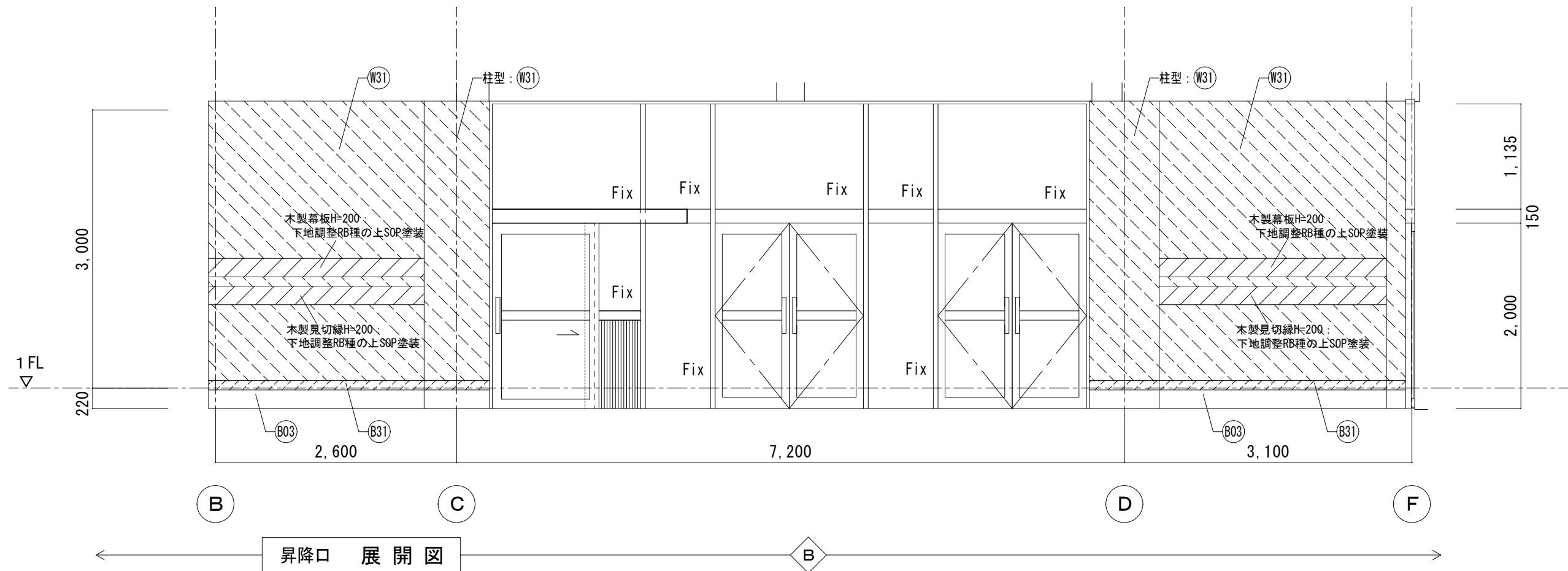
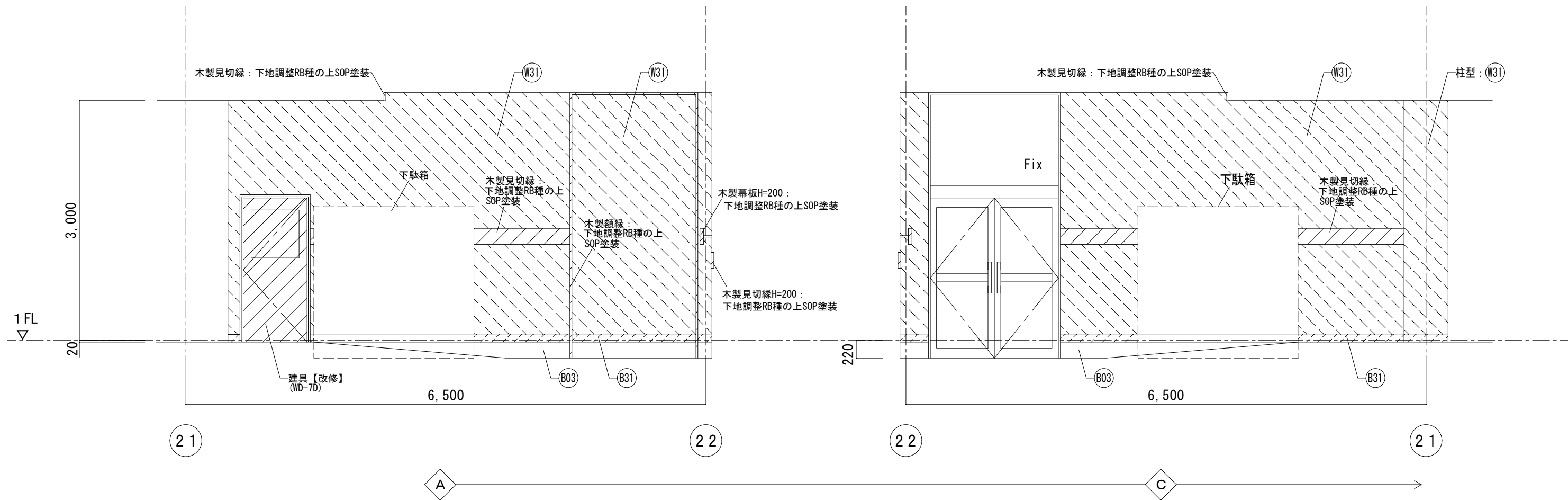


21 平面詳細図 22

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

| 1階 生徒昇降口 | | 仕上表（改修後） | | |
|----------|-----|----------------------|---------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | F31 | ビニル床シートt=2.0貼 | ケレン掛け(ポリッシャー) | |
| | F32 | 防滑性ビニル床シートt=2.0貼 | ケレン掛け(ポリッシャー) | |
| | F05 | モルタル金ゴテ押え
(既存のまま) | | |
| 巾 木 | B31 | 下地調整RB種の上SOP塗装 | | |
| | B03 | モルタル巾木(既存のまま) | | |
| 腰 壁 | W33 | 下地調整RB種の上UC塗装 | | |
| 壁 | B31 | 下地調整RB種の上EP-G塗装 | | |
| | B34 | 掲示クロス貼（アルミ押え共） | 既設ラワン合板下地利用 | |
| 天 井 | C06 | 下地調整RB種の上EP塗装 | 既設天井仕上材 | |
| | | | | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製(既存のまま) | | |
| 天井高 | | 3.000 | | |
| 備 考 | | 下足箱【既存のまま】、木製掲示物【復旧】 | | |

 その他改修範囲を示す

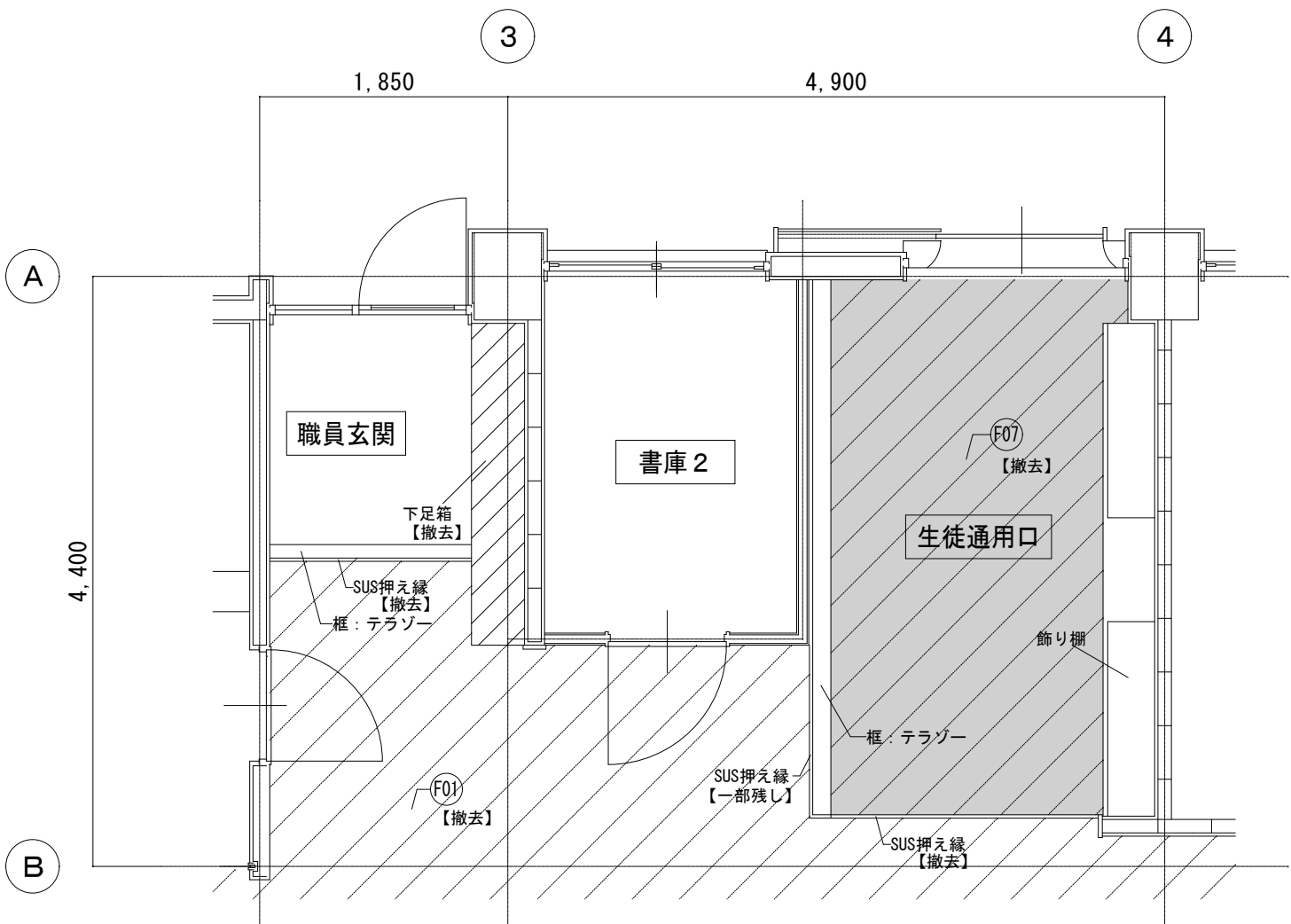


21 平面詳細図 22

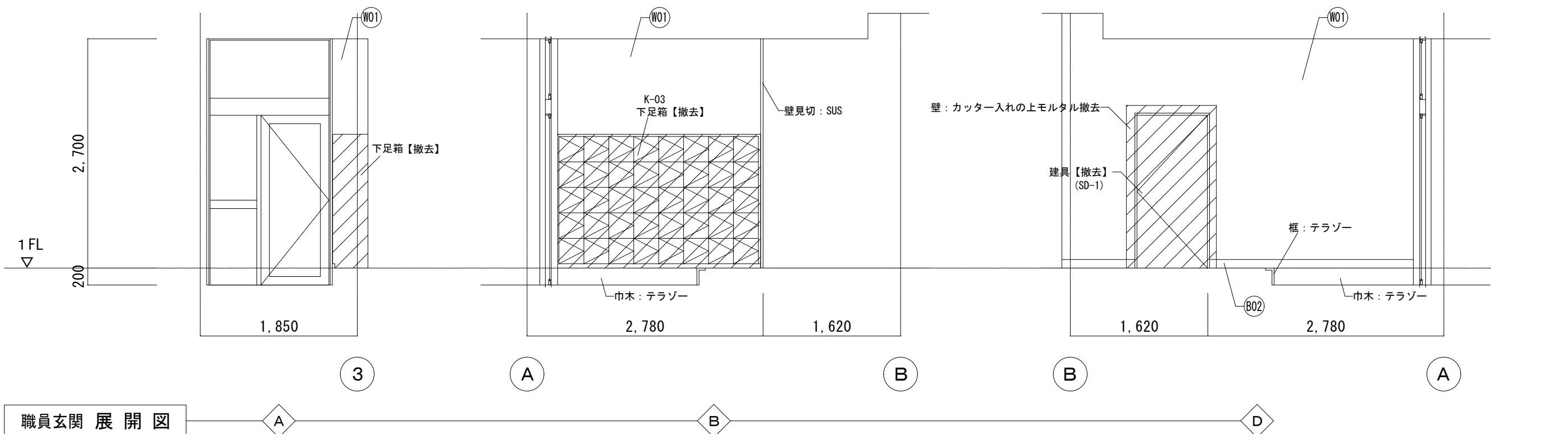
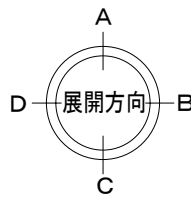
※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

| 1階 職員玄関 | | 仕上表（改修前） | | |
|---------|-----|--------------------|-----------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | F01 | ビニル床シート貼 | モルタル | |
| | F07 | 防滑性ビニル床シート貼 | モルタル | |
| 巾 木 | B02 | 木製巾木 H=100 SGP塗装 | | |
| | | | | |
| 壁 | N01 | EP塗装 | モルタル金ゴテ押え | |
| | N05 | 積層フローリング張 | | |
| 天 井 | C05 | 鋼製スバンドレル | LGS | |
| | | | | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 2,700 | | |
| 備 考 | | 下足入【撤去】、飾り棚【既存のまま】 | | |

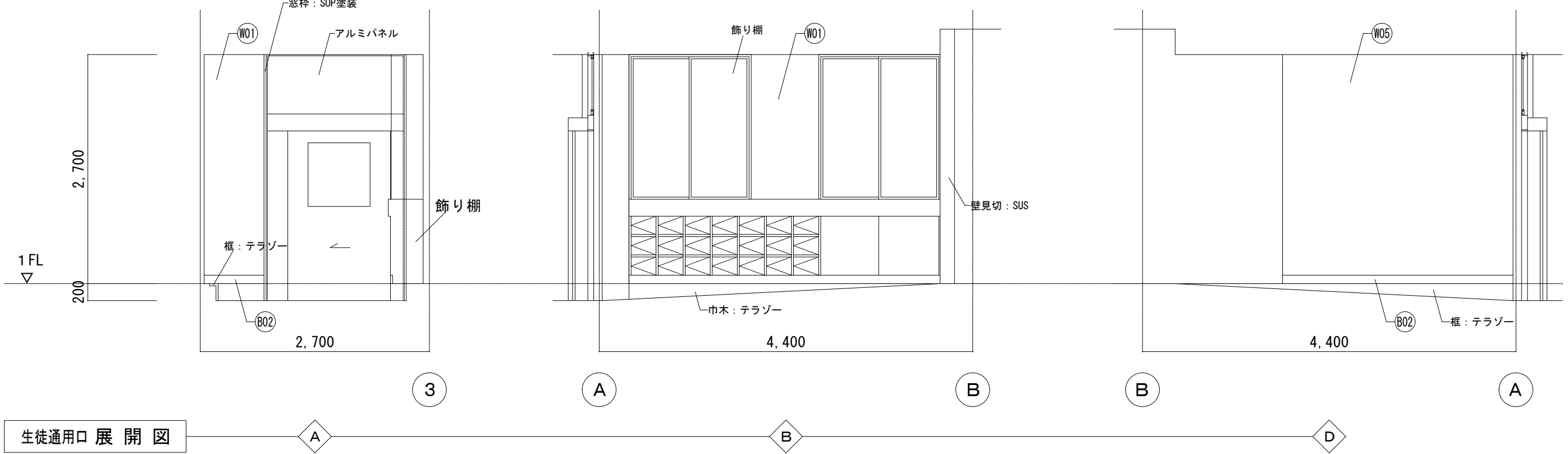
その他撤去範囲を示す



平面詳細図



職員玄関 展開図

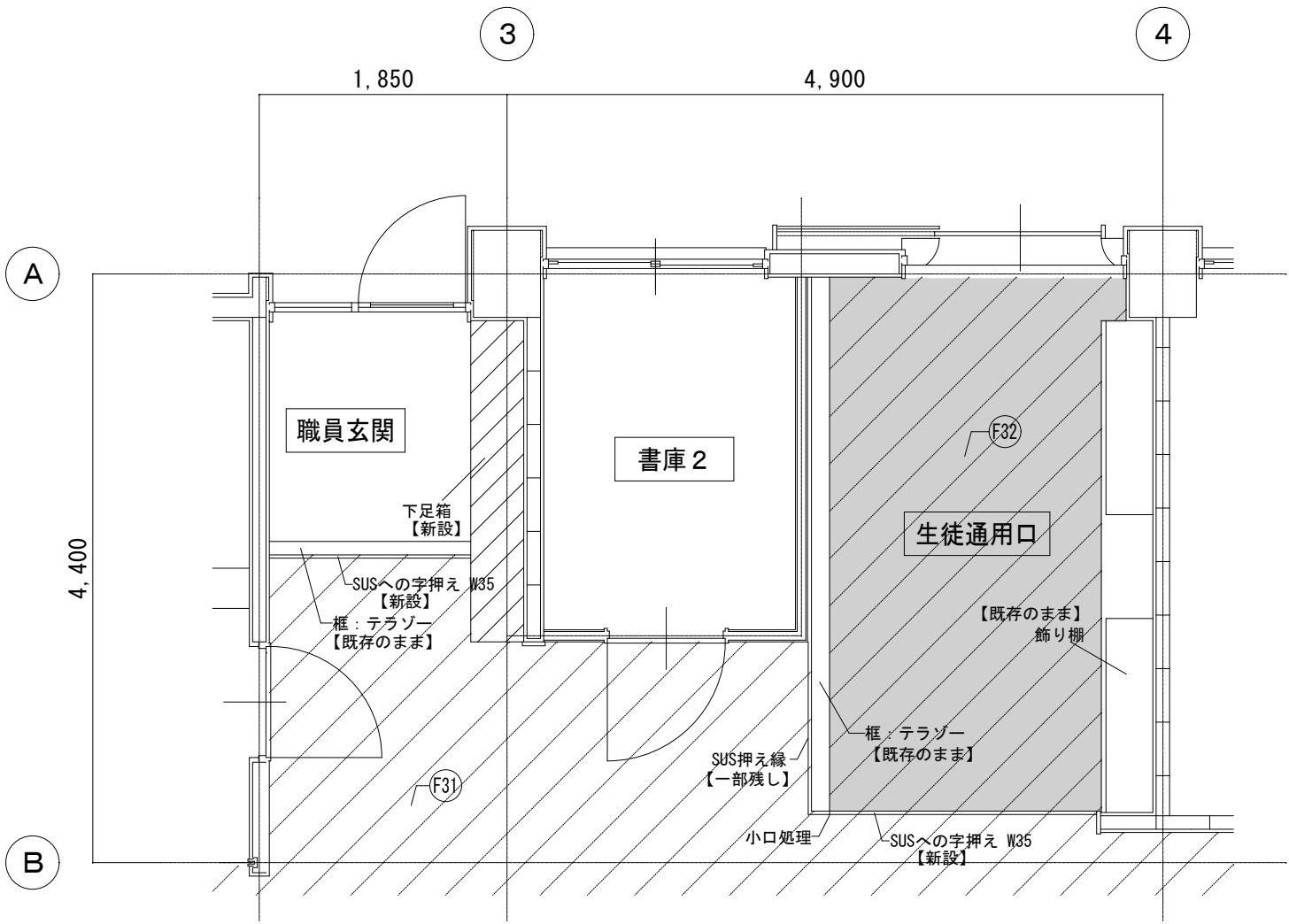


生徒通用口 展開図

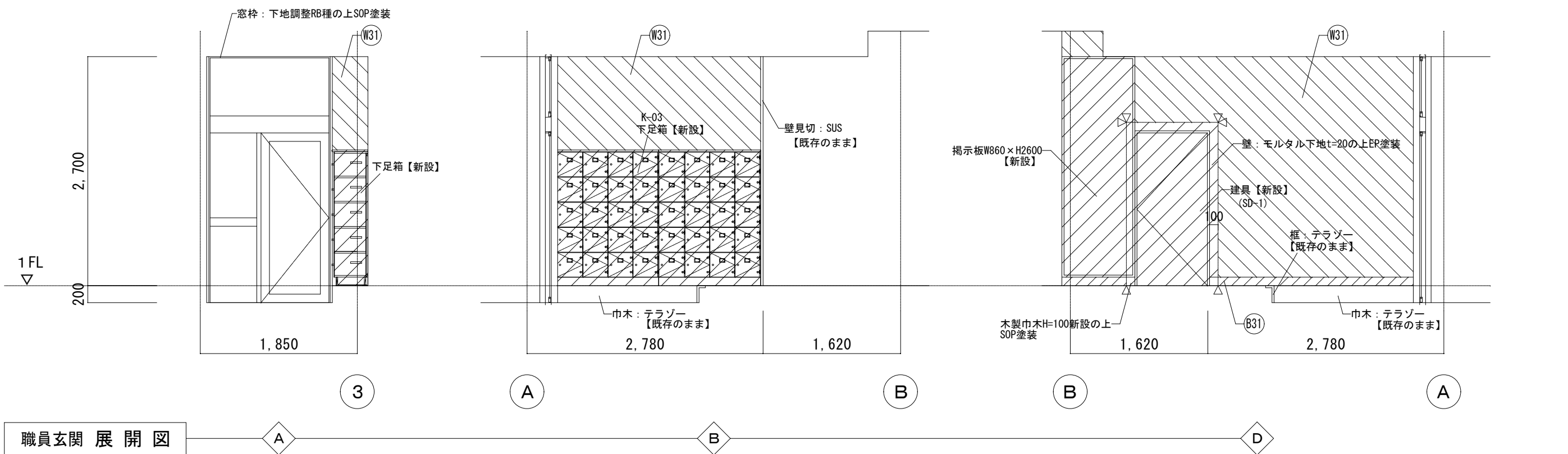
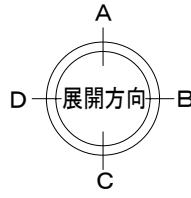
| 1階 職員玄関 | | 仕上表（改修後） | | |
|---------|-----|----------------------------|---------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | F31 | ビニル床シートt=2.0貼 | ケレン掛け(ポリッシャー) | |
| | F32 | 防滑性ビニル床シートt=2.0貼 | ケレン掛け(ポリッシャー) | |
| 巾 木 | B31 | 下地調整RB種の上SGP塗装 | 既設木製巾木 | |
| | | | | |
| 壁 | N31 | 下地調整RB種の上EP-G塗装 | | |
| | N05 | 既存のまま | 積層フローリング張 | |
| 天 井 | C32 | 清掃程度 | 鋼製スバンドレル | |
| | | | | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 2,700 | | |
| 備 考 | | 下足入【新設】、掲示板【新設】、飾り棚【既存のまま】 | | |

その他改修範囲を示す

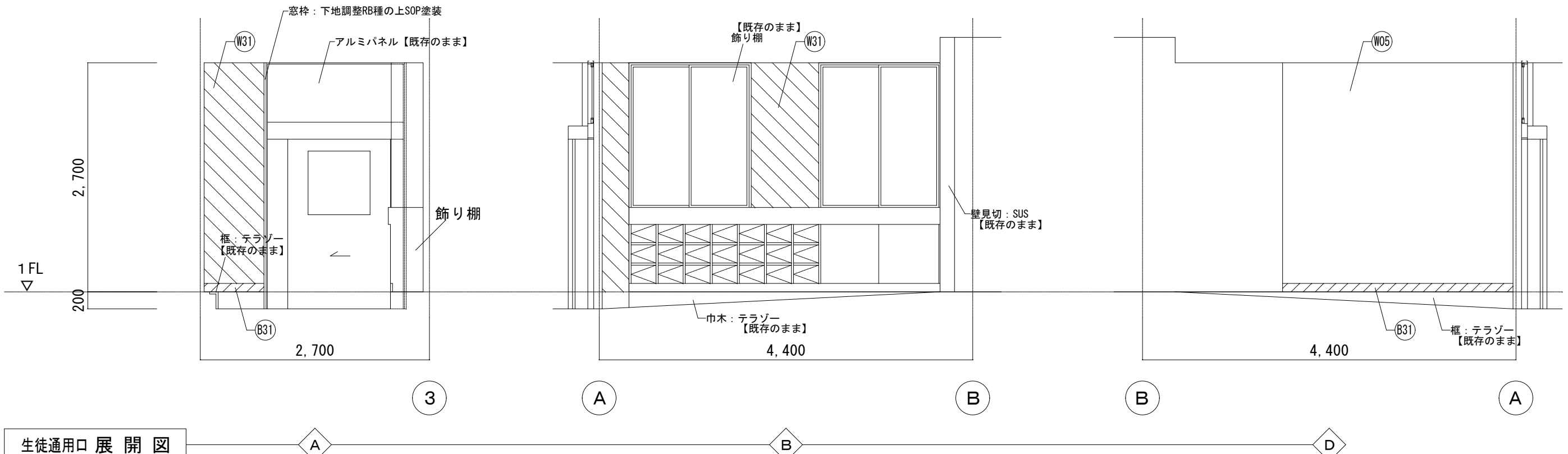
▽ シリリング (PU-2 W10) 新設 示す



平面詳細図



職員玄関 展開図



生徒通用口 展開図

| 改修項目 | | | |
|------|------|------|--------|
| 符号 | 部位 | 改修内容 | 改修方法 |
| ① | 小便器 | 改修 | 撤去の上新設 |
| ② | 手洗い器 | 更新 | 撤去の上新設 |

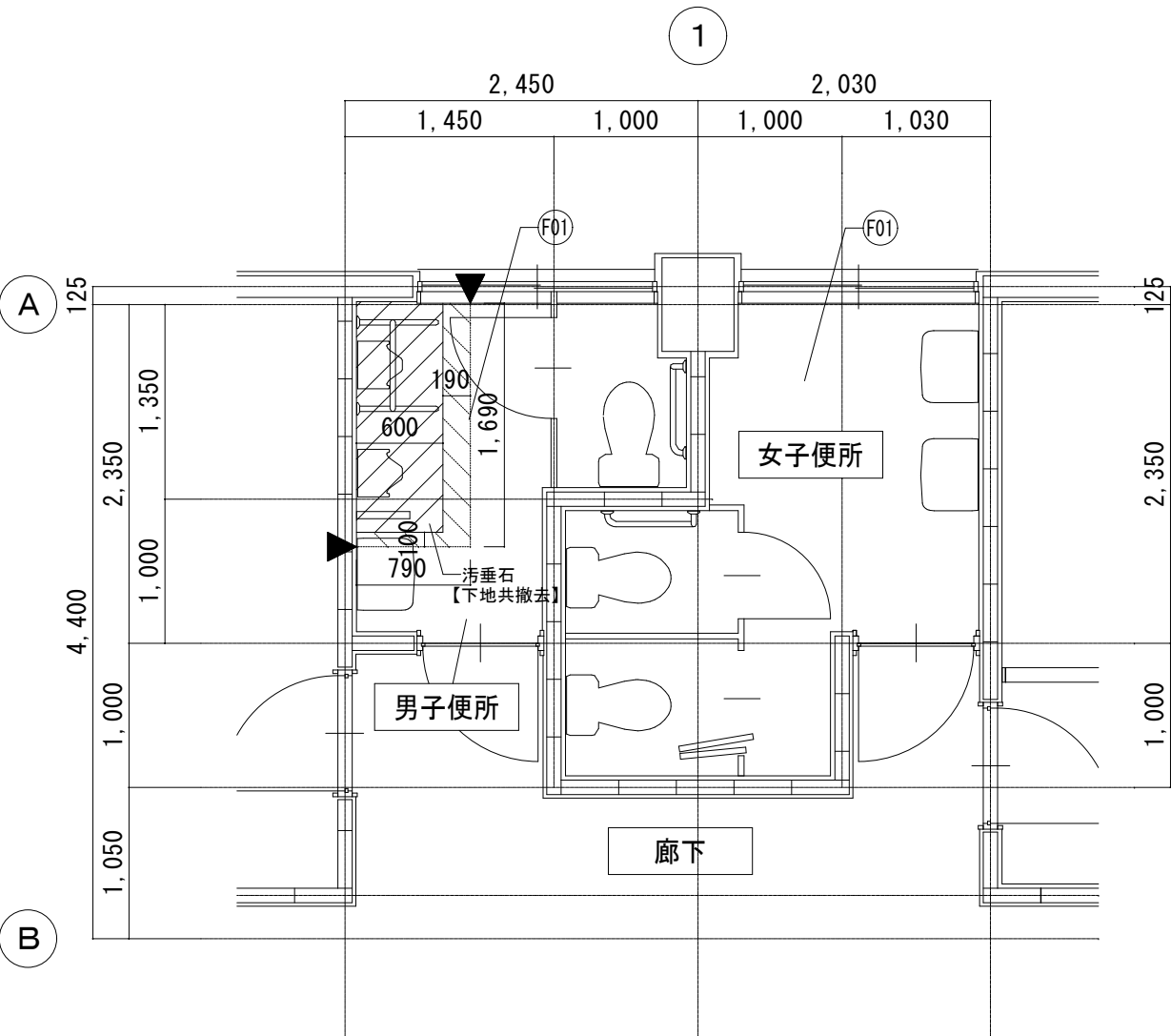
※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。

| 1階 男子職員便所 仕上表（改修前） | | | | |
|--------------------|----------------------------------|----------------|-----------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | F01 | 長尺ビニル床シート貼 | モルタル | |
| 腰 壁 | N02 | 75角タイル貼 H=1800 | モルタル | |
| 壁 | N01 | EP塗装 | モルタル金ゴテ押え | |
| 天 井 | O04 | GB-D(T) | LGS | |
| 廻 縁 | | | | |
| 天井高 | 2.595 | | | |
| 備 考 | 小便器(撤去(機械設備工事))、手洗い器(撤去(機械設備工事)) | | | |

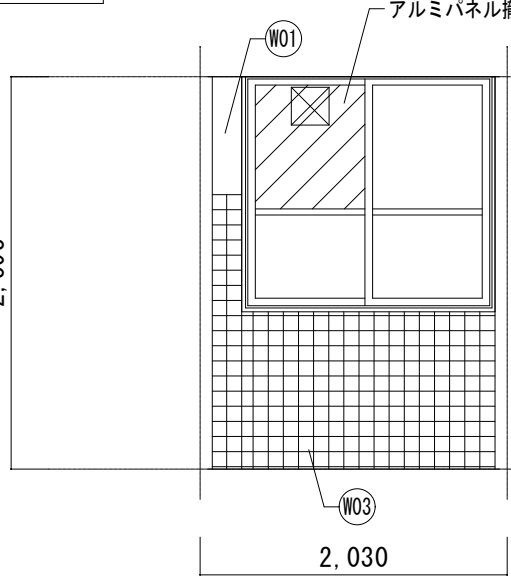
| 1階 女子職員便所 仕上表（改修前） | | | | |
|--------------------|------------------|-----------------|-----------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | F01 | 長尺ビニル床シート貼 | モルタル | |
| 腰 壁 | N03 | 100角タイル貼 H=1800 | モルタル | |
| 壁 | N01 | EP塗装 | モルタル金ゴテ押え | |
| | N04 | 化粧ケイカル貼 | | |
| 天 井 | O04 | GB-D(T) | LGS | |
| 廻 縁 | | | | |
| 天井高 | 2.595 | | | |
| 備 考 | 手洗い器(撤去(機械設備工事)) | | | |

その他撤去範囲を示す

カッター入れを示す

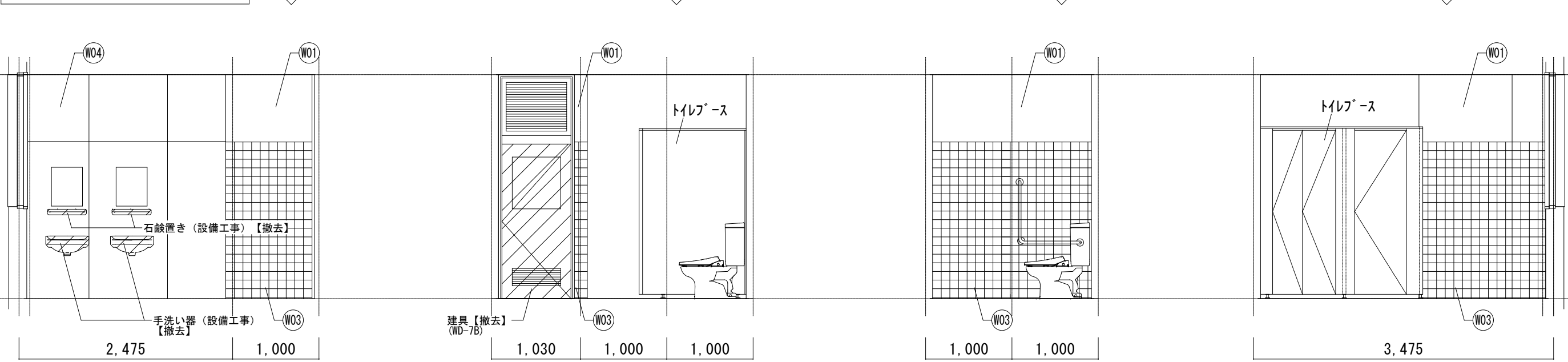


平面詳細図



男子職員便所 展開図

男子職員便所 展開図

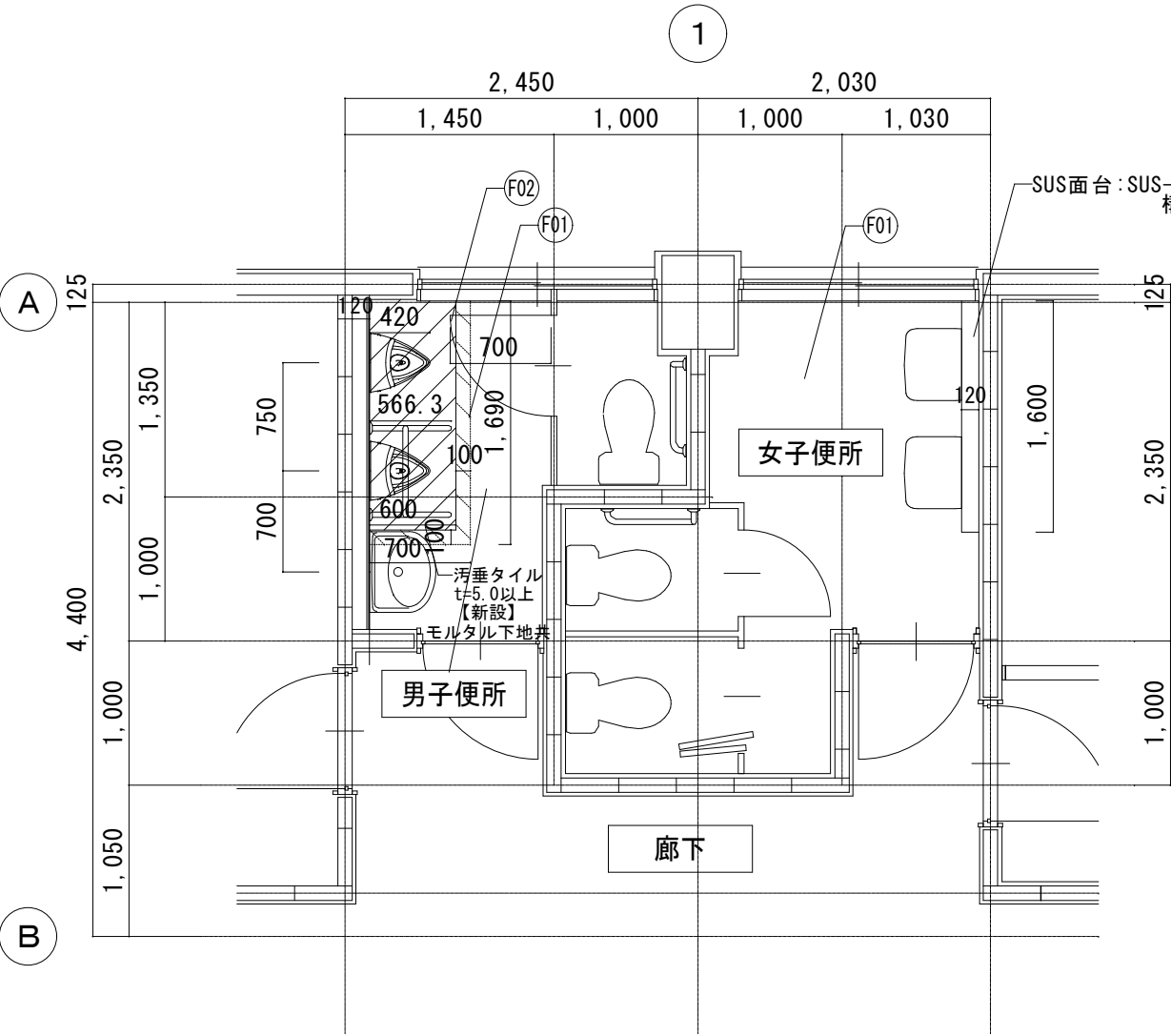


※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。

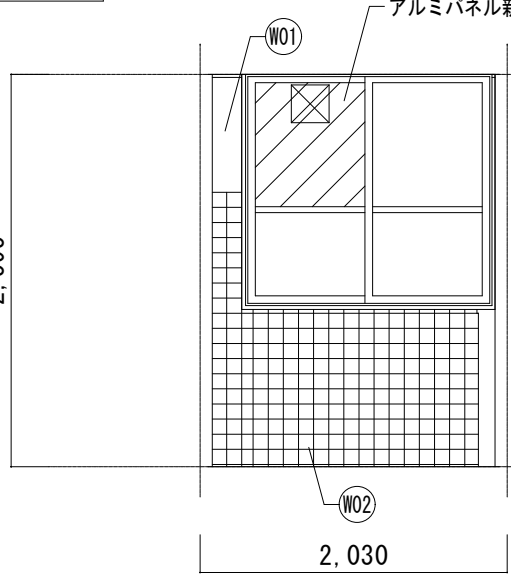
| 1階 男子職員便所 仕上表（改修後） | | | | |
|--------------------|----------------------------------|---------------------------|-----------------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | F01 | 長尺ビニル床シート貼
(既存のまま) | モルタル | |
| | F02 | 防汚防滑性
ビニル床シートt=2.0貼 | | |
| 腰 壁 | N02 | 75角タイル貼 H=1800
(既存のまま) | | |
| 壁 | N01 | EP塗装 (既存のまま) | LGSw65下地+構造用合板t=24+12 | |
| | N32 | 化粧ケイカルt=6.0貼 | | |
| 天 井 | O04 | GB-D(T) (新設) | LGS | |
| 廻 縁 | | | | |
| 天井高 | 2.595 | | | |
| 備 考 | 小便器(新設(機械設備工事))、手洗い器(新設(機械設備工事)) | | | |

| 1階 女子職員便所 仕上表（改修後） | | | | |
|--------------------|------------------|----------------------------|-----------------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | F01 | 長尺ビニル床シート貼
(既存のまま) | モルタル | |
| 腰 壁 | N02 | 100角タイル貼 H=1800
(既存のまま) | | |
| 壁 | N01 | EP塗装 (既存のまま) | LGSw100下地構造用合板t=24+12 | |
| | N04 | 化粧ケイカルt=6.0貼
(既存のまま) | | |
| | N05 | 化粧ケイカルt=6.0貼
(新設) | | |
| 天 井 | O04 | GB-D(T) (新設) | LGS | |
| 廻 縁 | | | | |
| 天井高 | 2.595 | | | |
| 備 考 | 手洗い器(新設(機械設備工事)) | | | |

その他改修範囲を示す

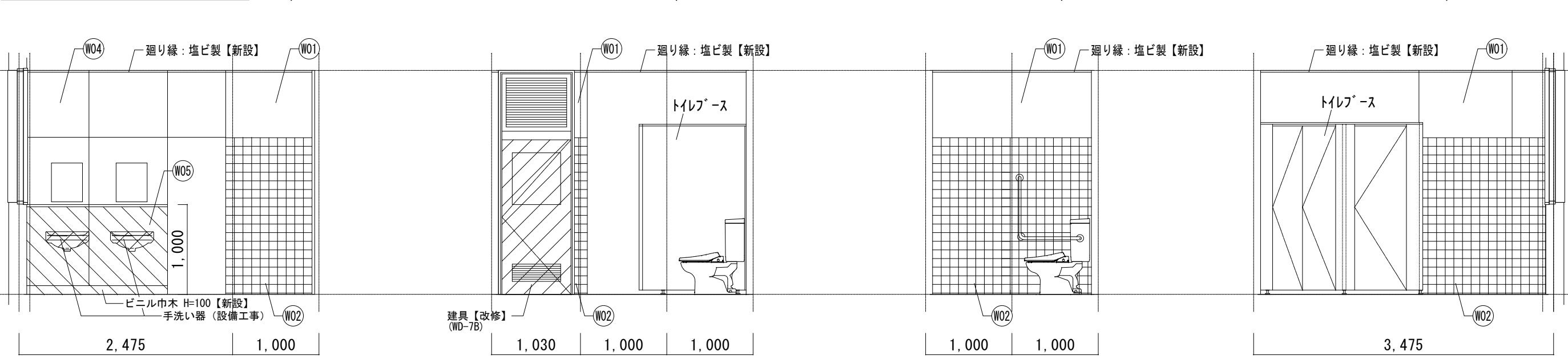


平面詳細図



男子職員便所 展開図

男子職員便所 展開図

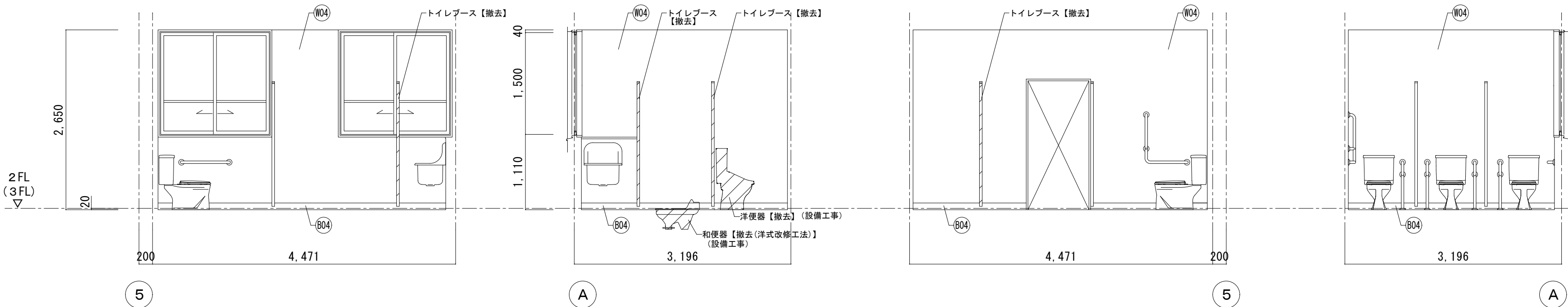
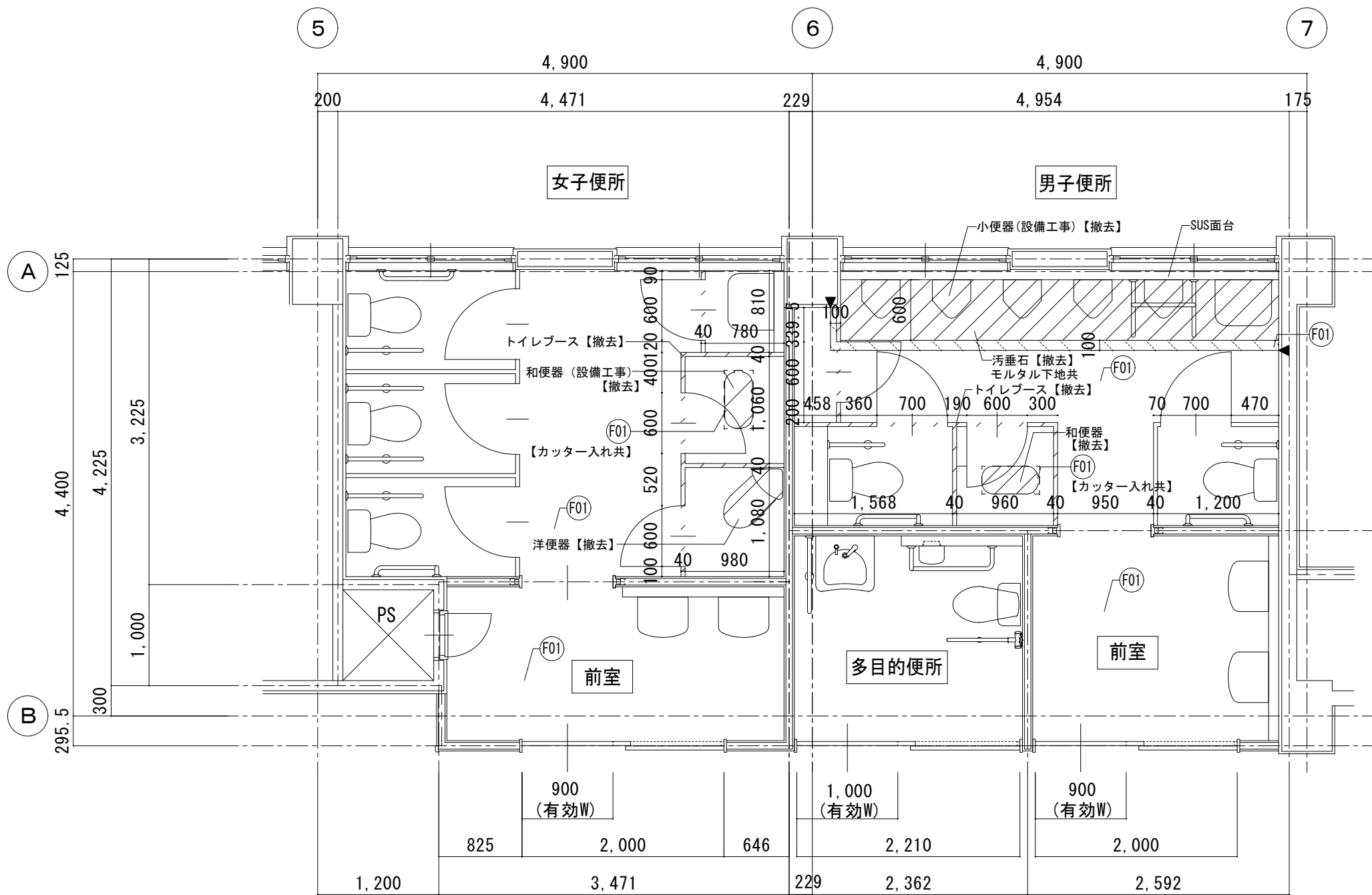


※改修部分【撤去】に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

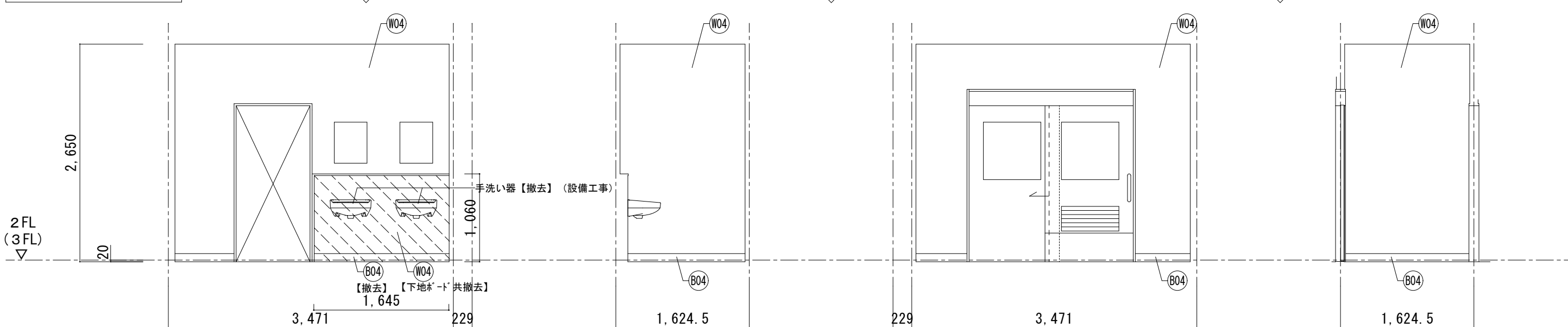
| 2・3階 便所 1 | | 仕上表（改修前） | | |
|-----------|-----|--------------|---------------------------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | F01 | ビニル床シート貼 | モルタル
和便器撤去部はコンクリートスラブ t=120共 | |
| 巾 木 | B04 | SUS巾木 H=100 | | |
| 壁 | N04 | 化粧ケイカル貼 | 下地ボード | |
| 天 井 | C04 | GB-D (T) | LGS | |
| 廻 線 | | | | |
| 天井高 | | 2.595 | | |
| 備 考 | | トイレブース【一部撤去】 | | |

その他撤去範囲を示す

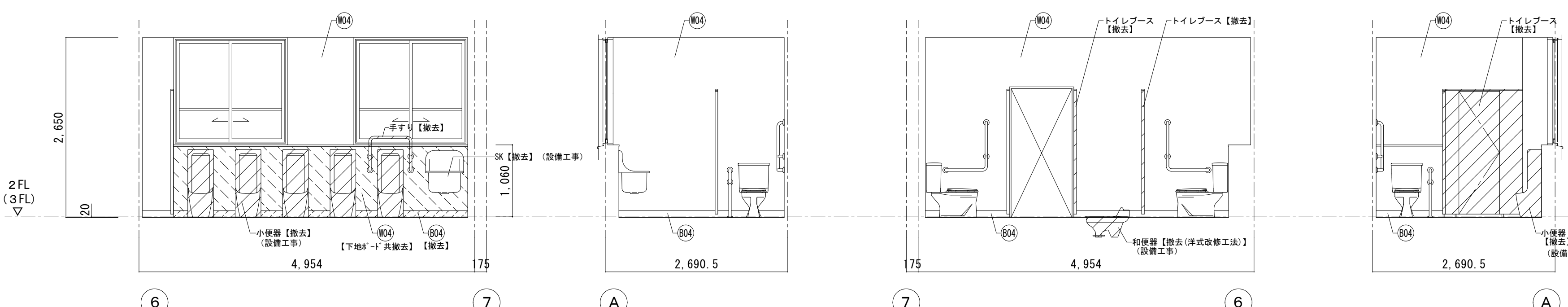
カッター入れを示す



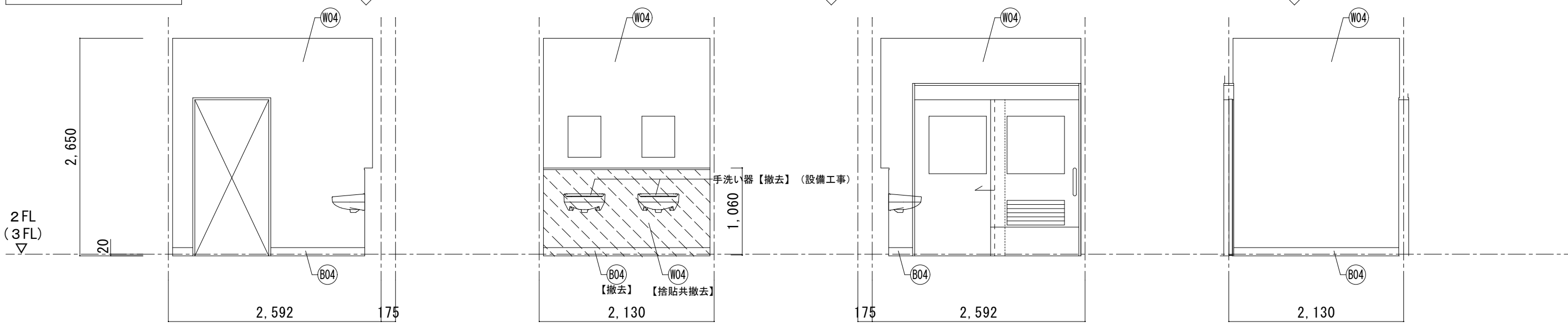
女子便所 展開図



前室 展開図



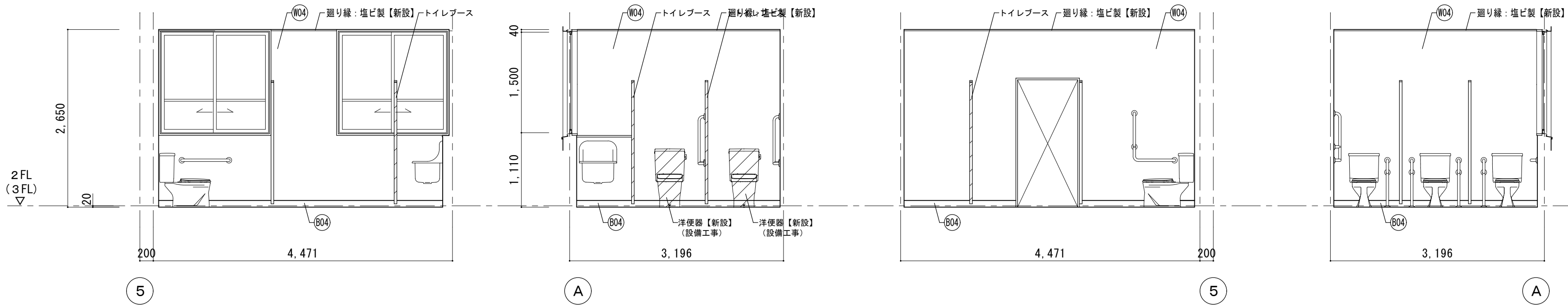
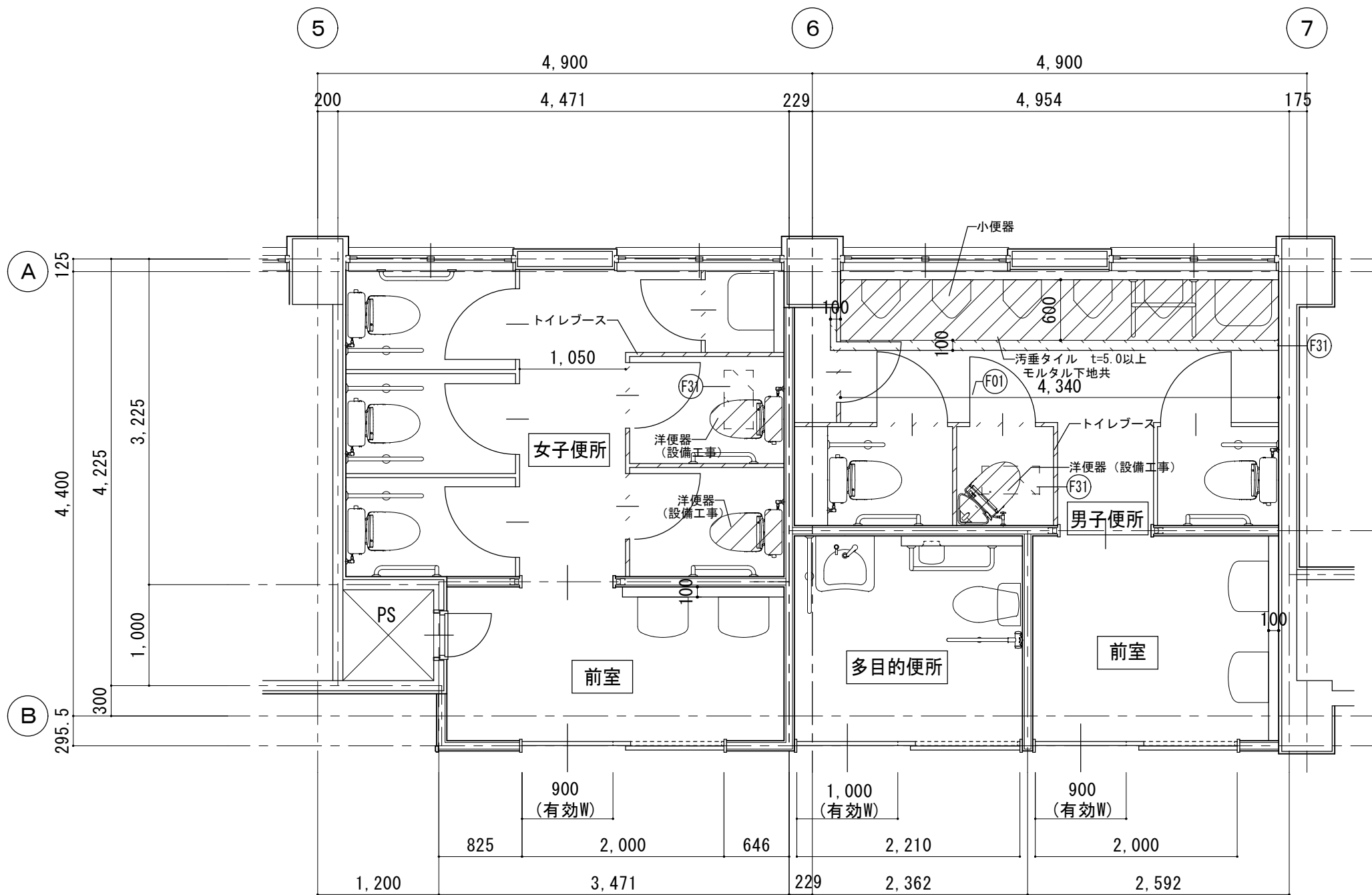
男子便所 展開図



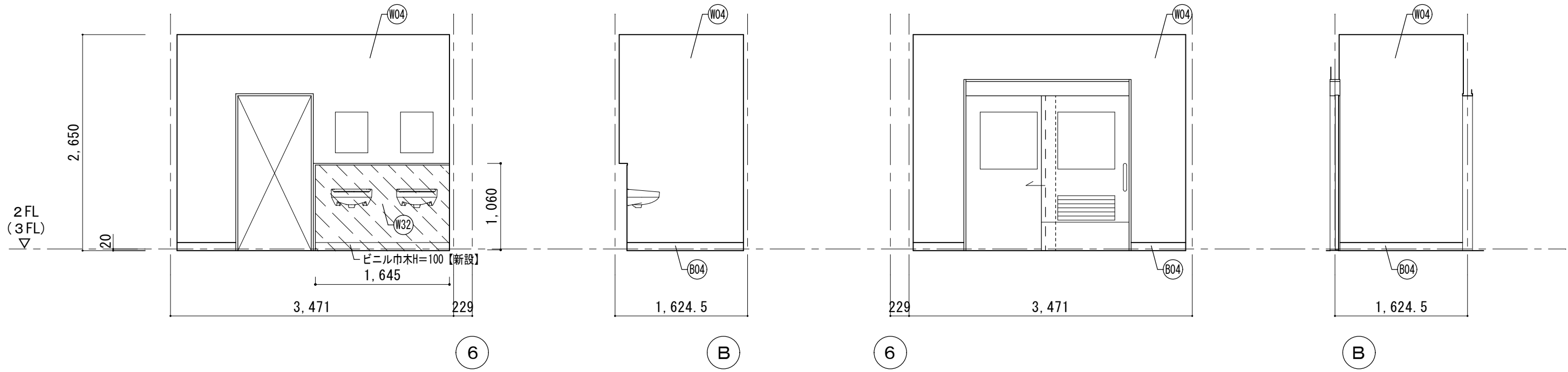
前室 展開図

| 2・3階 便所 1 | | 仕上表（改修後） | | |
|-----------|-----|------------------------|---|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | F01 | 長尺ビニル床シート貼
（既存のまま） | | |
| | F31 | 防汚防滑性
ビニル床シートt=2.0貼 | 和便器部分 コンクリートt=230
（A-60 雑詳細図 D-10参照） | |
| 巾 木 | B04 | SUS巾木 H=100
（既存のまま） | | |
| 壁 | N04 | 化粧ケイカル貼
（既存のまま） | | |
| | K32 | 化粧ケイカルt=6.0貼 | LGSw=65下地【既設利用】
+構造用合板12+24 | |
| 天 井 | O04 | GB-D（T）（既存のまま） | | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製【新設】（便所のみ） | | |
| 天井高 | | 2,595 | | |
| 備 考 | | トイレブース【一部新設】 | | |

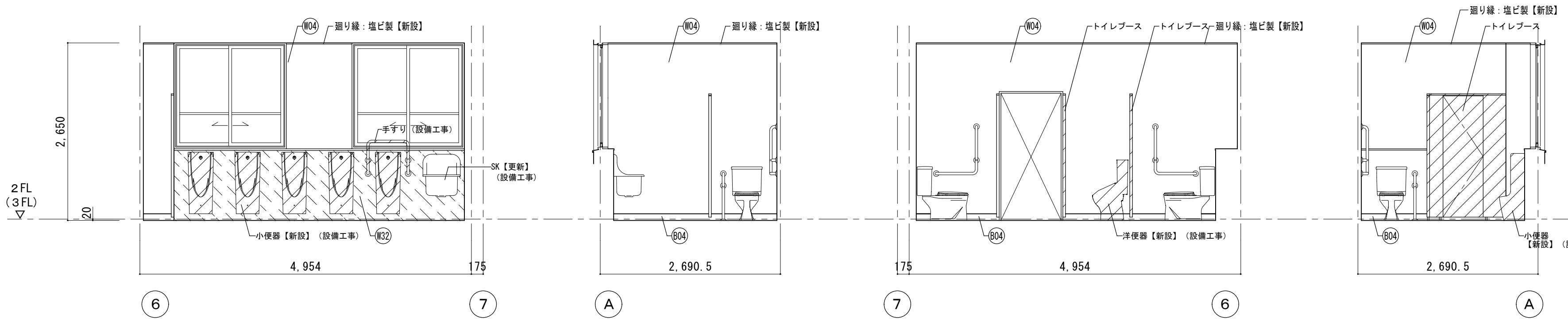
 その他改修範囲を示す



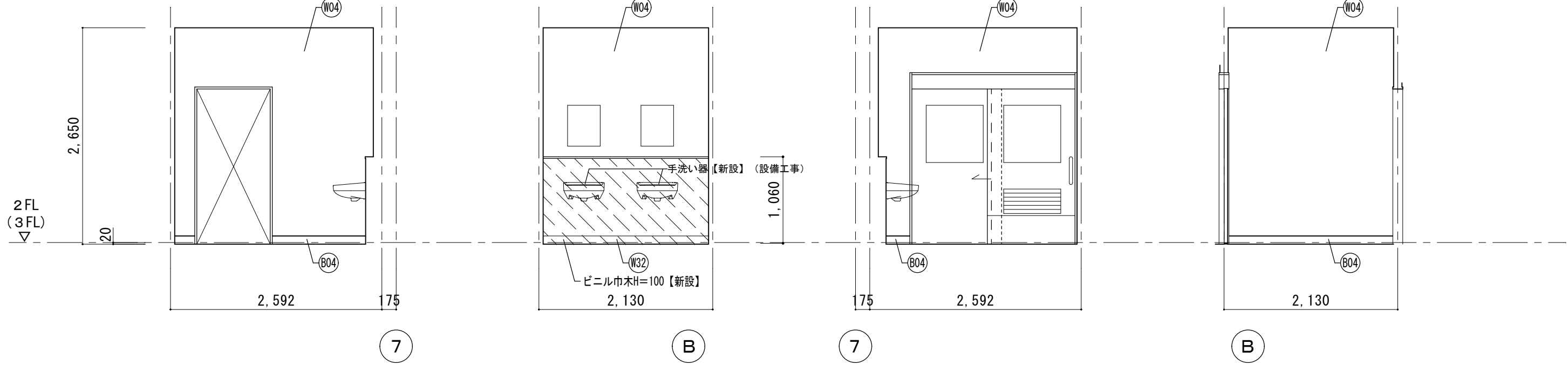
女子便所 展開図



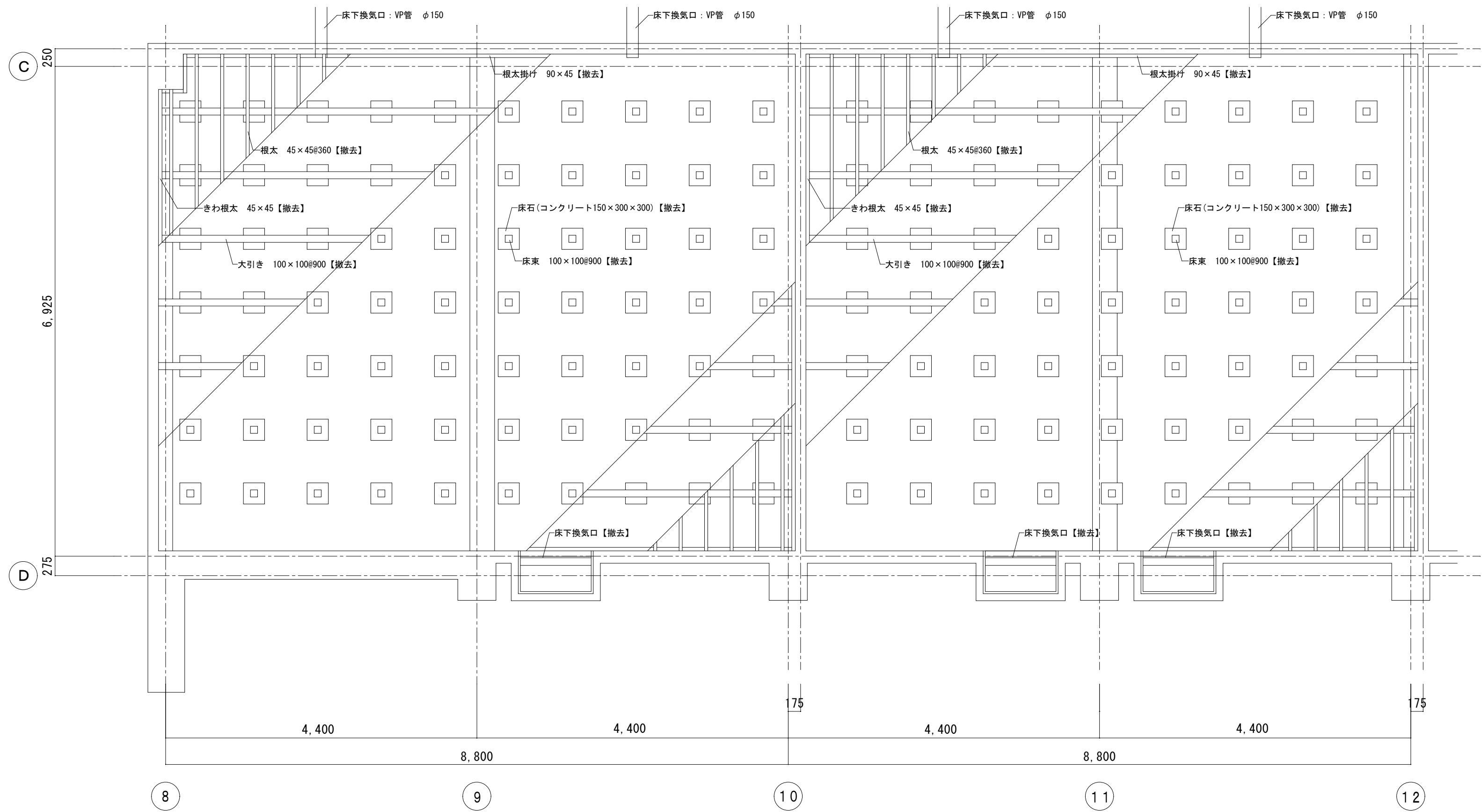
前室 展開図



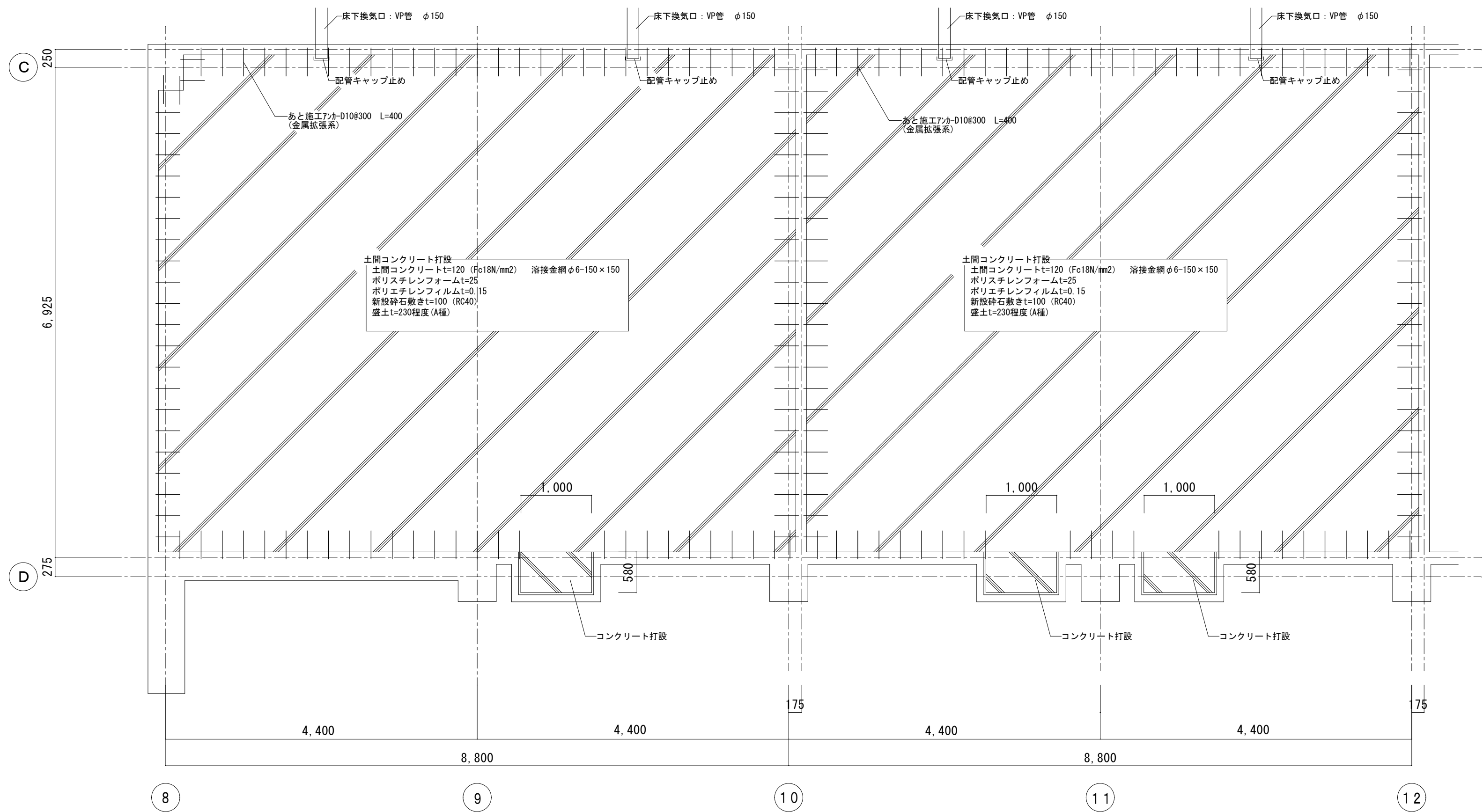
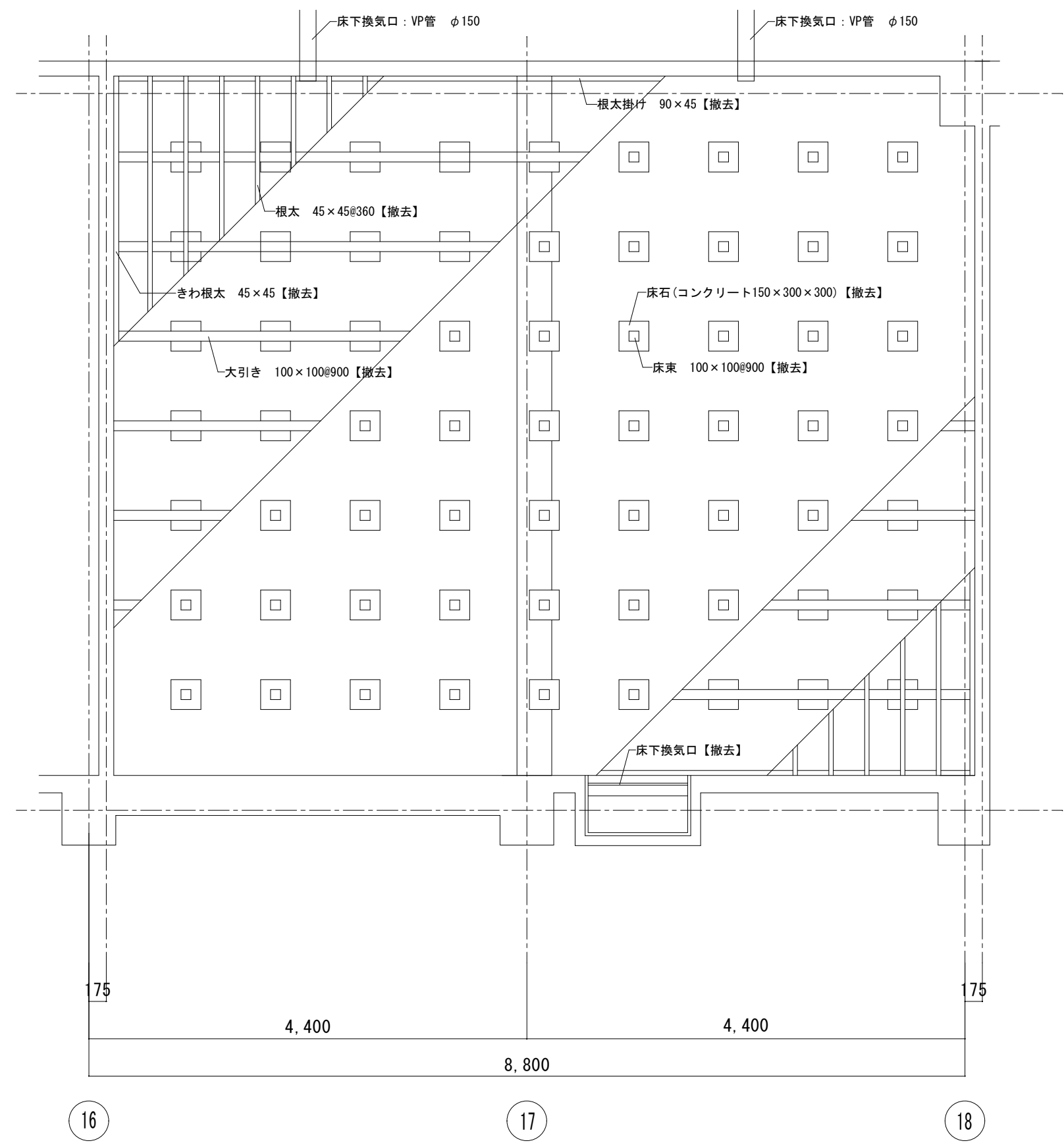
男子便所 展開図



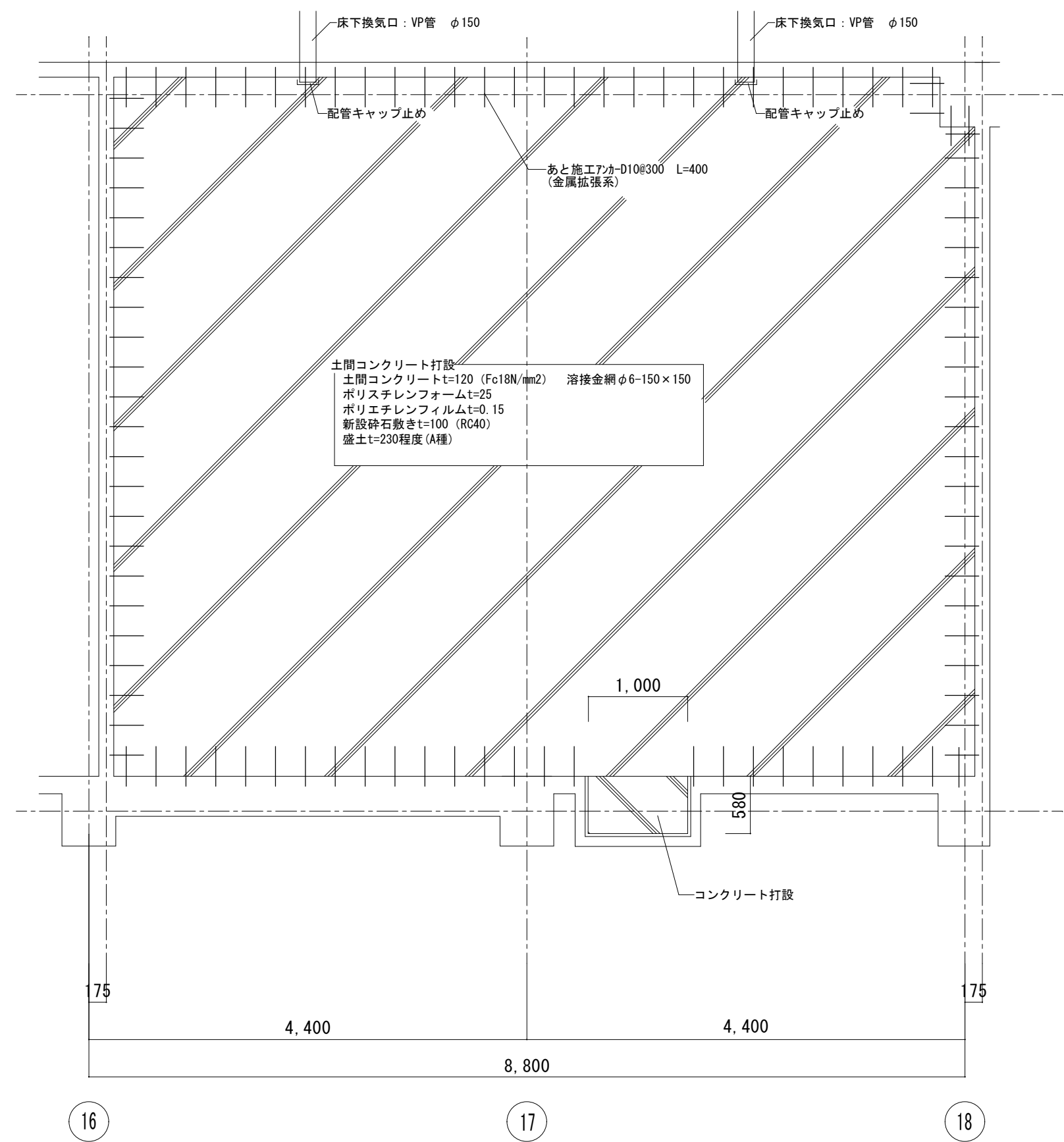
前室 展開図



改修前 普通教室廻り 床伏図



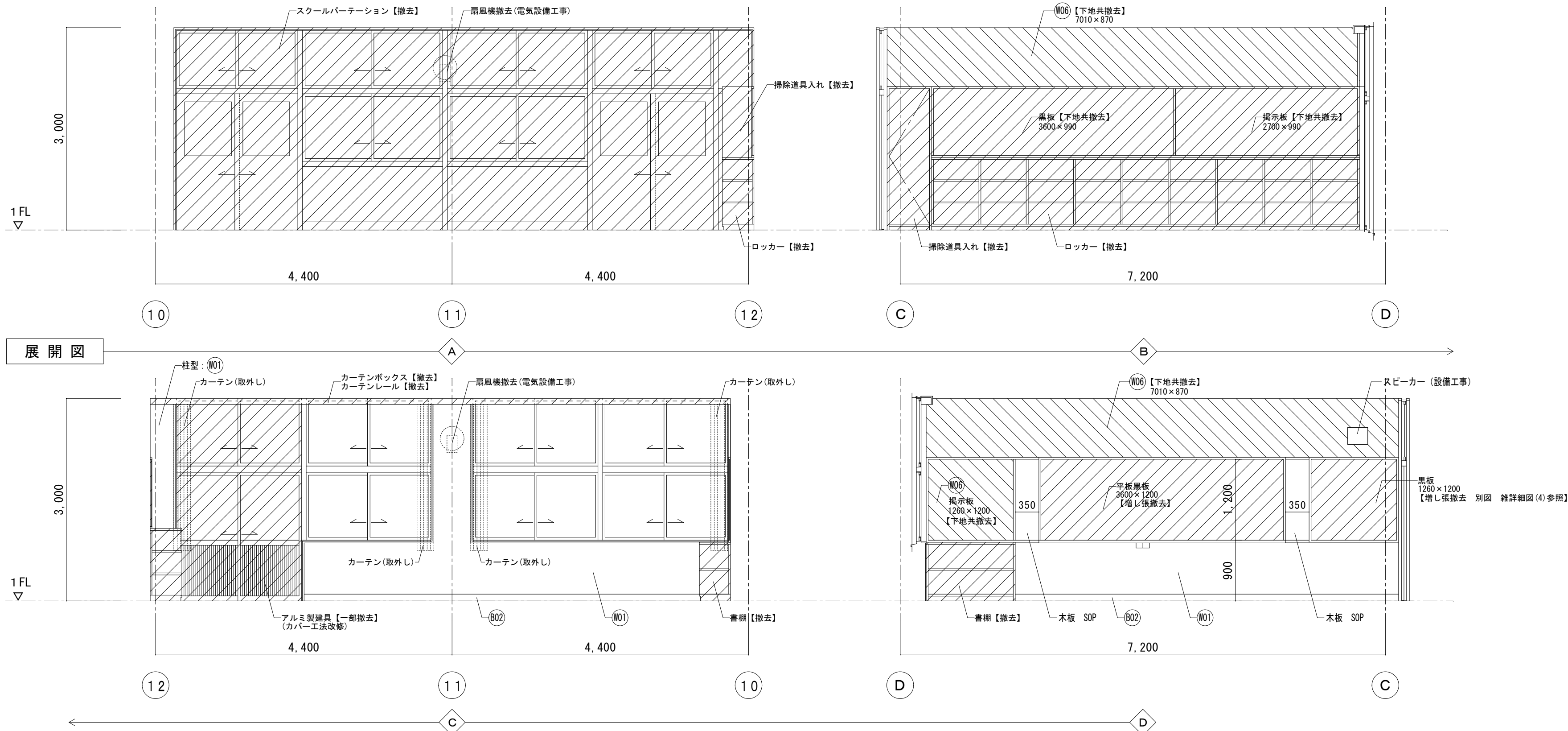
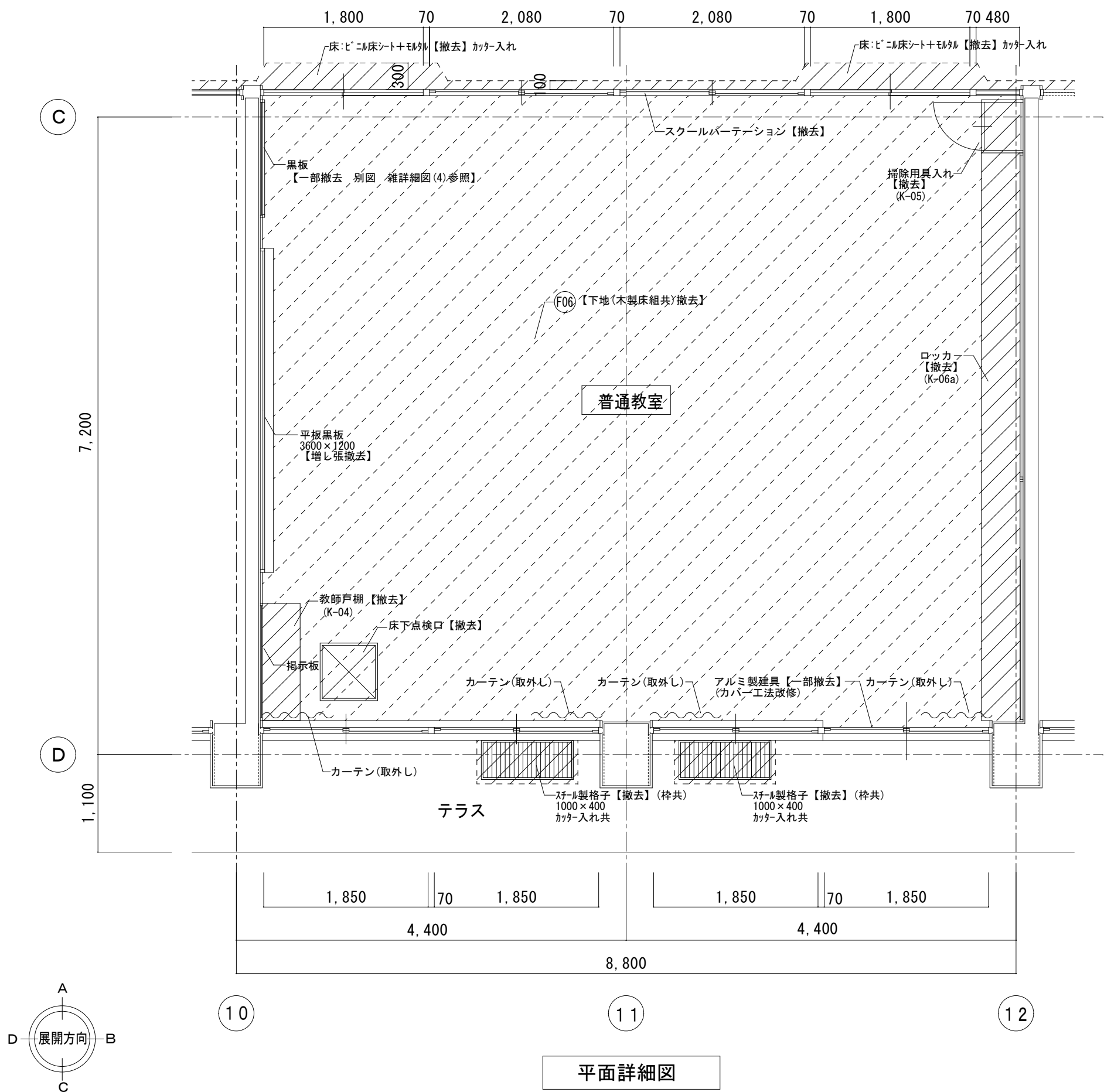
改修後 普通教室廻り 床伏図



※改修部分【撤去】に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

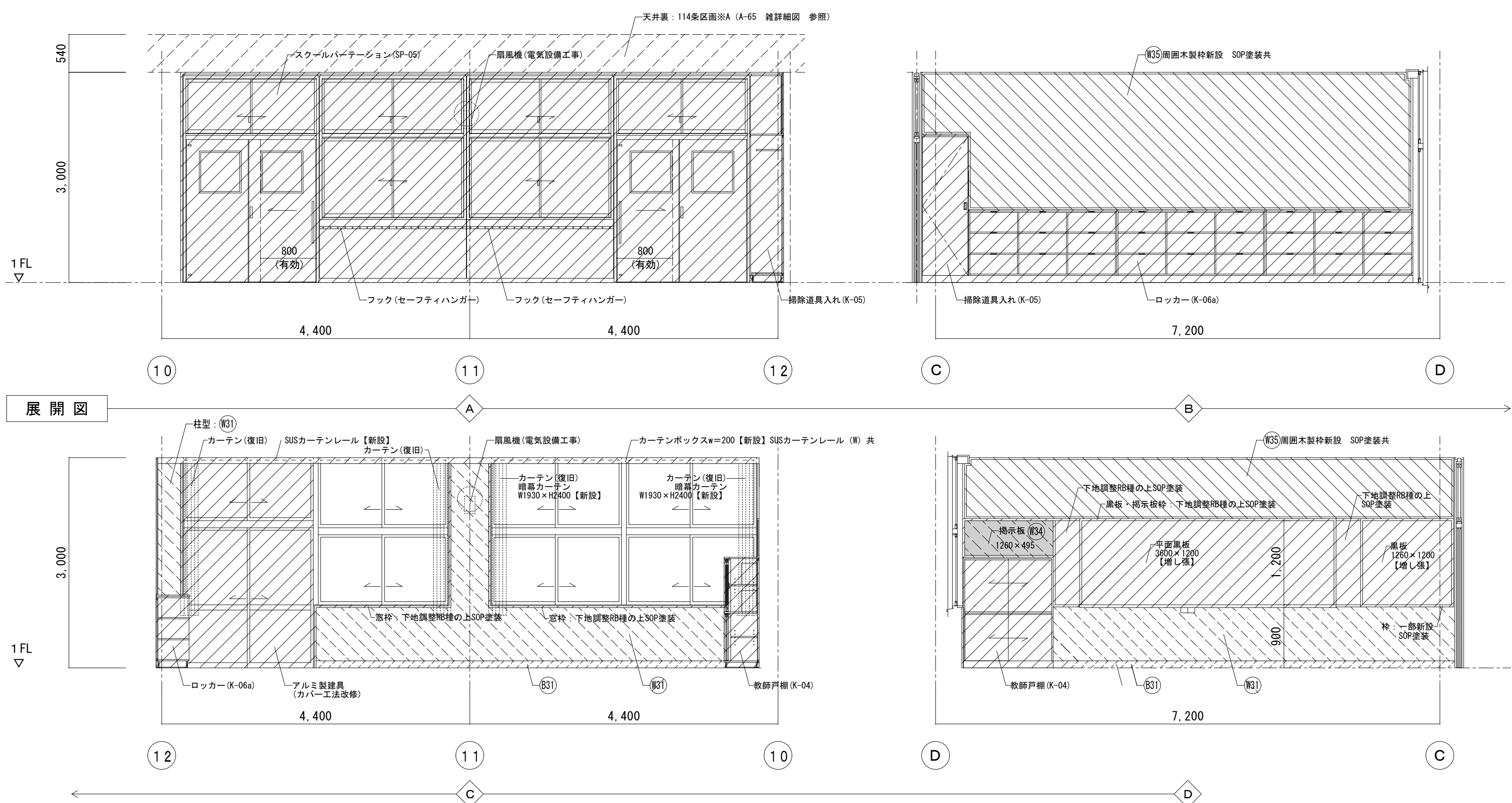
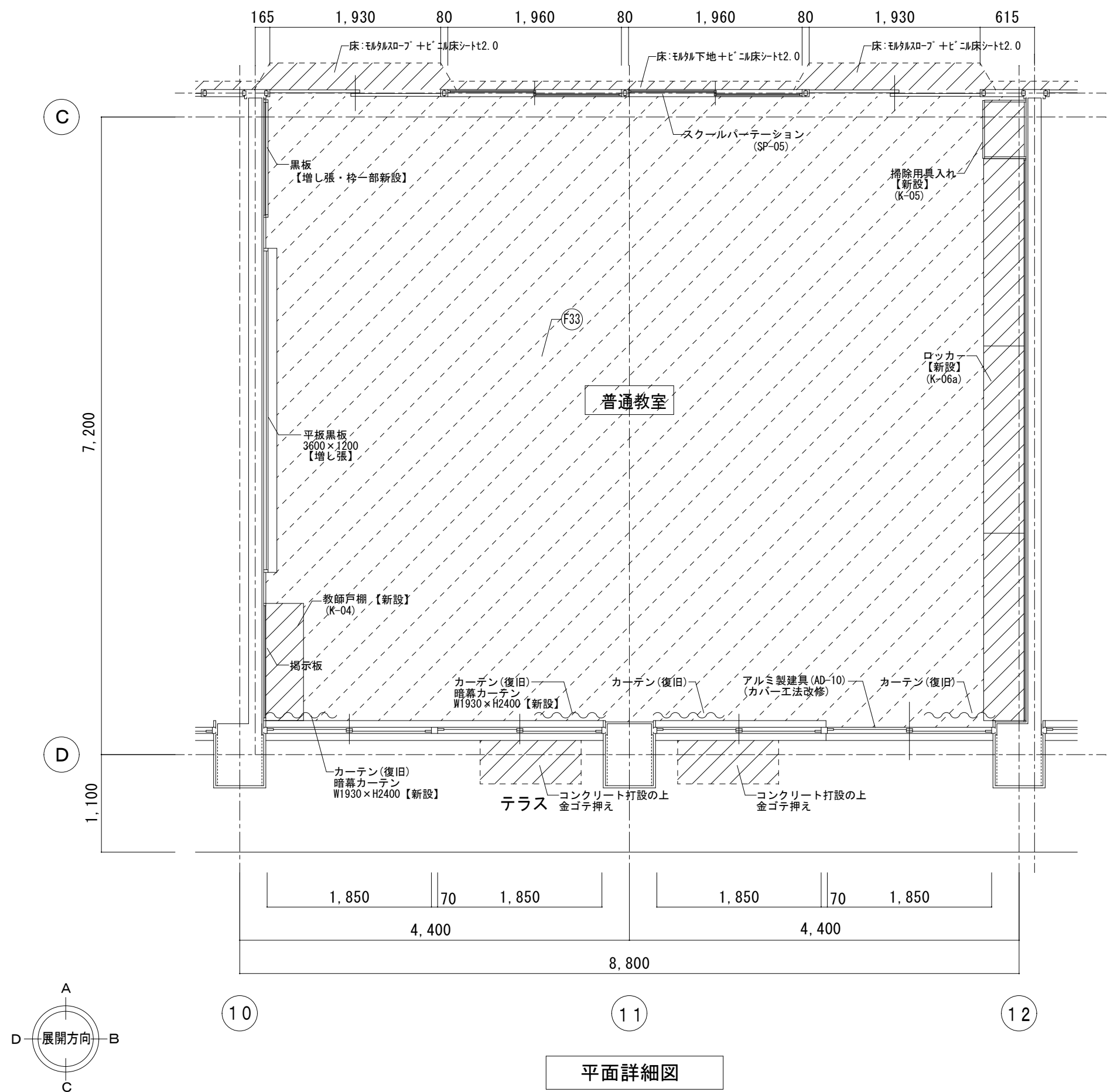
| 1階 普通教室
(3-A・3-B・第5学習室) | | 仕上表（改修前） | | |
|----------------------------|-----|---|-----------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | 706 | フローリングt=15 PU塗装 | 木製根太組 | |
| 巾 木 | 802 | 木製巾木 H=100 SOP塗装 | | |
| 壁 | 001 | EP塗装 | モルタル金ゴテ押え | |
| | 006 | 掲示クロス貼 | 木調緑+ラワン合板 | |
| 天 井 | 001 | 吸音版の上EP塗装 | LGS | |
| | | | | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 3,000 | | |
| 備 考 | | 職員戸棚【撤去】・ロッカー【撤去】・掃除道具入れ【撤去】
カーテン【取外し】 | | |

 その他撤去範囲を示す



| 1階 普通教室
(3-A・3-B・第5学習室) | | 仕上表 (改修後) | | |
|----------------------------|-------|---|---------------------------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | (F33) | フローリングブロックt=15
塗装品 | セルフレベリングt=10 | |
| 巾 木 | (S31) | 下地調整R8種の上SOP塗装 | 既設木製巾木 | |
| 壁 | (K31) | 下地調整R8種の上EP-G塗装 | | |
| | (K34) | 掲示クロス貼(アルミ押縁)
+ラワン合板t=5.5 | 木崩縁(35×40)ヨコ@455
+ラワン合板t=5.5 | |
| | (K35) | 掲示クロス貼(アルミ押縁) | 木崩縁(35×40)ヨコ@455
+ラワン合板t=5.5 | |
| 天 井 | (S31) | 下地調整R8種の上EP塗装 | 既設天井仕上材 | |
| | | | | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 3,000 | | |
| 備 考 | | 職員戸棚【新設】・ロッカー【新設】・掃除道具入れ【新設】
カーテン【復旧】、暗幕カーテン【新設】 | | |

 その他改修範囲を示す

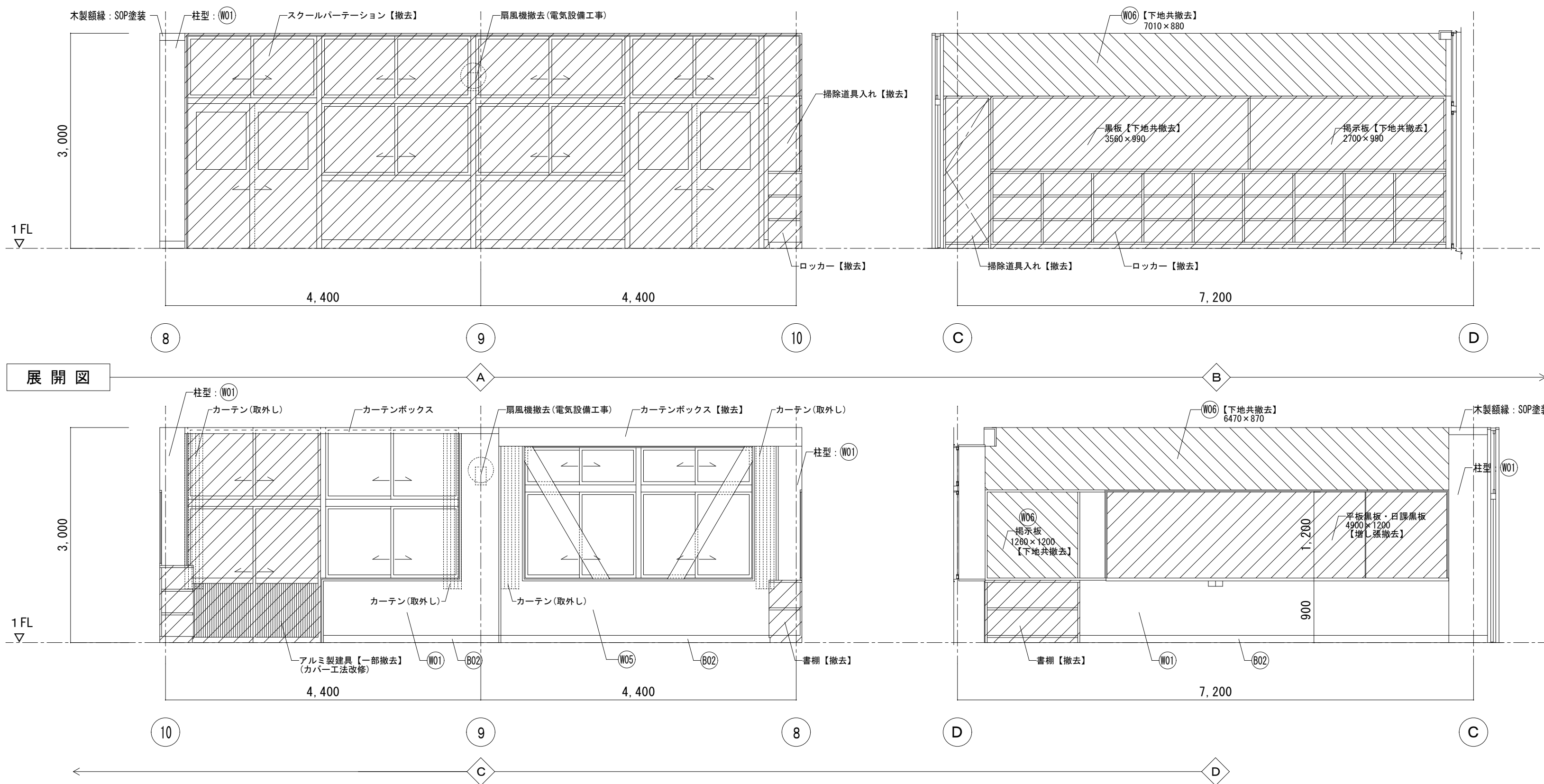
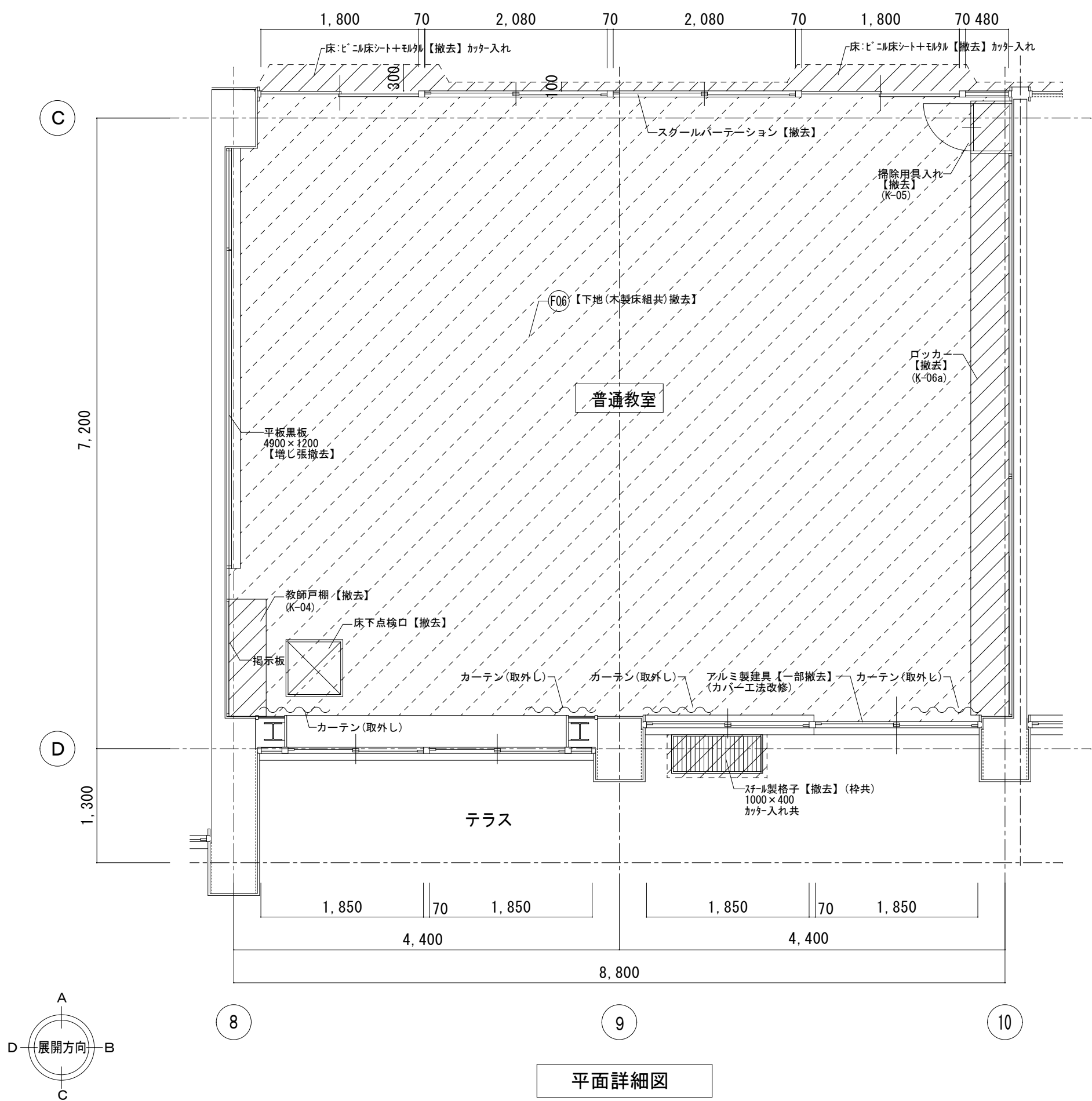


※A：強化せっこうボードt=12.5+強化石膏ボードt=12.5(両面)
耐火間仕切壁(耐火認定品) 四層 耐火シール
耐火間仕切壁は、1時間耐火構造とし、下記同等品以上とする。
・f33'クマ :耐火t=12S FP06ONP-0415 (1)
・吉野石膏 :12S FP06ONP-0483 (1)
耐火シールの施工方法については、各社認定工法による

※改修部分【撤去】に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

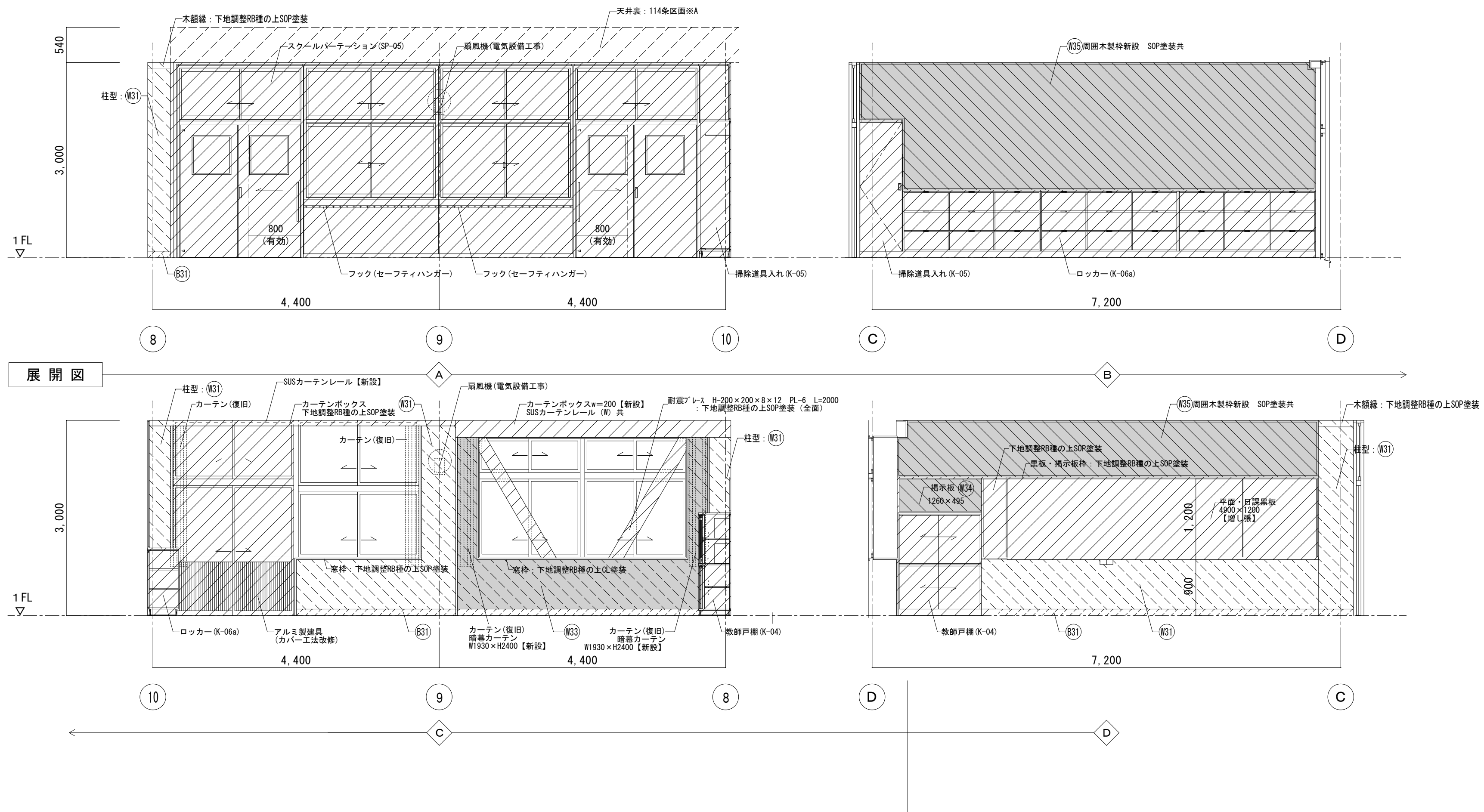
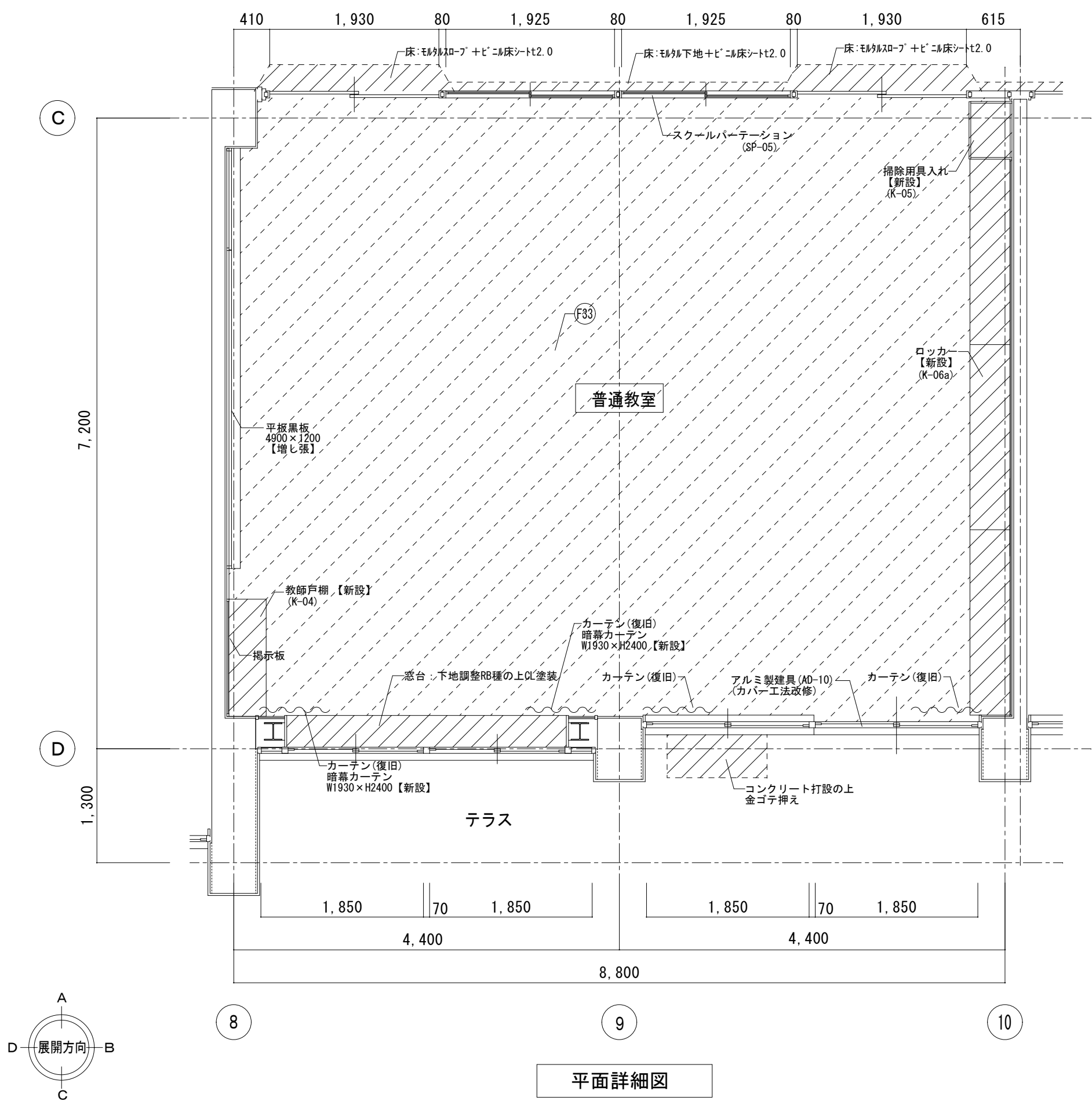
| 1階 普通教室
（ふれあい学習室） | | 仕上表（改修前） | | |
|----------------------|-----|---|-----------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | ⑦06 | フローリングt=15 PU塗装 | 木製根太組 | |
| 巾 木 | ⑧02 | 木製巾木 H=100 SOP塗装 | | |
| 壁 | ⑩01 | EP塗装 | モルタル金ゴテ押え | |
| | ⑩05 | 積層フローリング張 | | |
| | ⑩06 | 掲示クロス貼 | 木副縁+ラワン合板 | |
| 天 井 | ⑪01 | 吸音版の上EP塗装 | LGS | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 3,000 | | |
| 備 考 | | 職員戸棚【撤去】・ロッカー【撤去】・掃除道具入れ【撤去】
カーテン【取外し】 | | |

 その他撤去範囲を示す



| 1階 普通教室
(ふれあい学習室) | | 仕上表 (改修後) | | |
|----------------------|------|---|---------------------------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | (F3) | フローリングブロックt=15
塗装品 | セルフレベリングt=10 | |
| 巾 木 | (S1) | 下地調整R8種の上SOP塗装 | 既設木製巾木 | |
| 壁 | (K1) | 下地調整R8種の上EP-G塗装 | | |
| | (K3) | 下地調整R8種の上UC塗装 | 既設積層フローリング張り | |
| | (K4) | 掲示クロス貼(アルミ押縁) | 木崩縁(36×45)ヨコφ455
+ラワン合板t=5.5 | |
| | (K5) | 掲示クロス貼(アルミ押縁) | 木崩縁(36×45)ヨコφ455
+ラワン合板t=5.5 | |
| 天 井 | (S1) | 下地調整R8種の上EP塗装 | 既設天井仕上材 | |
| | | | | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 3,000 | | |
| 備 考 | | 職員戸棚【新設】・ロッカー【新設】・掃除道具入れ【新設】
カーテン【復旧】、暗幕カーテン【新設】 | | |

 その他改修範囲を示す

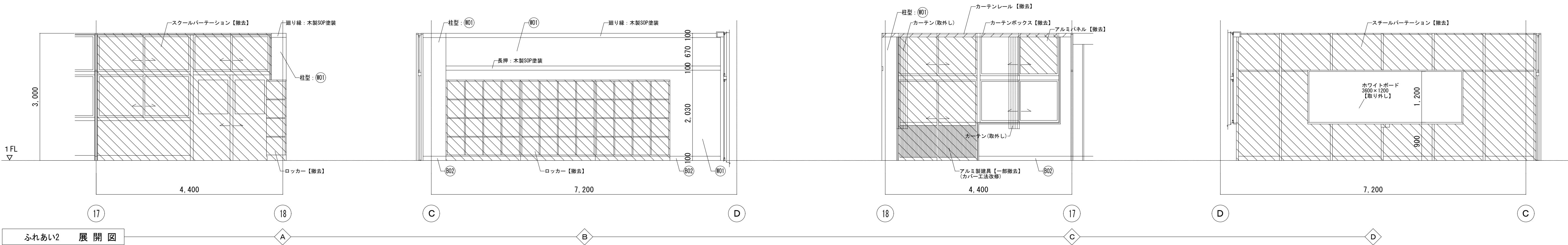
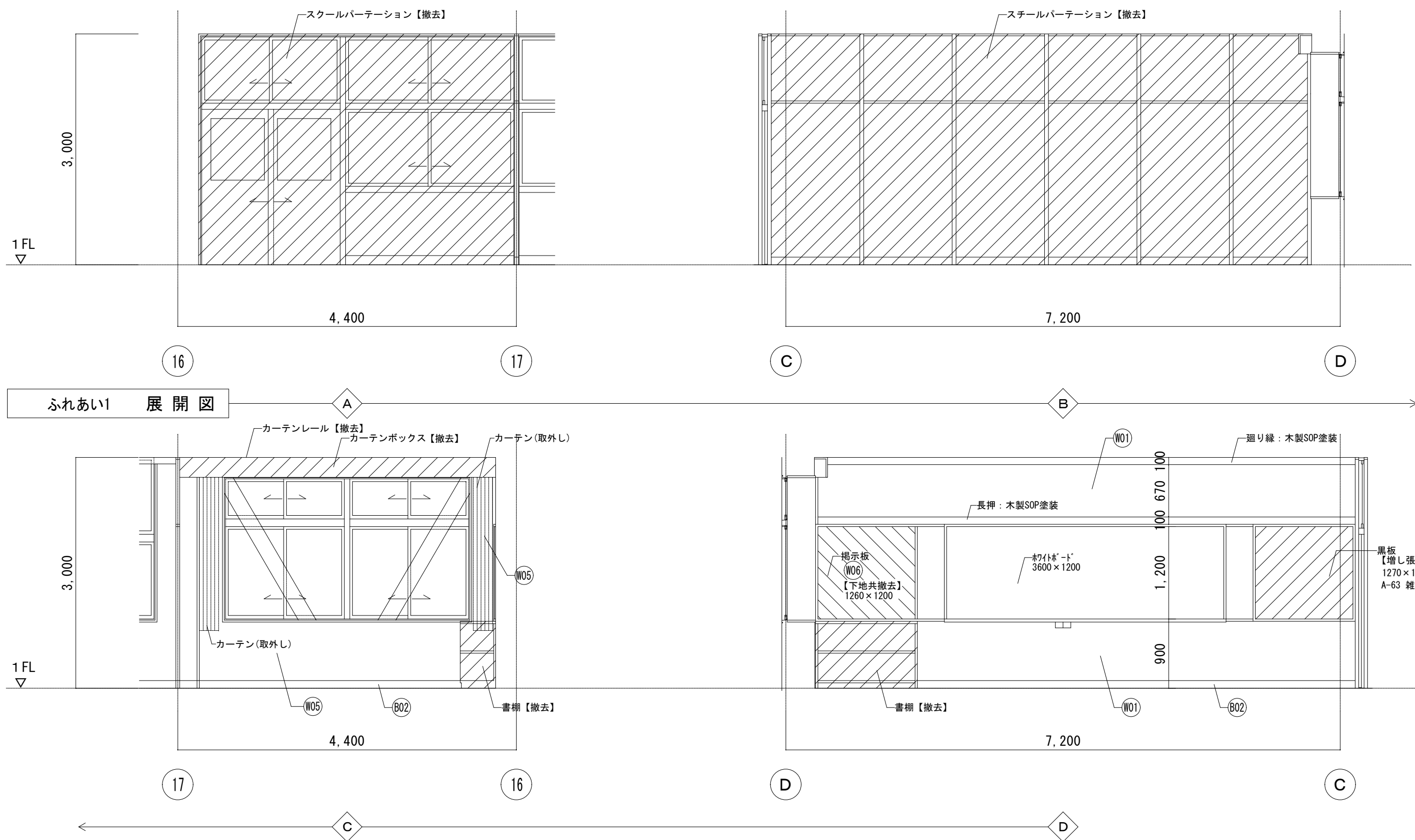
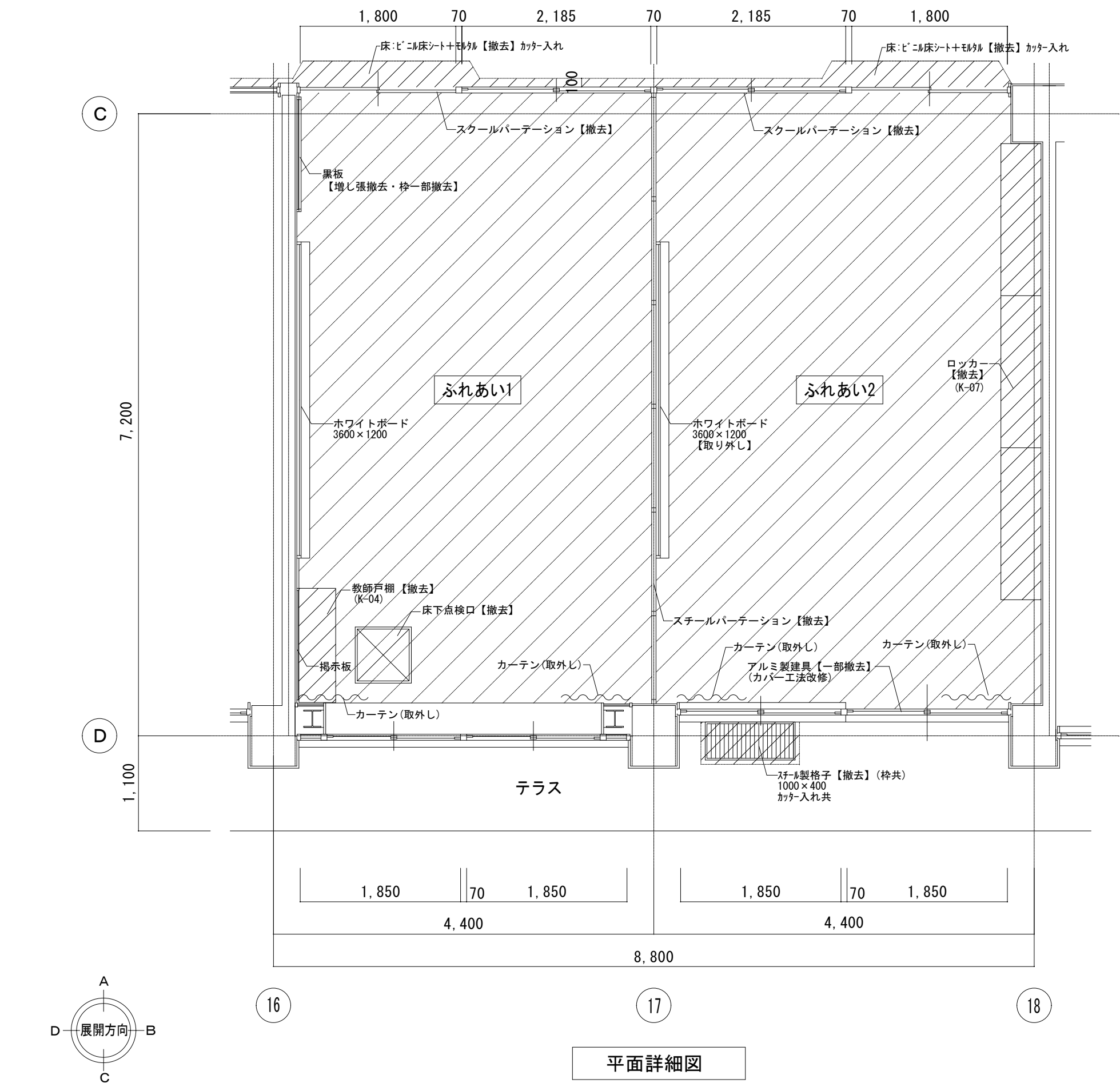


※A：強化せっこうボードt=12.5+強化石膏ボードt=12.5(両面)
耐火間仕切壁(耐火認定品) 四層 耐火シール
耐火間仕切壁は、1時間耐火構造とし、下記同等品以上とする。
・フサクワ : 耐火t=12S FP06ONP-0415 (1)
・吉野石膏 : 12S FP06ONP-0483 (1)
耐火シールの施工方法については、各社認定工法による

※改修部分【撤去】に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

| 1階 ふれあい1・2 仕上表（改修前） | | | | |
|---------------------|-----|--------------------------------|-----------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | 706 | フローリングt=15 PU塗装 | 木製根太組 | |
| 巾 木 | 802 | 木製巾木 H=100 SOP塗装 | | |
| 壁 | 001 | EP塗装 | モルタル金ゴテ押え | |
| | 005 | 積層フローリング張 | | |
| | 006 | 掲示クロス貼 | 木胴縁+ラワン合板 | |
| 天 井 | 001 | 吸音版の上EP塗装 | LGS | |
| | | | | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 3,000 | | |
| 備 考 | | 職員戸棚【撤去】・ロッカー【撤去】
カーテン【取外し】 | | |

その他撤去範囲を示す

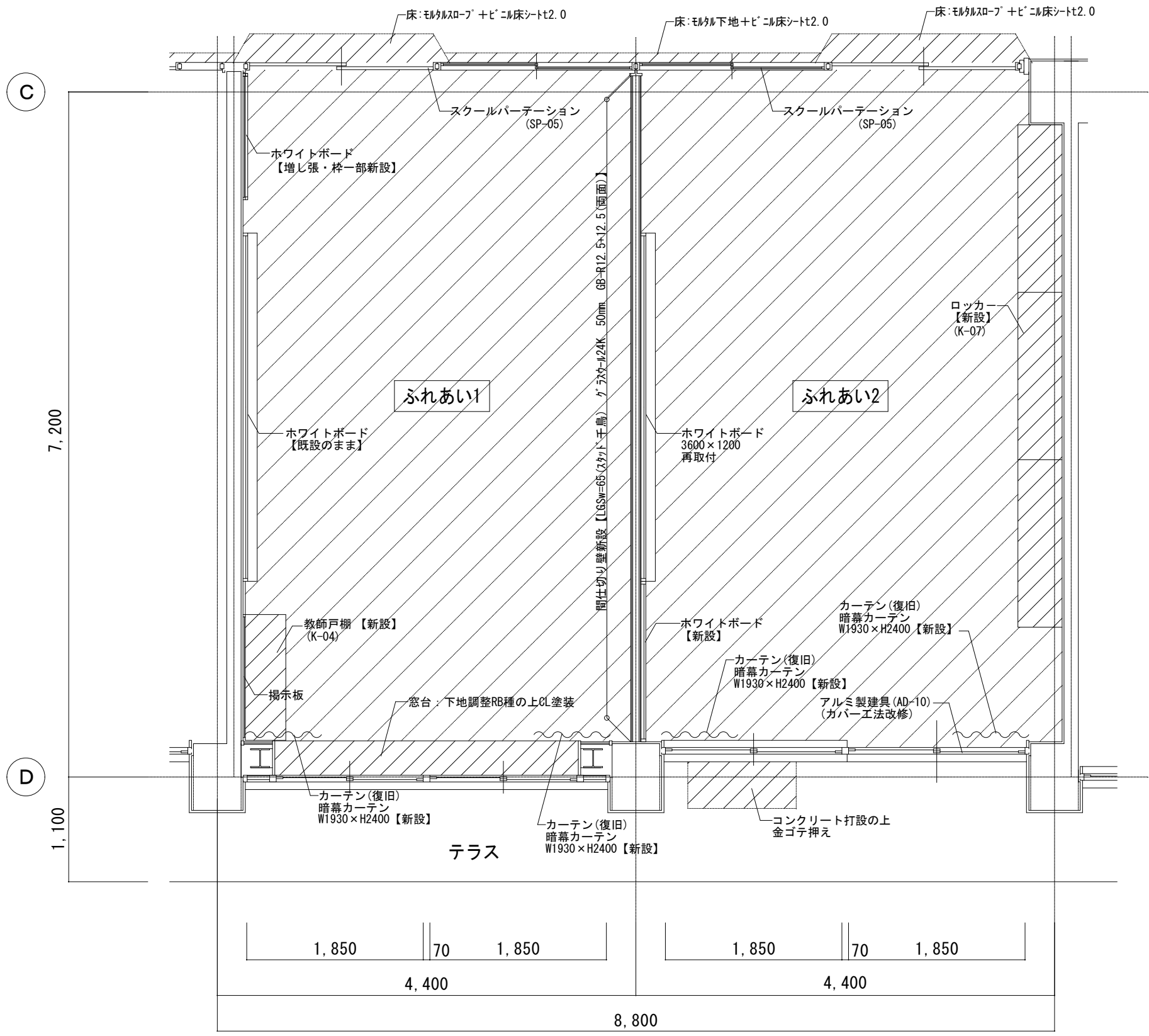


| 1階 ふれあい1・2 | | 仕上表（改修後） | | |
|------------|-------|--|---------------------------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | (F39) | フローリングブロックt=15
塗装品 | セルフレベリングt=10 | |
| 巾 木 | (S31) | 下地調整R8種の上SOP塗装 | 既設木製巾木 | |
| | (S32) | 木製巾木 H=100 SOP塗装 | | |
| 壁 | (K31) | 下地調整R8種の上EP-G塗装 | | |
| | (K33) | 下地調整R8種の上UC塗装 | | |
| | (K34) | 掲示クロス貼(アルミ押縁) | 木崩縁(35×40)ヨコφ455
+ラワン合板t=5.5 | |
| | (K36) | EP-G塗装 | 114条区画※B | |
| 天 井 | (S31) | 下地調整R8種の上EP塗装 | 既設天井仕上材 | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 3,000 | | |
| 備 考 | | 職員戸棚【新設】・ロッカー【新設】
カーテン【復旧】、暗幕カーテン【新設】 | | |

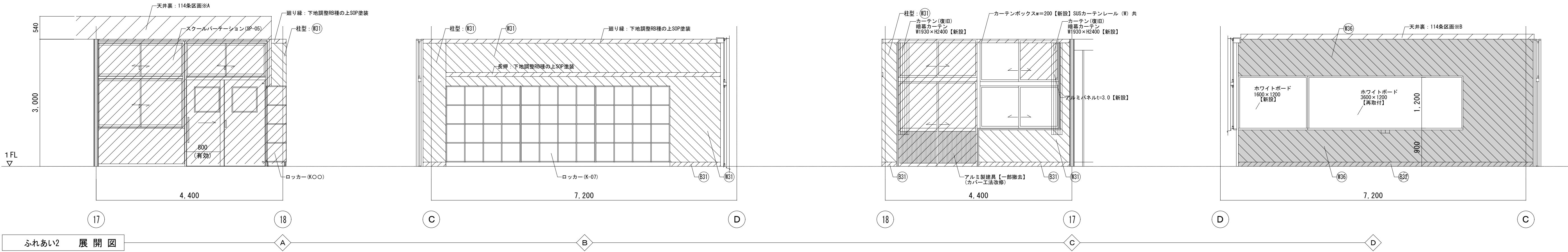
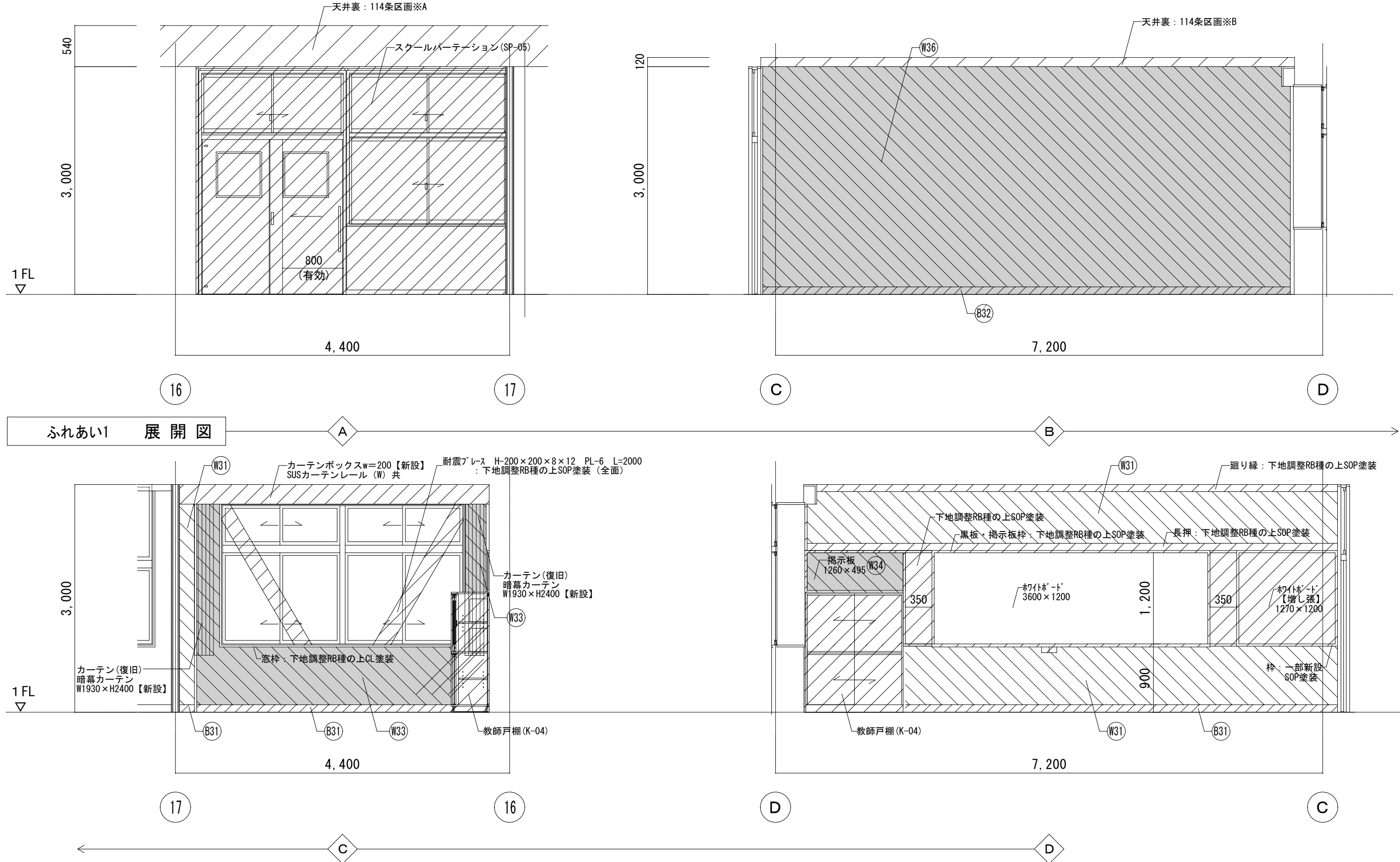
 その他改修範囲を示す

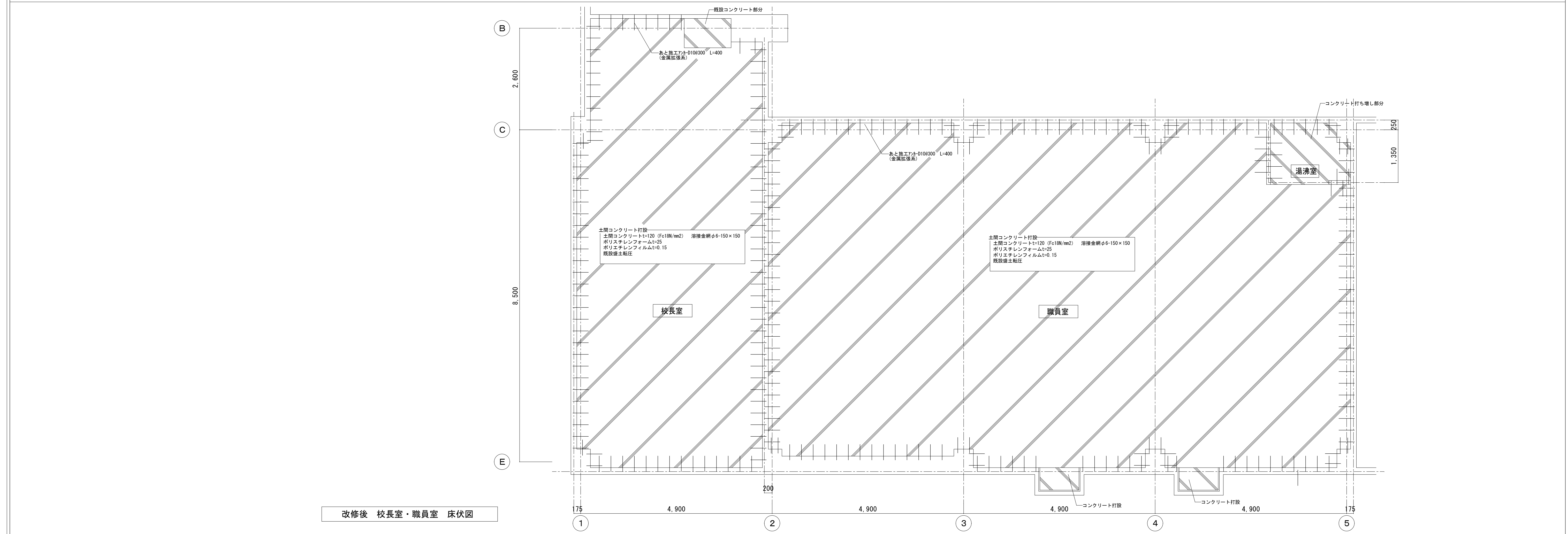
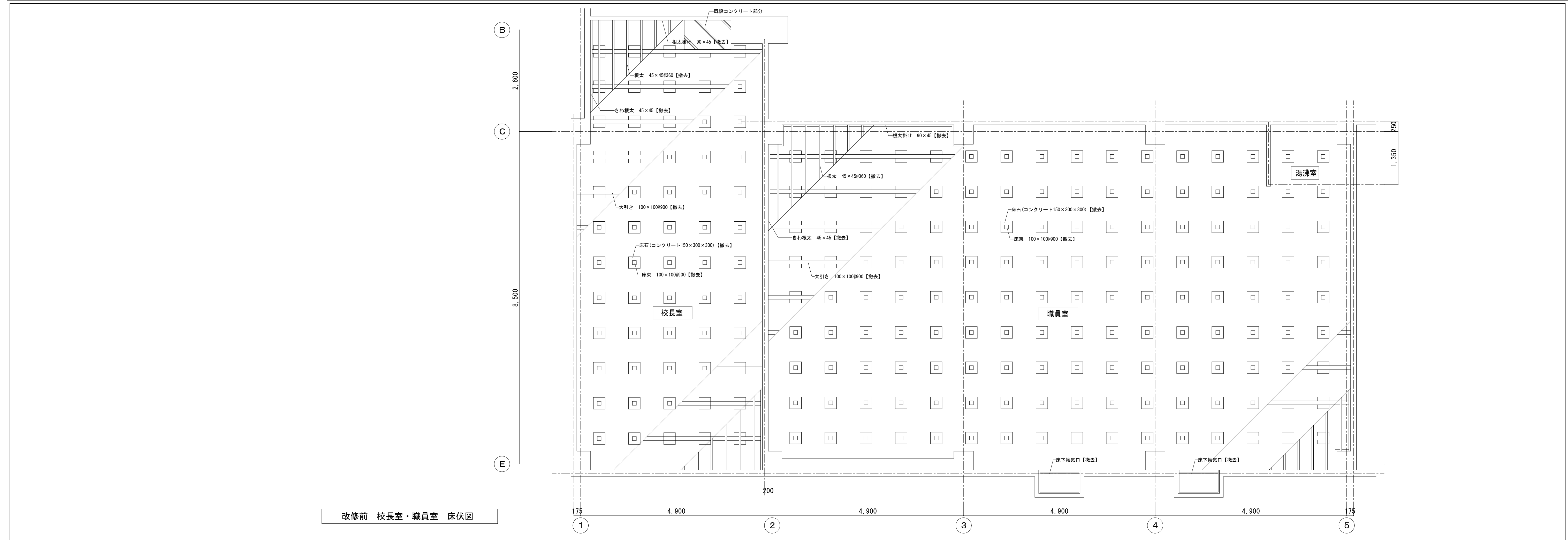
※A：強化せっこうボードt=12.5+強化石膏ボードt=12.5(両面)
耐火間仕切壁(耐火認定品) 四周 耐火シール
耐火間仕切壁は、1時間耐火構造とし、下記同等品以上とする。
・フジ'ウチ 耐火ウレ-ﾙ12S FPO60NP-0415(1)
・吉野石膏 :12S FPO60NP-0483(1)
耐火シールの施工方法については、各社認定工法による

※B：強化せっこうボードt=12.5+強化石膏ボードt=12.5(両面)
LG5w=65 千鳥スタッド工法 吸音材：グラスウール24K 50mm
耐火間仕切壁(耐火認定品) 四周 耐火シール
耐火間仕切壁は、1時間耐火構造とし、下記同等品以上とする。
・フジ'ウチ 耐火ウレ-ﾙ12S FPO60NP-0415(2)
・吉野石膏 :12S FPO60NP-0483(2)
耐火シールの施工方法については、各社認定工法による



平面詳細図

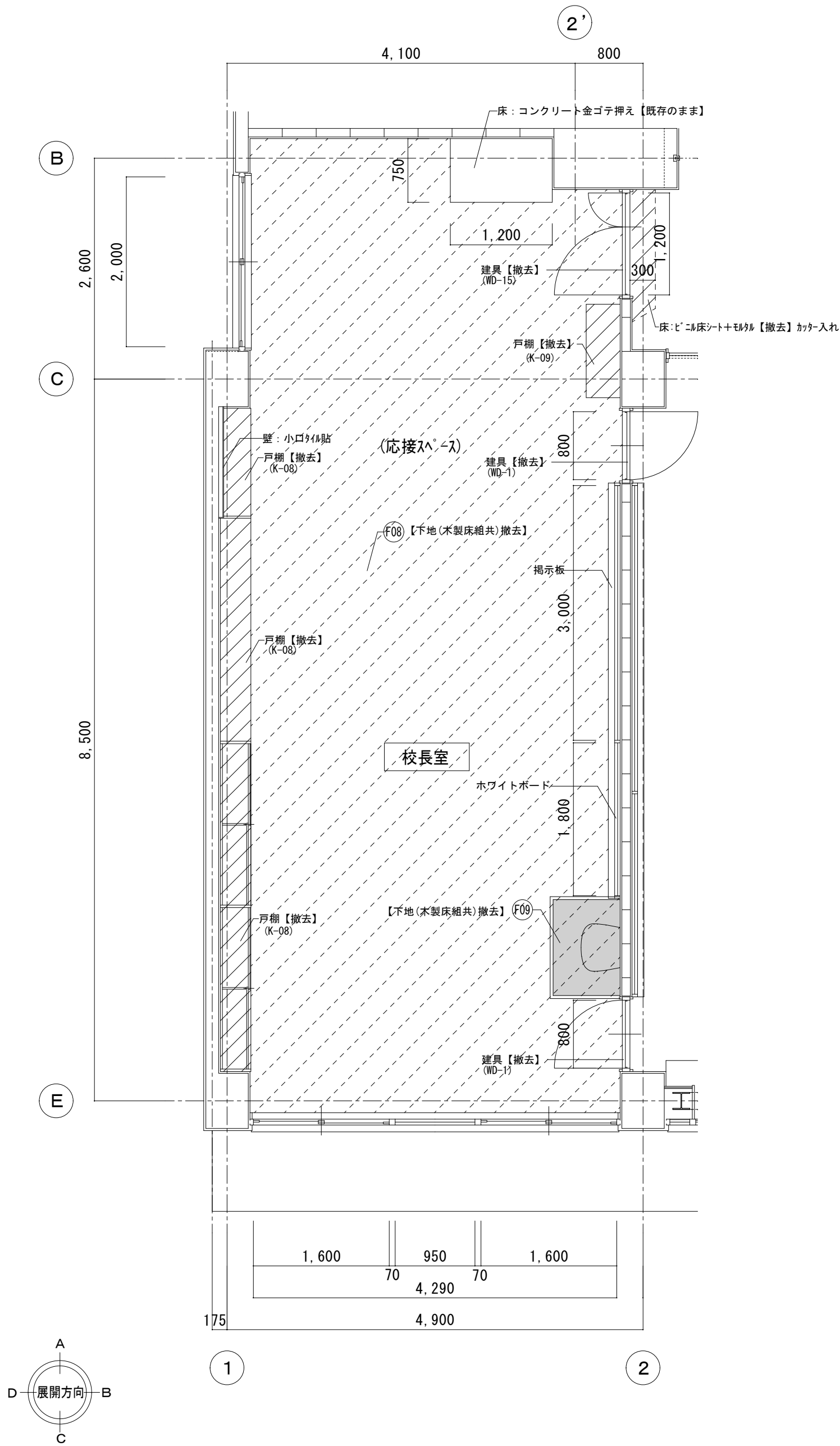




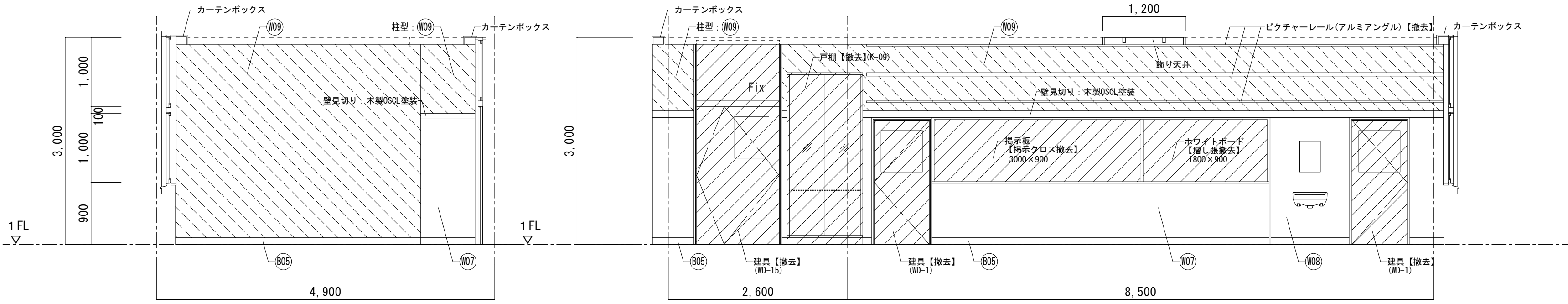
※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

| 1階 校長室 | | 仕上表（改修前） | | |
|--------|-----|------------------|-----------|-------------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | F08 | タイルカーペット | 合板 + 木製床組 | <div></div> |
| | F09 | ビニル床シート貼 | 合板 + 木製床組 | |
| 巾 木 | B05 | 木製巾木 H=100 SOP塗装 | | |
| 腰 壁 | W07 | 銘木合板 CL塗装 | | |
| | W08 | 小口タイル貼 | | |
| 壁 | W09 | ビニルクロス貼 | | <div></div> |
| 天 井 | C06 | DR（合板捨貼） | LGS | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 3.000 | | |
| 備 考 | | 戸棚【撤去】、ブラインド【撤去】 | | |

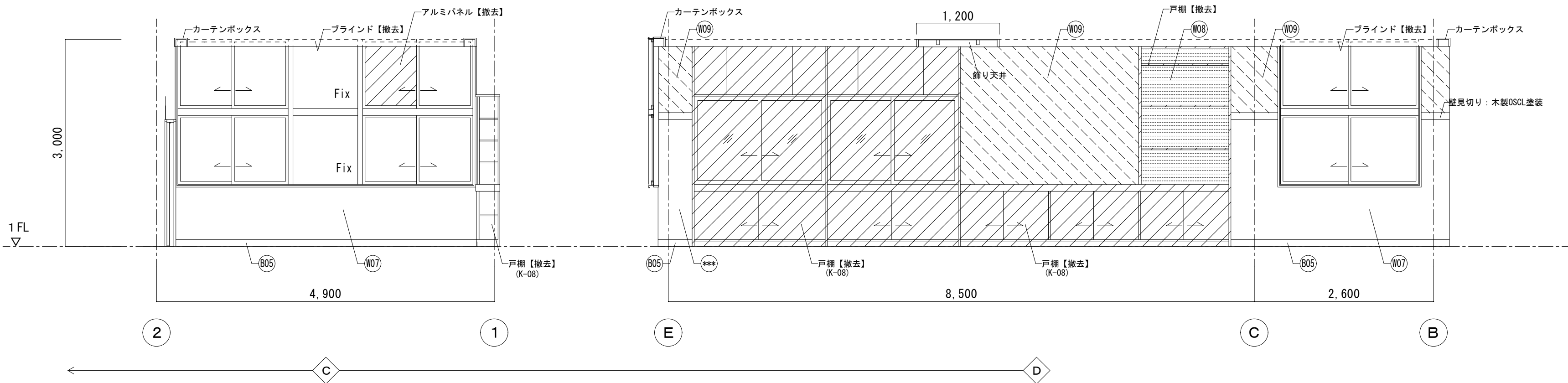
その他撤去範囲を示す



平面詳細図

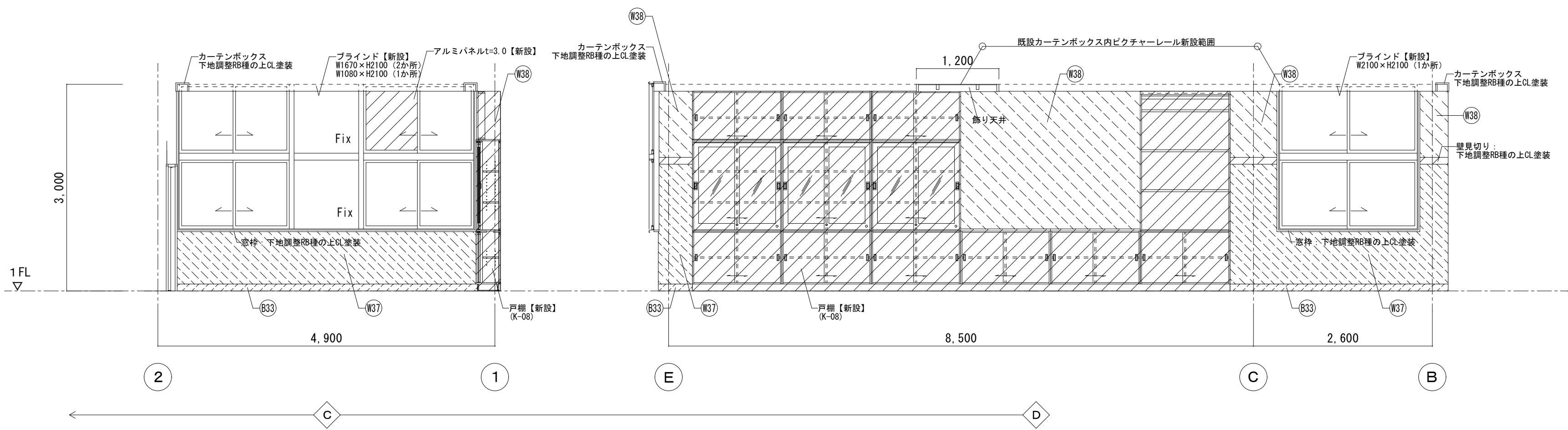
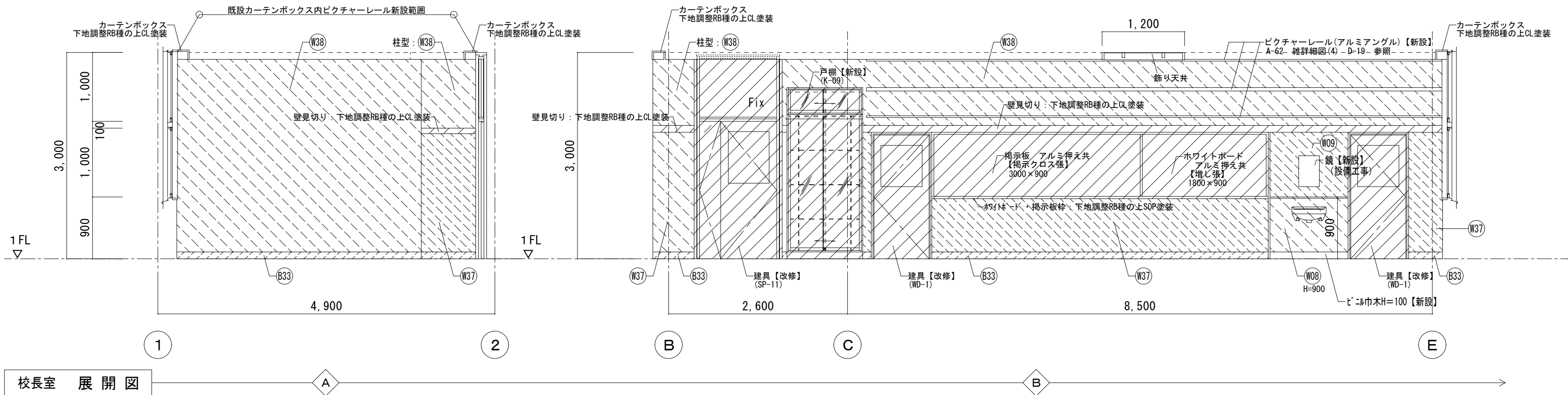
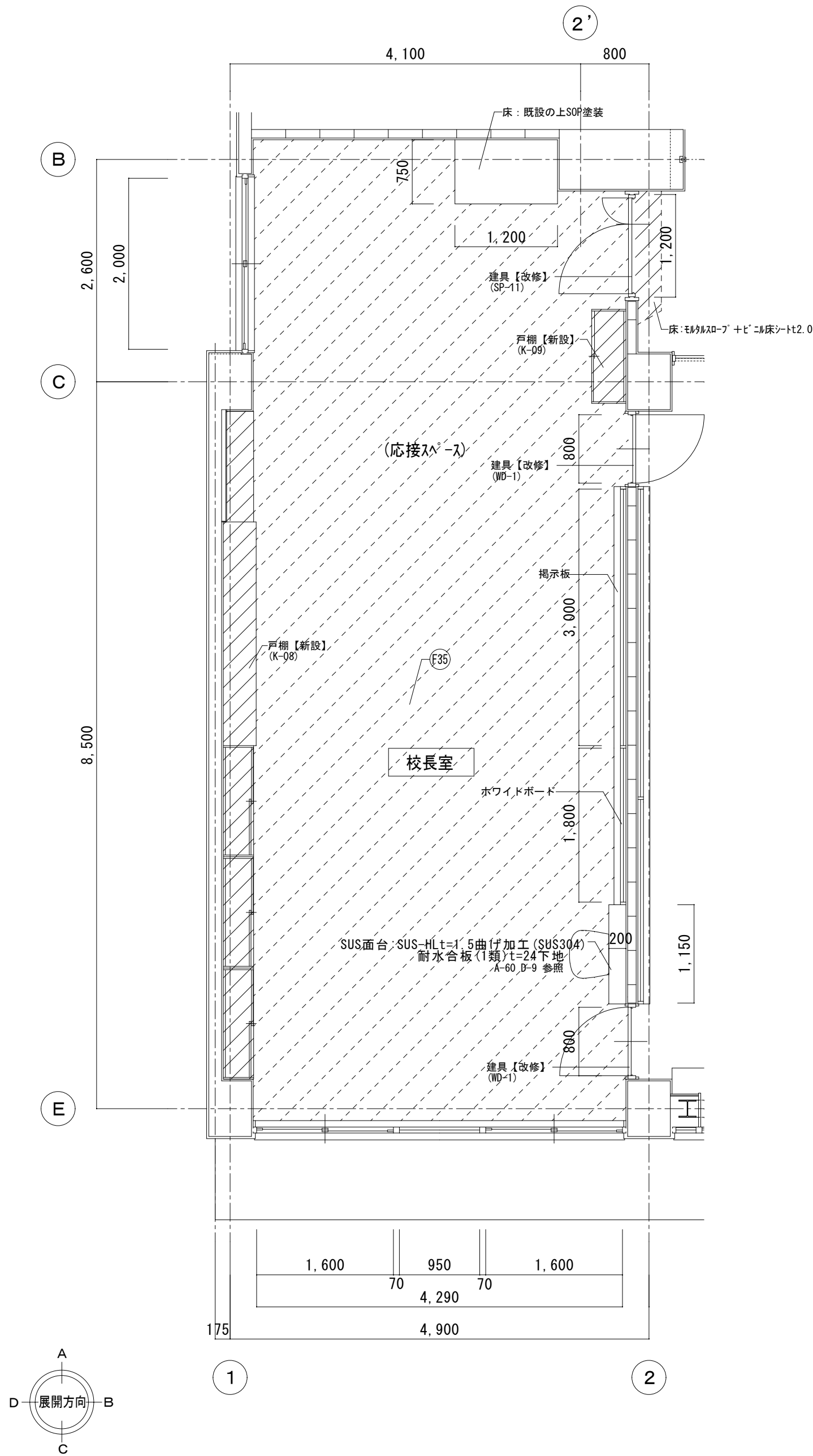


校長室 展開図



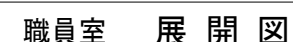
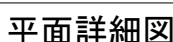
| 1階 校長室 | | 仕上表（改修後） | | |
|--------|-----|--------------------------|-------------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | F35 | ビニル床タイルt=5.0貼
【帯電タイプ】 | 0Aフロア | |
| | | | | |
| 巾 木 | B33 | 下地調整RB種の上SOP塗装 | 既設木製巾木 | |
| 腰 壁 | K37 | 下地調整RB種の上CL塗装 | 銘木合板 | |
| | K08 | 化粧ケイカル貼 | LGS100+構造用合板12×24 | |
| | K09 | 化粧ケイカル貼 | | |
| 壁 | K38 | ビニルクロス貼 | | |
| 天 井 | C06 | DR（合板捨貼）
（既存のまま） | LGS | |
| | | | | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 3,000 | | |
| 備 考 | | 戸棚【新設】、ブラインド【新設】 | | |

 その他改修範囲を示す

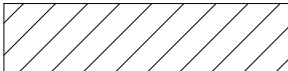


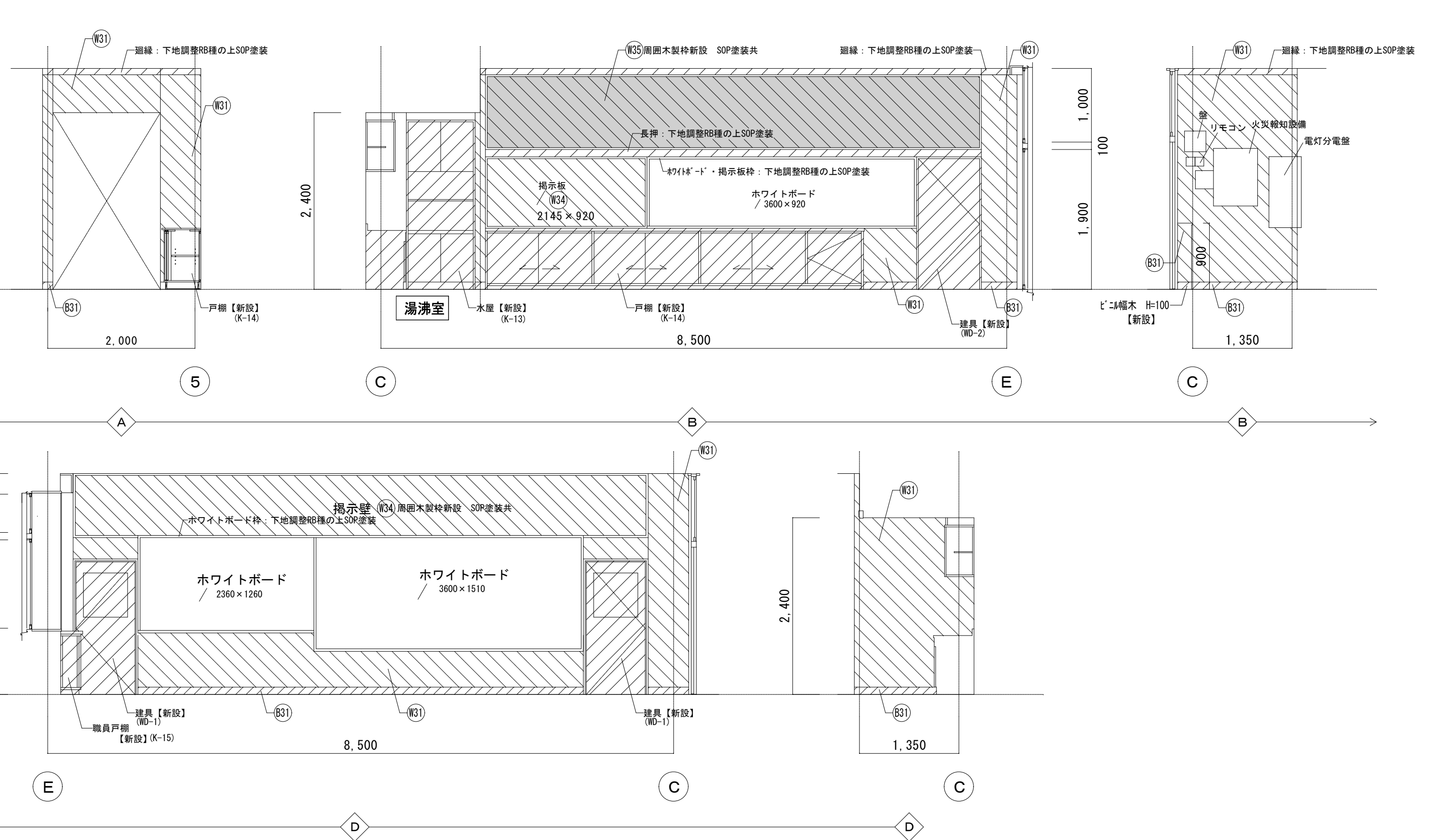
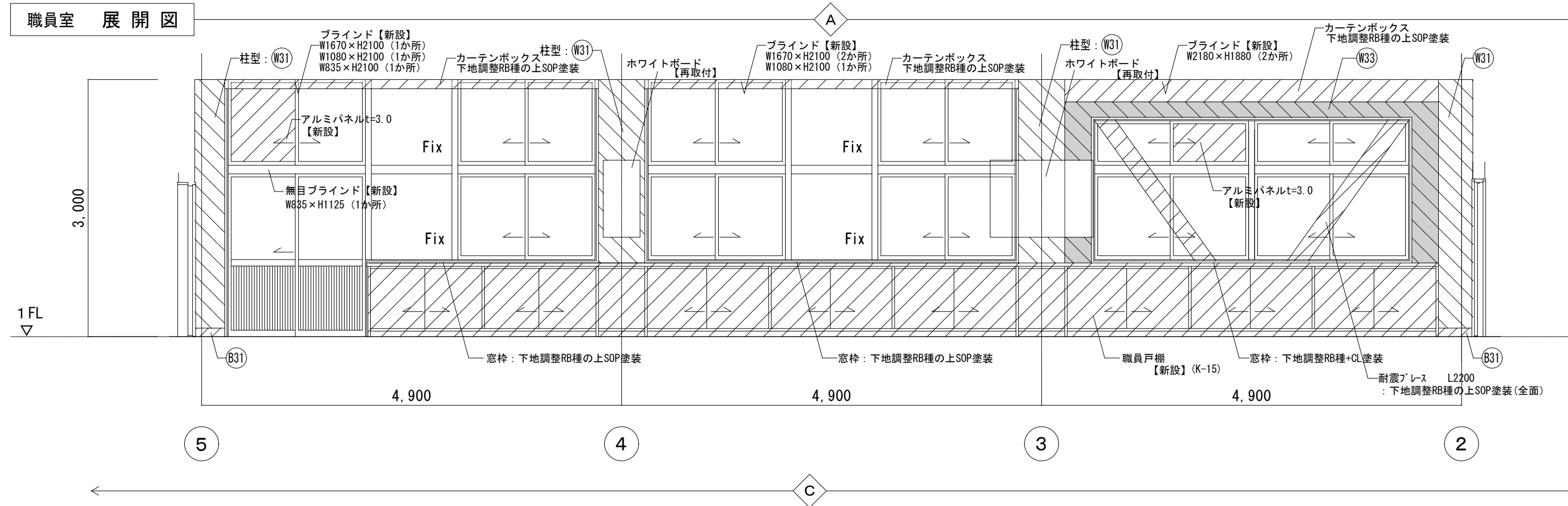
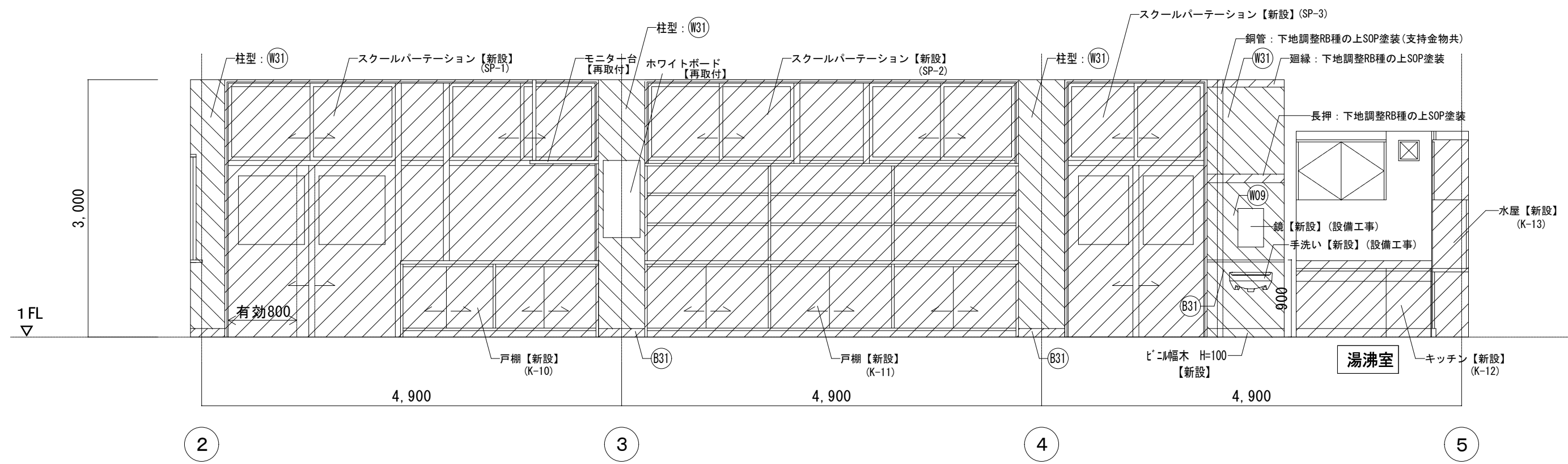
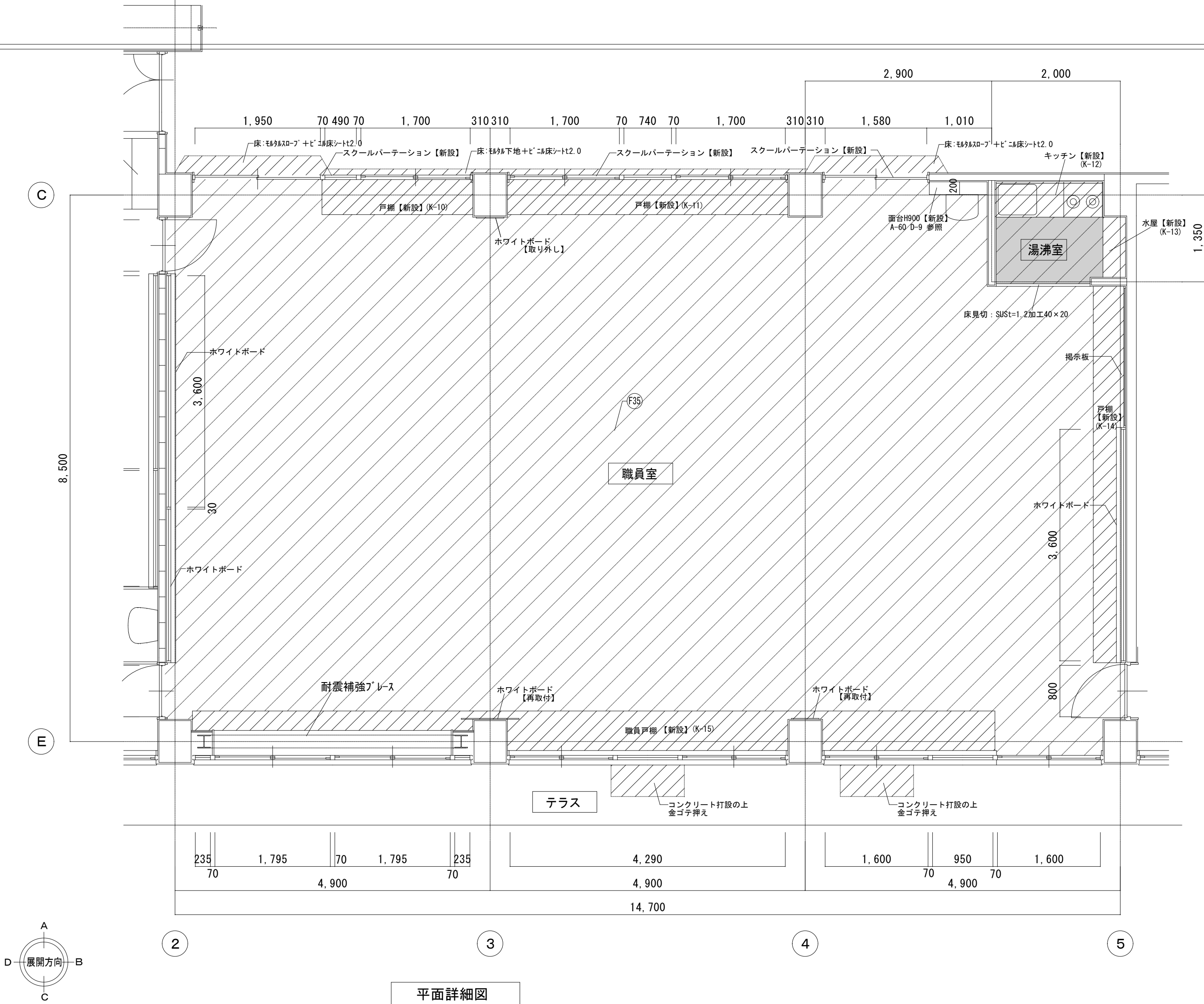
※改修部分[撤去]に於いて（下地共）
※ ★印はアスベスト含有材を示す

その他撤去範囲を示す



| 1階 職員室 | | 仕上表（改修後） | | |
|--------|-------|--------------------------|---------------------------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | (F35) | ビニル床タイルt=5.0貼
【帯電タイプ】 | OAフロア | |
| | (F40) | 防滑性ビニル床シート=2.0貼 | コンクリート押え | |
| 巾 木 | (B31) | 下地調整RB種の上SOP塗装 | 既設木製巾木 | |
| 壁 | (W31) | 下地調整RB種の上EP-G塗装 | | |
| | (W33) | 下地調整RB種の上UC塗装 | 既設積層フローリング張り | |
| | (W34) | 掲示クロス貼 | 既設ラワン合板下地利用 | |
| | (W35) | 掲示クロス貼(アルミ押縁) | 木目縁(36×45)ヨコ@455
+ラワン合板t=5.5 | |
| | (W08) | 化粧ケイカル貼t=6.0 | LG5100+構造用合板t=12+24 | |
| | (W09) | 化粧ケイカル貼t=6.0 | | |
| 天 井 | (G31) | 下地調整RB種の上EP塗装 | 既設天井仕上材 | |
| | | | | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 3.000 | | |
| 備 考 | | 戸棚【新設】、職員戸棚【新設】、ブランド【新設】 | | |

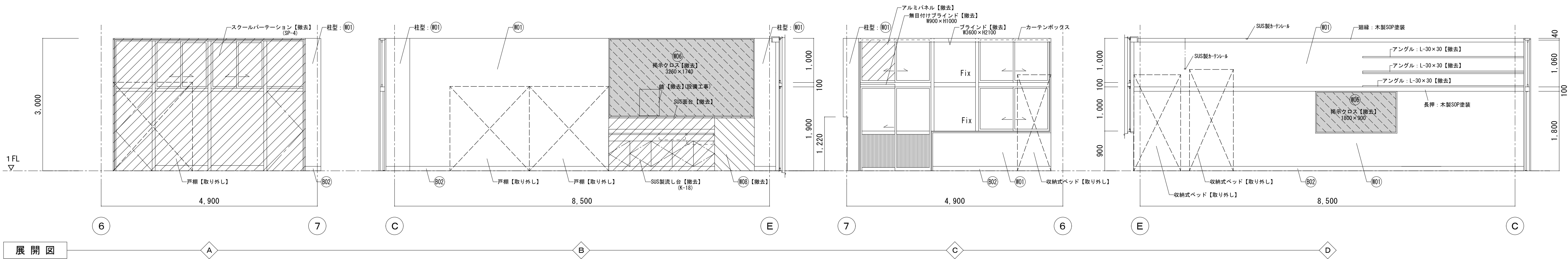
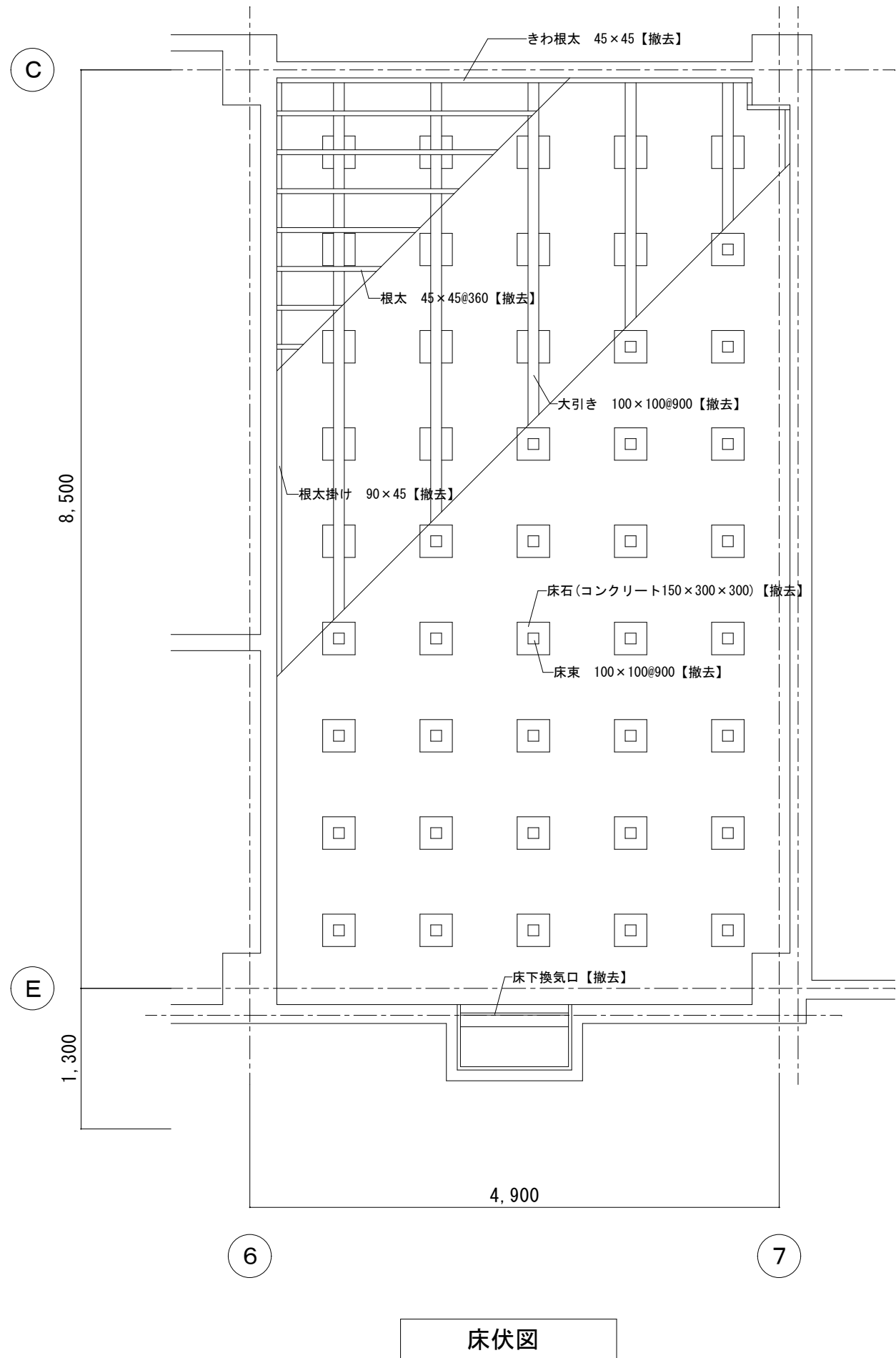
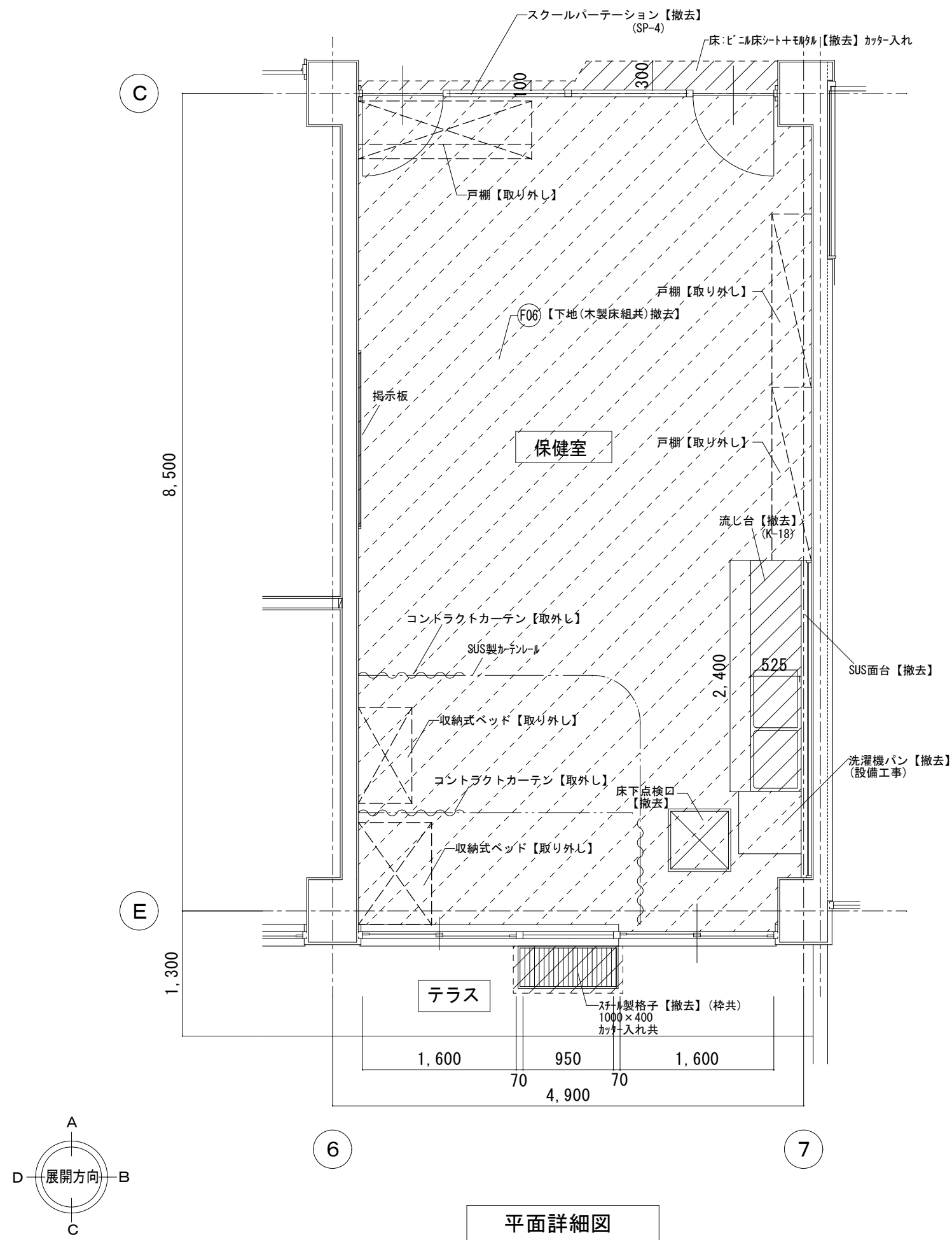
 その他撤去範囲を示す



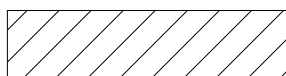
※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

| 1階 保健室 | | 仕上表（改修前） | | |
|--------|-----|--|-----------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 撤去範囲を示す |
| 床 | F06 | フローリングt=15 PU塗装 | 木製根太組 | |
| 巾 木 | B02 | 木製巾木 H=100 SOP塗装 | | |
| 壁 | W01 | EP塗装 | モルタル金ゴテ押え | |
| | W06 | 掲示クロス貼 | ラワン合板 | |
| | W08 | 小口タイル貼 | | |
| 天 井 | C01 | 吸音版の上EP塗装 | LGS | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 3.000 | | |
| 備 考 | | 流し台【撤去】、戸棚【取外し】、ブラインド【撤去】
コントラクトカーテン【取外し】 | | |

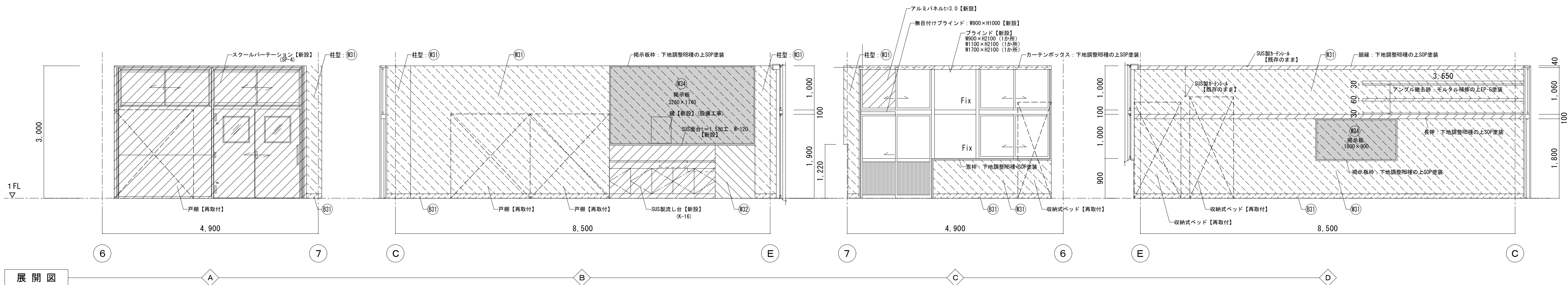
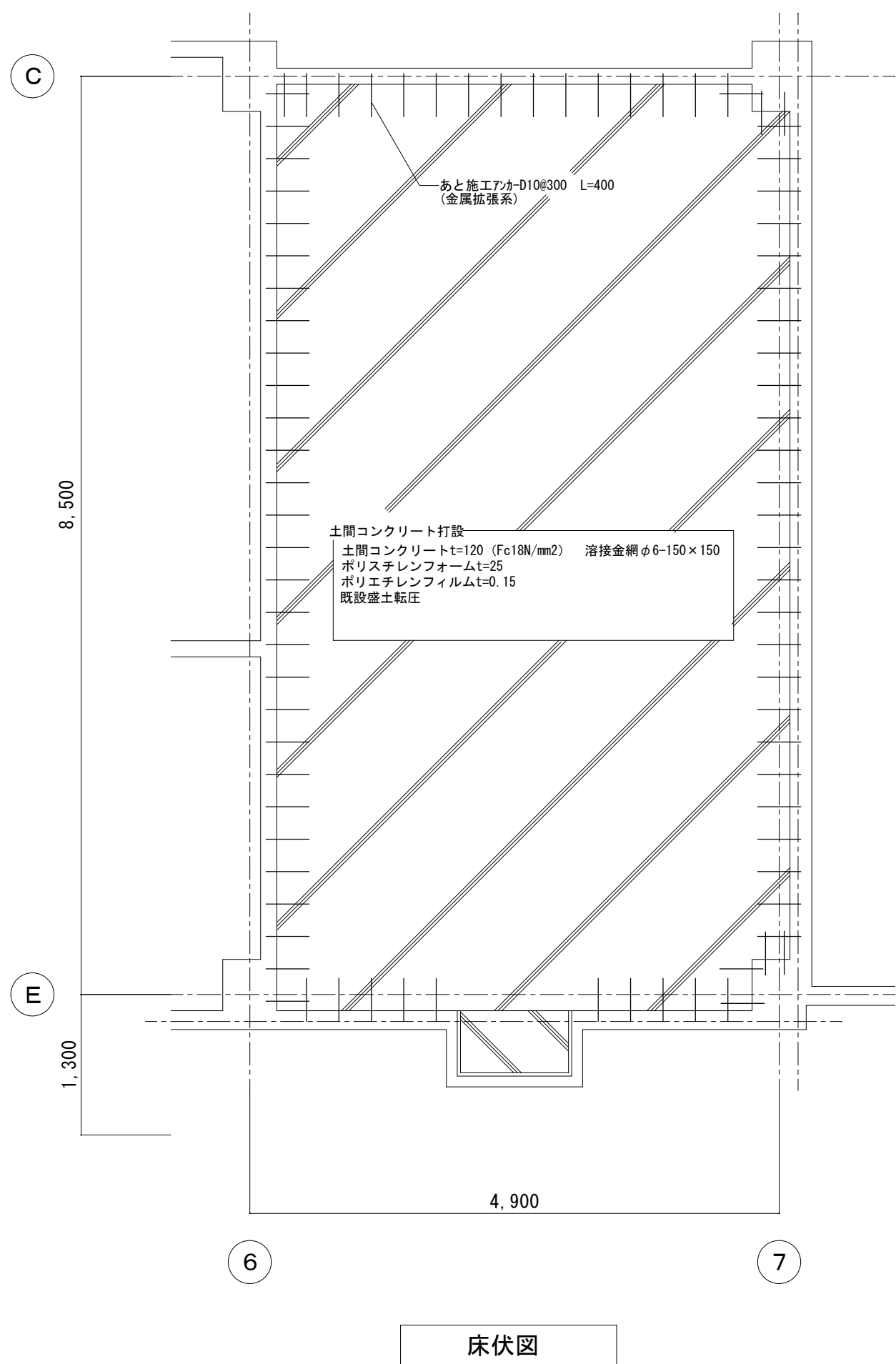
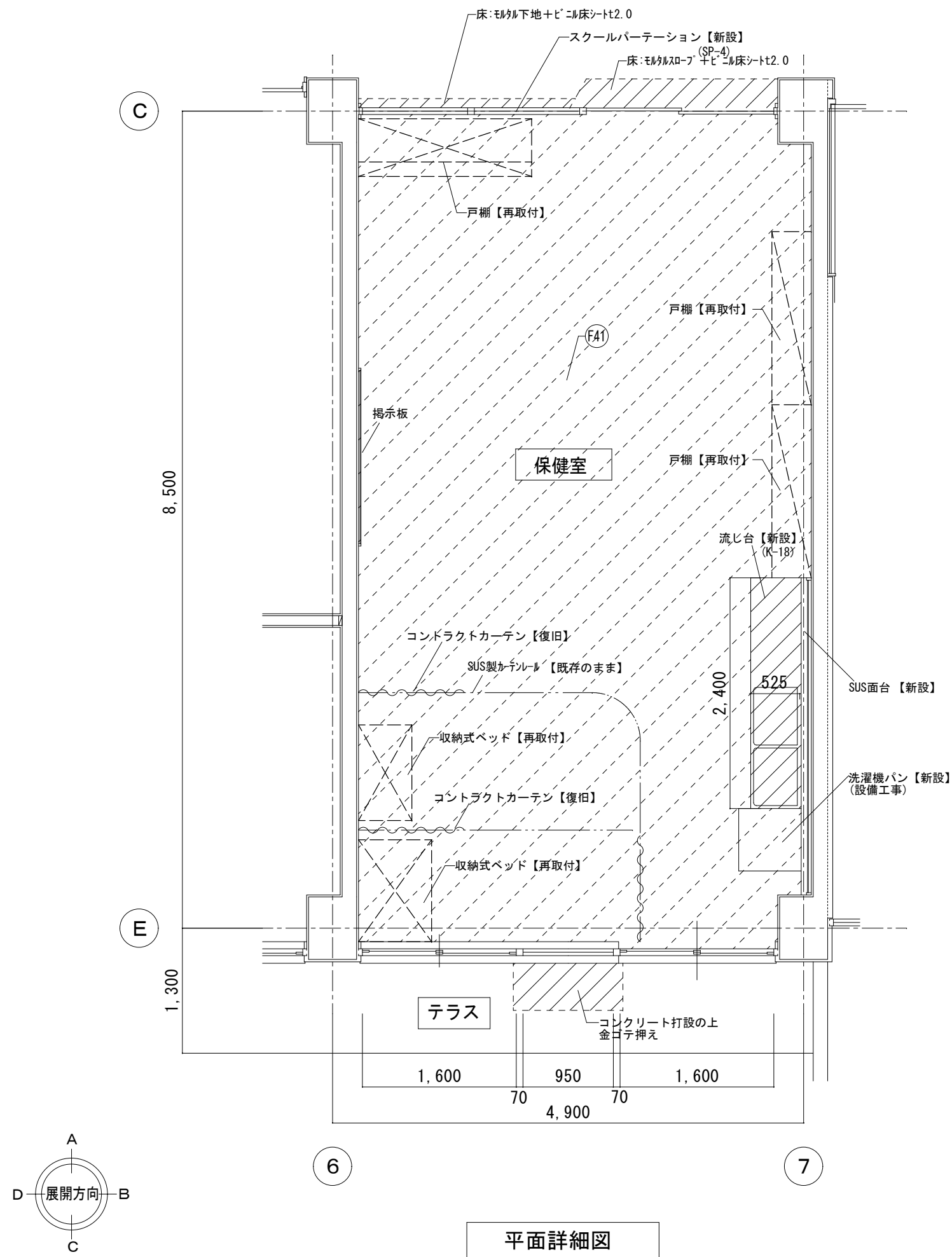
 その他撤去範囲を示す



| 1階 保健室 | | 仕上表（改修後） | | |
|--------|-----|--|---|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | F41 | ビニル床シートt=2.0貼 | 原遮太(40×60)・撥水床板組・
バレー・タイルボードt=20
・構造用合板1種t=12 | |
| 巾 木 | B31 | 下地調整R種の上SOP塗装 | 既設木製巾木 | |
| 壁 | W31 | 下地調整R種の上EP-G塗装 | | |
| | W34 | 掲示クロス貼(アルミ押え共) | 既設ラワン合板下地利用 | |
| | W32 | 化粧ケイカルt=6.0貼 | LGSw=65
構造用合板t=12.0 1類 | |
| 天 井 | O01 | 吸音版の上EP塗装 | LGS | |
| 廻 縁 | | 塩ビ製 | | |
| 天井高 | | 3.000 | | |
| 備 考 | | 流し台【新設】、戸棚【復旧】、ブラインド【新設】
コントラクトカーテン【復旧】 | | |

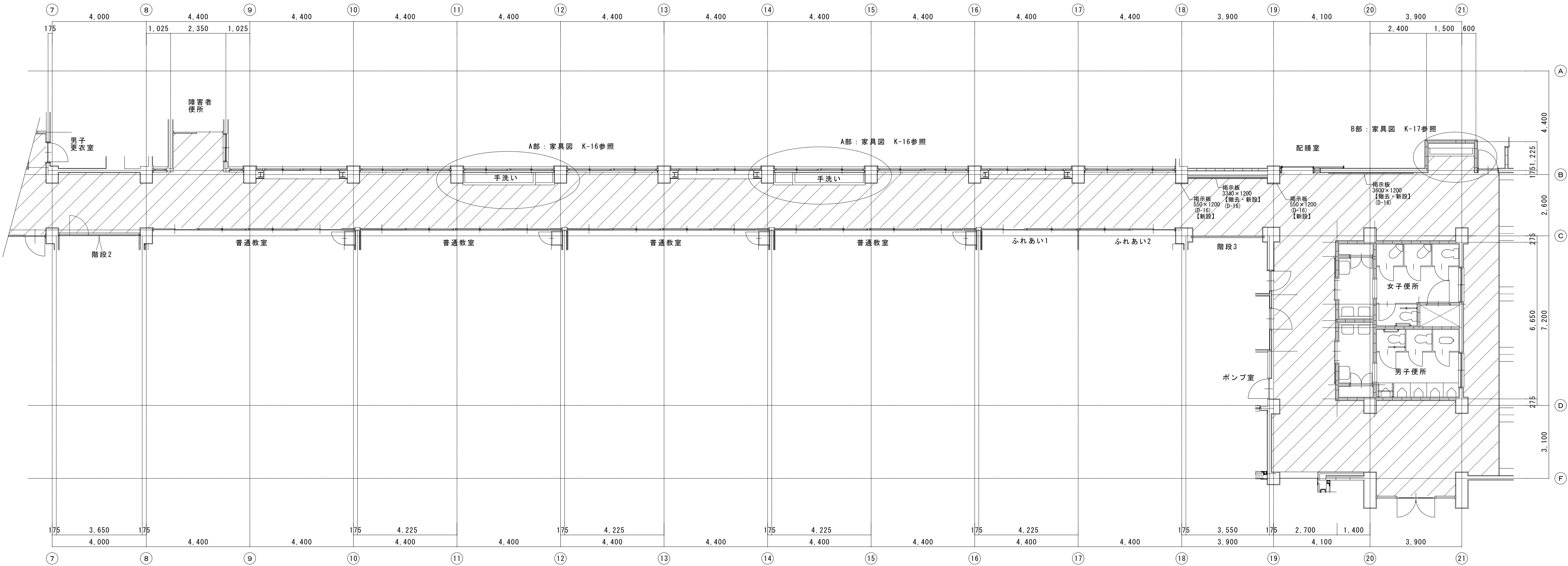
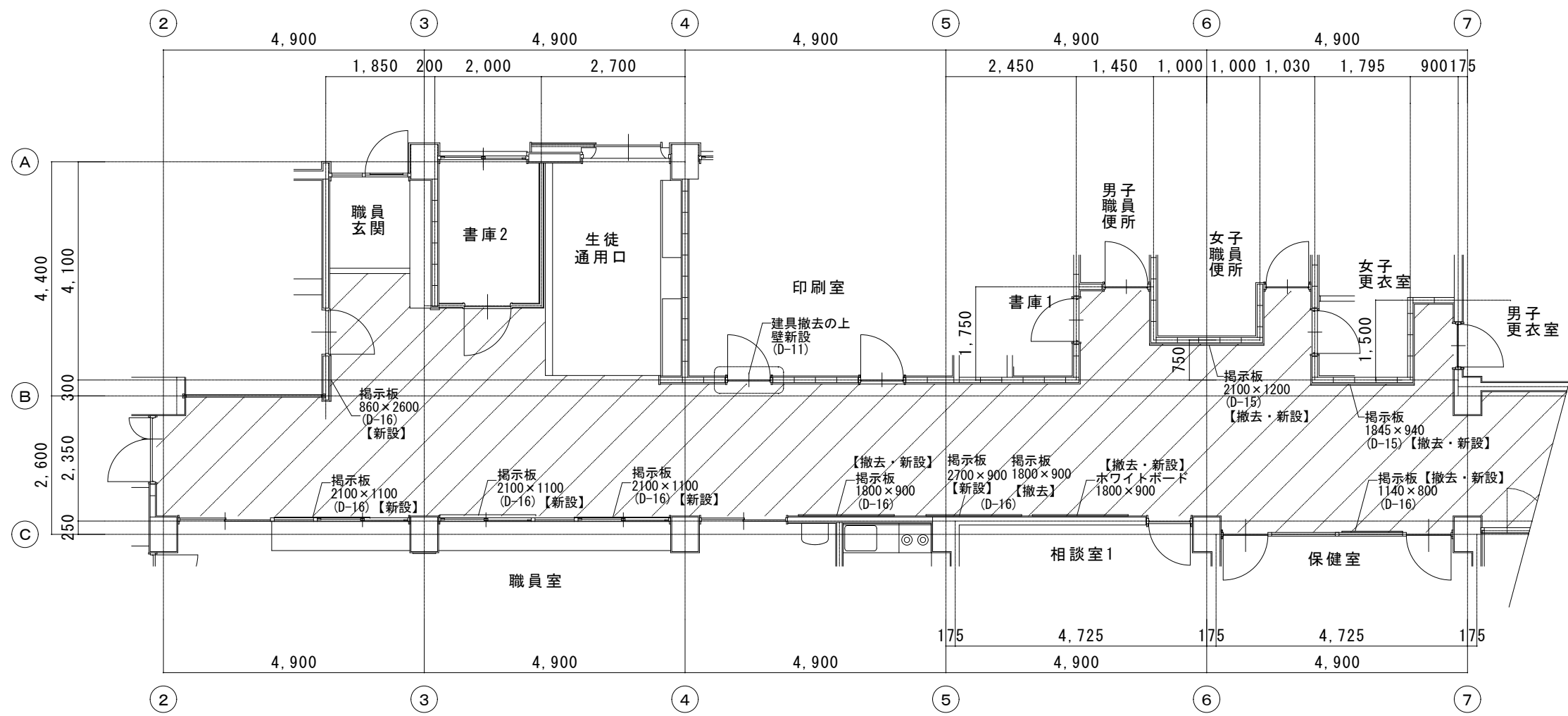
 その他改修範囲を示す

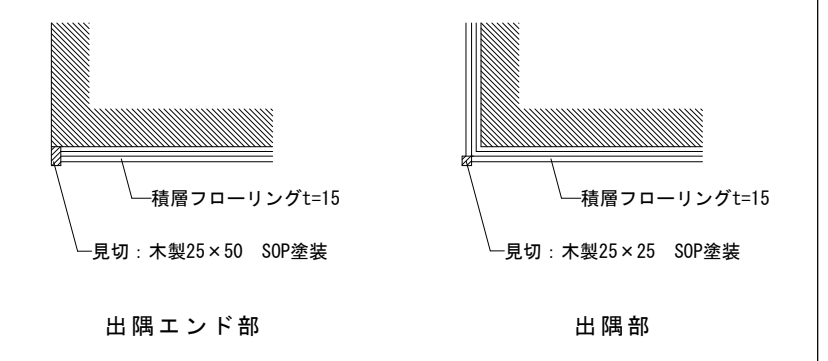
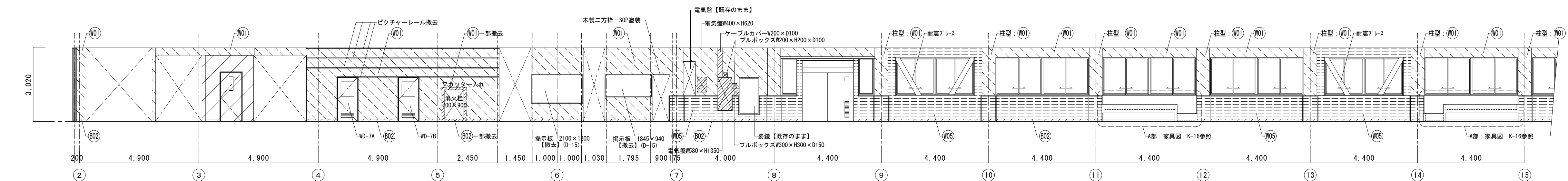
※A：強化セッコウボードt=12.5＋強化石膏ボードt=12.5(両面)
耐火間仕切壁(耐火認定品) 四周 耐火シール
耐火間仕切壁は、1時間耐火構造とし、下記同等品以上とする。
・ ｴﾏﾙｸﾞ ﾍﾞｰﾄﾞ 耐火ﾀｲｰﾌﾟ12S FPO60NP-0415 (1)
・ 吉野石膏 12S FPO60NP-0483 (1)
耐火ｼｰﾙの施工方法については、各社認定工法による



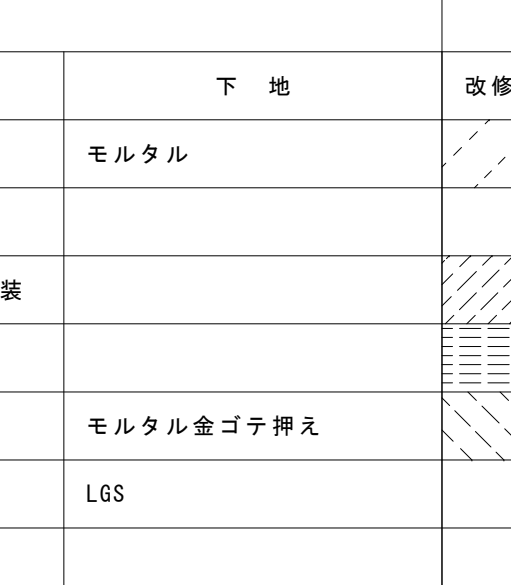
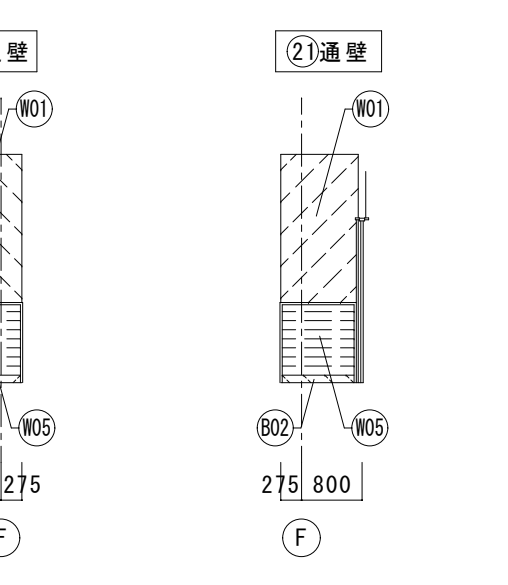
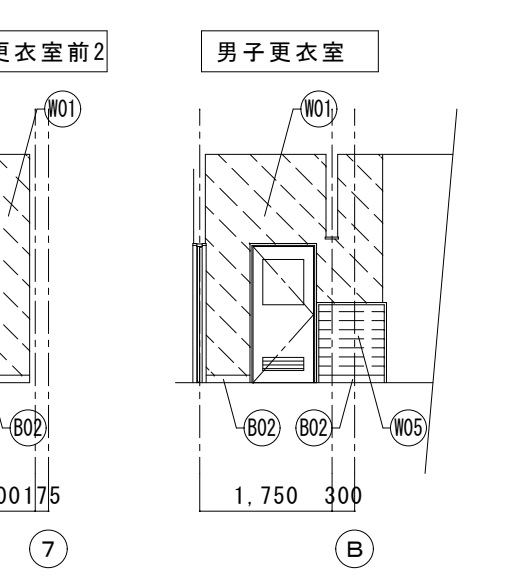
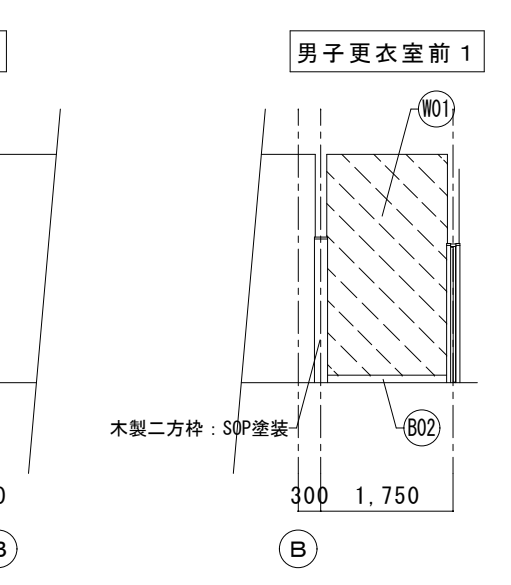
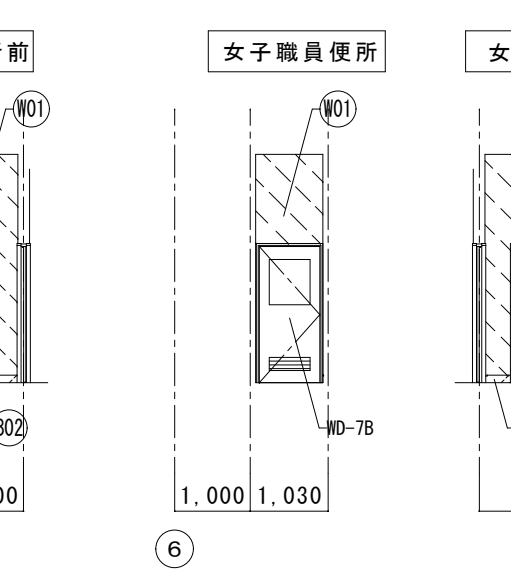
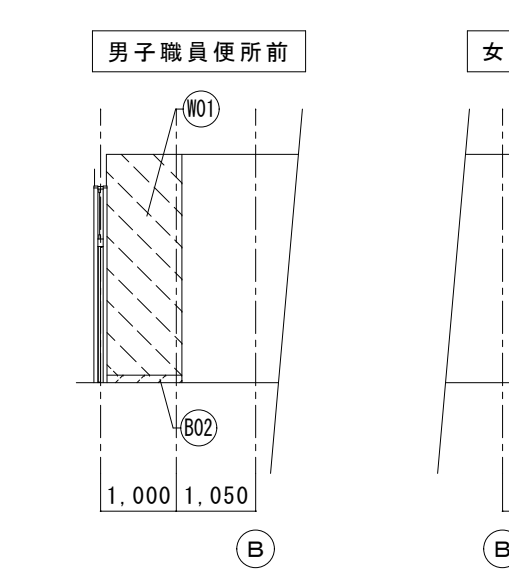
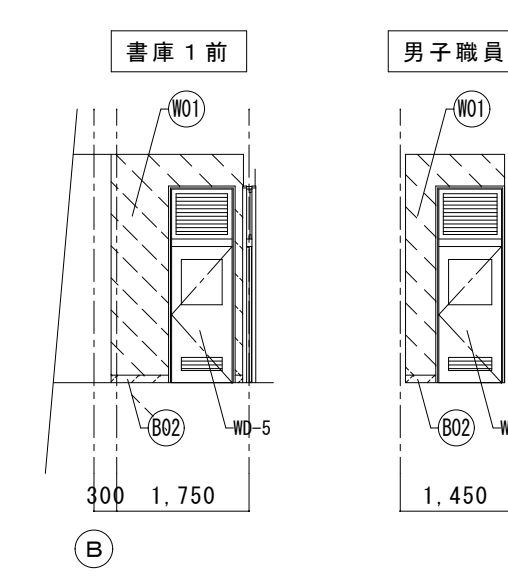
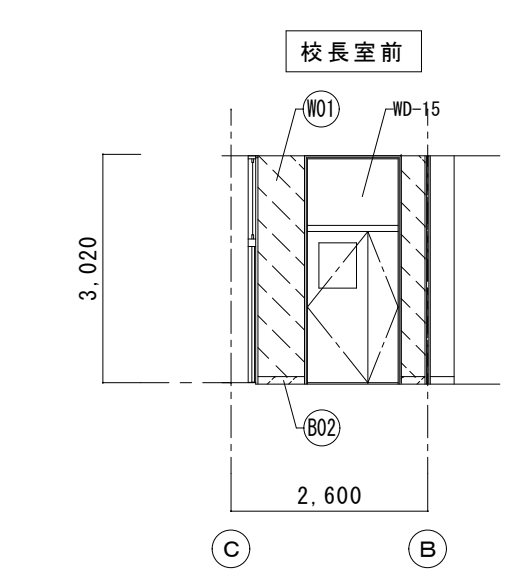
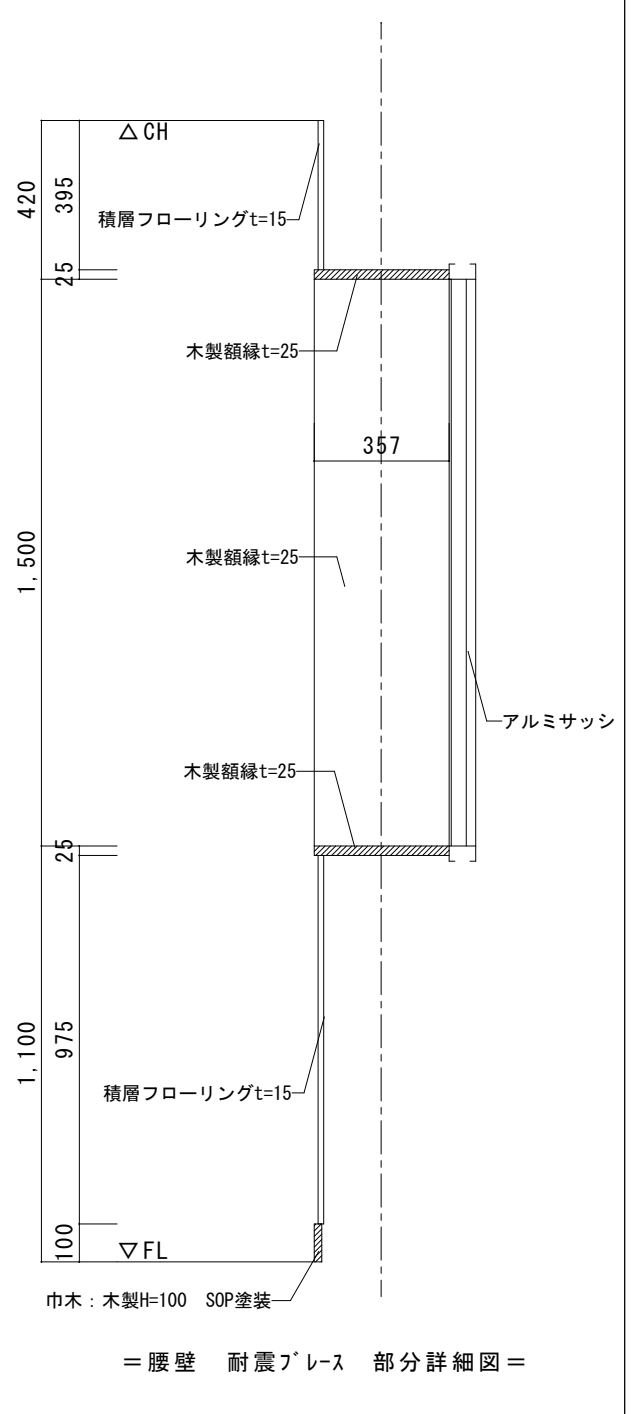
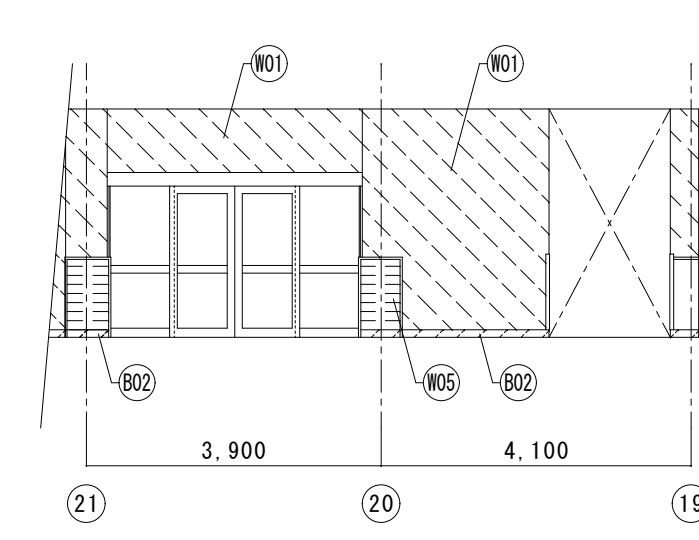
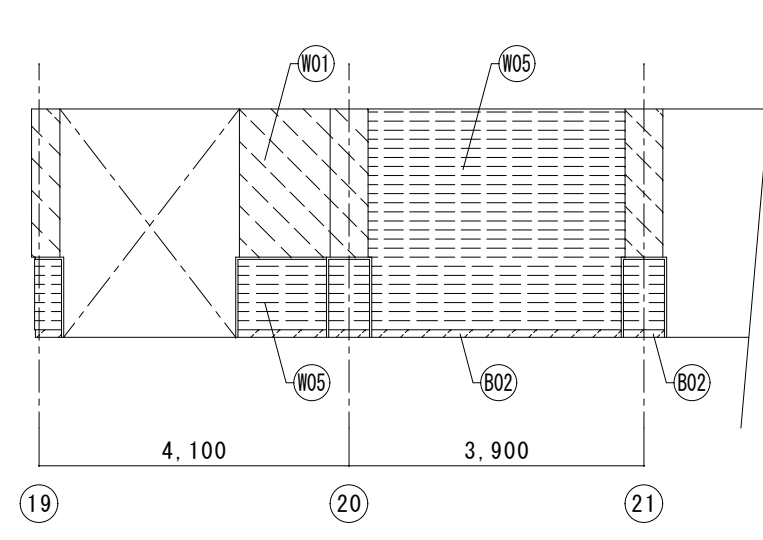
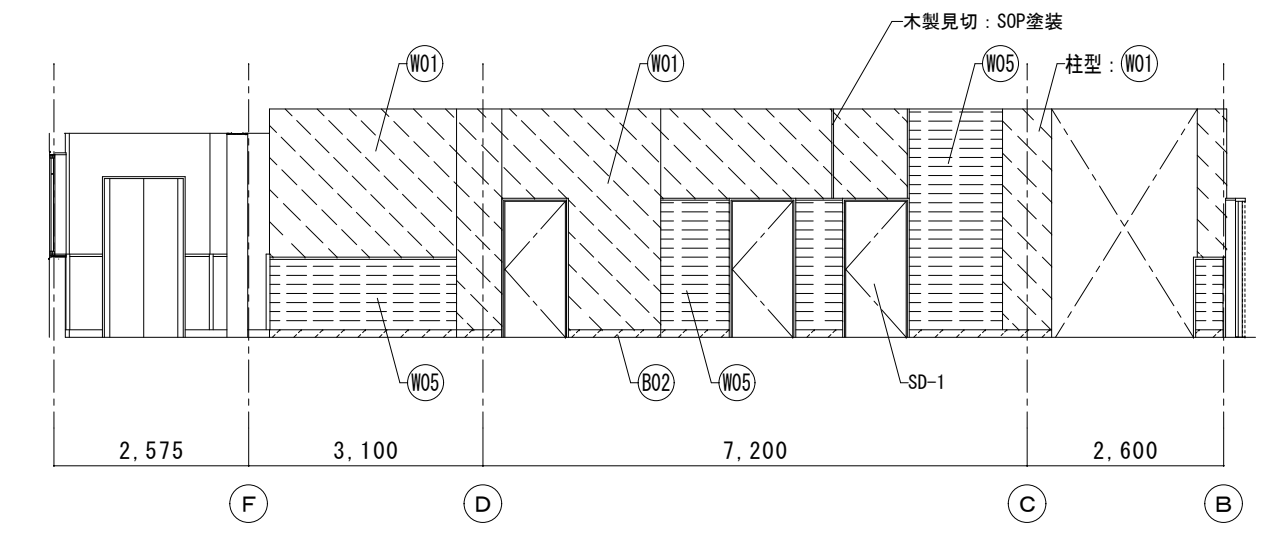
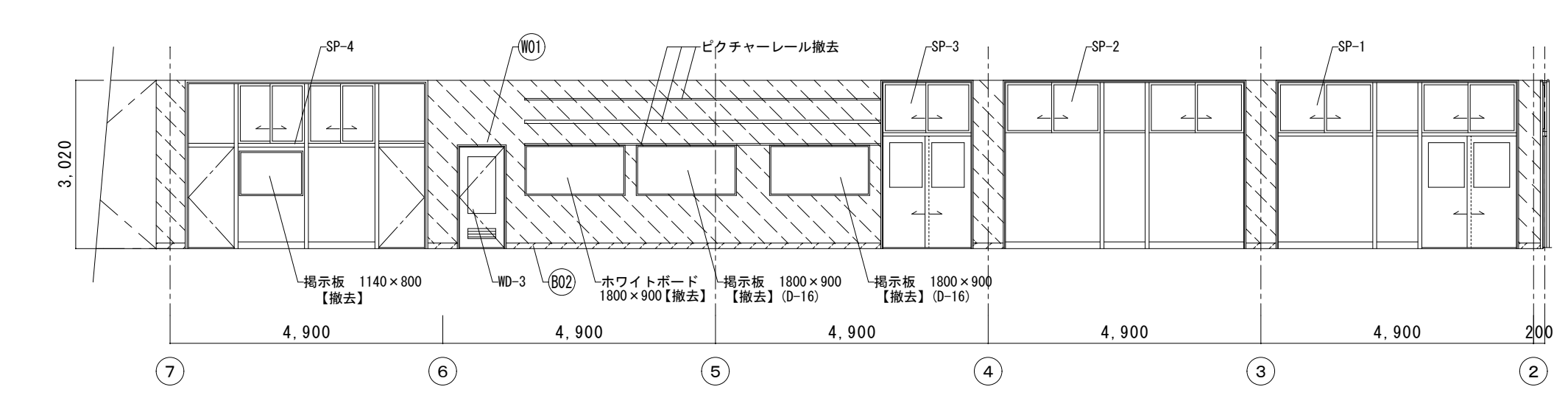
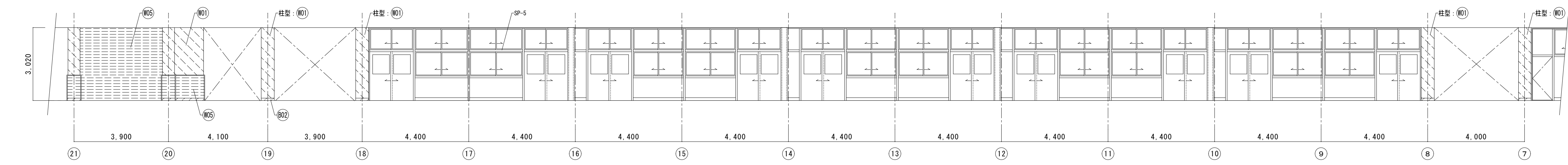
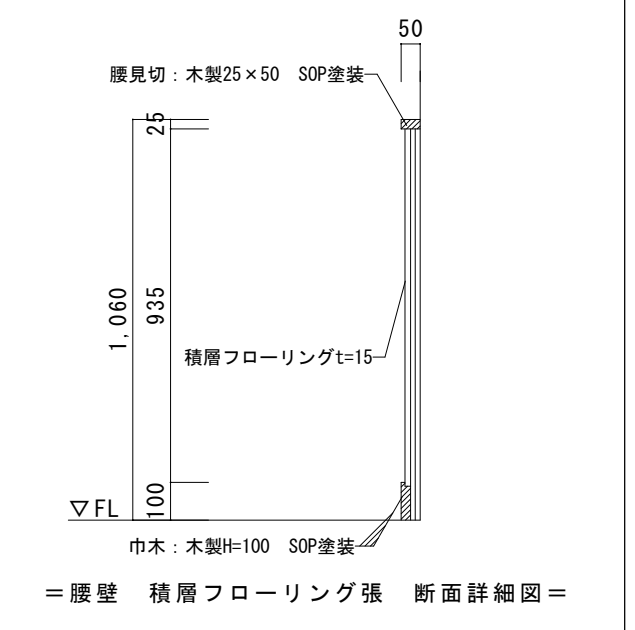
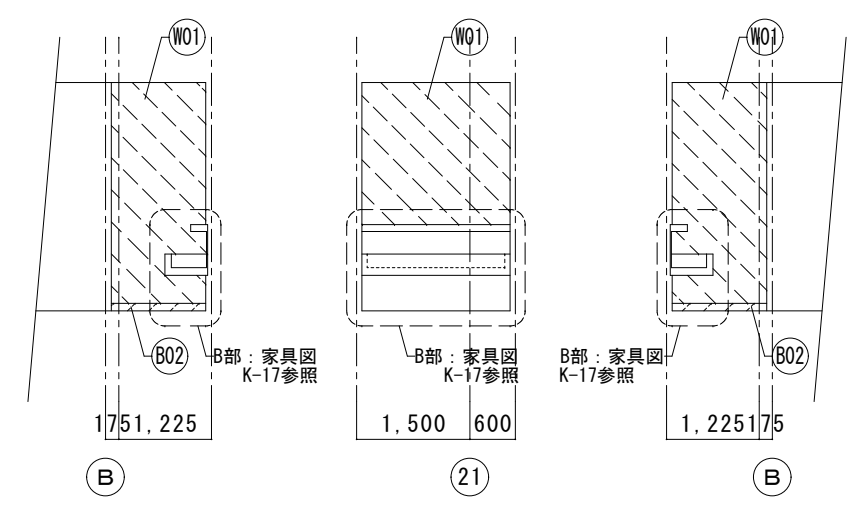
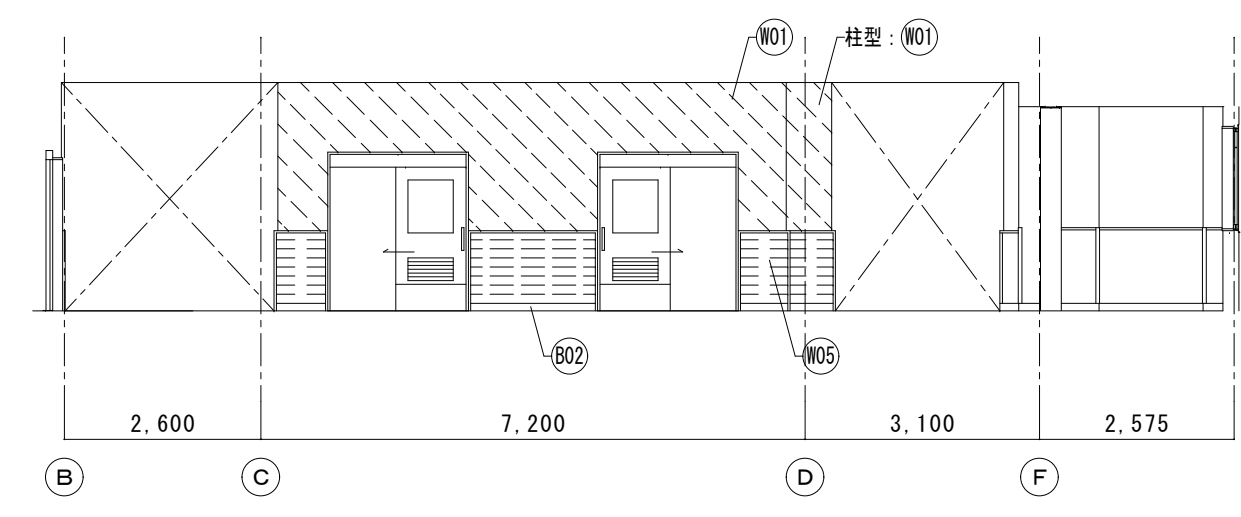
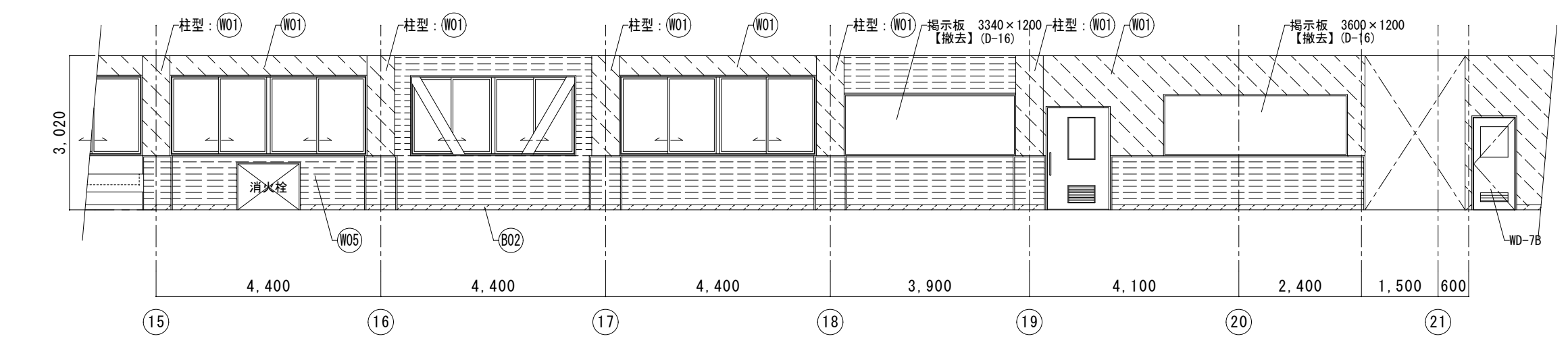
※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

| 1階 廊下 | | 仕上表（改修前） | | 仕上表（改修後） | | |
|-------|-----|------------------|-----------|-----------------|---------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | F01 | ビニル床シート 撤去 | モルタル | ビニル床シートt=2.0貼 | ケレン掛け(ポリッシャー) | |
| | | | | | | |
| 巾 木 | B02 | 木製巾木 H=100 SOP塗装 | | 下地調整RB種の上SOP塗装 | 既設木製巾木 | |
| 腰 壁 | B05 | 積層フローリング張 | | 下地調整RC種の上UC塗装 | 既設積層フローリング張り | |
| 壁 | B01 | EP塗装 | モルタル金ゴテ押え | 下地調整RB種の上EP-G塗装 | | |
| 天 井 | B01 | 吸音版の上EP塗装 | LGS | 下地調整RB種の上EP塗装 | 既設天井仕上材 | |
| 廻 縁 | | | | | | |
| 備 考 | | 流し台【撤去】 | | 流し台【新設】 | | |





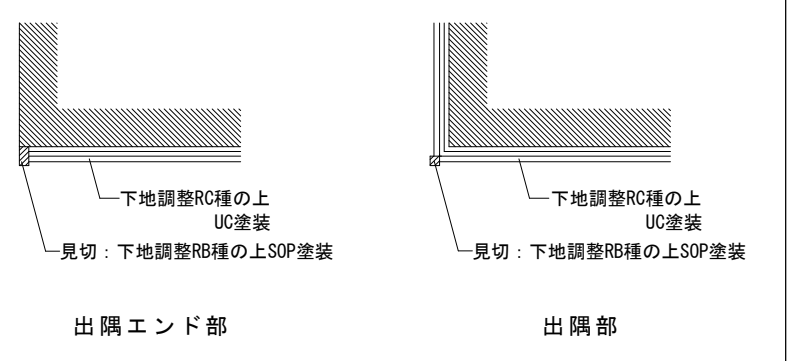
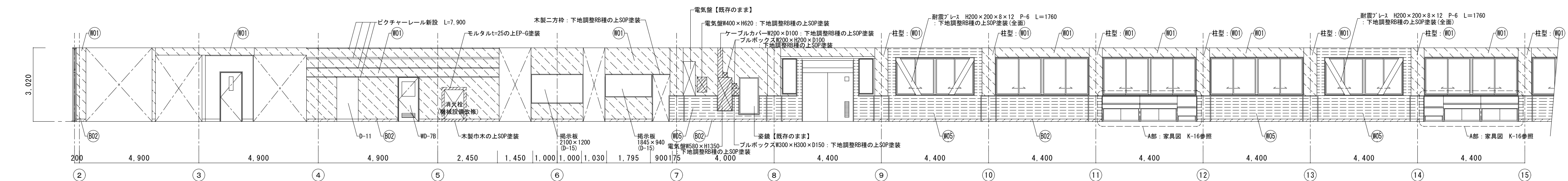
展開図



※改修部分【撤去】に於いて（下地共）の特記なき限り 仕上げのみ とする。
※ ★印はアスベスト含有材を示す

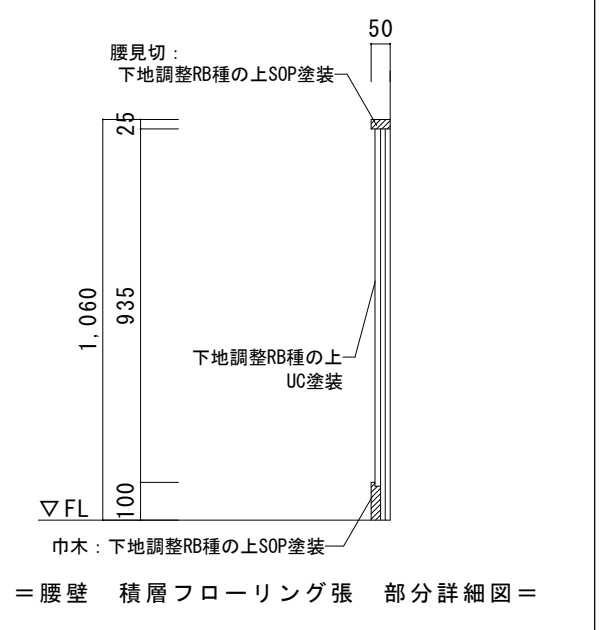
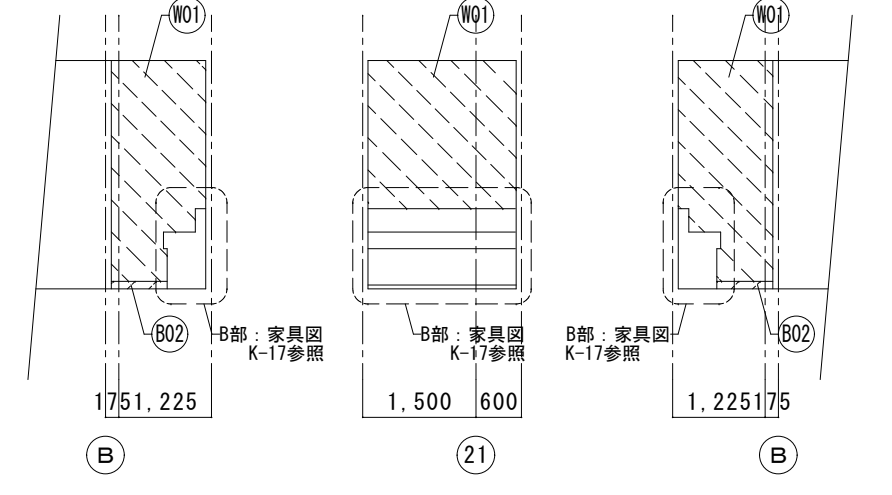
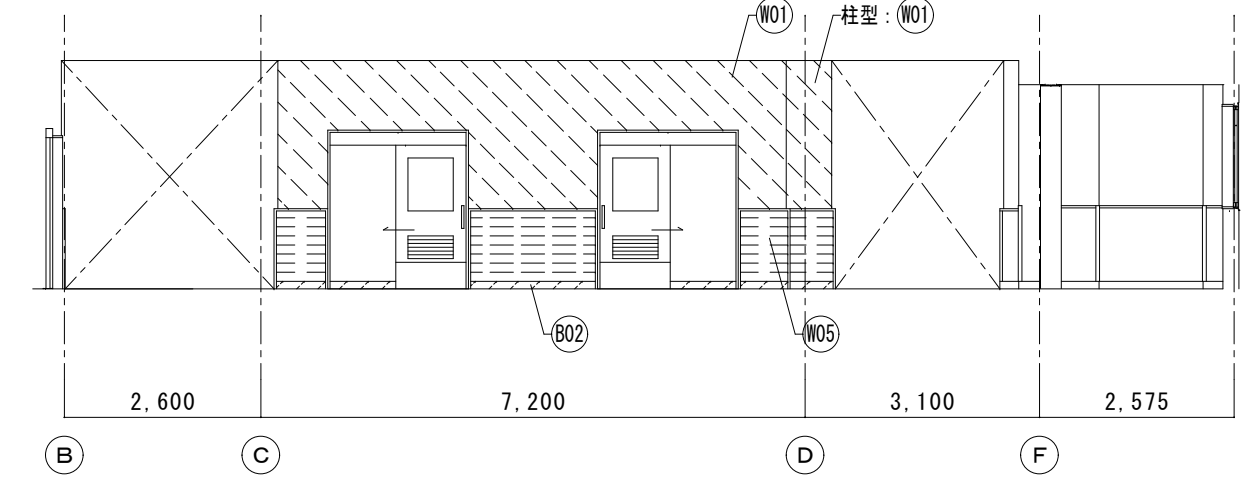
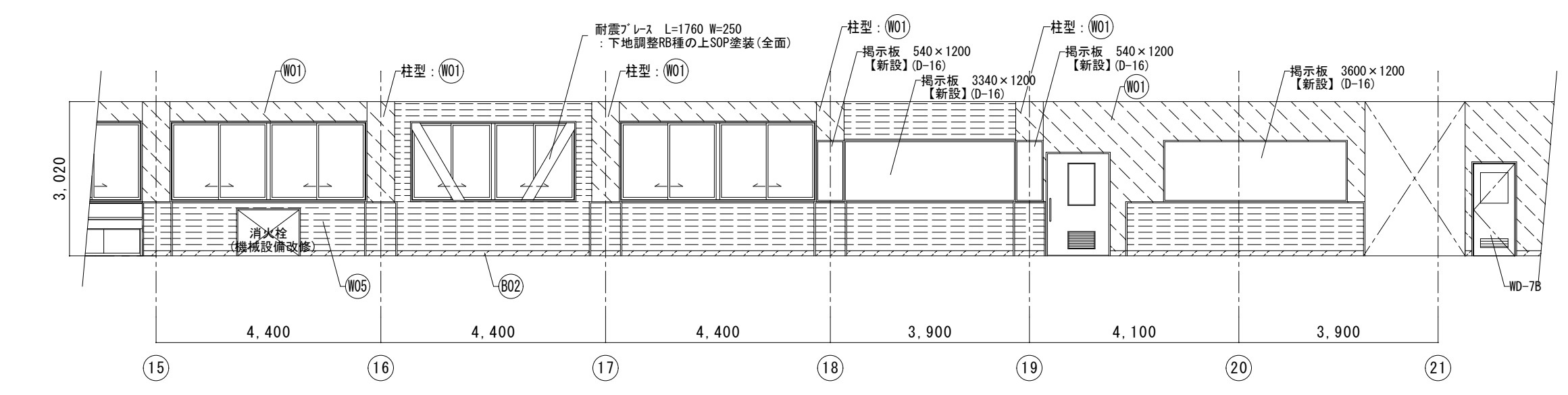
| 1階 廊下 | | 仕上表（改修前） | | |
|-------|-----|------------------|-----------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | F01 | ビニル床シート貼 | モルタル | |
| 巾 木 | B02 | 木製巾木 H=100 SOP塗装 | | |
| 腰 壁 | N05 | 積層フローリング張 | | |
| 壁 | N01 | EP塗装 | モルタル金ゴテ押え | |
| 天 井 | O01 | 吸音版の上EP塗装 | LGS | |

...改修範囲外示す

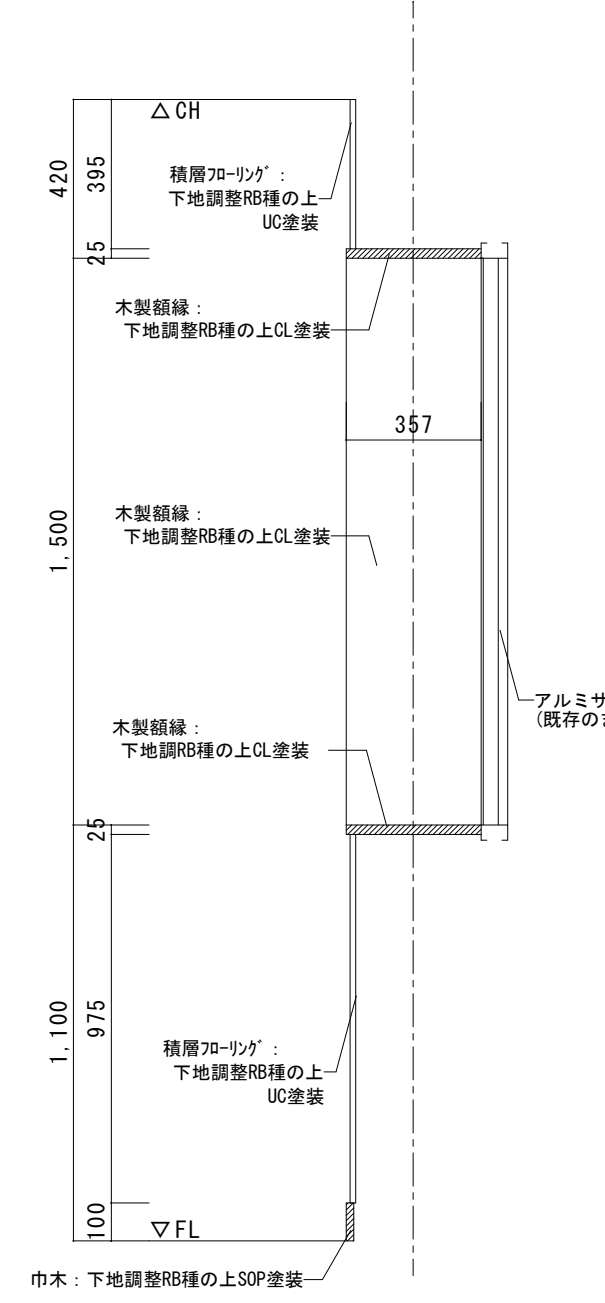
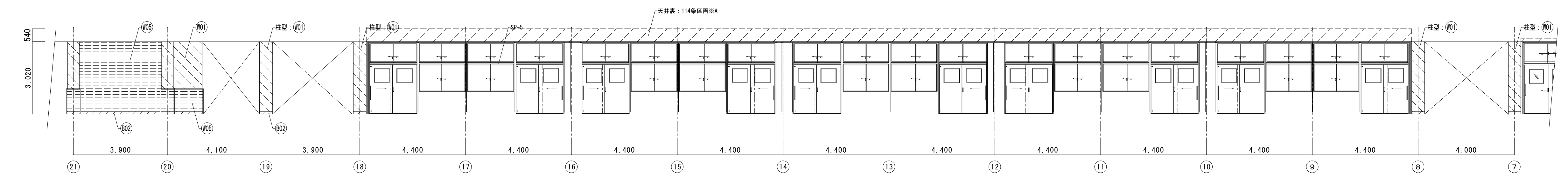


展開図

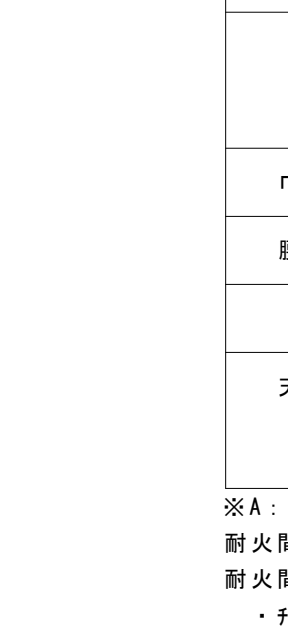
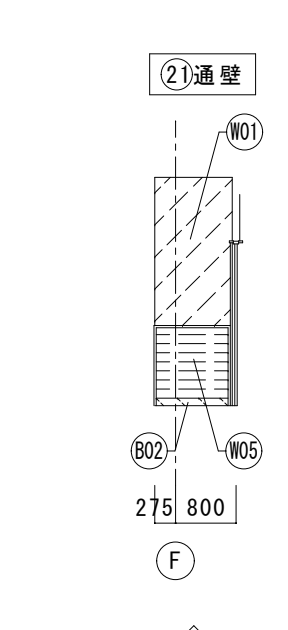
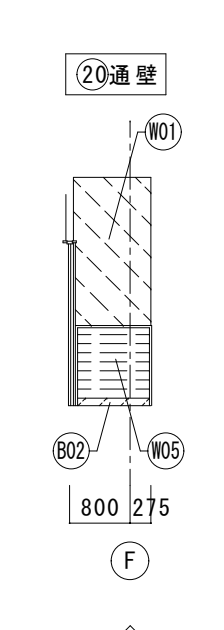
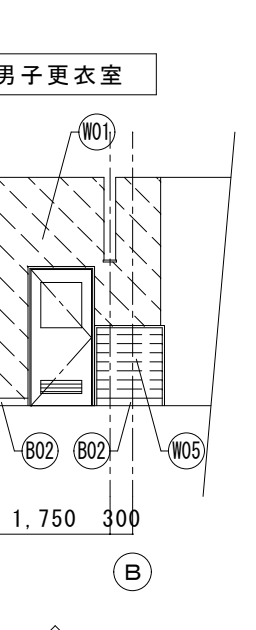
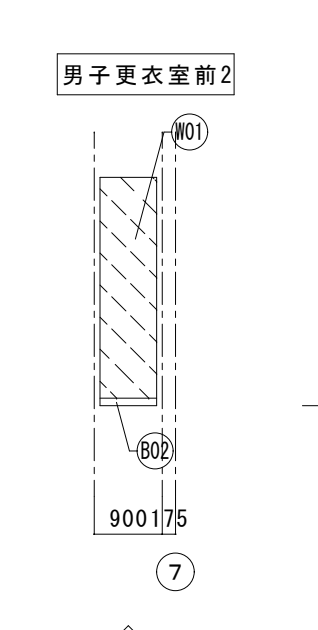
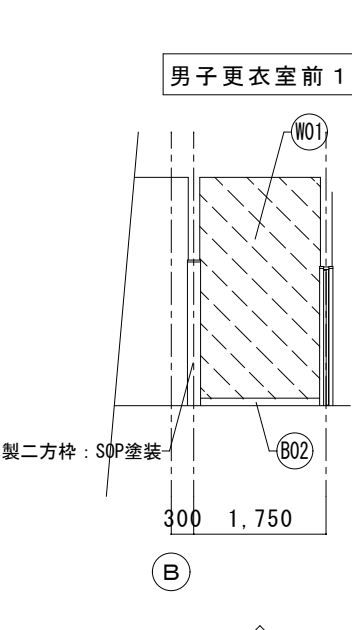
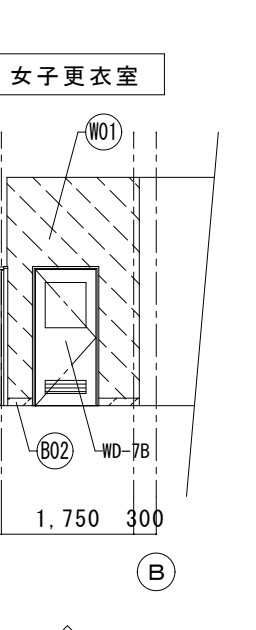
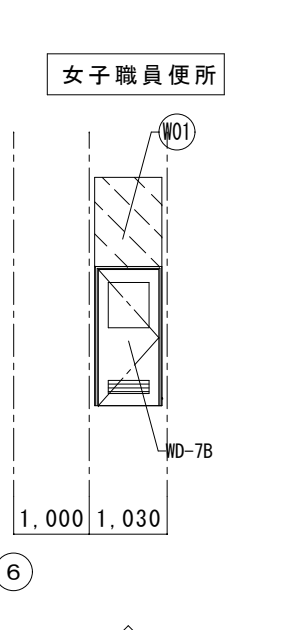
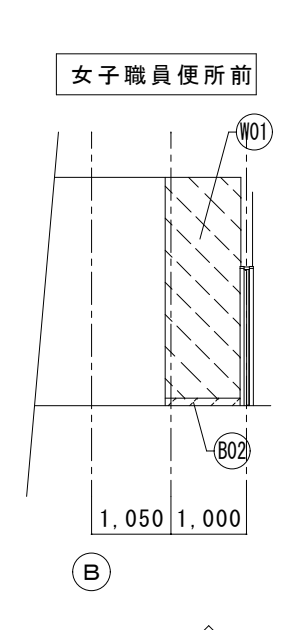
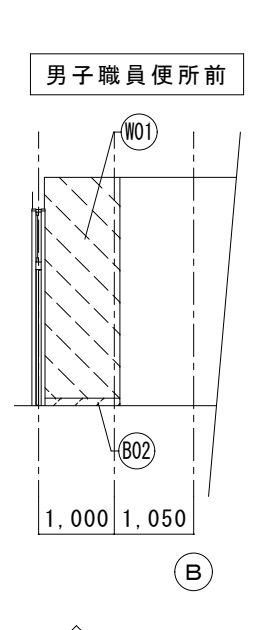
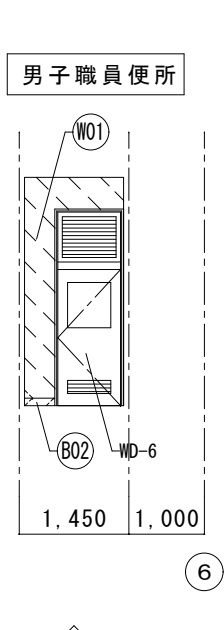
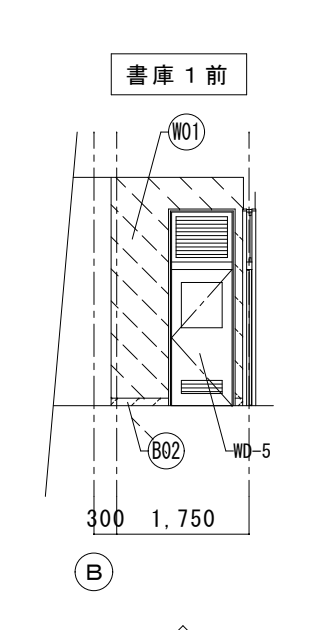
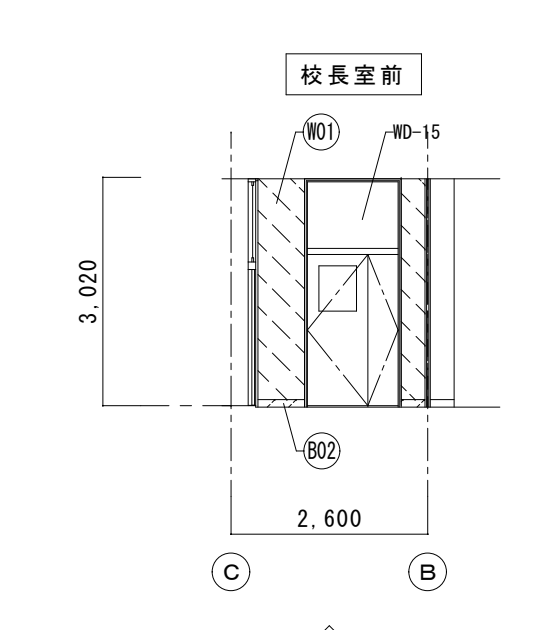
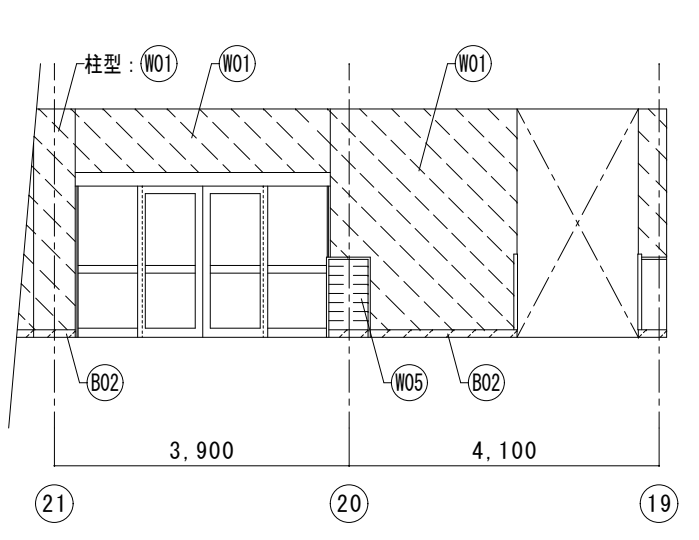
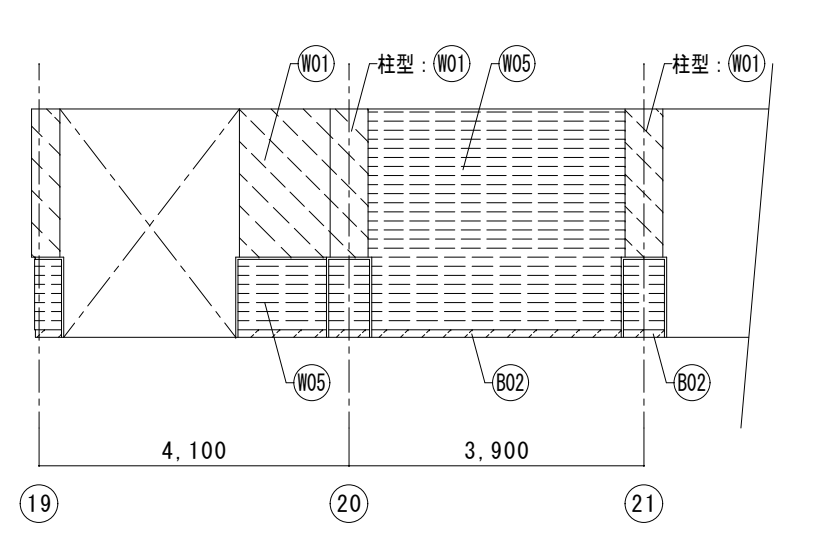
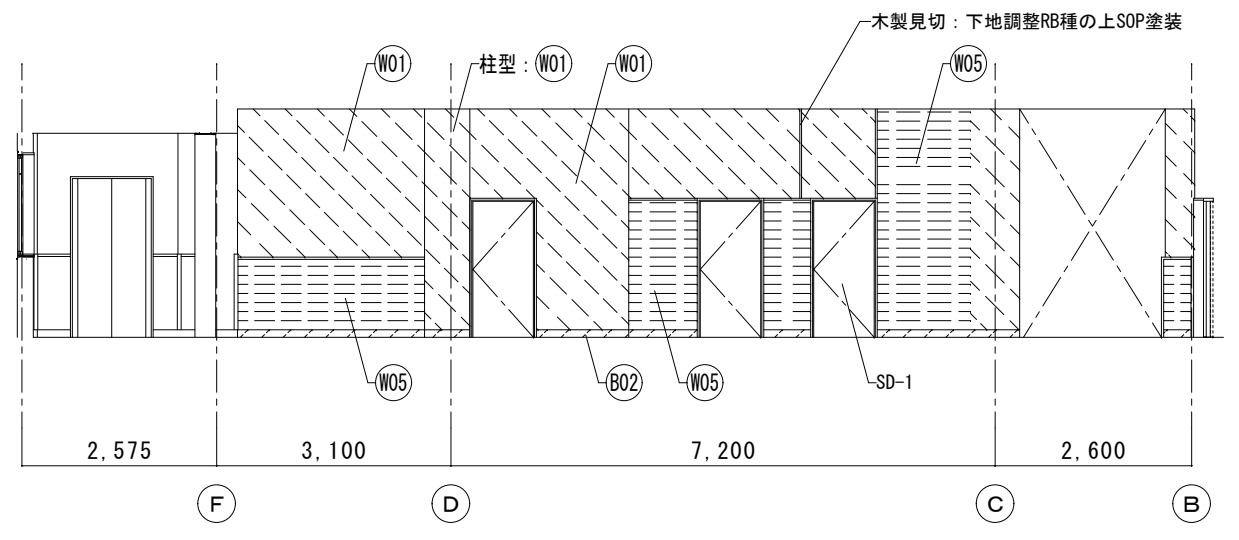
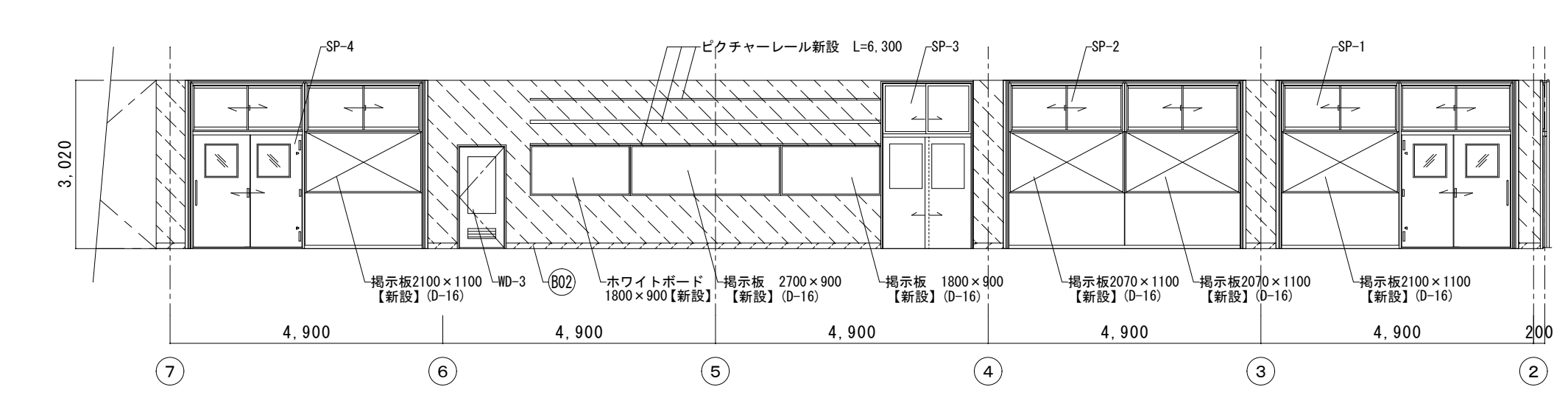
＝腰壁 積層フローリング張 平面詳細図＝



＝腰壁 積層フローリング張 部分詳細図＝

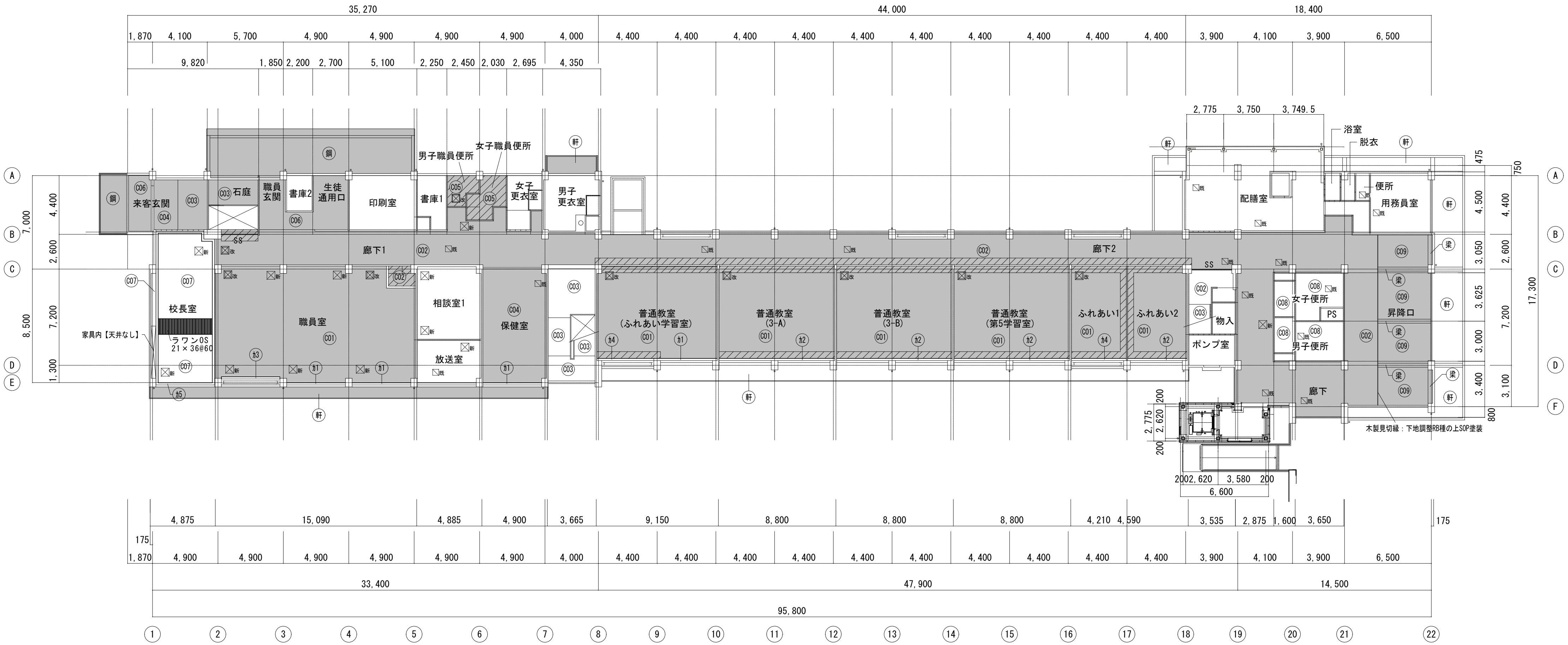


＝腰壁 耐震ブレース 部分詳細図＝

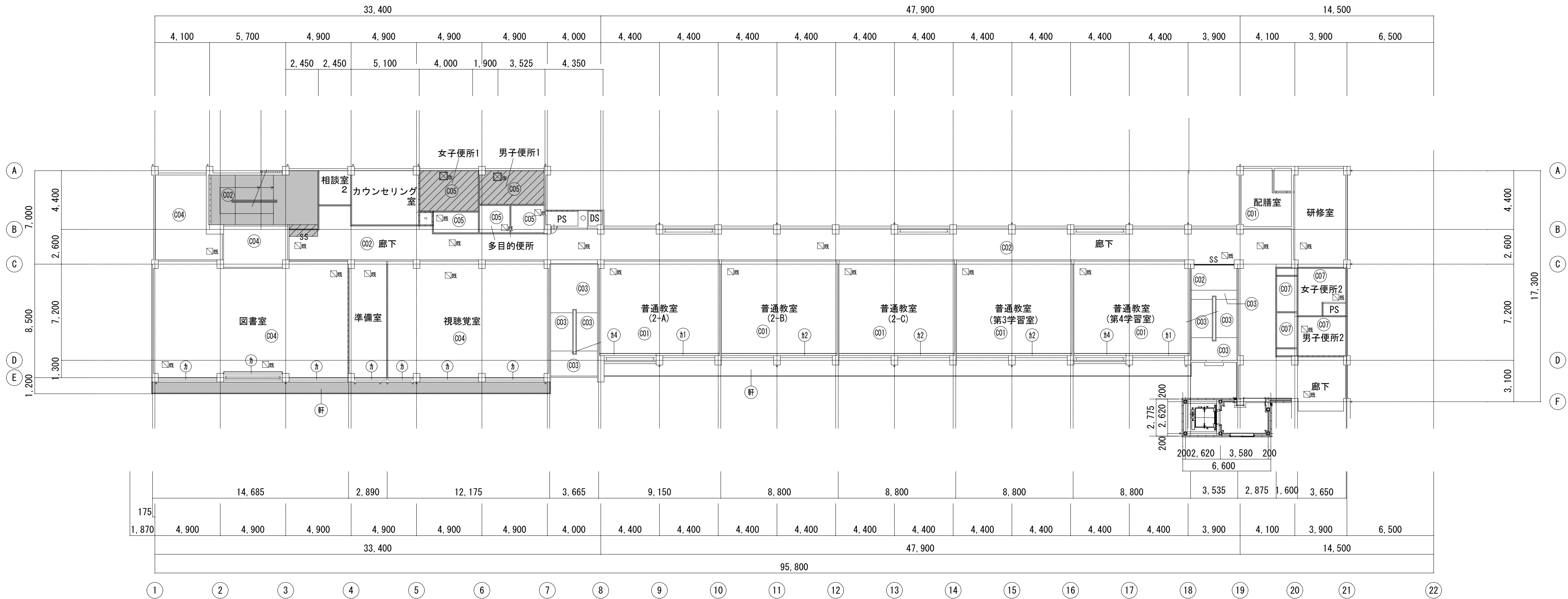


| 1階 廊下 | | 仕上表 (改修後) | | |
|-------|-----|-----------------|--------------|---------|
| 部 位 | 記号 | 仕 上 | 下 地 | 改修範囲を示す |
| 床 | F01 | ビニルシートt=2.0貼 | 下地調整 | |
| 巾 木 | B02 | 下地調整R8種の上SOP塗装 | 既設木製巾木 | |
| 腰 壁 | N05 | 下地調整R8種の上UC塗装 | 既設積層フローリング張り | |
| 壁 | N01 | 下地調整R8種の上EP-G塗装 | | |
| 天 井 | O01 | 下地調整R8種の上EP塗装 | 既設天井仕上材 | |

※A：強化せっこうボードt=12.5+強化石膏ボードt=12.5(両面)
耐火間仕切壁(耐火認定品) 四周 耐火シール
耐火間仕切壁は、1時間耐火構造とし、下記同等品以上とする。
・防火カー：耐火カーM12S FP060NP-0415(1)
・吉野石膏：12S FP060NP-0483(1)
耐火シールの施工方法については、各社認定工法による

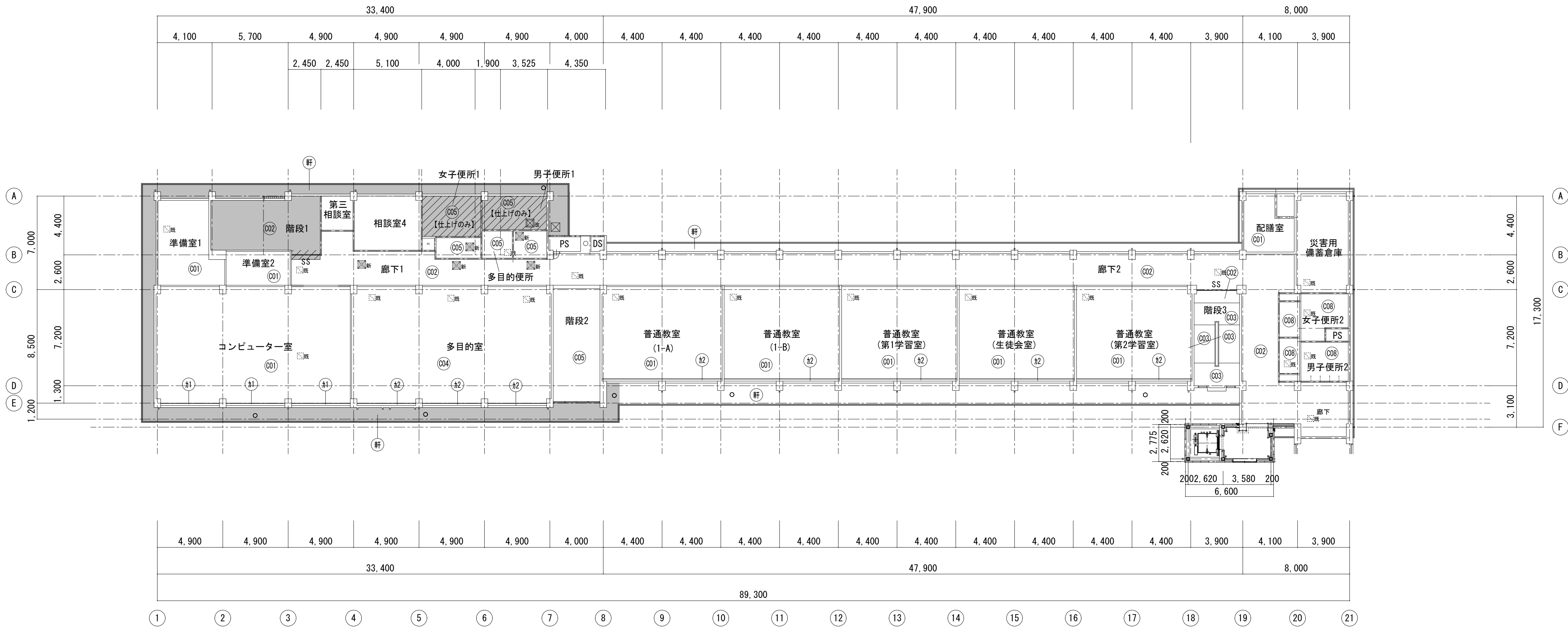


1階天井伏図 S=1:200

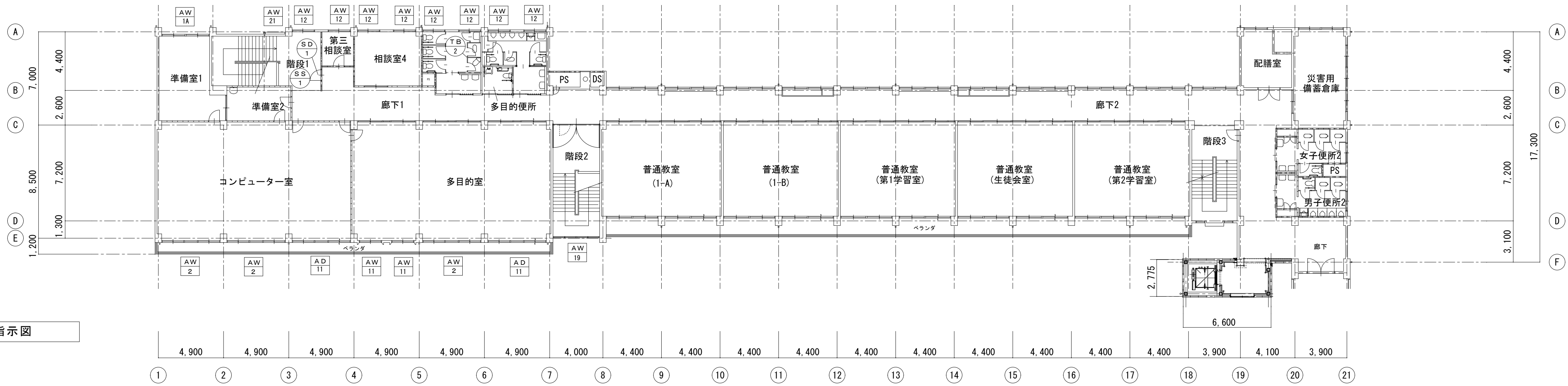


2階天井伏図 S=1:200

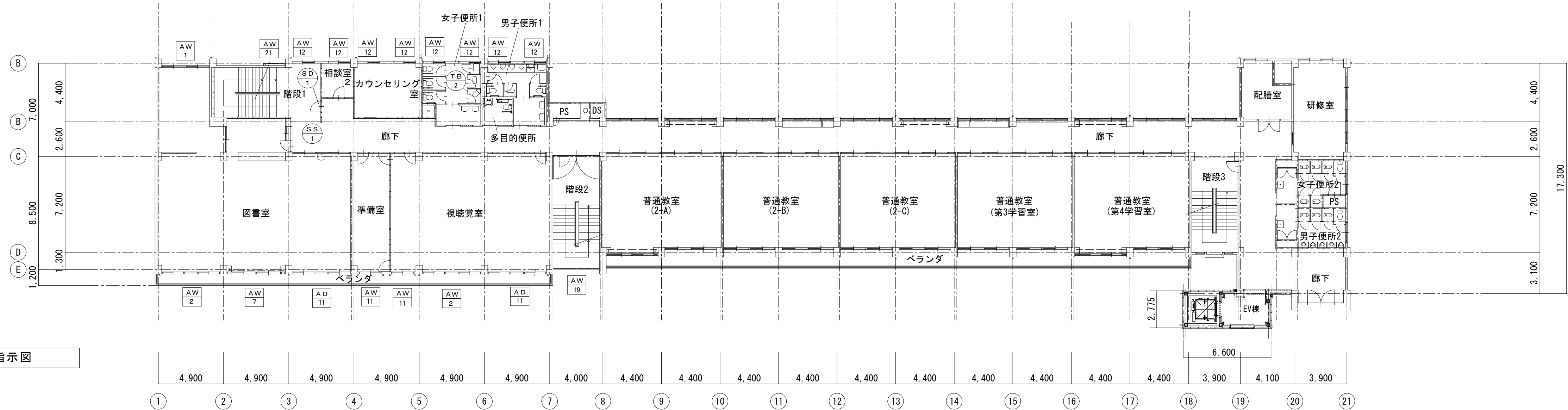
| 凡例 | | 改修前 | | 改修後 | |
|-----|--|--------------|----|---------------------------|-----------------------------|
| 記号 | | 仕上 | 下地 | 改修方法 | 復旧方法 |
| 001 | 吸音板の上EP塗装 | LGS | | 既設天井仕上材の上
下地調整RB種 EP塗装 | LGS下地
GB-D(T)t=9.5の上EP塗装 |
| 002 | 吸音板の上EP塗装 | LGS | | 既設天井仕上材の上
下地調整RB種 EP塗装 | LGS下地
GB-D(T)t=9.5 |
| 003 | AVP塗装 | ★ゾ/ライト吹付t=15 | | EP塗装 | |
| 004 | 有効ボードの上EP塗装 | LGS | | 既設天井仕上材の上
下地調整RB種 EP塗装 | |
| 005 | GB-D(T) | LGS | | | LGS下地
GB-D(T)t=9.5 |
| 006 | 鋼製スバンドレル | LGS | | 清掃程度 | |
| 007 | DR (合板増貼) | LGS | | 既存のまま | |
| 008 | FK t=6.0の上EP-G | LGS | | | |
| 009 | GB-D(T) | LGS | | 既設天井仕上材の上
下地調整RB種 EP塗装 | LGS下地
GB-D(T)t=9.5 |
| 010 | 梁型: EP塗装 | モルタル | | 下地調整RB種 EP塗装 | |
| 011 | モルタル剛毛引きの上
複層塗材 | モルタル | | 水洗いの上
下地調整RB種 NAD塗装 | |
| 012 | 鋼製スバンドレル | LGS | | 水洗いの上
下地調整RB種の上DP塗装 | |
| 013 | カーテンボックス (木製W150×H90) SOP塗装
【既存のまま】 | | | 下地調整RB種 SOP塗装 | |
| 014 | カーテンボックス (木製W150×H90) SOP塗装
【撤去】 | | | | 木製W200×H90新設
SOP塗装 |
| 015 | カーテンボックス (木製W150×H260) SOP塗装
【撤去】 | | | 下地調整RB種 SOP塗装 | |
| 016 | カーテンボックス (木製W150×H260) SOP塗装
【撤去】 | | | | 木製W200×H260新設
SOP塗装 |
| 017 | カーテンボックス (木製W150×H90) OS塗装
【既存のまま】 | | | 下地調整RC種 CL塗装 | |
| 018 | 天井点検口 アルミ枠 450角 撤去・600角 新設 を示す | | | | |
| 019 | 天井点検口 アルミ枠 450角 既存のまま を示す | | | | |
| 020 | 天井点検口 アルミ枠 600角 新設 を示す | | | | |
| 021 | 改修範囲を示す | | | | |
| 022 | 既設撤去の上、復旧範囲を示す (特記なき限り下地共とする) | | | | |
| 023 | 軒天燐燐箇所を示す | | | | |



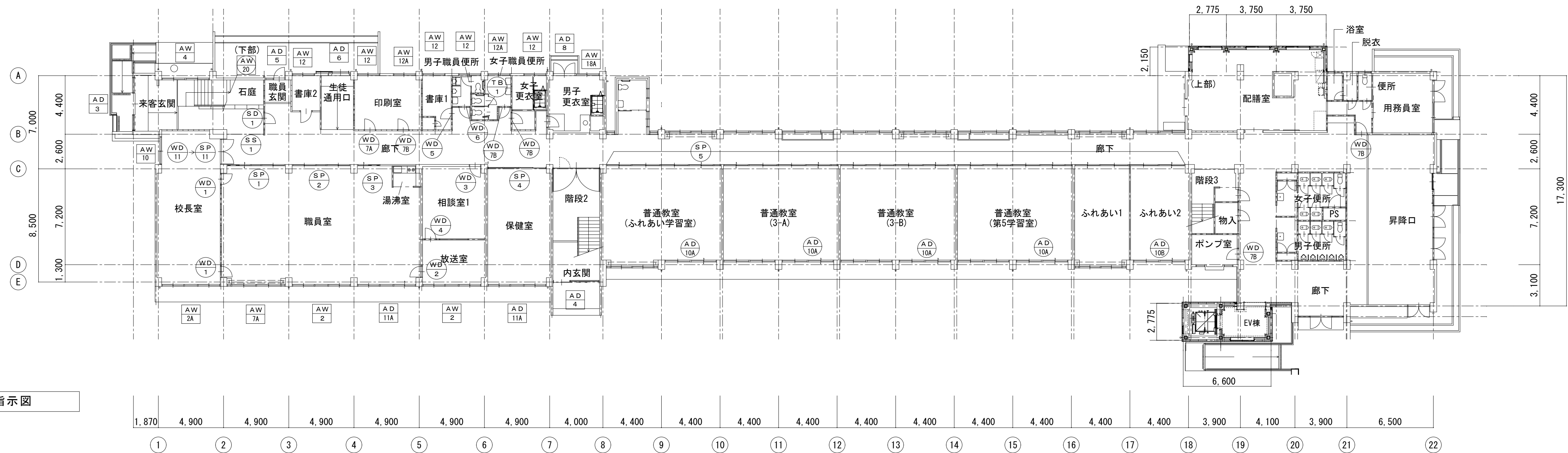
| 凡例 | | | |
|----|---|--------------|---------------------------|
| 記号 | 改修前 | | 改修後 |
| | 仕 上 | 下 地 | |
| ㊦ | 吸音版の上EP塗装 | LGS | 既設天井仕上材の上
下地調整RB種 EP塗装 |
| ㊦ | 吸音版の上EP塗装 | LGS | 既設天井仕上材の上
下地調整RB種 EP塗装 |
| ㊦ | AVP塗装 | ★ゾノライト吹付t=15 | EP塗装 |
| ㊦ | 有効ボードの上EP塗装 | LGS | 既設天井仕上材の上
下地調整RB種 EP塗装 |
| ㊦ | GB-D (T) | LGS | LGS下地
GB-D (T) t=9.5 |
| ㊦ | 鋼製スバンドレル | LGS | 清掃程度 |
| ㊦ | DR (合板捨貼) | LGS | 既存のまま |
| ㊦ | FK t=6.0の上EP-G | LGS | |
| ㊦ | GB-D (T) | LGS | 既設天井仕上材の上
下地調整RB種 EP塗装 |
| ㊦ | 渠型：EP塗装 | モルタル | 下地調整RB種 EP塗装 |
| ㊦ | モルタル刷毛引きの上
複層塗材 | モルタル | 水洗いの上
下地調整RB種 NAD塗装 |
| ㊦ | 鋼製スバンドレル | LGS | 水洗いの上
下地調整RB種の上DP塗装 |
| ㊦ | カーテンボックス (木製W150×H90) SOP塗装
【既存のまま】 | | 下地調整RB種 SOP塗装 |
| ㊦ | カーテンボックス (木製W150×H90) SOP塗装
【撤去】 | | 木製W200×H90新設
SOP塗装 |
| ㊦ | カーテンボックス (木製W150×H260) SOP塗装
【既存のまま】 | | 下地調整RB種 SOP塗装 |
| ㊦ | カーテンボックス (木製W150×H260) SOP塗装
【撤去】 | | 木製W200×H260新設
SOP塗装 |
| ㊦ | カーテンボックス (木製W150×H90) OS塗装
【既存のまま】 | | 下地調整RC種 CL塗装 |
| ㊦ | 天井点検口 アルミ枠 450角 撤去・600角 新設 | | を示す |
| ㊦ | 天井点検口 アルミ枠 450角 既存のまま | | を示す |
| ㊦ | 天井点検口 アルミ枠 600角 新設 | | を示す |
| ㊦ | 改修範囲を示す | | |
| ㊦ | 既設撤去の上、復旧範囲を示す (特記なき限り下地共とする) | | |
| ○ | 軒天燻裂箇所を示す | | |



3階建具指示図



2階建具指示図

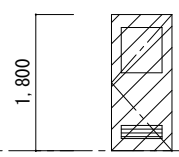
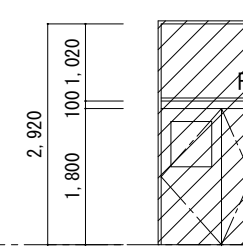
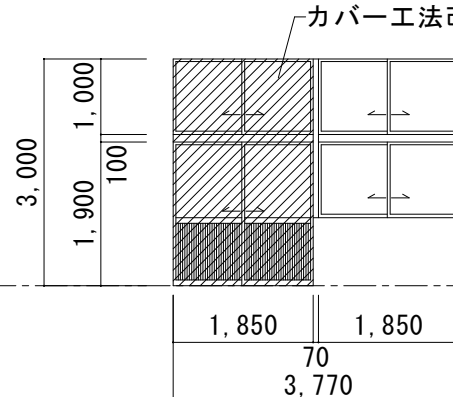
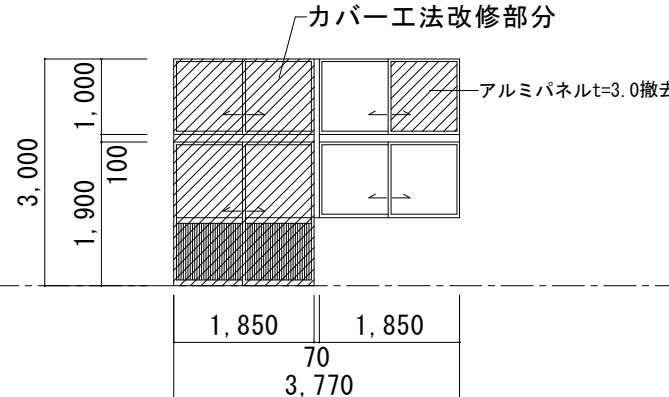
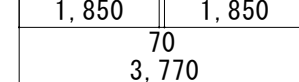
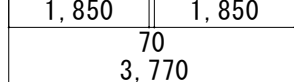
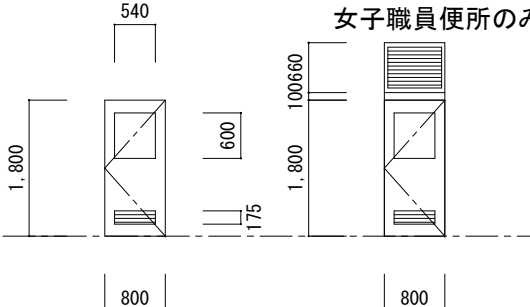
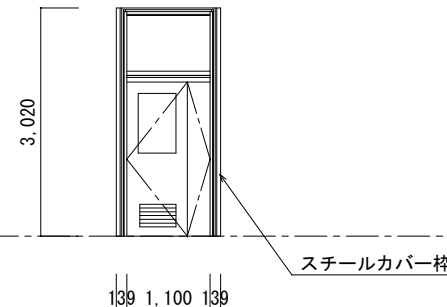
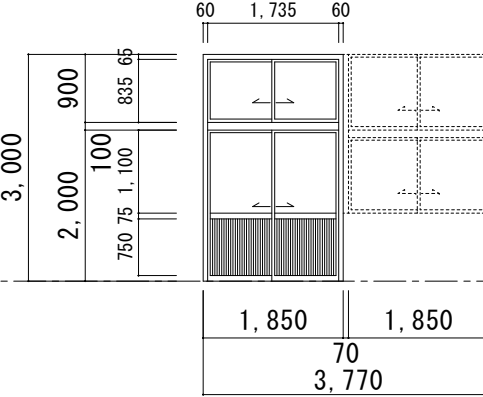
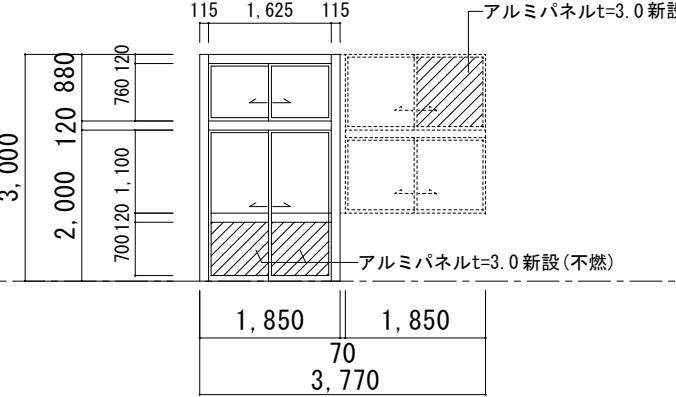
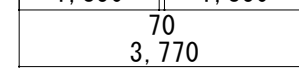
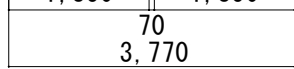
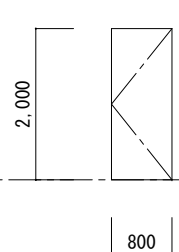
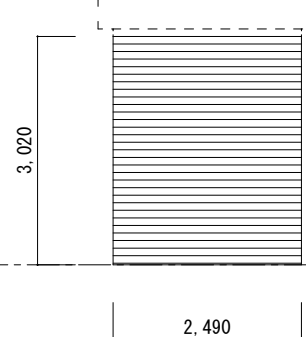
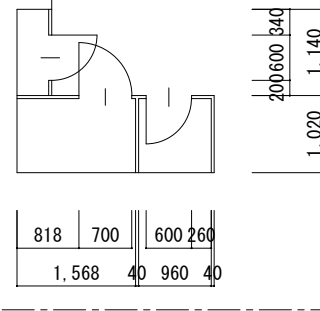
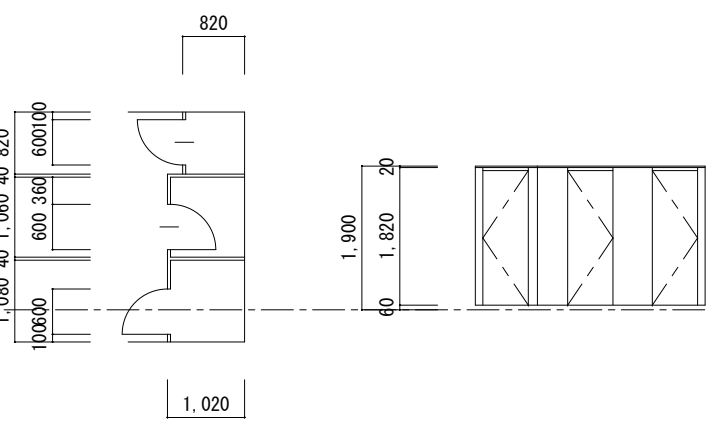
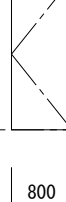
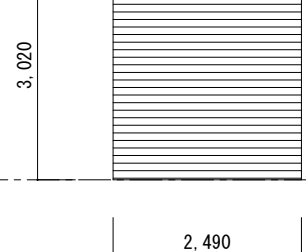
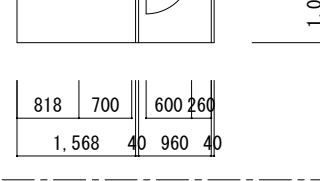
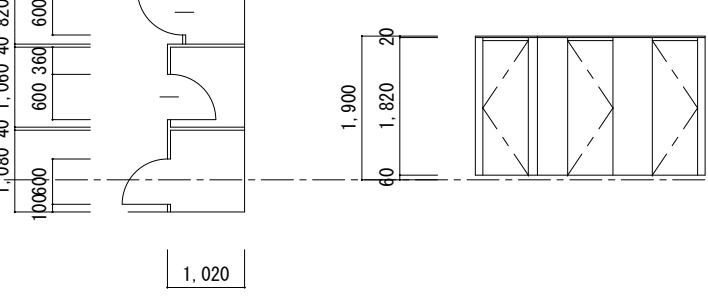
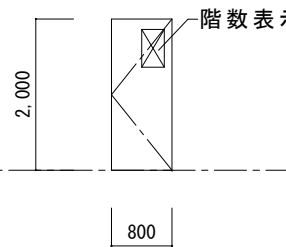
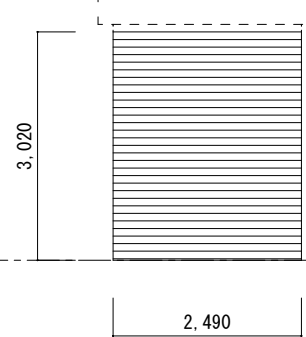
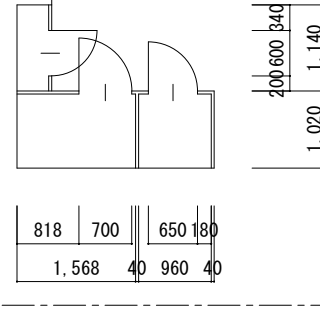
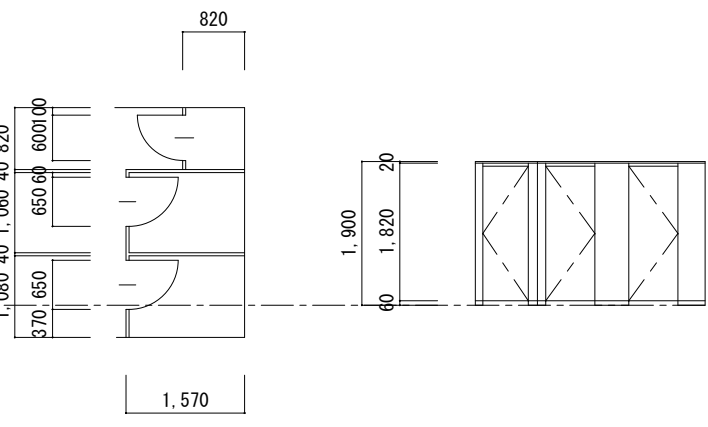
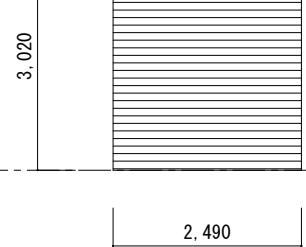
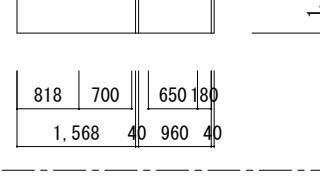
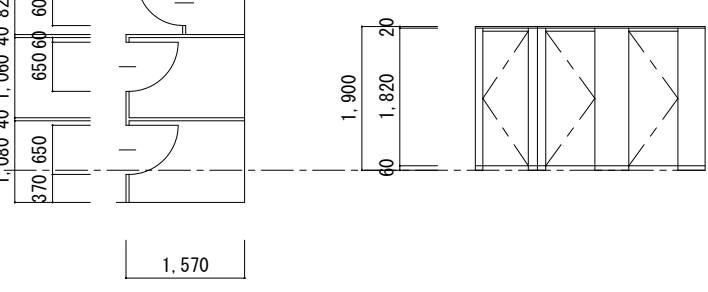


1階建具指示図

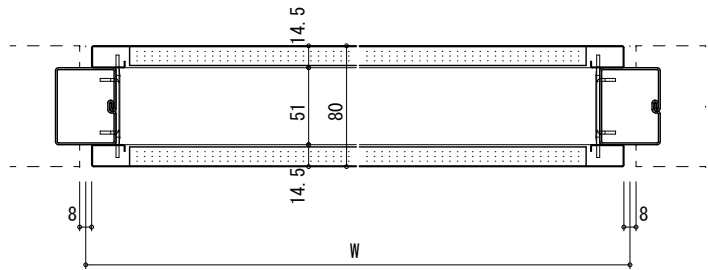
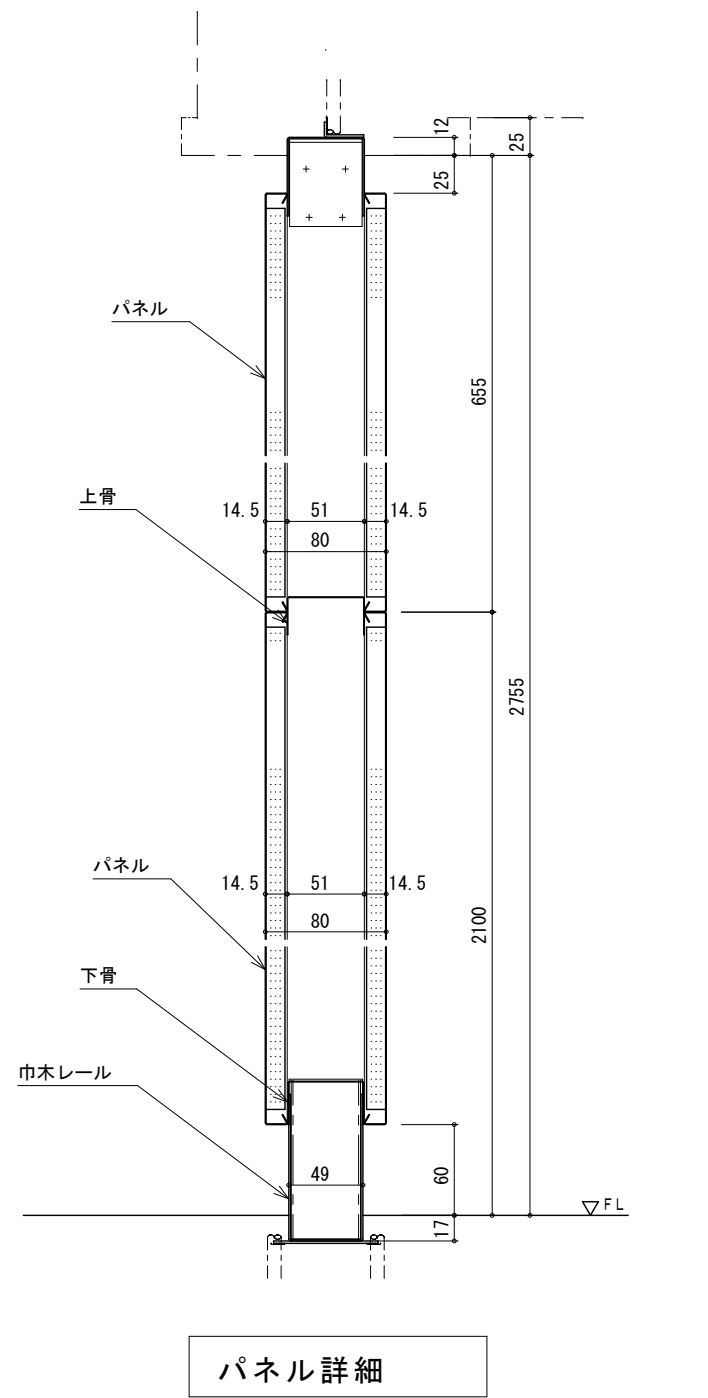
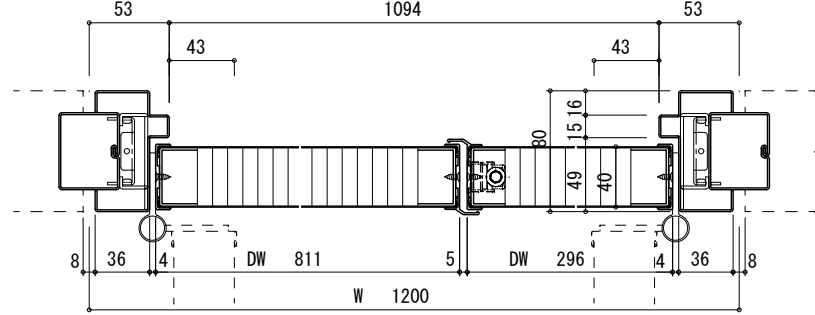
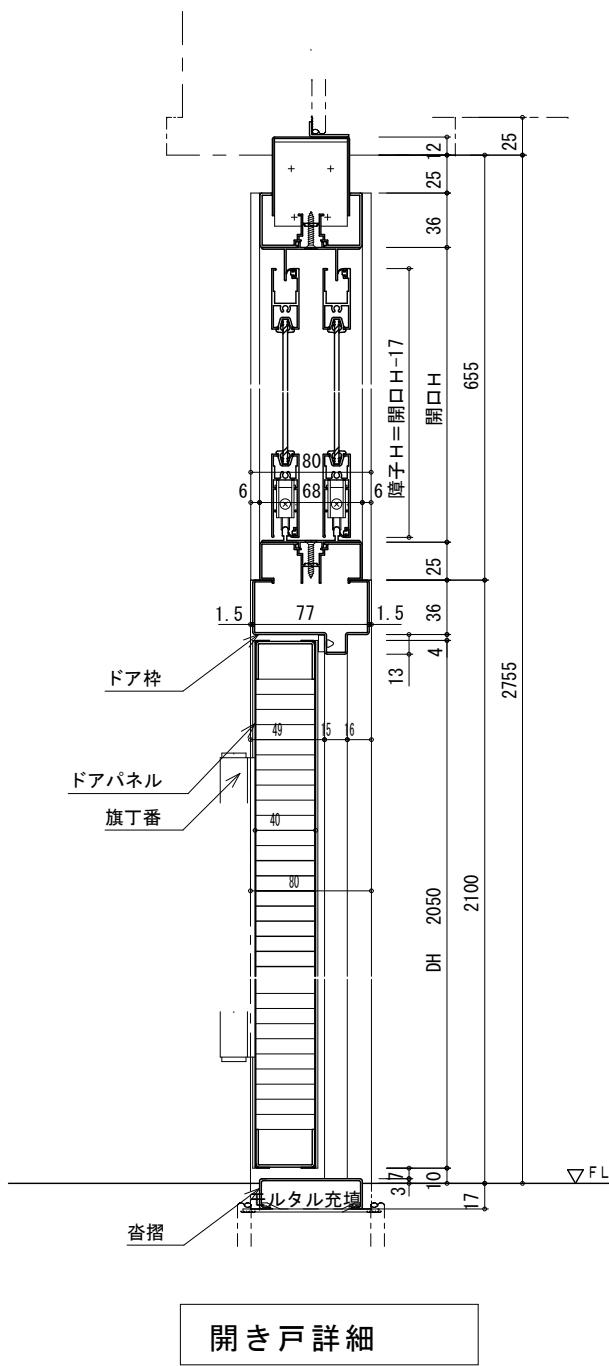
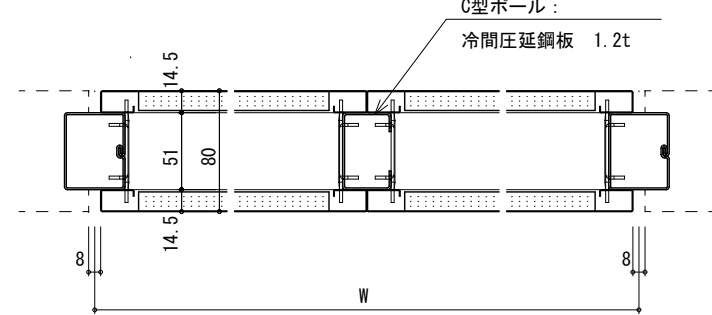
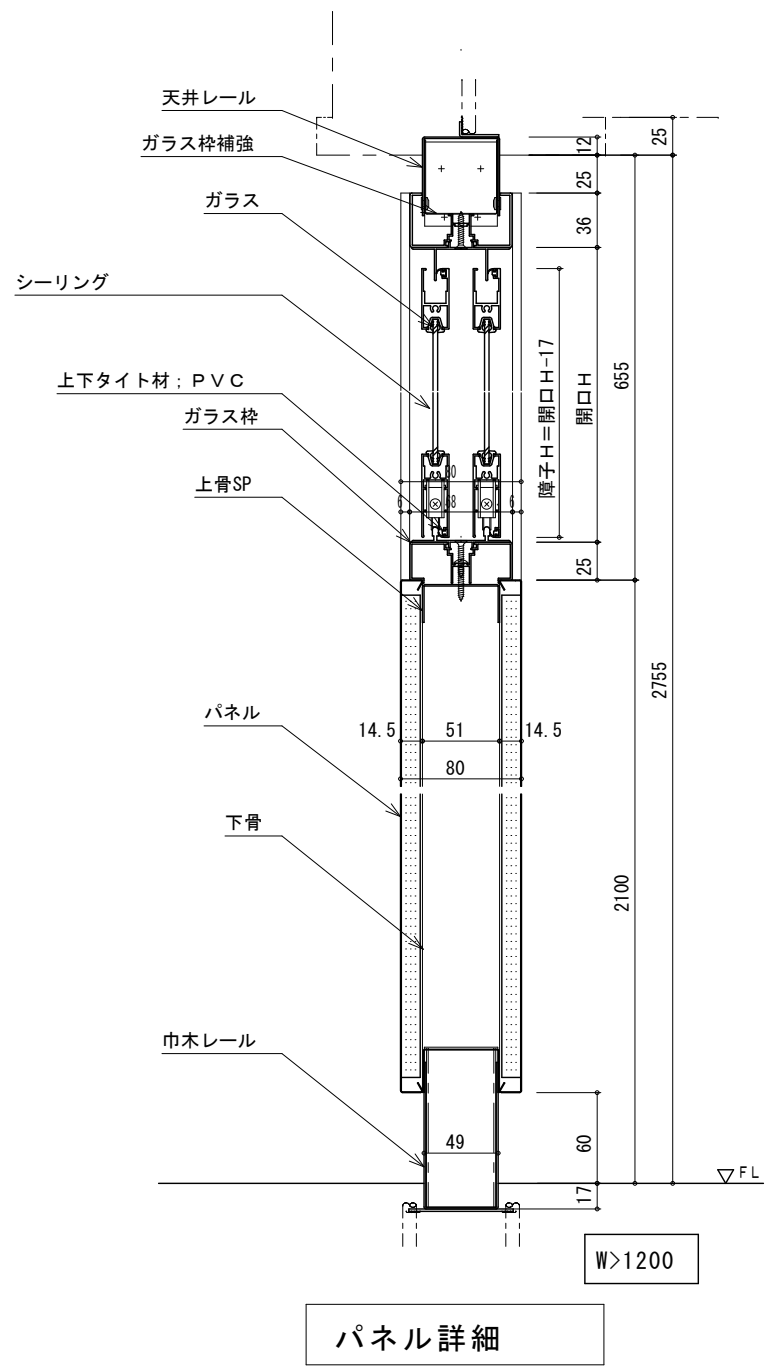
- * : シーリング打替建具示す
- ** : 撤去・新設示す
- * : 改修建具示す

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|---|--|---|--|--|--|
| 符号 | 名称 | AD 1アルミ製欄間付面開き及び片引き自動ドア | | AD 2アルミ製欄間付面開き框戸 | | AD 3アルミ製自閉式面引き分けハガーード | | AD 4アルミ製建具の上鋼製自閉式ハンガー戸 | | AD 5アルミ製欄間袖付片開き框戸 | | AD 6アルミ製建具の上鋼製自閉式ハンガー戸 | | AD 7アルミ製欄間付面開き框戸 | | | |
| 姿 図 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 位置 | 数量 | 昇降口 | | 昇降口 | | 来客玄関 | | 内玄関(階段下部) | | 職員玄関 | | 生徒通用口 | | 用務員室 | | | |
| 硝子 | 見込 | FL-3 | | FL-3 | | 強化ガラスt=4.0 | | | | FL-3 | | FL-3 | | FL-3 | | | |
| 塗装・仕上 | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | | |
| 金 物 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | | |
| 備 考 | | 建具周囲シリング 打替：三方W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：三方W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：三方W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：三方W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：三方W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：三方W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：三方W10【MS-2】、水切W10【窓部のみ】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | | |
| 符号 | 名称 | AD 8アルミ製面開き戸 | | AD 9アルミ製片引き戸 | | AD 10アルミ製引違意付引き違い戸 | | AD 11アルミ製2連欄間付引き違い戸 | | | | AW 1アルミ製2連欄間付引き違い窓 | | AW 2アルミ製袖付2連欄間付引き違い窓 | | | |
| 姿 図 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 位置 | 数量 | 男子更衣室 | | 配膳室 | | 普通教室 | | 保健室 職員室 視聴覚室 図書室 多目的室 コンピュータ室 | | | | AW1a=図書室 AW1b=準備室 1 | | 校長室 保健室 放送室 視聴覚室 多目的室 コンピュータ室 | | | |
| 硝子 | 見込 | FL-3 | | FL-3 | | FL-3 | | FL-3 | | | | FL-3 | | FL-3 | | | |
| 塗装・仕上 | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | | |
| 金 物 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | | |
| 備 考 | | 建具周囲シリング 打替：三方W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：三方W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：三方W10、水切W10【窓部のみ】【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】、11Aのみアルミハネル撤去新設 | | 建具周囲シリング 打替：三方W10、水切W10【窓部のみ】【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】、11Aのみアルミハネル撤去新設 | | | | 建具周囲シリング 打替：四層W10、水切W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 1Aのみアルミハネル撤去新設 | | 建具周囲シリング 打替：四層W10、水切W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 2Aのみアルミハネル撤去新設 | | | |
| 符号 | 名称 | AW 3アルミ製2連引き違い窓 | | AW 4アルミ製2連引き違い窓 | | AW 5アルミ製2連引き違い窓 | | AW 6アルミ製2連欄間袖付引き違い窓 | | | | AW 7アルミ製2連欄間袖付引き違い窓 | | AW 8アルミ製2連袖付引き違い窓 | | | |
| 姿 図 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 位置 | 数量 | 廊下 | | 来客玄関 | | 廊下 研修室 災害用備蓄倉庫 | | 普通教室 ふれあい1 | | 職員室 図書室 | | 廊下 | | 研修室 災害用備蓄倉庫 | | | |
| 硝子 | 見込 | FL-3 | | FL-3 | | FL-3 | | FL-3 | | FL-3 | | FL-3 | | FL-3 | | | |
| 塗装・仕上 | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | アルミシルバー | | | |
| 金 物 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | | |
| 備 考 | | 建具周囲シリング 打替：四層W10、水切W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：四層W10、水切W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：四層W10、水切W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：四層W10、水切W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：四層W10、水切W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 7Aのみアルミハネル撤去新設 | | 建具周囲シリング 打替：四層W10、水切W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | 建具周囲シリング 打替：四層W10、水切W10【MS-2】
ｶﾞﾗｽ周囲シリング 打替：四層W10【SR-1】 | | | |
| 符号 | 名称 | AW 10アルミ製欄間付引き違い窓 | | AW 11アルミ製引き違い窓 | | AW 12アルミ製引き違い窓 | | AW 13アルミ製引き違い窓 | | AW 14アルミ製引き違い窓 | | AW 15アルミ製引き違い窓 | | AW 16アルミ製引き違い窓 | | | |
| 姿 図 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 改修前建具表 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----|-------------------------------|-------|------------------------------|-------|-------------------------------|-------|-------------------------------|-------|---|-------|------------------------------|--------|-----------------|-----|
| 符号 | 名称 | (S P 1) 学校間仕切 | 撤去 | (S P 2) 学校間仕切 | 撤去 | (S P 3) 学校間仕切 | 撤去 | (S P 4) 学校間仕切 | 撤去 | (S P 5) 学校間仕切 | 撤去 | | | | |
| 姿 図 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 位置 | 数量 | 職員室 | 1 | 職員室 | 1 | 職員室 | 1 | 保健室 | 1 | 普通教室 | 1 | | | |
| 硝子 | 見込 | 強化スリ-4（欄間：FL-3） | | 強化スリ-4（欄間：FL-3） | | 強化スリ-4（欄間：FL-3） | | 強化スリ-4（欄間：FL-3） | | 強化スリ-4（欄間：FL-3） | | | | | |
| 塗装・仕上 | | 化粧鋼板 | | 化粧鋼板 | | 化粧鋼板 | | 化粧鋼板 | | 化粧鋼板 | | | | | |
| 金 物 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | | | | |
| 備 考 | | 縦枠・上枠(木額縁共)・天井裏方立以外全て撤去 | | 縦枠・上枠(木額縁共)・天井裏方立以外全て撤去 | | 縦枠・上枠(木額縁共)・天井裏方立以外全て撤去 | | 縦枠・上枠(木額縁共)・天井裏方立以外全て撤去 | | 縦枠以外全て撤去 | | | | | |
| ↓ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改修後建具表 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 符号 | 名称 | (S P 1) 学校間仕切 | カバー工法 | (S P 2) 学校間仕切 | カバー工法 | (S P 3) 学校間仕切 | カバー工法 | (S P 4) 学校間仕切 | カバー工法 | (S P 5) 学校間仕切 | カバー工法 | | | | |
| 姿 図 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 位置 | 数量 | 職員室 | 1 | 職員室 | 1 | 職員室 | 1 | 保健室 | 1 | 普通教室 | 1 | | | |
| 硝子 | 見込 | 戸：型板強化t=4.0 欄間：強化透明t=4.0 | | 欄間：強化透明t=4.0 | | 戸：型板強化t=4.0 欄間：強化透明=4.0 | | 型板強化t=4.0 | | 戸（開閉部）・窓：型板強化t=4.0 戸（黒板側出入口）・欄間：強化透明t=4.0 | | | | | |
| 塗装・仕上 | | 別図詳細図による | | 別図詳細図による | | 別図詳細図による | | 別図詳細図による | | 別図詳細図による | | | | | |
| 金 物 | | 別図詳細図による | | 別図詳細図による | | 別図詳細図による | | 別図詳細図による | | 別図詳細図による | | | | | |
| 備 考 | | 引き棒：SUS製L=450 ガラリ：焼付塗装 指詰防止ゴム | | 引き棒：SUS製L=450 指詰防止ゴム | | 引き棒：SUS製L=450 ガラリ：焼付塗装 指詰防止ゴム | | 引き棒：SUS製L=450 ガラリ：焼付塗装 指詰防止ゴム | | 引き棒：SUS製L=450 ガラリ：焼付塗装 指詰防止ゴム | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改修前建具表 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 符号 | 名称 | (W D 1) 木製片開き戸 | 撤去 | (W D 2) 木製片開き戸 | 撤去 | (W D 3) 木製片開き戸 | 撤去 | (W D 4) 木製片開き戸 | 撤去 | (W D 5) 木製片開き戸 | 撤去 | (W D 6) 木製片開き戸 | 撤去 | (W D 7A) 木製片開き戸 | 撤去 |
| 姿 図 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 位置 | 数量 | 校長室 | 2 | 放送室 | 1 | 相談室 1 | 1 | 相談室 1 | 1 | 書庫 1 | 1 | 男子職員便所 | 1 | 印刷室 |
| 硝子 | 見込 | 型-3 | | 型-3 | | 型-3 | | 型-3 | | 型-3 | | 型-3 | | 型-3 | |
| 塗装・仕上 | | 合板OP塗装 | | 合板OP塗装 | | 合板OP塗装 | | 合板OP塗装 | | 合板OP塗装 | | 合板OP塗装 | | 合板OP塗装 | |
| 金 物 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式 | | 標準品一式・木製ガラリ | | 標準品一式・木製ガラリ | | 標準品一式 | |
| 備 考 | | 扉・下枠撤去 | | 扉撤去 | | 扉撤去 | | 扉撤去・欄間ガラス撤去 | | 扉撤去 | | 扉撤去 | | 枠共撤去 | |
| ↓ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改修後建具表 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 符号 | 名称 | (W D 1) 木製片開き戸 | 改修 | (W D 2) 木製片開き戸 | 改修 | (W D 3) 木製片開き戸 | 改修 | (W D 4) 木製片開き戸 | 改修 | (W D 5) 木製片開き戸 | 改修 | (W D 6) 木製片開き戸 | 改修 | 開口閉鎖 | |
| 姿 図 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 位置 | 数量 | 校長室 | 2 | 放送室 | 1 | 相談室 1 | 1 | 相談室 1 | 1 | 書庫 1 | 1 | 男子職員便所 | | |
| 硝子 | 見込 | 強化型t=4.0 | | 強化型t=4.0 | | 強化型t=4.0 | | 強化型t=4.0 | | 強化型t=4.0 | | 強化型t=4.0 | | | |
| 塗装・仕上 | | ポリ合板 | | ポリ合板 | | ポリ合板 | | ポリ合板 | | ポリ合板 | | ポリ合板 | | | |
| 金 物 | | 標準金物一式・レバーハンドル・DC・CL | | 標準金物一式・レバーハンドル・DC・CL | | 標準金物一式・レバーハンドル・DC・CL・アルミガラリ | | 標準金物一式・レバーハンドル・DC・CL | | 標準金物一式・レバーハンドル・DC・CL | | 標準金物一式・レバーハンドル・DC・CL | | | |
| 備 考 | | 扉のみ新設 枠：既設利用(下地調整RB種の上SOP塗装) | | 扉のみ新設 枠：既設利用(下地調整RB種の上SOP塗装) | | 扉のみ新設 枠：既設利用(下地調整RB種の上SOP塗装) | | 扉のみ新設 枠：既設利用(下地調整RB種の上SOP塗装) | | 扉のみ新設 枠：既設利用(下地調整RB種の上SOP塗装) | | 扉のみ新設 枠：既設利用(下地調整RB種の上SOP塗装) | | | |
| 工事名称
★ 梶中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事） ★ 管理教室棟 建具表(2) ★ 総尺 A1：1/100 日付 訂正 担当 承認 備考 藤川設計株式会社 一級建築士登録 222551 田中 富士夫 ★ A-48 | | | | | | | | | | | | | | | |

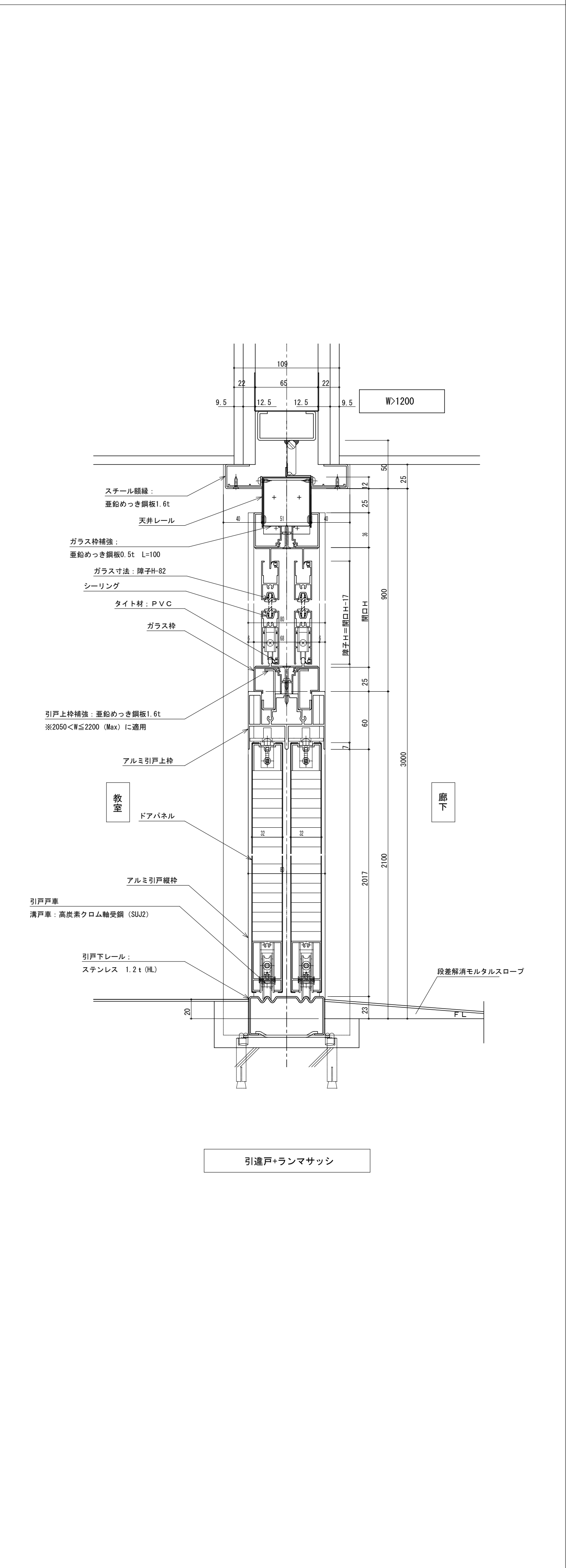
| 改修前建具表 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|---|-----------------|--|----|----------|---|--------------|----|-----------|---------------|---|-------------------|---|--|---|-------------------|-------------------|---|----|----|----|----|----|--|---------------------------------------|--|------|--|
| 符号 | 名称 | WD
76 | 木製片開き戸 | | 撤去 | WD
15 | 木製親子開き戸 | | 撤去 | AD
10A | アルミ製引違窓付引き違い戸 | | AD
10B | アルミ製引違窓付引き違い戸 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 姿 図 | |  | | | | |  | | | | |  | | | |  | | | | | | | | | | | | | |
| | |  | | | | |  | | | | |  | | | |  | | | | | | | | | | | | | |
| 位置 | 数量 | 印刷室・女子職員便所・女子更衣室・用務員室・機械室 | | | | 5 | 校長室 | | | | 1 | 普通教室 | | | | 4 | 普通教室 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 硝子 | 見込 | 型-3 | | | | 30 | | | | | 30 | FL-3 | | | | 70 | 網入りFL-6.8 | | | | 70 | | | | | | | | |
| 塗装・仕上 | 合板OP塗装 | | | | | | | | | | | | アルミシルバー | | | | | アルミシルバー | | | | | | | | | | | |
| 金 物 | 標準品一式 | | | | | | | | | | | | 標準品一式 | | | | | 標準品一式 | | | | | | | | | | | |
| 備 考 | 扉撤去 | | | | | | 扉・枠撤去 | | | | | | 中棧、下枠、水切撤去 | | | | | 中棧、下枠、水切撤去 | | | | | | | | | | | |
| ↓ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改修後建具表 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 符号 | 名称 | WD
76 | 木製片開き戸 | | 改修 | SP
11 | 学校間仕切 | | 新設 | AD
10A | アルミ製引違窓付引き違い戸 | | AD
10B | アルミ製引違窓付引き違い戸 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 姿 図 | |  | | | | |  | | | | |  | | | |  | | | | | | | | | | | | | |
| | |  | | | | |  | | | | |  | | | |  | | | | | | | | | | | | | |
| 位置 | 数量 | 印刷室・女子職員便所・女子更衣室・用務員室 | | | | 5 | 校長室 | | | | 1 | 普通教室 | | | | 4 | 普通教室 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 硝子 | 見込 | 強化型t=4.0 | | | | 30 | 型板強化t=4.0 | | | | 80 | 改修部分：強化FLt=4.0 | | | | 70 | 改修部分：網入型ガラス t=6.8 | | | | 70 | | | | | | | | |
| 塗装・仕上 | ポリ合板 | | | | | | 別図詳細図による | | | | | | アルミシルバー | | | | | アルミシルバー | | | | | | | | | | | |
| 金 物 | 標準金物一式・レバー・ハンドル・DC・CL・アルミガラリ | | | | | | 標準金物一式・レバー・ハンドル・DC・CL・フランス落し | | | | | | 標準品一式 SUS-ル t 1.5 | | | | | 標準品一式 SUS-ル t 1.5 | | | | | | | | | | | |
| 備 考 | 扉のみ新設 枠：既設利用(下地調整R6種の上SOP塗装) 既設ガラリ：下地調整R6種+SOP塗装(両面) | | | | | | ガラリ：焼付塗装 | | | | | | カバー工法改修 | | | | | カバー工法改修（防火設備） | | | | | | | | | | | |
| ↓ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改修前建具表 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 符号 | 名称 | SD
1 | 鋼製片開き戸（甲種防火戸） | | 撤去 | SS
1 | 防火シャッター | | 撤去 | | | | TB
1 | トイレブース | | 撤去 | TB
2 | トイレブース | | 撤去 | | | | | | | | | |
| 姿 図 | |  | | | | |  | | | | | | |  | | | | |  | | | | | | | | | | |
| | |  | | | | |  | | | | | | |  | | | | |  | | | | | | | | | | |
| 位置 | 数量 | 階段 1 | | | | 3 | 階段 1 | | | | 3 | | | 男子便所1 | | | | 2 | 女子便所1 | | | | 2 | | | | | | |
| 硝子 | 見込 | | | | | 40 | | | | | | | | | | | | 40 | | | | | 40 | | | | | | |
| 塗装・仕上 | 鋼板 t=0.8 両面フラッシュ OP塗装 | | | | | | スラット1.6mm OP塗装 | | | | | | | ポリ合板t=4フラッシュ | | | | | ポリ合板t=4フラッシュ | | | | | | | | | | |
| 金 物 | 標準品一式 | | | | | | 標準品一式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備 考 | 枠共撤去 | | | | | | レール・天井隠ぺいボックス共撤去 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ↓ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改修後建具表 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 符号 | 名称 | SD
1 | 鋼製フラッシュ戸（常時閉鎖式） | | 新設 | SS
1 | 電動式防火防煙シャッター（煙感連動） | | 新設 | | | | TB
1 | トイレブース | | 新設 | TB
2 | トイレブース | | 新設 | | | | | | | | | |
| 姿 図 | |  | | | | |  | | | | | | |  | | | | |  | | | | | | | | | | |
| | |  | | | | |  | | | | | | |  | | | | |  | | | | | | | | | | |
| 位置 | 数量 | 階段 1 | | | | 3 | 階段 1 | | | | 3 | | | 男子便所1 | | | | 2 | 女子便所1 | | | | 2 | | | | | | |
| 硝子 | 見込 | | | | | 40 | | | | | | | | | | | | 40 | | | | | 40 | | | | | | |
| 塗装・仕上 | 溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装 枠共 | | | | | | スラット t=1.6(焼付け鋼板) | | | | | | | 木製（ペーパー芯） 高圧酚シン化化粧板 | | | | | 木製（ペーパー芯） 高圧酚シン化化粧板 | | | | | | | | | | |
| 金 物 | 標準金物一式・丁番・DC・レバー・ハンドル・CL | | | | | | マグサ・ガイドレール・座金・三方枠(全て SUS) 付属金物一式 電動開閉装置 非常停止装置 単相200V | | | | | | | 付属金物一式 SUS市木 表示付351° ロック 中心吊钩 1/2° 中心吊钩 1/2° 戸当り帽子掛け フォス角部7/8x3/4加工、ト7角部7/8x3/4加工 | | | | | 付属金物一式 SUS市木 表示付351° ロック 中心吊钩 1/2° 中心吊钩 1/2° 戸当り帽子掛け フォス角部7/8x3/4加工、ト7角部7/8x3/4加工 | | | | | | | | | | |
| 備 考 | 階数表示：シート貼りH500程度 | | | | | | | | | | | | | 非常開放装置付(内開き部のみ) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工事名称 | | 楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事） | | | | 図面名称 | | 管理教室棟 建具表(3) | | | | 縮尺 | | A1：1/100
A3：1/200 | | 日付 | | 訂正 | | 担当 | | 承認 | | 備考 | | 藤 川 設 計 株 式 会 社 一級建築士登録 222551 田中 富士夫 | | A-49 | |

断面図 S=1/5

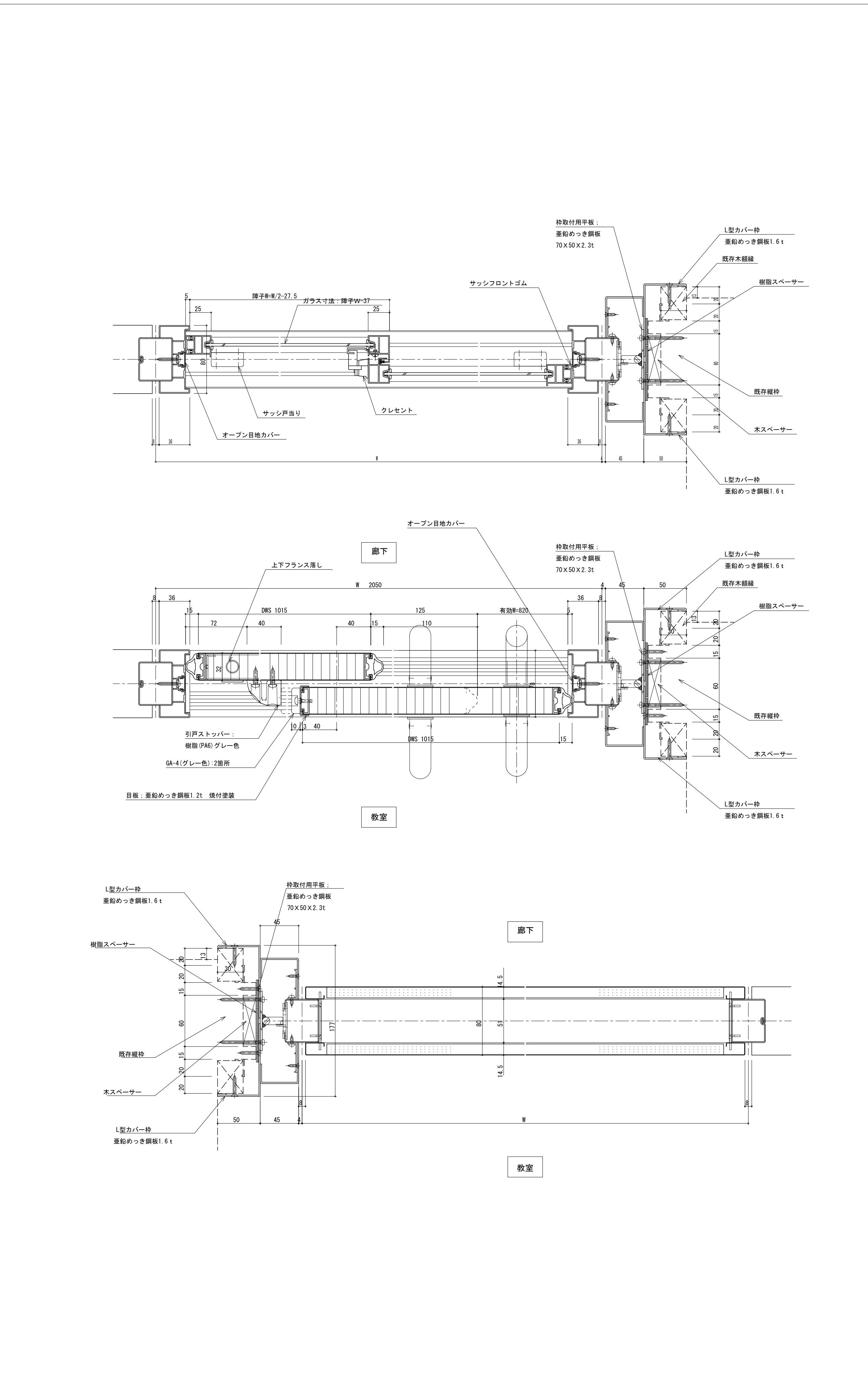


| ◇仕様表 同等品以上 | | | 項目 | 部材 | 材料(板厚mm) |
|------------|-------------|------------------------------|-------|------------|----------------------------|
| 骨材 | 天井レール | 亜鉛めっき鋼板 1.0mm <指定色焼付塗装仕上> | 開き戸 | パネル表面材 | 亜鉛めっき鋼板 0.6mm <指定色焼付塗装仕上> |
| | 巾木レール | 亜鉛めっき鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上> | 引き違い戸 | 芯材 | ペーパーコア |
| | 上骨SP | 亜鉛めっき鋼板 1.0mm | | 切窓・ガラリ | アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上> |
| | 上骨・下骨 | 亜鉛めっき鋼板 0.4mm | | 切窓ビート | ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6mm <グレー色> |
| | 受け下棲 | アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上> | | 引戸戸先ゴム | ポリ塩化ビニル <戸先ゴムブラック色> |
| | ボール(支柱) | 冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上> | | 引戸レール | ステンレス 1.2t (HL) |
| | 壁面C型ボール | 亜鉛めっき鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上> | 付属品 | サッシレセント | 亜鉛ダイキャスト |
| | | | | ロック(引き違い戸) | ミワロック SL-99V錠 |
| 枠 | サッシ・引戸・ガラス枠 | アルミ押出形材 <指定色焼付塗装仕上> | | ロック(開き戸) | ミワロック LAタイプ |
| | ドア枠 | 冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上> | | サッシ戸車 | 引戸: 高炭素クロム軸受鋼 サッシ: 樹脂 |
| | オープン目地カバー | ポリ塩化ビニル (PVC) | | 堀込み引手 | ステンレス (W30×H122) <梨地電解> |
| | 窓摺 | ステンレス 1.5t | | 縦線取付アングル | アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理仕上> |
| パネル | パネル表面材 | 亜鉛めっき鋼板 0.6mm <指定色焼付塗装仕上> | | | |
| | 芯材 | せっこうボード 12.5mm | | | |
| サッシ | サッシ | アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理仕上> | | | |
| | 上・下レール | アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上> | | | |
| | シーリング | ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6.8mm <グレー色> | | | |

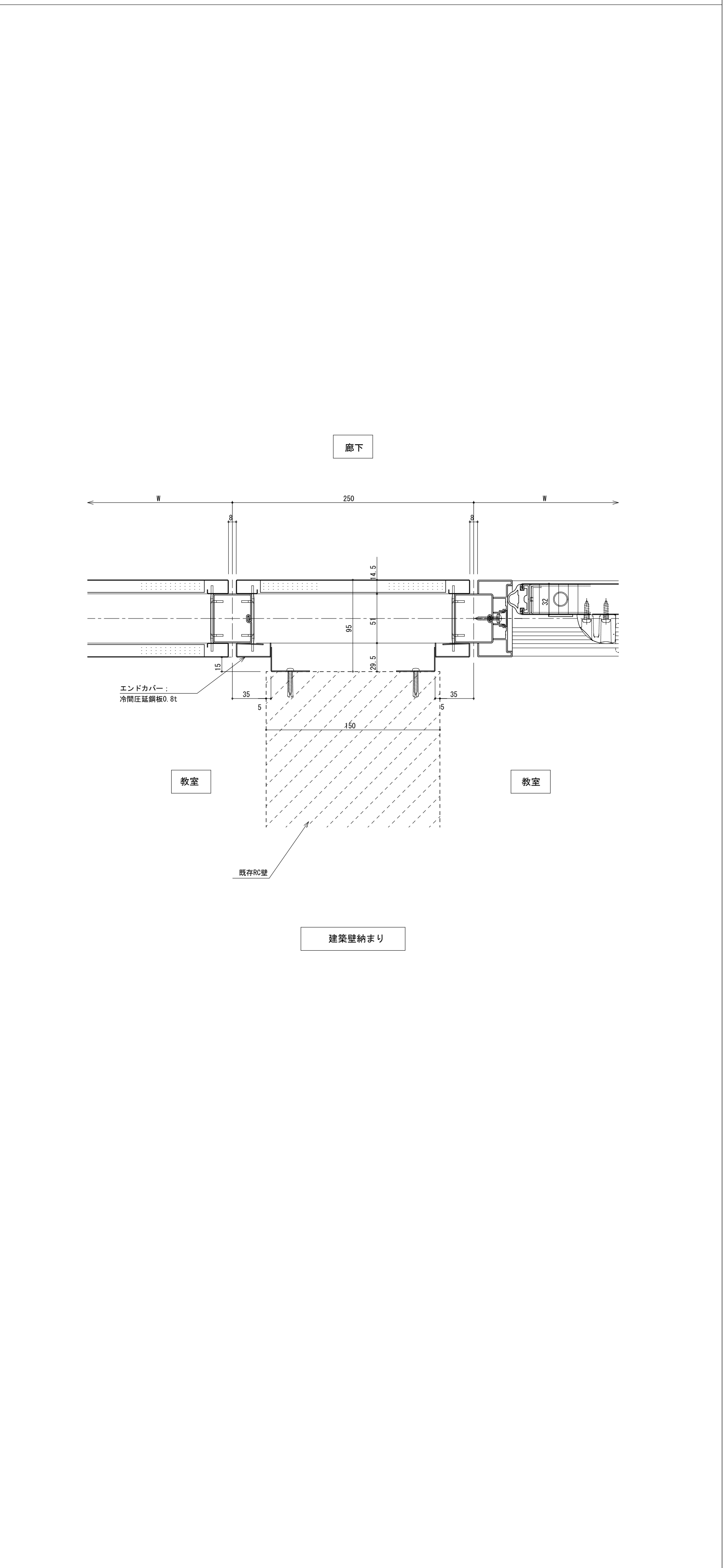
スクールパーテーション断面詳細図

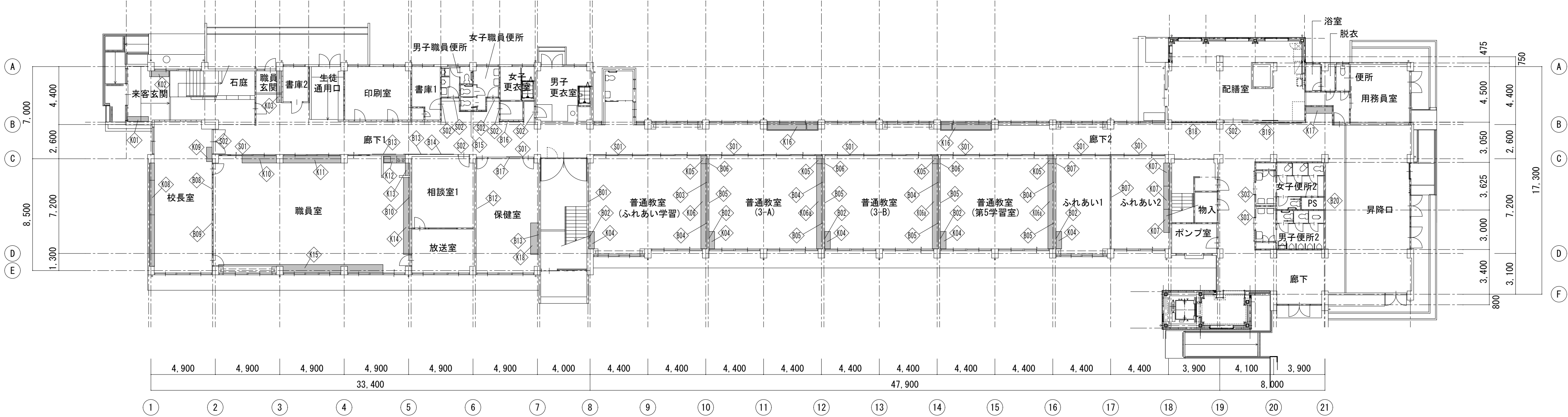


スクールパーテーション（普通教室、校長室、職員室、保健室） 詳細図 カバー工法



スクールパーテーション 教室間間仕切り壁部 詳細図 カバー工法





1階家具・サイン符号図 S=1:200

家具撤去リスト

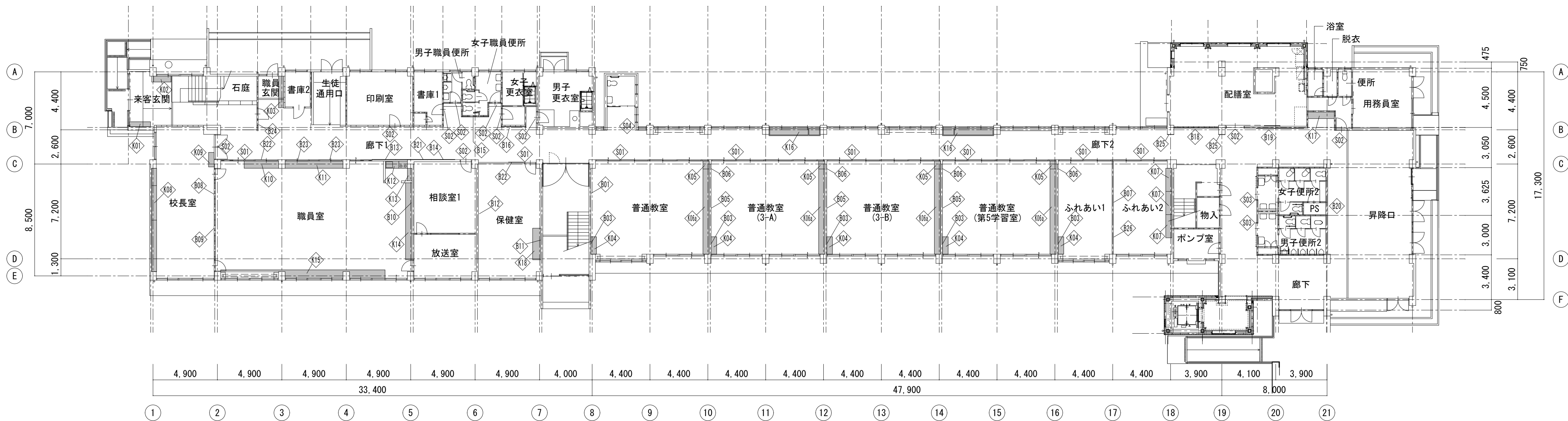
| 符号 | 室名 | 名称 | サイズ(W×D×H) | 箇所数 |
|------|-------|--------|---------------|-----|
| K01 | 来客玄関 | 下足箱 | 1620×350×1440 | 1 |
| K02 | 来客玄関 | 下足箱 | 1270×350×1500 | 1 |
| K03 | 職員玄関 | 下足箱 | 2400×395×1575 | 1 |
| K04 | 普通教室 | 教師用戸棚 | 1310×475×870 | 5 |
| K05 | 普通教室 | 掃除道具入れ | 660×485×2120 | 4 |
| K06a | 普通教室 | 生徒ロッカー | 6390×485×1075 | 4 |
| K07 | ふれあい2 | 生徒ロッカー | 1760×470×1900 | 3 |
| K08 | 校長室 | 収納戸棚 | 7815×370×2900 | 1 |
| K09 | 校長室 | 展示戸棚 | 1100×400×2490 | 1 |
| K10 | 職員室 | 戸棚 | 2560×500×890 | 1 |
| K11 | 職員室 | 戸棚 | 4360×500×2025 | 1 |
| K12 | 湯沸室 | キッチン | 1600×560×800 | 1 |
| K13 | 湯沸室 | 水屋 | 935×420×2400 | 1 |
| K14 | 職員室 | 戸棚 | 5140×500×830 | 1 |
| K15 | 職員室 | 戸棚 | 12490×615×860 | 1 |
| K16 | 廊下2 | 流し台 | 3910×570×960 | 2 |
| K17 | 廊下2 | 流し台 | 1950×550×670 | 1 |
| K18 | 保健室 | 流し台 | 2400×630×940 | 1 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

掲示板・黒板・ホワイトボード 撤去リスト (掲示壁は除く)

| 符号 | 室名 | 名称 | 撤去方法 | サイズ(W×H) | 箇所数 | 備考 |
|-----|-------|---------|------------------|-----------|-----|-----|
| B01 | 普通教室 | 平板・日課黒板 | 増し張撤去 | 4900×1200 | 1 | |
| B02 | 普通教室 | 掲示板 | 枠・下地共撤去 | 1260×1200 | 5 | |
| B03 | 普通教室 | 背面黒板 | 枠・下地共撤去 | 3600×990 | 4 | |
| B04 | 普通教室 | 掲示板 | 枠・下地共撤去 | 2700×990 | 4 | |
| B05 | 普通教室 | 平板黒板 | 増し張撤去 | 3600×1200 | 3 | |
| B06 | 普通教室 | 日課黒板 | 増し張撤去
(一部枠撤去) | 1260×1200 | 4 | |
| B07 | ふれあい2 | ホワイトボード | 取り外し | 3600×1200 | 1 | 既製品 |
| B08 | 校長室 | 掲示板 | 掲示クロス撤去 | 3000×900 | 1 | |
| B09 | 校長室 | ホワイトボード | 増し張撤去 | 1800×900 | 1 | |
| B10 | 職員室 | 掲示板 | 掲示クロス撤去 | 2145×900 | 1 | |
| B11 | 保健室 | 掲示板 | 掲示クロス撤去 | 3260×1740 | 1 | |
| B12 | 保健室 | 掲示板 | 掲示クロス撤去 | 1800×900 | 1 | |
| B13 | 廊下1 | 掲示板 | 枠共撤去 | 1800×900 | 2 | 既製品 |
| B14 | 廊下1 | ホワイトボード | 枠共撤去 | 1800×900 | 1 | 既製品 |
| B15 | 廊下1 | 掲示板 | 掲示クロス撤去 | 2100×1200 | 1 | |
| B16 | 廊下1 | 掲示板 | 掲示クロス撤去 | 1845×940 | 1 | |
| B17 | 廊下1 | 掲示板 | 枠共撤去 | 1140×800 | 1 | 既製品 |
| B18 | 廊下2 | 掲示板 | 枠共撤去 | 3340×1200 | 1 | 既製品 |
| B19 | 廊下2 | 掲示板 | 枠共撤去 | 3600×1200 | 1 | 既製品 |
| B20 | 昇降口 | 掲示板 | 掲示クロス撤去 | 6450×950 | 1 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

サイン撤去リスト

| 符号 | 名称・形状 | 基盤 | サイズ(W×H) | 箇所数 |
|-----|--------|------|----------|-----|
| S01 | 突出し室名 | アクリル | 250×80 | 8 |
| S02 | 平付け室名 | アクリル | 250×80 | 8 |
| S03 | 突出しピクト | アクリル | 150×150 | 2 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |



1階家具・サイン符号図 S=1:200

家具リスト

[illegible]

掲示板・黒板・ホワイトボード リスト（掲示壁は除く）

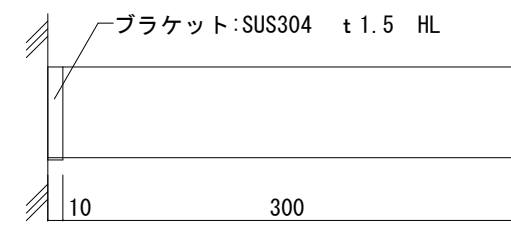
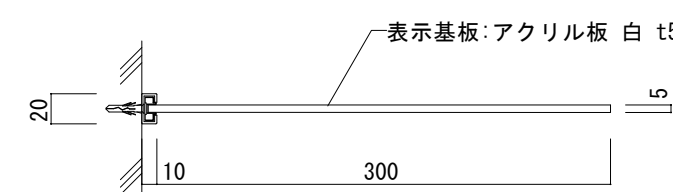
| 符号 | 室 名 | 名 称 | 改 修 方 法 | サ イ ズ (W×H) | 箇 数 | 備 考 |
|-----|-------|---------|----------------|-------------|-----|-----|
| B01 | 普通教室 | 平板・日課黑板 | 増し張 | 4900×1200 | 1 | |
| B03 | 普通教室 | 掲示板 | 掲示クロス貼 | 1260×495 | 5 | |
| B05 | 普通教室 | 平板黑板 | 増し張 | 3600×1200 | 3 | |
| B06 | 普通教室 | 日課黑板 | 増し張
(一部転新設) | 1260×1200 | 3 | |
| B07 | ふれあい2 | ホワイトボード | 再取付 | 3600×1200 | 1 | 既製品 |
| B08 | 校長室 | 掲示板 | 掲示クロス貼 | 3000×900 | 1 | |
| B09 | 校長室 | ホワイトボード | 増し張 | 1800×900 | 1 | |
| B10 | 職員室 | 掲示板 | 掲示クロス貼 | 2150×900 | 1 | |
| B11 | 保健室 | 掲示板 | 掲示クロス貼 | 3300×1800 | 1 | |
| B12 | 保健室 | 掲示板 | 掲示クロス貼 | 1800×900 | 1 | |
| B13 | 廊下1 | 掲示板 | 新設 | 1800×900 | 1 | 既製品 |
| B14 | 廊下1 | ホワイトボード | 新設 | 1800×900 | 1 | 既製品 |
| B15 | 廊下1 | 掲示板 | 掲示クロス貼 | 2100×1200 | 1 | |
| B16 | 廊下1 | 掲示板 | 掲示クロス貼 | 1845×940 | 1 | |
| B18 | 廊下2 | 掲示板 | 新設 | 3340×1200 | 1 | 既製品 |
| B19 | 廊下2 | 掲示板 | 新設 | 3600×1200 | 1 | 既製品 |
| B20 | 昇降口 | 掲示板 | 掲示クロス貼 | 6450×950 | 1 | |
| B21 | 廊下1 | 掲示板 | 新設 | 2700×900 | 1 | 既製品 |
| B22 | 廊下1 | 掲示板 | 新設 | 2100×1100 | 2 | 既製品 |
| B23 | 廊下1 | 掲示板 | 新設 | 2070×1100 | 2 | 既製品 |
| B24 | 廊下1 | 掲示板 | 新設 | 860×2600 | 1 | 既製品 |
| B25 | 廊下2 | 掲示板 | 新設 | 550×1200 | 2 | 既製品 |
| B26 | ふれあい2 | ホワイトボード | 新設 | 1600×1200 | 1 | 既製品 |

サインリスト

[illegible]

S01
 室名札(突出型)詳細図 S=1/5

8ヶ所

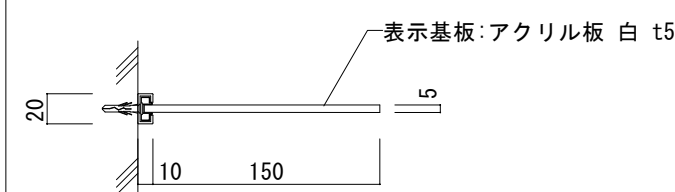


| 仕様 | 材質 | 仕上 |
|-----|---|-------|
| 突出型 | 表示基板:アクリル板 白 t5
ブラケット:SUS304 t1.5 HL | シート貼り |

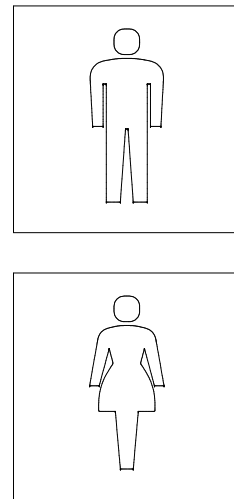
※施工図にて監督職員の承諾を得ること。


 ピクトサイン(突出型)詳細図 S=1/5

2ヶ所



=表示内容=

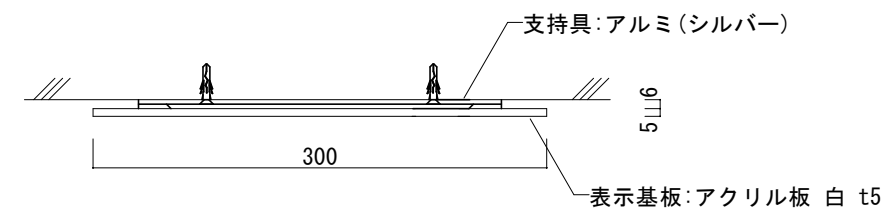


| 仕様 | 材質 | 仕上 |
|-----|--|------|
| 突出型 | 表示基板:アクリル板 白 t5
ブラケット:SUS304 t 1.5 HL | UV印刷 |

※施工図にて監督職員の承諾を得ること。

S02 室名札(平付型)詳細図 S=1/5

10ヶ所

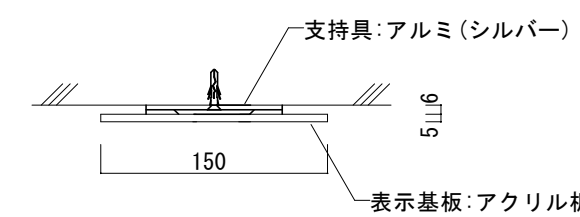


| 仕様 | 材質 | 仕上 |
|-----|-------------------------------|-------|
| 突出型 | 表示基板:アクリル板 白 t5
ブラケット:アルミ製 | シート貼り |

※施工図にて監督職員の承諾を得ること。


 ピクトサイン(平付型)詳細図 S=1/5

1ヶ所



| 仕様 | 材質 | 仕上 |
|-----|---------------------------------------|------|
| 平付型 | 表示基板 : アクリル板 白 t5
支持具 : アルミ (シルバー) | UV印刷 |

※施工図にて監督職員の承諾を得ること。

家具共通仕様

「図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

| | | |
|---|--|--|
| <div>1 本体・棚板</div> <div>両面メラミン化粧パーティクルボード厚さ20mm、F☆☆☆☆を使用する。</div> | <div>[木口詳細]</div> <div><div>フラットエッジ</div><div>木口：ABSシート t0.45
ホットメルト継付</div><div>20</div><div>両面メラミン化粧パーティクルボード</div></div> <div><div>セフティーエッジ</div><div>木口：ABSシート t3
ホットメルト継付</div><div>3</div><div>20</div><div>R3</div><div>両面メラミン化粧パーティクルボード</div></div> | <div>[開き扉詳細]</div> <div><div>扉木口 詳細図</div><div>3</div><div>R3</div><div>扉</div><div>20</div><div>R3</div><div>扉</div><div>※ 扉木口：セフティーエッジ</div><div>20</div><div>24</div><div>9</div><div>15</div><div>103</div><div>14</div><div>39</div><div>20</div><div>5</div><div>把手（樹脂成型品） 詳細図</div></div> <div><div>キャッチ機構付ゼンシスヒンジ110°開き用蝶番（ソフトクローズ機構付）</div><div>20</div><div>調整ネジ</div><div>扉</div><div>タッピングネジ</div><div>側板</div><div>20</div><div>側板取り付け</div><div>20</div><div>扉</div><div>20</div><div>6.5</div><div>7</div><div>6.5</div><div>20</div><div>中仕切り付け</div><div>20</div><div>扉</div><div>20</div><div>側板取り付け</div><div>20</div><div>扉</div><div>20</div><div>側板</div><div>20</div><div>挿入ネジ</div><div>皿ボルト</div></div> <div><div>掃除用具入れの場合</div><div>上</div><div>扉</div><div>側板</div><div>中</div><div>扉</div><div>下</div><div>扉</div><div>貫通ボルト止め</div><div>上中下：3ヶ所</div><div>※ 吊元側板への蝶番固定は、5点吊中3ヶ所のみ貫通ボルト止めとする。</div></div> |
|---|--|--|

| |
|--|
| <div>[接合部詳細]</div> <div><div>木製ダボ（端部）</div><div>30</div><div>13</div><div>17</div><div>20</div><div>木製ダボ：φ8-30</div></div> <div><div>木製ダボ（中間部）</div><div>55</div><div>17.5</div><div>20</div><div>17.5</div><div>20</div><div>木製ダボ：φ8-55</div></div> |
|--|

[ステンレス納まり詳細]

1/2

1/2

壁面部は
R加工無し

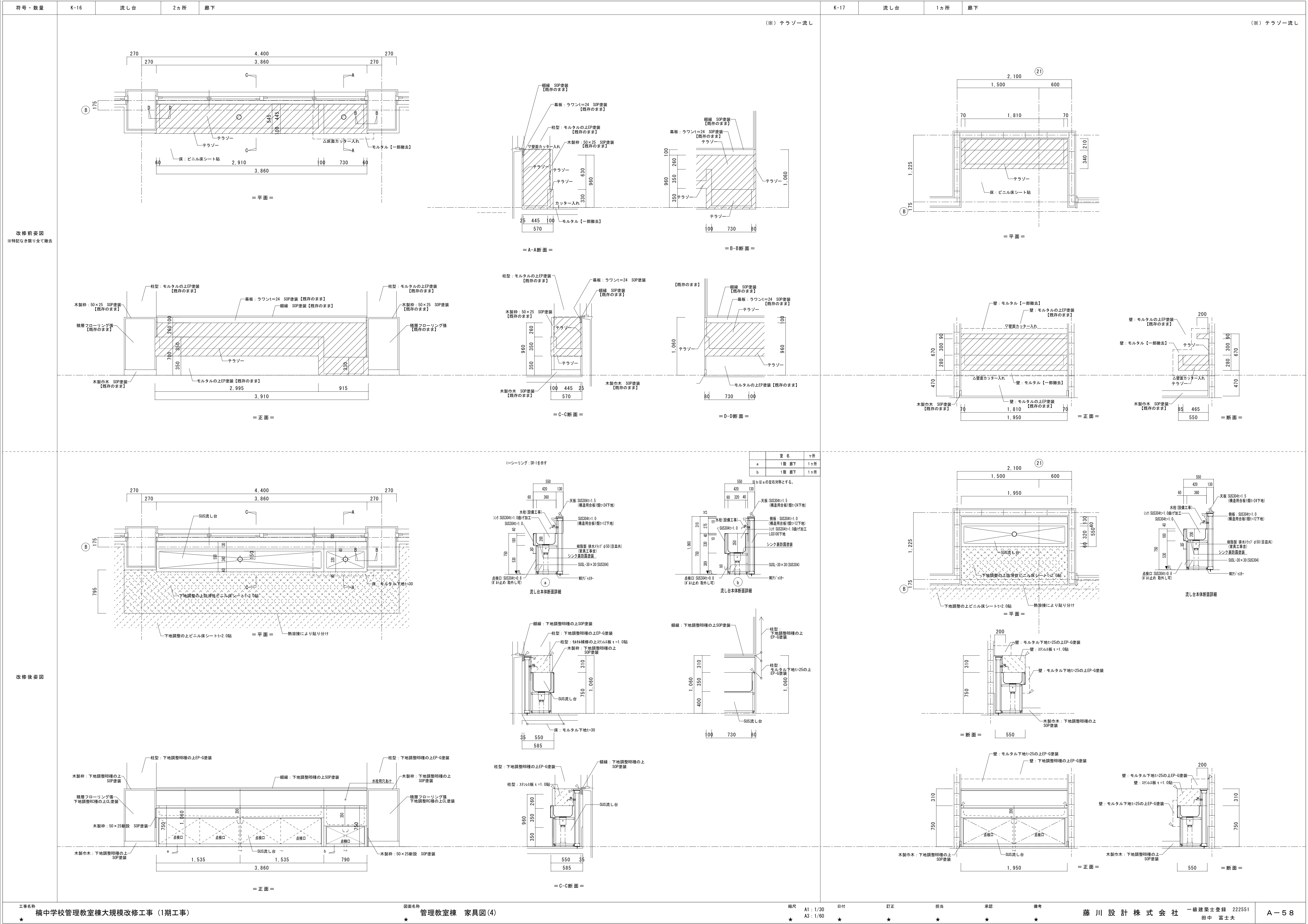
ステンレス天板
コーナー部 R10

※ ステンレスシンクには結露防止処理を施す事とする。

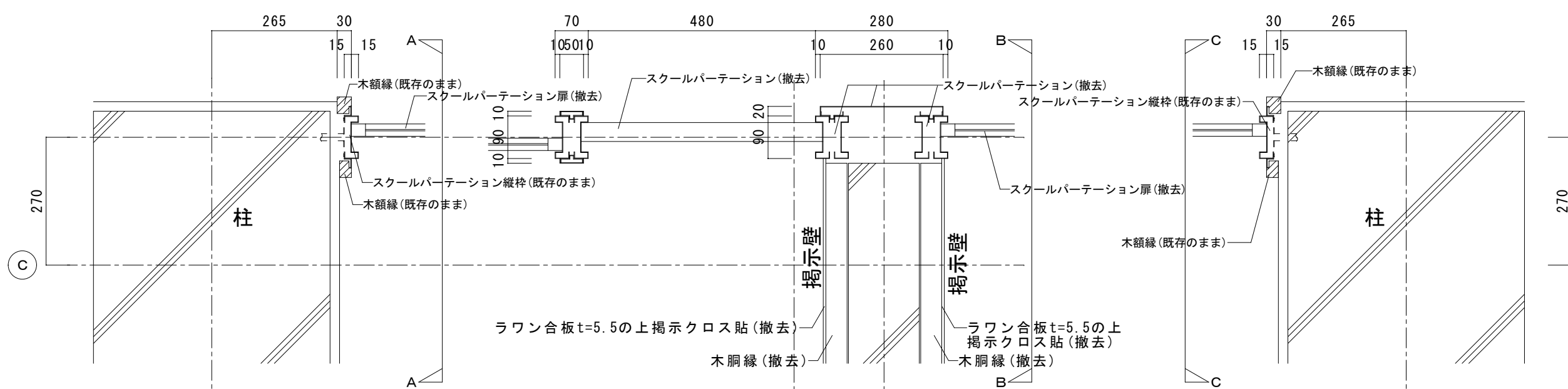
| 符号・数量 | | K-01 | 下足箱 | 1ヵ所 | 来客玄関 | K-02 | 下足箱 | 1ヵ所 | 来客玄関 | K-03 | 下足箱 | 1ヵ所 | 職員玄関 | K-04 | 教師用戸棚 | 5ヵ所 | 普通教室 |
|----------------------------------|--|------------------------|--------|---------|------|---------|--------|---------|------|----------|--------|--------------------------------------|-------|----------------|-------|------|------|
| 改修前姿図
※特記なき限り全て撤去 | | ※）木製家具 | | | | ※）木製家具 | | | | ※）スチール家具 | | | | ※）木製家具 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改修後姿図 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 36人用 | | | | 12人用 | | | | 40人用 | | | | 1280mm x 550mm | | | |
| 符号・数量 | | K-05 | 掃除道具入れ | 4ヵ所 | 各室 | K-06 | 生徒ロッカー | 4ヵ所 | 普通教室 | K-07 | 生徒ロッカー | 3ヵ所 | ふれあい2 | | | | |
| 改修前姿図
※特記なき限り全て撤去 | | ※）木製家具 | | | | ※）木製家具 | | | | ※）木製家具 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改修後姿図 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 40人用 | | | | 40人用 | | | | 40人用 | | | | | | | |
| 工事名称
★ 楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事） | | 図面名称
★ 管理教室棟 家具図(1) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮尺
★ A1：1/30
A3：1/60 | | 日付
★ | | 訂正
★ | | 担当
★ | | 承認
★ | | 備考
★ | | 藤川設計株式会社
一級建築士登録 222551
田中 富士夫 | | | | A-55 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|------|------|-----|-----|------------------------|--|--|--|--|--------------------------------|------|-----|-----|----------------------|---------|--|--|--|--|---------|--|--|--|--|---------|--|--|--|--|---------|--|--|--|--|---------|--|--|--|--|----------|--|--|--|--|--------------------------|--|--|--|--|------|--|--|--|--|
| 符号・数量 | K-08 | 収納戸棚 | 1ヵ所 | 校長室 | 改修前姿図
※特記なき限り全て撤去 | | | | | K-09 | 展示戸棚 | 1ヵ所 | 校長室 | 改修後姿図
※特記なき限り全て撤去 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 符号・数量 | K-10 | 戸棚 | 1ヵ所 | 職員室 | 改修前姿図
※特記なき限り全て撤去 | | | | | K-11 | 戸棚 | 1ヵ所 | 職員室 | 改修後姿図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 符号・数量 | K-12 | キッチン | 1ヵ所 | 職員室 | 改修前姿図
※特記なき限り全て撤去 | | | | | K-13 | キッチン | 1ヵ所 | 職員室 | 改修後姿図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工事名称
★ 楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事） | | | | | 図面名称
★ 管理教室棟 家具図(2) | | | | | 縮尺
★ A1 : 1/30
A3 : 1/60 | | | | | 日付
★ | | | | | 訂正
★ | | | | | 担当
★ | | | | | 承認
★ | | | | | 備考
★ | | | | | 藤川設計株式会社 | | | | | 一級建築士登録 222551
田中 富士夫 | | | | | A-56 | | | | |

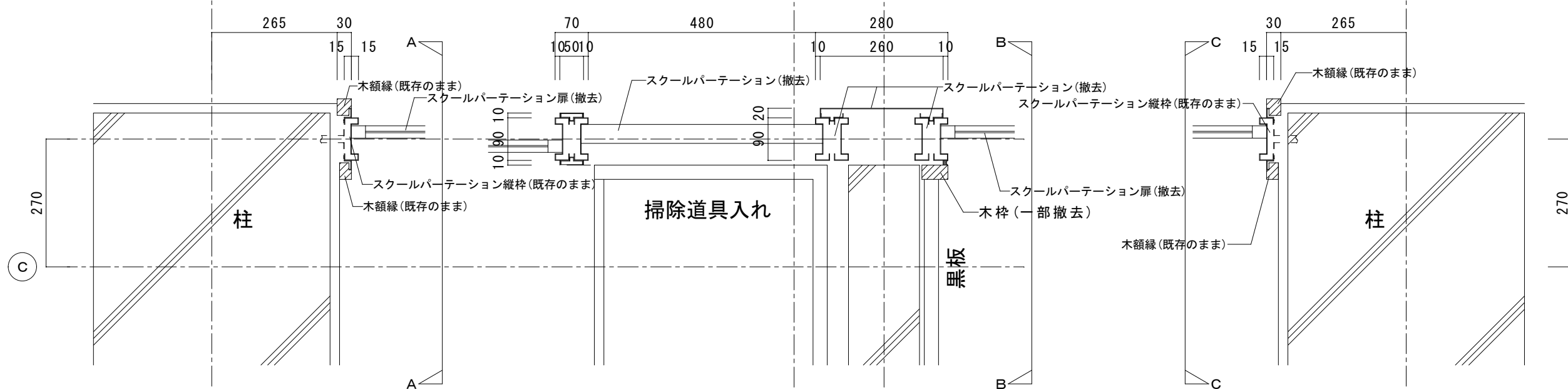
| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--------|----------------|------|--------------------|--------|------|----|-----|-----|--------|------|-----------------|-----|-----------------------|-------|
| 符号・数量 | K-13 | 水屋 | 1ヵ所 | 湯沸室 | ※）木製家具 | K-14 | 戸棚 | 1ヵ所 | 職員室 | ※）木製家具 | K-18 | 流し台 | 1ヵ所 | 保健室 | ※）流し台 |
| 改修前姿図
※特記なき限り全て撤去 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 符号・数量 | K-15 | 戸棚 | 1ヵ所 | 職員室 | | | | | | | | | | | |
| 改修前姿図
※特記なき限り全て撤去 | ※）木製家具 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 改修後姿図 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 工事名称 | | 図面名称 | | 縮尺 | | 日付 | | 訂正 | | 担当 | | 承認 | | 備考 |
| ★ 楠中学校管理教室棟大規模改修工事（1期工事） | | ★ 管理教室棟 家具図(3) | | 縮尺 A1：1/30 A3：1/60 | | ★ | | ★ | | ★ | | ★ | | ★ | |
| | | | | | | | | | | | | 藤 川 設 計 株 式 会 社 | | 一級建築士登録 222551 田中 富士夫 | |
| | | | | | | | | | | | | | | A－57 | |



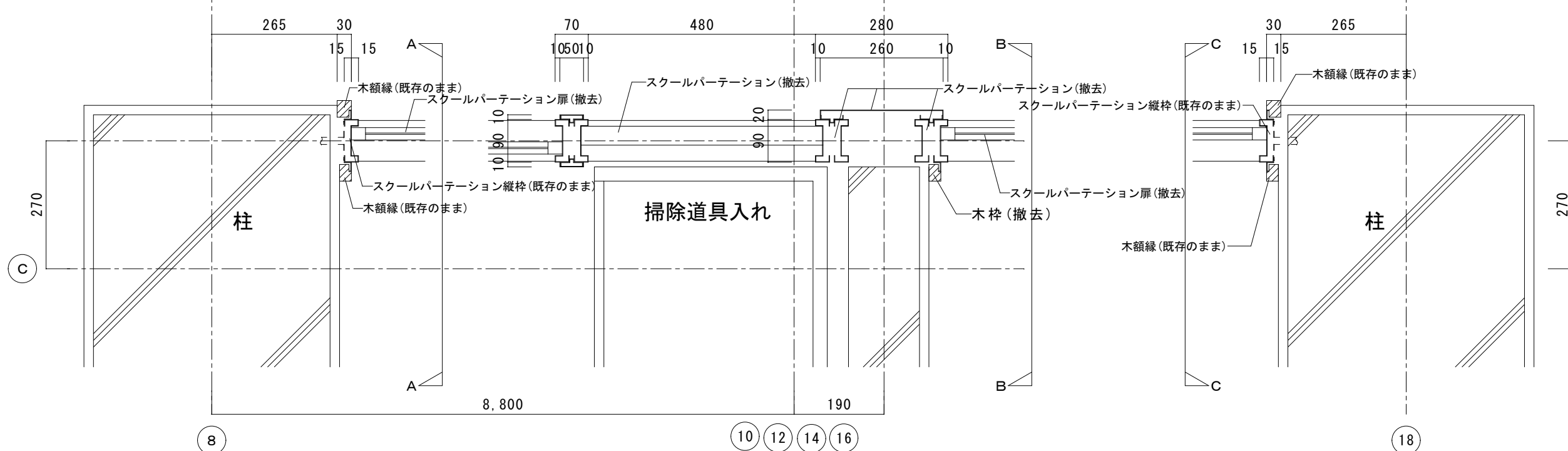
| | | | | | | | | |
|------|--------------------|-----|------|----------------|-----|------|-------------------|------|
| D-12 | 普通教室 前面黒板 詳細図 | 1/5 | D-13 | 普通教室 背面掲示板 詳細図 | 1/5 | D-14 | 黒板又はホワイトボード改修 詳細図 | 1/5 |
| | | | | | | | | |
| D-15 | 掲示板（掲示クロス貼替改修） 詳細図 | 1/5 | D-16 | 掲示板（アルミ枠） 詳細図 | 1/5 | D-17 | 外部梯子 詳細図 | 1/20 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |



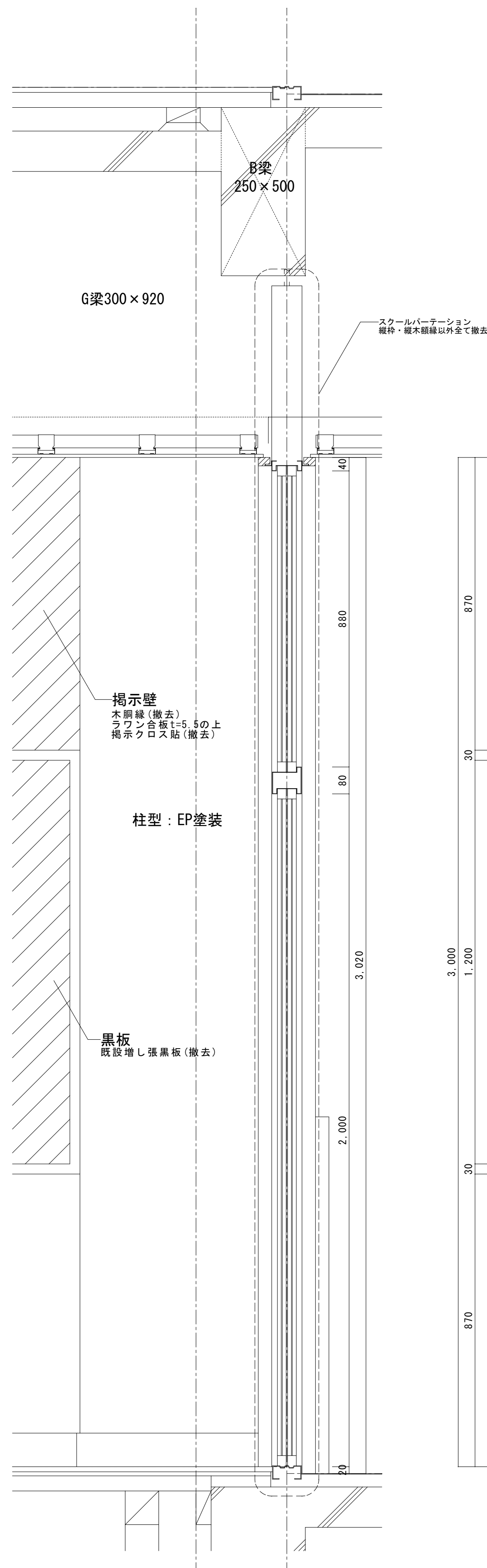
揭示壁部分平面詳細図
 (FL+2130~FL+3000)



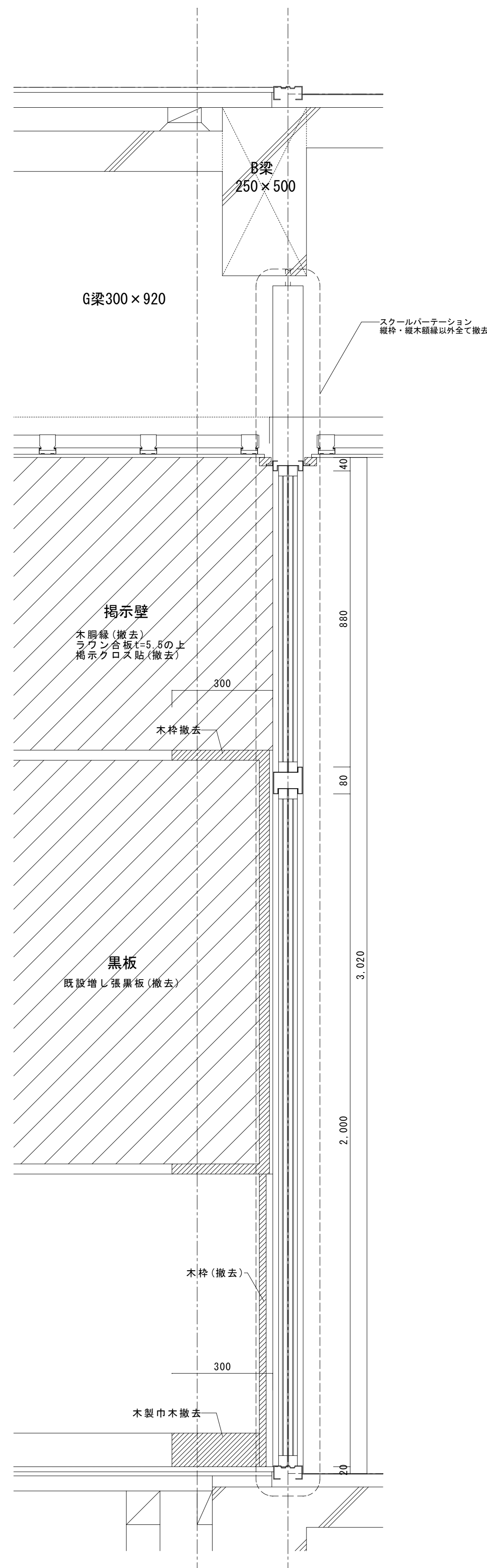
黒板部分平面詳細図
(FL+870~FL+2130)



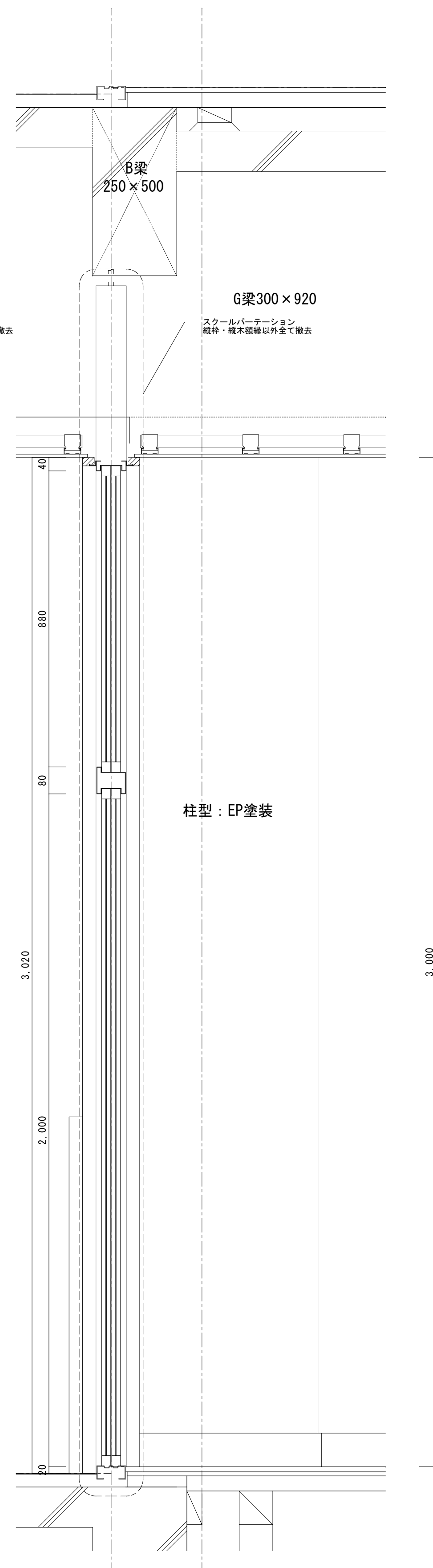
腰壁部分平面詳細図
(FL±0~FL+870)



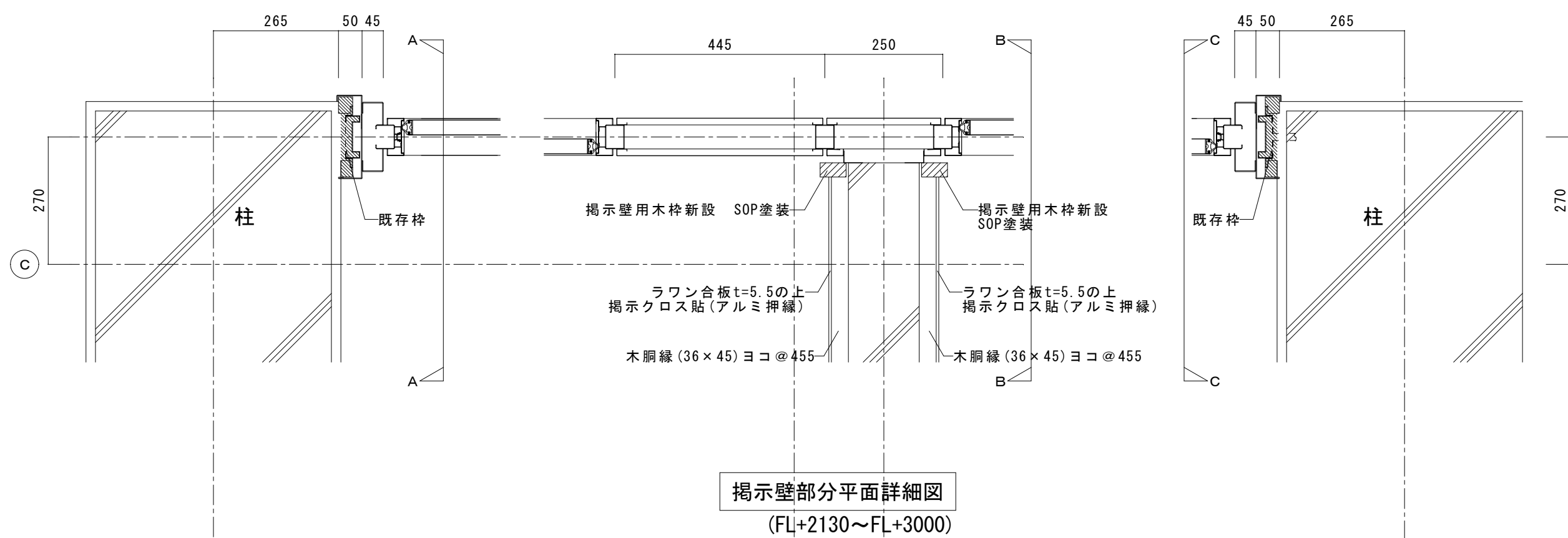
A-A断面詳細図



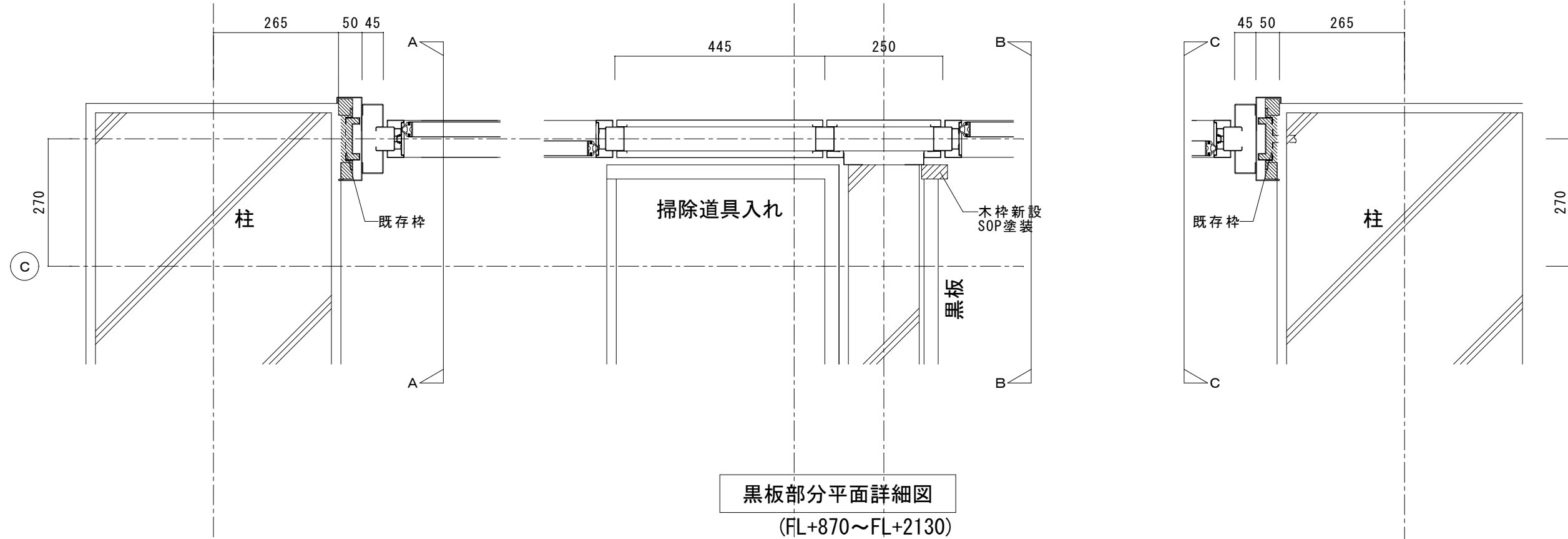
B-B断面詳細図



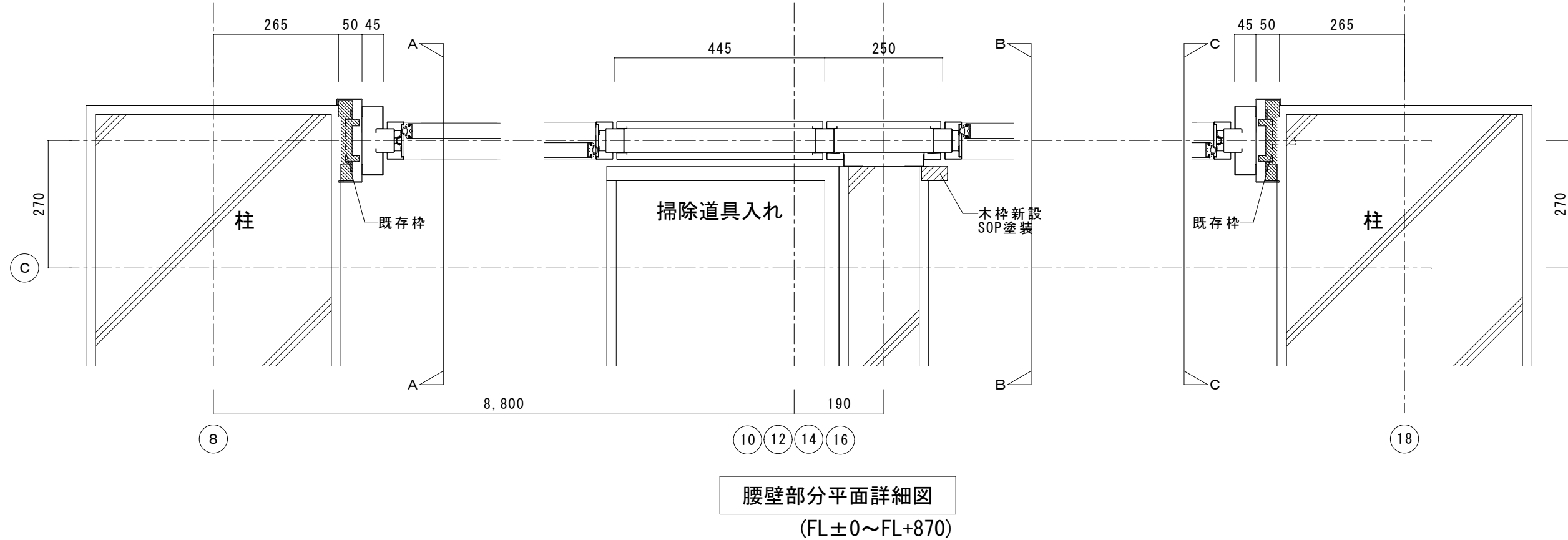
C-C断面詳細図



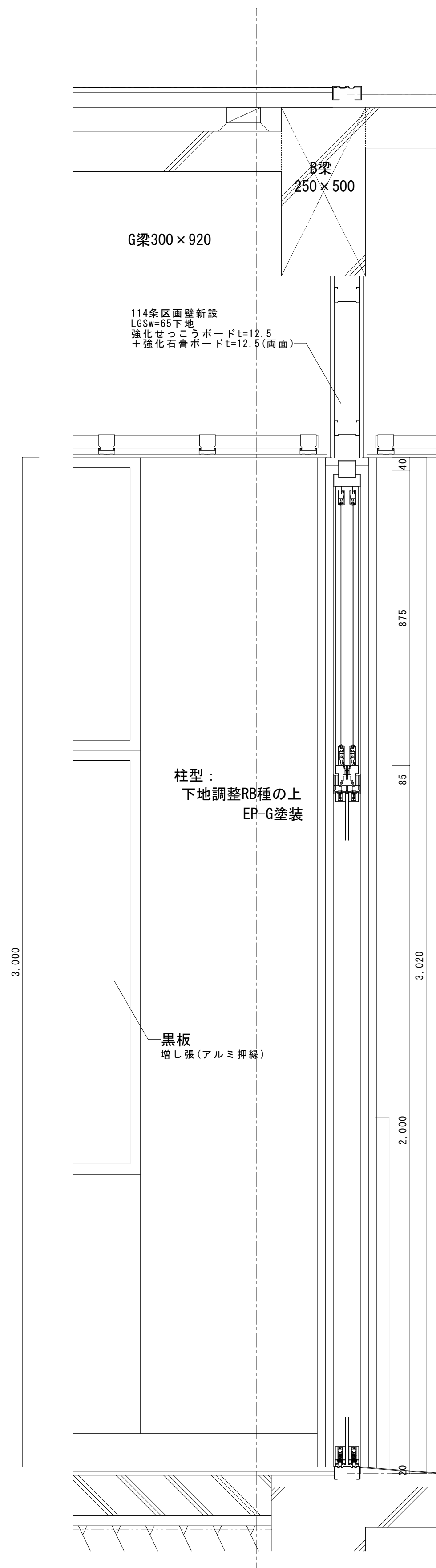
揭示壁部分平面詳細図
 (FL+2130~FL+3000)



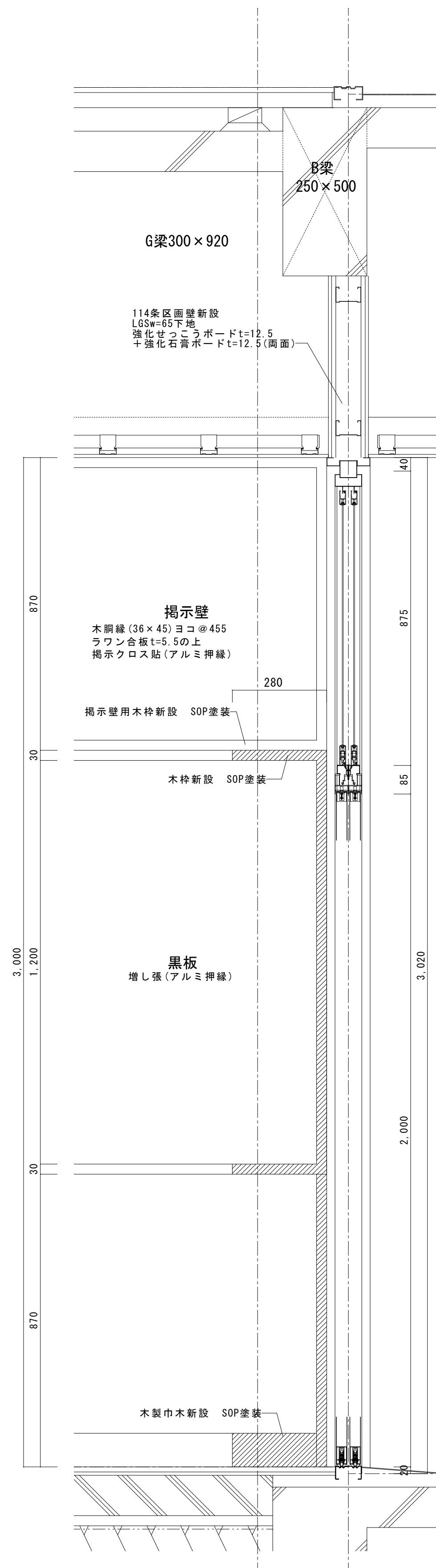
黒板部分平面詳細図
(FL+870~FL+2130)



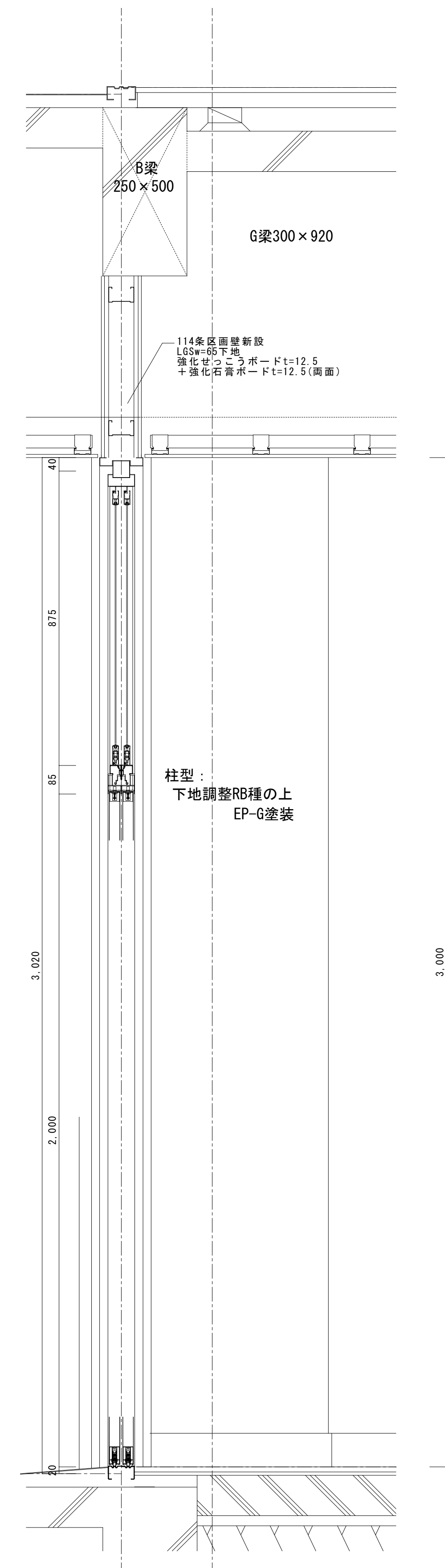
腰壁部分平面詳細図
(FL±0~FL+870)



A-A 断面詳細図



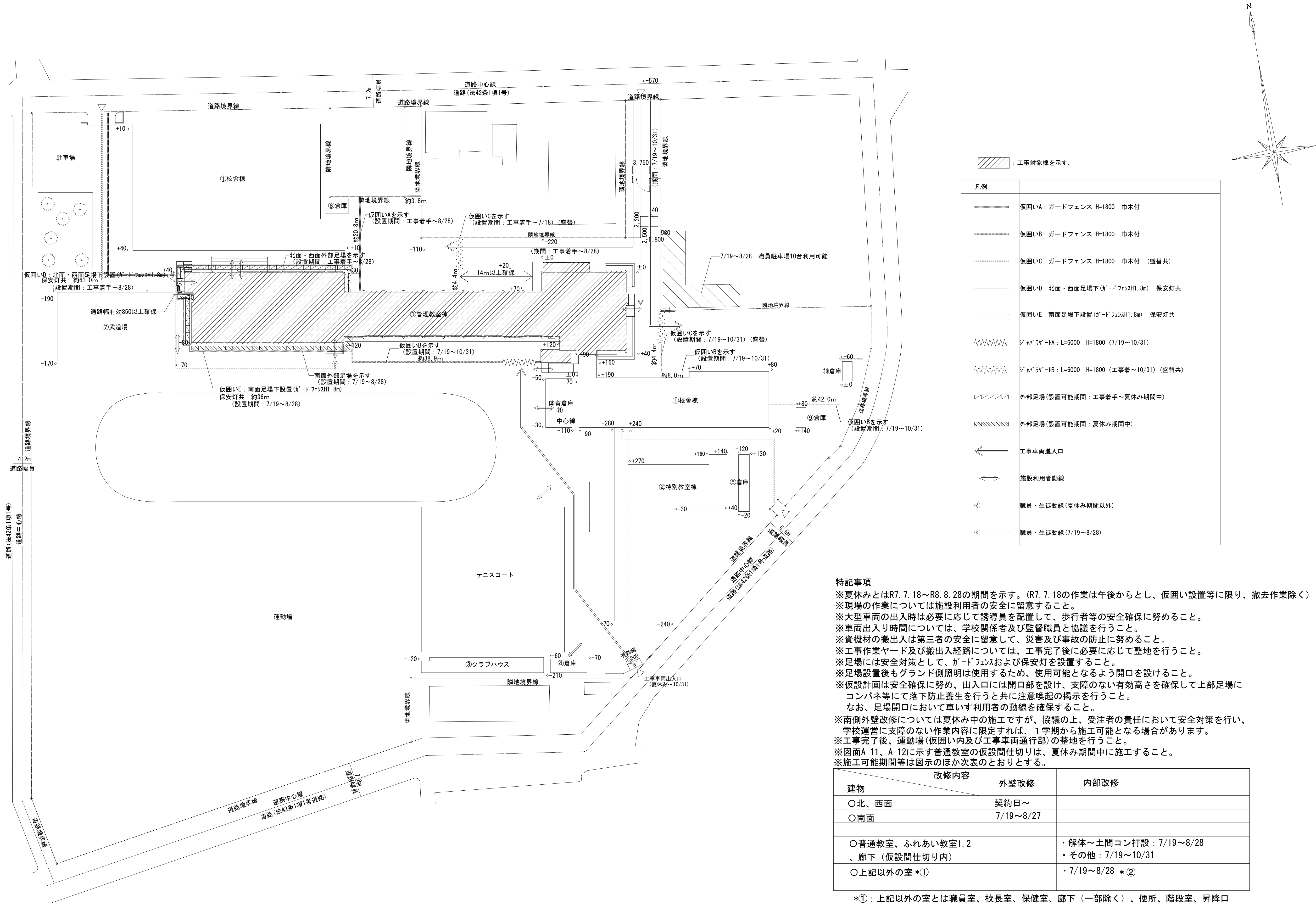
B-B断面詳細図



C-C断面詳細図

| | | |
|---|---|--|
| <div>耐火間仕切壁の仕様 A1 : S=1/5、A3 : S=1/10</div> <div></div> | <div>耐火間仕切壁（遮音）の仕様 A1 : S=1/5、A3 : S=1/10</div> <div></div> | |
|---|---|--|

| | |
|--|--|
| <div>底 塗装範囲 詳細図 A1 : S=1/30、A3 : S=1/50</div> <div>改修前</div> <div></div> <div></div> | <div>改修後</div> <div></div> <div></div> |
|--|--|



：工事対象棟を示す。

| 凡例 | |
|-------|---|
| ----- | 仮囲いA：ガードフェンス H=1800 市木付 |
| ----- | 仮囲いB：ガードフェンス H=1800 市木付 |
| ----- | 仮囲いC：ガードフェンス H=1800 市木付 (盛替共) |
| ----- | 仮囲いD：北面・西面足場下 (ガードフェンスH1.8m) 保安灯共 |
| ----- | 仮囲いE：南面足場下設置 (ガードフェンスH1.8m) 保安灯共 |
| ~~~~~ | ジャバラゲートA：L=6000 H=1800 (7/19～10/31) |
| ~~~~~ | ジャバラゲートB：L=6000 H=1800 (工事着手～10/31) (盛替共) |
| ▨ | 外部足場(設置可能期間：工事着手～夏休み期間中) |
| ▨ | 外部足場(設置可能期間：夏休み期間中) |
| ← | 工事車両出入口 |
| ↔ | 施設利用者動線 |
| ← | 職員・生徒動線(夏休み期間以外) |
| ← | 職員・生徒動線(7/19～8/28) |

特記事項

- ※夏休みとはR7. 7. 18～R8. 8. 28の期間を示す。(R7. 7. 18の作業は午後からとし、仮囲い設置等に関り、撤去作業除く)
- ※現場の作業については施設利用者の安全に留意すること。
- ※大型車両の出入時は必要に応じて誘導員を配置して、歩行者等の安全確保に努めること。
- ※車両出入り時間については、学校関係者及び監督職員と協議を行うこと。
- ※資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。
- ※工事作業ヤード及び搬出入経路については、工事完了後に必要に応じて整地を行うこと。
- ※足場には安全対策として、ガードフェンスおよび保安灯を設置すること。
- ※足場設置後もグラウンド側照明は使用するため、使用可能となるよう開口を設けること。
- ※仮設計画は安全確保に努め、出入口には開口部を設け、支障のない有効高さを確保して上部足場にコンパネ等にて落下防止養生を行うと共に注意喚起の掲示を行うこと。
- ※南側外壁改修については夏休み中の施工ですが、協議の上、受注者の責任において安全対策を行い、学校運営に支障のない作業内容に限定すれば、1学期から施工可能となる場合があります。
- ※工事完了後、運動場(仮囲い内及び工事車両通行部)の整地を行うこと。
- ※図面A-11、A-12に示す普通教室の仮設間仕切りは、夏休み期間中に施工すること。
- ※施工可能期間等は図示のほか次表のとおりとする。

| 改修内容 | 外壁改修 | 内部改修 |
|------------------------------|-----------|---|
| 建物 | | |
| ○北、西面 | 契約日～ | |
| ○南面 | 7/19～8/27 | |
| ○普通教室、ふれあい教室1. 2、廊下(仮設間仕切り内) | | ・解体～土間コン打設：7/19～8/28
・その他：7/19～10/31 |
| ○上記以外の室*① | | ・7/19～8/28 *② |

- *①：上記以外の室とは職員室、校長室、保健室、廊下(一部除く)、便所、階段室、昇降口
- *②：ただし、協議により受注者の責において安全対策を行い、学校運営に支障のない作業内容に関り、8/28以降も施工可能となる場合があります。